

組立説明書の改訂履歴

(HK/WK【器具・仕上げ】)

[illegible]

TOTO

SB·UB

シンラ HK / WK シリーズ

■ 以下を実現するため、この組立説明書の内容に従って正しく組み立ててください。

・安全な組立て ・安定した品質 ・製品機能の発揮 ・使用者の安全

○「組立説明書」に従わない方法で組み立て、それが原因で不具合が生じた場合は、保証いたしかねます。

○商品は改良のため変更されることがあります。

寸法等の詳細につきましては、商品図面請求サービスや商品同梱資料でご確認ください。

■ 本説明書には、水栓、カウンター、器具、ドアの取付けおよび仕上げ他が掲載されています。
床から天井の組立てまでは、「本体：EKL61339N2」に掲載されています。

■「T.機器の電気工事と試運転」に「電気工事店様実施事項」と「元請店様実施事項」を記載しています。

2 HK / WK 器具・仕上げ



J. 水栓・カウンター

J1.2WAYタッチ水栓
(カウンター一体)
(Cタイプ)

カウンター構成図(J1-1)

1 水栓支持材取付け(J1-2)

2 水栓下カバー固定金具取付け(J1-2)

3 水栓本体取付け(J1-3)

4 水栓上カバー取付け(J1-3)

5 水栓下カバー取付け(J1-4)

2WAYタッチ水栓(カウンター一体)(Cタイプ)組立て完了

J2.2WAYタッチ水栓
(カウンター一体)
(Dタイプ)

カウンター構成図(J2-1)

1 水栓支持材取付け(J2-2)

2 水栓下カバー固定金具取付け(J2-3)

3 水栓本体取付け(J2-3)

4 水栓上カバー取付け(J2-4)

Q.調光調色システムあり?

YES 5 照明取付け(J2-5)

NO 6 水栓下カバー取付け(J2-6)

2WAYタッチ水栓(カウンター一体)(Dタイプ)組立て完了

J3.2WAYタッチ水栓
(カウンター一体)
(G/Rタイプ)

カウンター構成図(J3-1)

1 水栓支持材取付け(J3-2)

2 水栓下カバー固定金具取付け(J3-3)

3 水栓本体取付け(J3-3)

4 カウンター支持材取付け(J3-4)

5 水栓上カバー取付け(J3-5)

6 照明取付け(J3-5)

7 水栓下カバー取付け(J3-7)

2WAYタッチ水栓(カウンター一体)(G/Rタイプ)組立て完了

J4.お掃除ラクラク
カウンター
(床ワイパー洗浄・照明 なし)

カウンター構成図(J4-1)

1 お掃除ラクラクカウンター支持材取付け(J4-2)

2 支持材上カバー取付け(J4-2)

3 天板補強材取付け(J4-3)

4 天板取付け(J4-3)

5 お掃除ラクラクカウンターエプロン取付け(J4-4)

お掃除ラクラクカウンター(床ワイパー洗浄・照明 なし)組立て完了

J5.お掃除ラクラク
カウンター
(床ワイパー洗浄・照明 あり)

カウンター構成図(J5-1)

1 お掃除ラクラクカウンター支持材取付け(J5-2)

Q.床ワイパー洗浄あり?

YES 2 床ワイパー洗浄システム取付け(J5-3)

NO 2 支持材上カバー取付け(J5-6)

Q.調光調色システムあり?

YES 3 照明取付け(J5-5)

NO 4 支持材上カバー取付け(J5-6)

4 支持材上カバー取付け(J5-6)

5 天板補強材取付け(J5-7)

6 天板取付け(J5-7)

7 お掃除ラクラクカウンターエプロン取付け(J5-8)

お掃除ラクラクカウンター(床ワイパー洗浄・照明 あり)組立て完了

J6.コンフォートベンチ

カウンター構成図(J6-1)

水栓カウンター(J6-3)

1 水栓支持材取付け(J6-3)

2 水栓下カバー固定金具取付け(J6-4)

3 水栓本体取付け(J6-4)

4 水栓上カバー取付け(J6-5)

5 水栓下カバー取付け(J6-6)

背もたれ(J6-7)

6 背もたれ支持材取付け(J6-7)

7 背もたれライン照明取付け(J6-7)

8 背もたれ本体取付け(J6-8)

9 背もたれ上下カバー取付け(J6-9)

ベンチカウンター(J6-10)

10 ベンチカウンター支持材取付け(J6-11)

11 床ワイパー洗浄システム取付け(J6-13)

12 カウンター内部配管接続(J6-16)

13 ベンチカウンター照明取付け(J6-19)

14 ベンチカウンター天板取付け(J6-19)

Q.1624/1620(ワイド浴槽)?

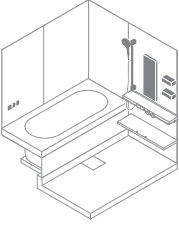
YES 15 端部支持材取付け(J6-20)

NO 16 ベンチカウンターエプロン取付け(J6-20)

コンフォートベンチ組立て完了

各水栓・カウンターの組立て

K. 器具



■ シャワーホース(K-1)

■ シャワーハンガー(K-1)

■ ホースフック(K-2)

■ 照明(K-2)

■ 換気器具(K-3)

■ 収納棚(K-4)

■ タオル掛け(K-5)

■ タオル棚(K-5)

■ 鏡(K-6~11)

■ ふろふたフック(K-12)

■ ランドリーパイプ(K-13)

■ スライドバー/インテリア・バー/コンフォートシャワーバー取付け前準備(K-13)

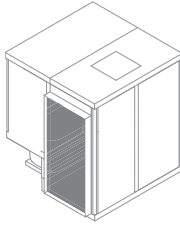
■ スライドバー(K-13,14,15)

■ インテリア・バー(K-13,16~21)

■ リモコン(K-22~24)

■ メンテナンス要領 カバーとキャップの外しかた(K-15)

L. ドア



L1 ドア(折戸)

Q.浴槽側から見て右吊元?

YES

1 吊元交換(L1-1)

2 障子吊込み(L1-1)

3 引手取付け(L1-2)

4 ラッチ調整(L1-2)

L2 ドア(開き戸)

1 緩衝材取外し(L2-1)

2 ドアロック・ハンドル取付け(L2-1)

3 障子吊込み(L2-1)

4 調整(L2-2)

5 開閉確認(L2-2)

L3 ドア(3枚引戸)

1 取っ手・サムターン取付け(L3-1)

2 下枠レール取付け(一部)(L3-2)

3 障子取付け(L3-3)

4 調整(L3-4)

5 固定側障子施錠(L3-4)

L4 ドア(片/2枚引戸)

Q.片引戸?

YES

1 ブロック取付け(L4-1)

2 袖パネル取付け(L4-1)

3 取っ手・サムターン取付け(L4-2)

Q.2枚引戸?

YES

4 下枠レール・障子・下枠カバー取付け(L4-4)

Q.片引戸?

YES

5 障子取付け(L4-5)

6 調整(L4-6)

L5 ドア(フルスクリーン片引戸)

フルスクリーン片引戸構成図(L5-1)

1 ハンドル取付け(L5-1)

2 可動障子取付け(L5-2)

3 戸車調整(L5-3)

4 緩衝材取付け(L5-3)

5 後工事の方への引継ぎ(L5-3)

L6 ドア(FIX窓/共通)

Q.FIX窓?

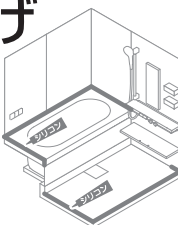
YES

1 方立カバー取付け(L6-1)

2 後工事の方への引継ぎ(L6-1)

ドア取付け完了

P. 仕上げ



1 シリコンコーキング(シリコンの打ちかた)(P-1)

2 バスエプロン取付け(P-4)

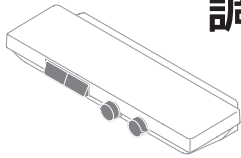
3 トラップカバーセット(P-6)

4 ヘッドレスト取付け(P-7)

5 ラベル貼付け(P-8)

仕上げ作業完了

Q. 水栓の確認と調節



1 吐水確認(Q-1)

2 フィルターの掃除(Q-3)

3 流量確認と調節(Q-5)

4 吐水温度確認(Q-6)

5 温度調節ハンドルの設定(Q-7)

Q.寒冷地/北海道?

YES

6 水抜き(Q-9)

水栓の確認と調節完了

S. 清掃・自主検査



1 清掃(S-1)

2 自主検査(S-2)

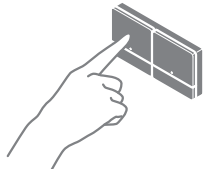
3 養生について(S-3)

4 取扱説明書類について(S-4)

5 廃棄物について(S-4)

清掃・自主検査完了

T. 機器の電気工事と試運転



■ 安全上のご注意(T-1)

■ 試運転(T-2)

■ 楽湯(T-2)

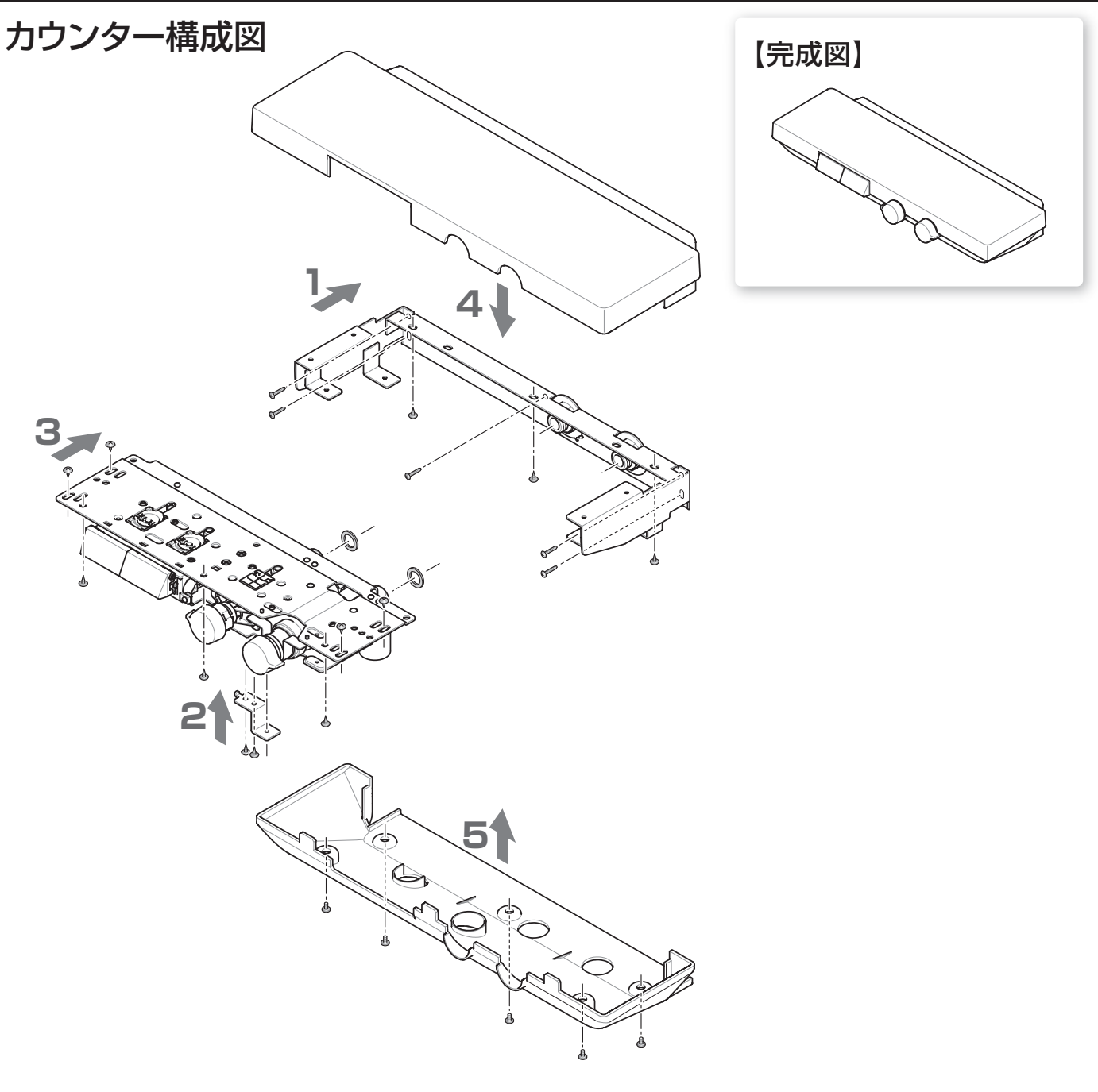
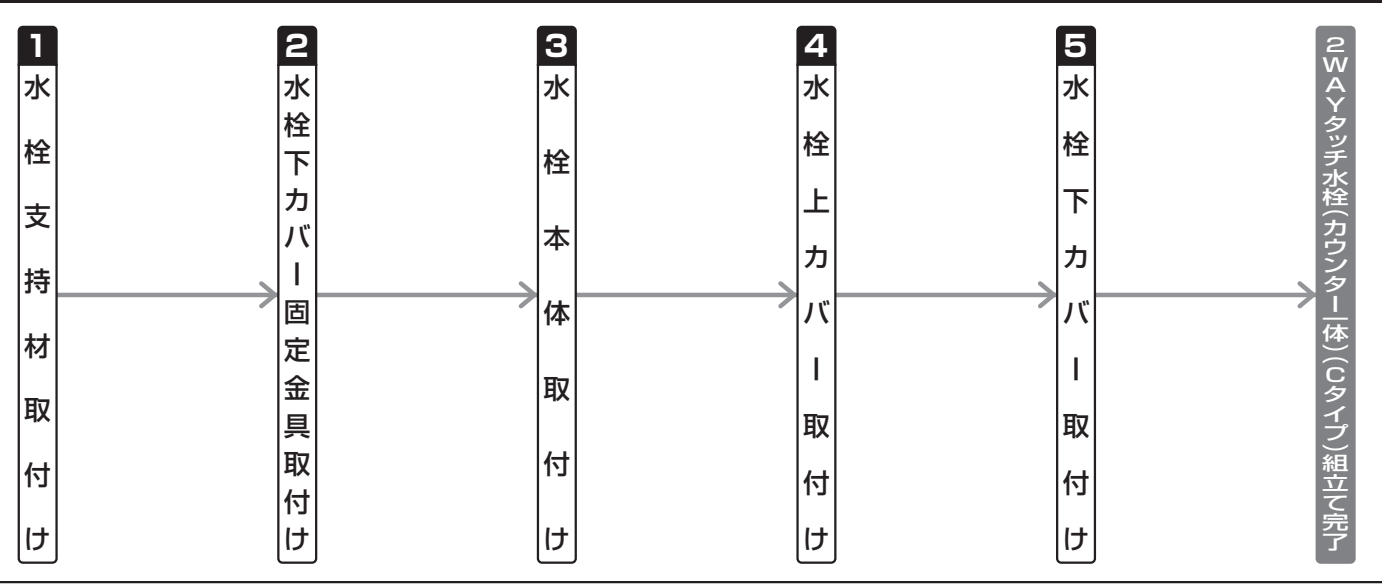
■ 床ワイパー洗浄(T-4)

■ 調光調色システム(T-7)

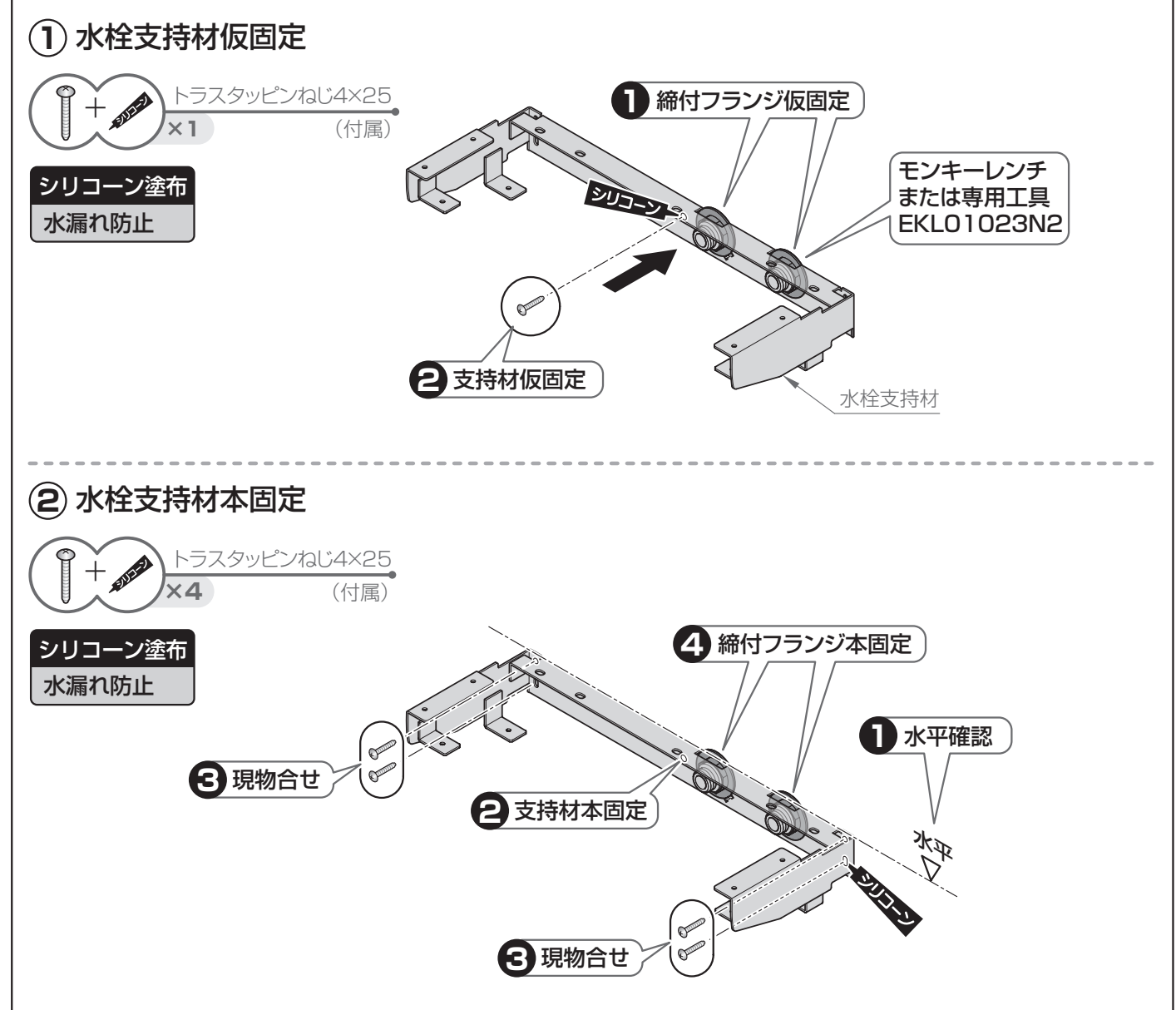
機器の電気工事と試運転完了

組立て完了

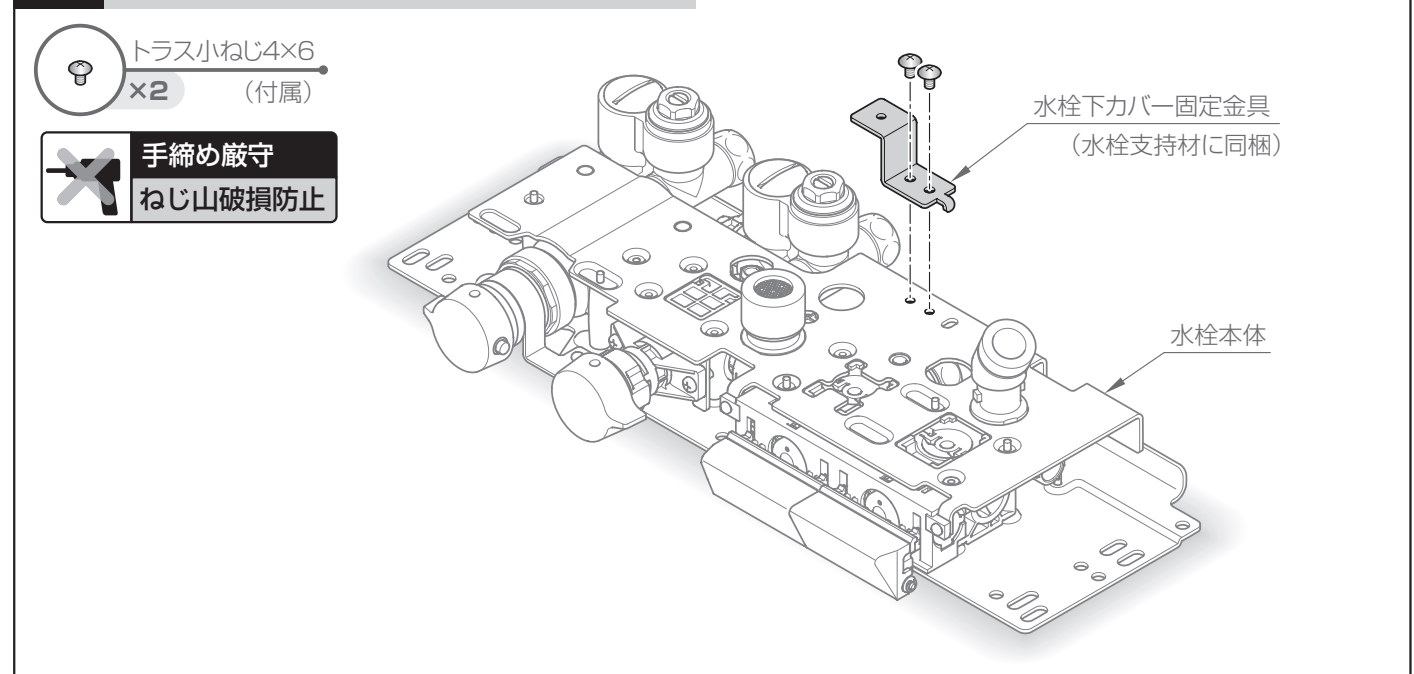
J1. 2WAYタッチ水栓(カウンター一体)(Cタイプ)



1 水栓支持材取付け



2 水栓下カバー固定金具取付け

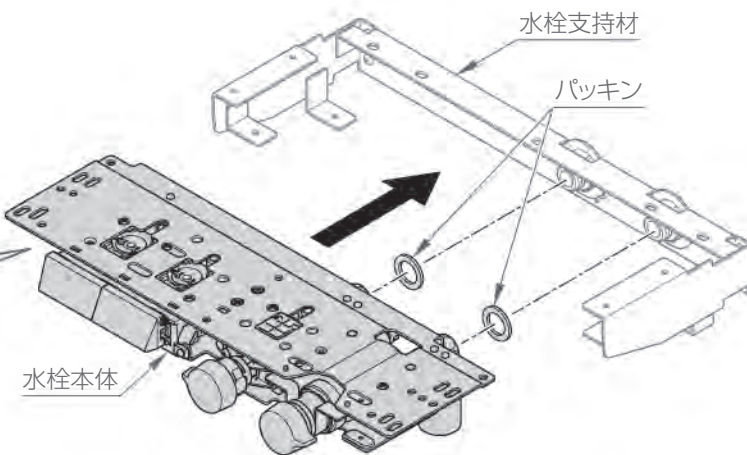


3 水栓本体取付け

① 水栓本体取付け

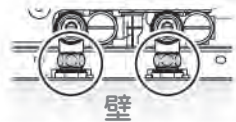
パッキン忘れ注意
水漏れ防止

支持材に載せて
スライドさせながら入れる

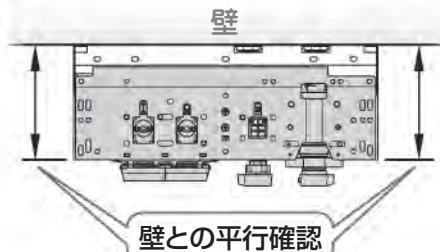


② 水栓本体本固定

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



②



壁との平行確認



③

トラス小ねじ4×6
×4 (付属)

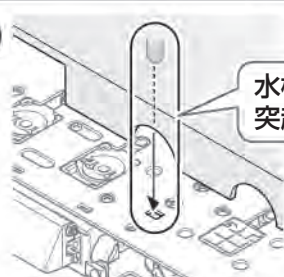
手締め厳守
ねじ山破損防止

4 水栓上カバー取付け

トラス小ねじ4×6
×6 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

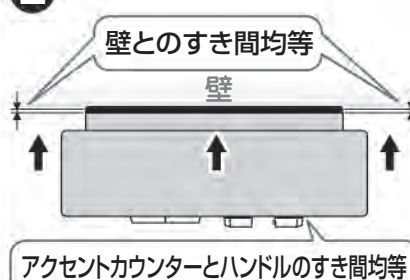
①



水栓本体の穴に上カバーの
突起を差し込む

②

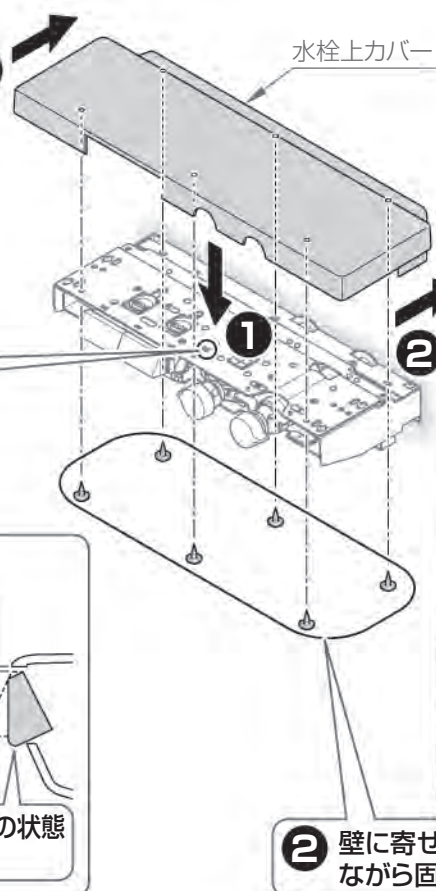
【取付状態確認事項】



すき間3mm以下
上カバー

ボタンはオフ(外に飛び出していない)の状態
※次ページ参照

②



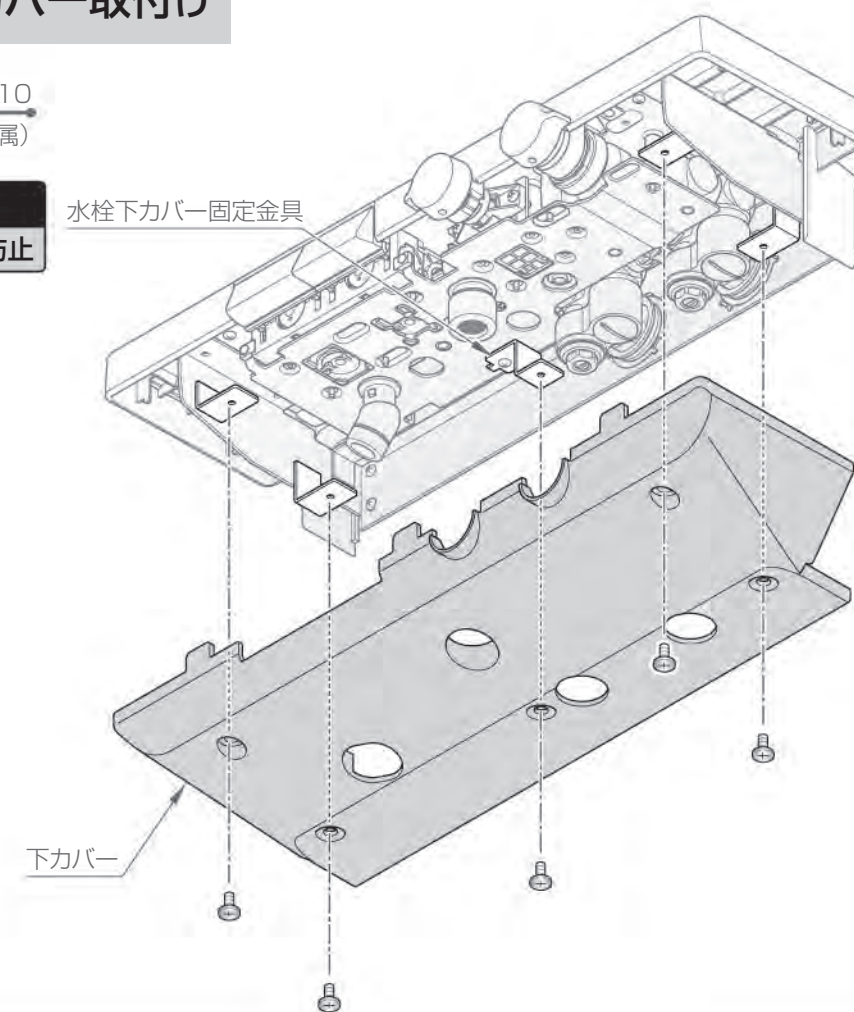
② 壁に寄せ
ながら固定

5 水栓下カバー取付け

平小ねじM4×10
×5 (付属)

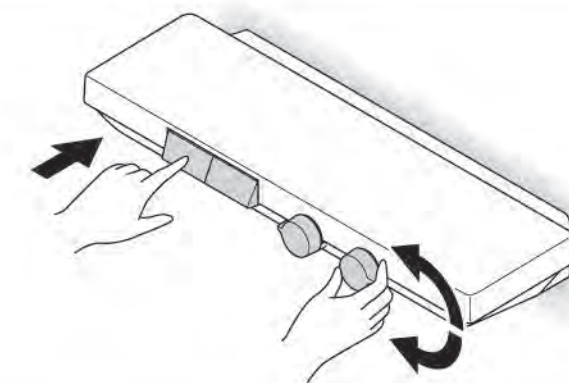
手締め厳守
ねじ山破損防止

水栓下カバー固定金具



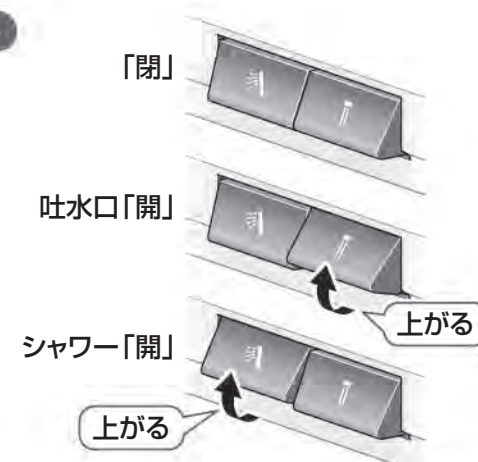
【取付状態確認事項】

- ・ボタンを押す
- ・ハンドルを回す
- に引っかかりや、こすれないこと

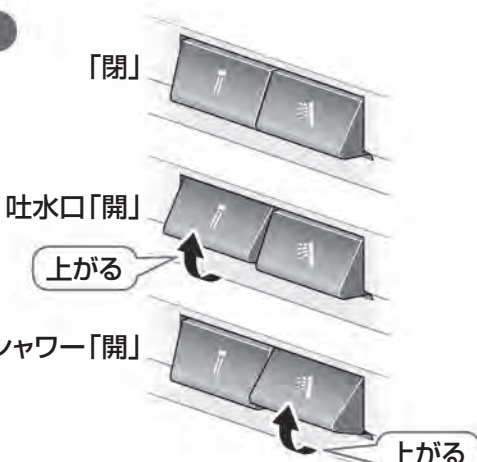


【吐水口/シャワー開閉ボタン状態図】

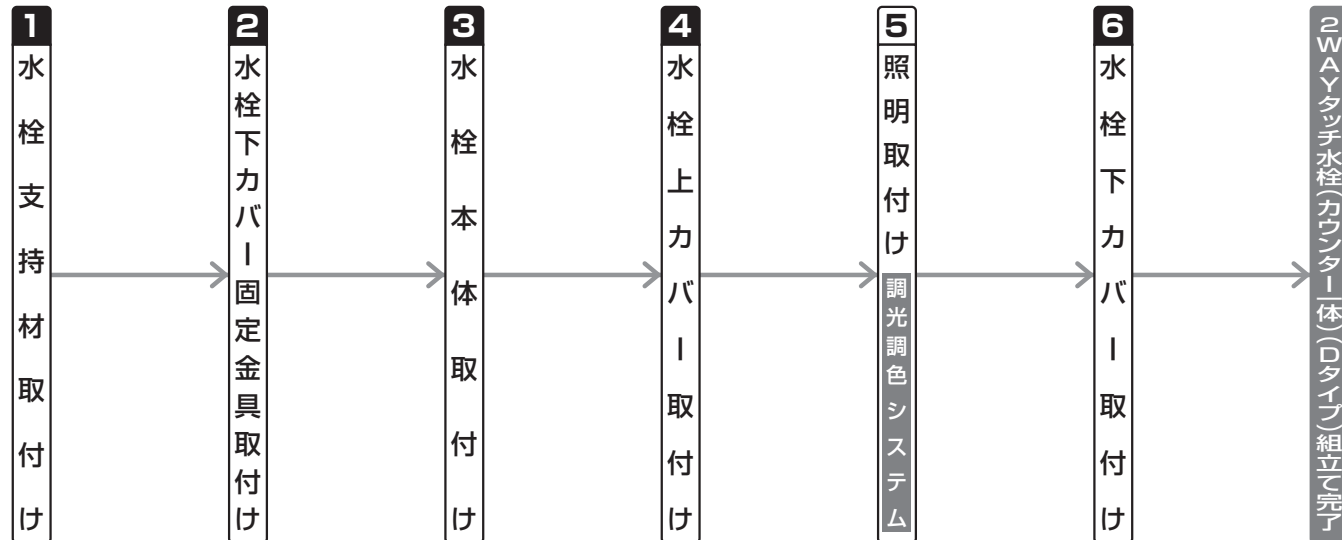
R勝手



L勝手

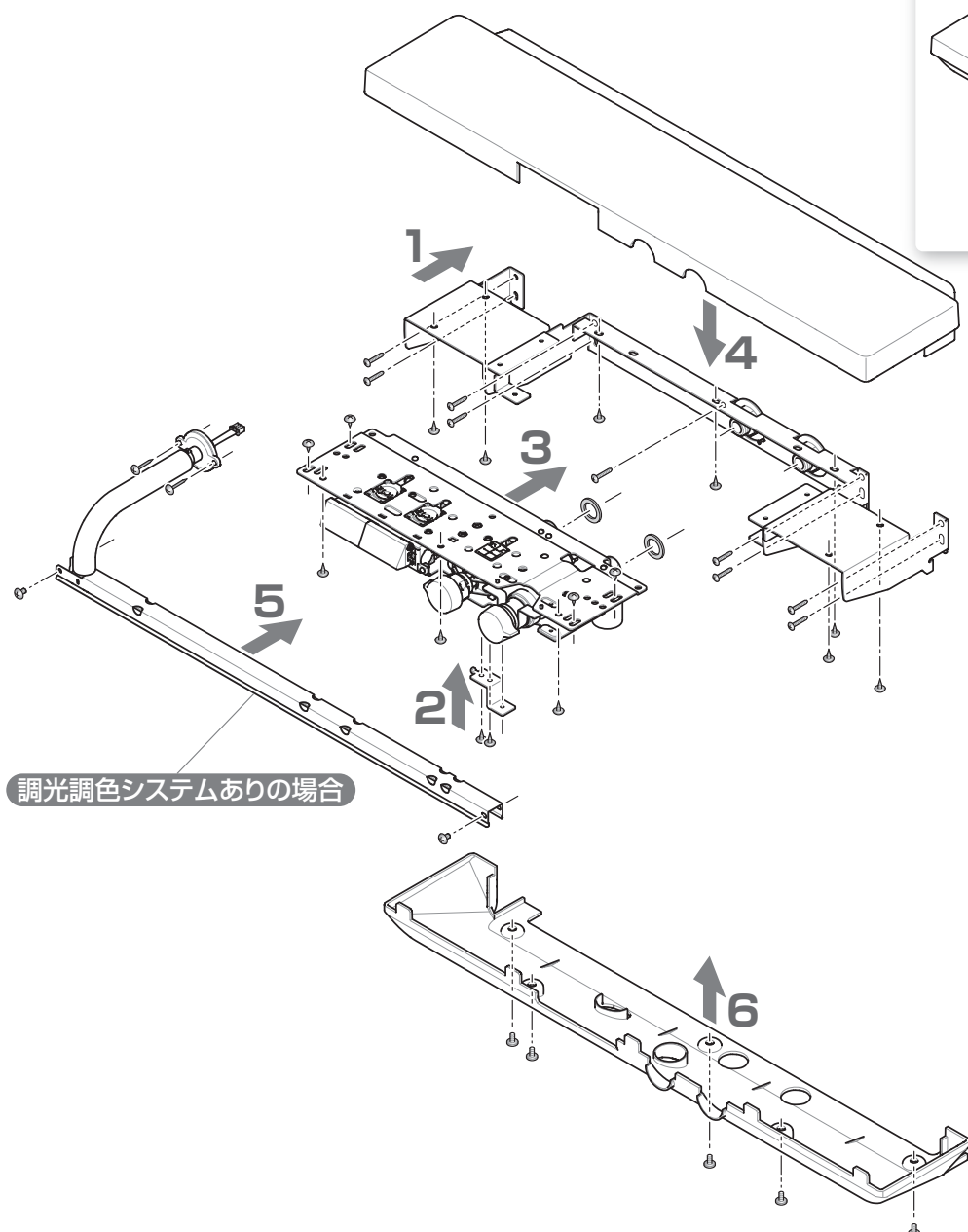


J2. 2WAYタッチ水栓(カウンター一体)(Dタイプ)



カウンター構成図

【完成図】



※この構成図は一例

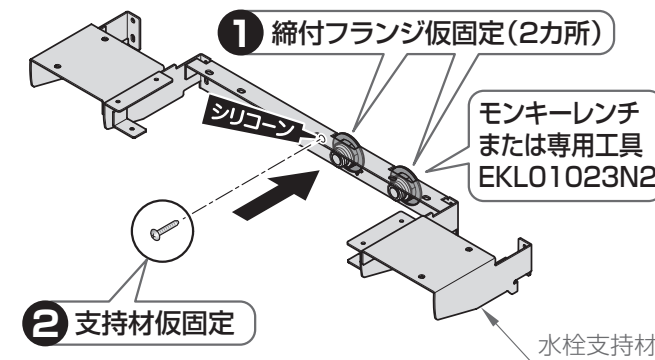
1 水栓支持材取付け

オーバーヘッドシャワーなし

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25 (付属) ×1

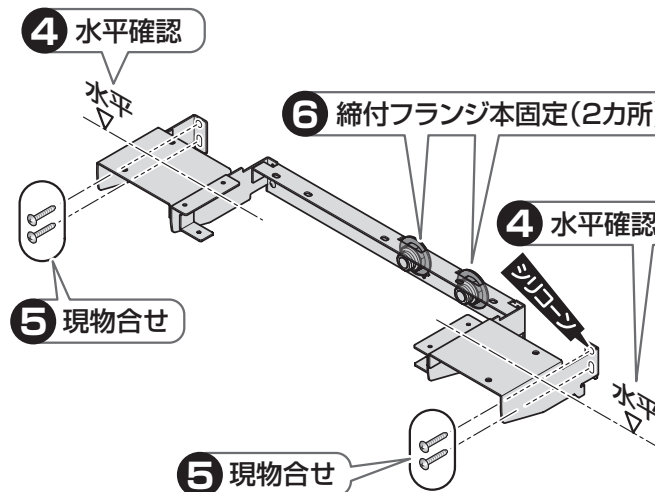
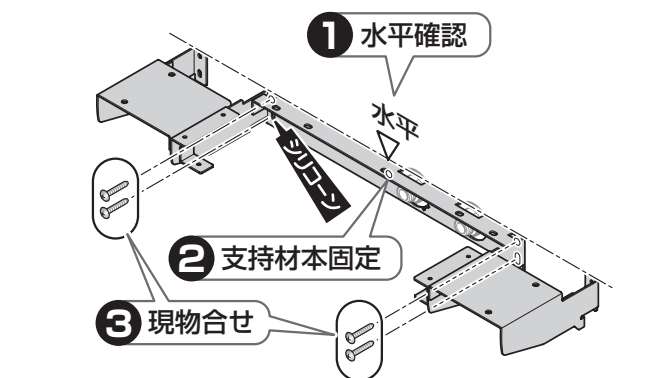
シリコン塗布
水漏れ防止



② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25 (付属) ×8

シリコン塗布
水漏れ防止

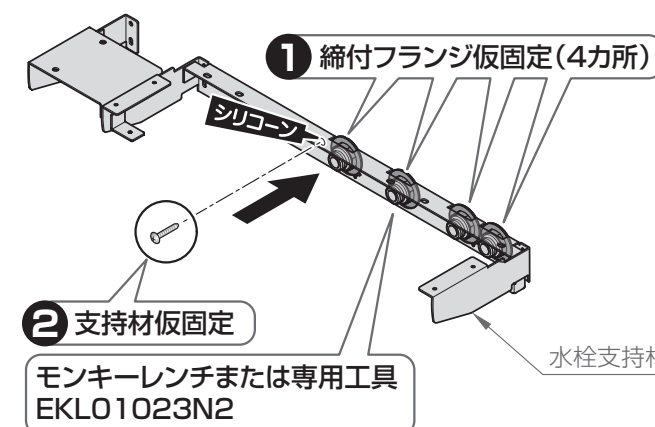


オーバーヘッドシャワーあり

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25 (付属) ×1

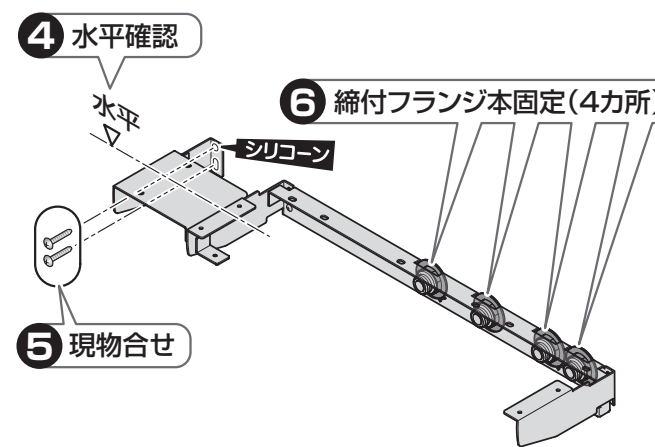
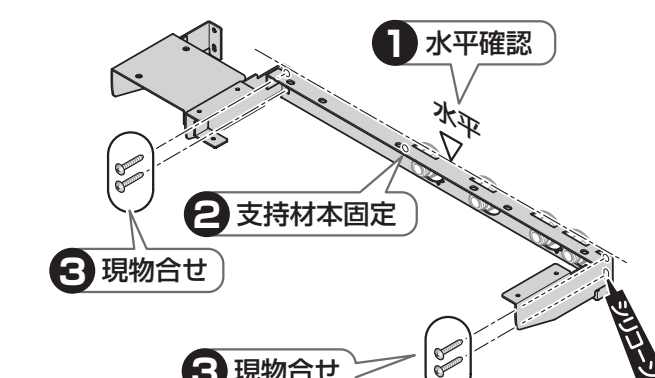
シリコン塗布
水漏れ防止



② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25 (付属) ×6

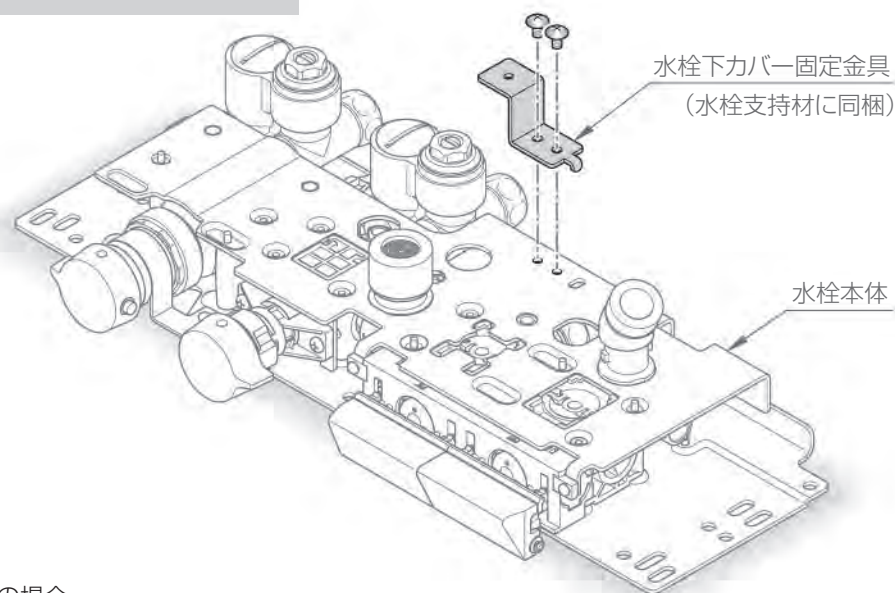
シリコン塗布
水漏れ防止



2 水栓下カバー固定金具取付け

トラス小ねじ4×6
×2 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止



※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

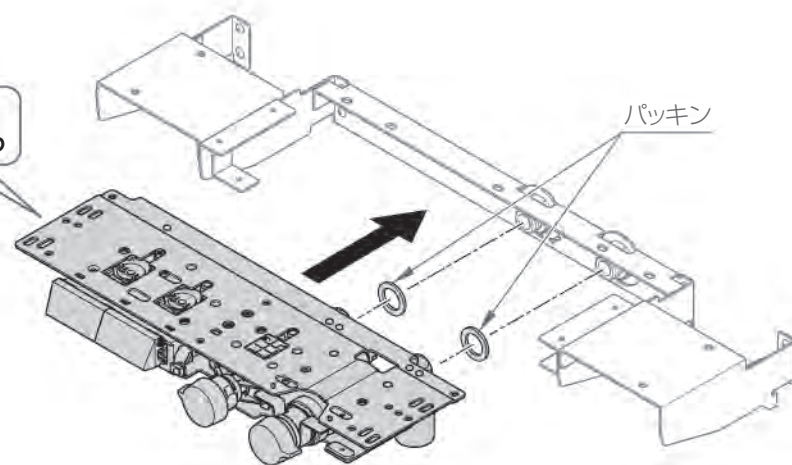
3 水栓本体取付け

① 水栓本体取付け

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

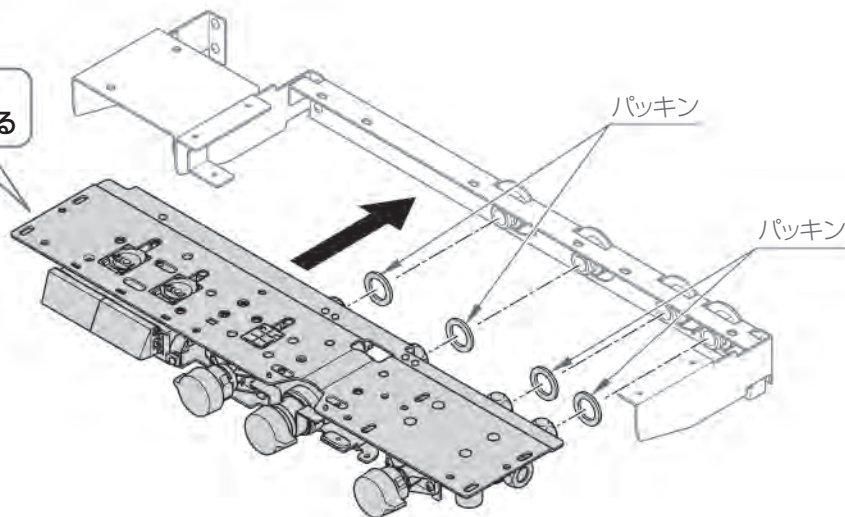
オーバーヘッドシャワーなし

支持材に載せて
スライドさせながら入れる



オーバーヘッドシャワーあり

支持材に載せて
スライドさせながら入れる



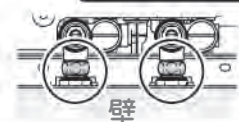
② 水栓本体本固定

オーバーヘッドシャワーなし

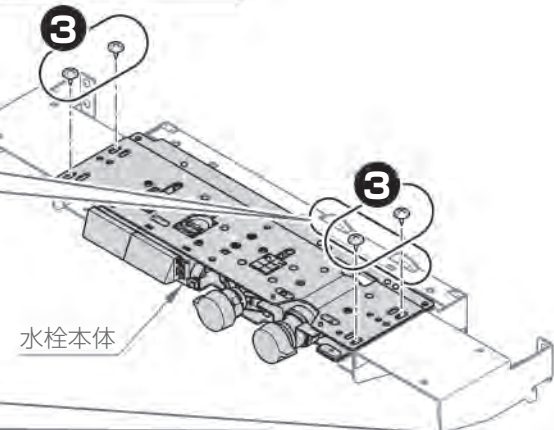
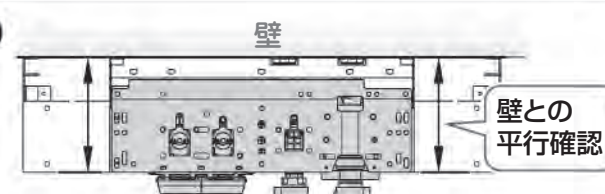
トラス小ねじ4×6
×4 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け

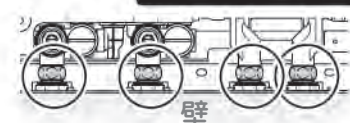


②

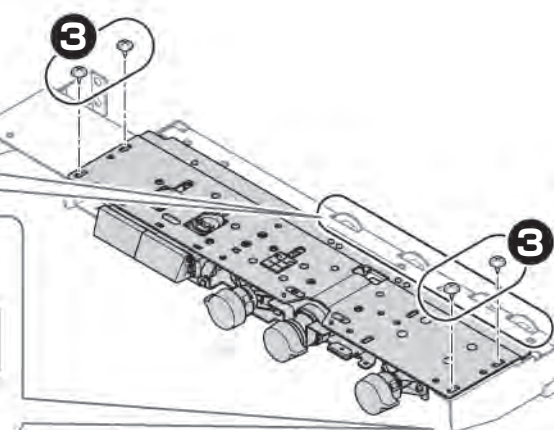
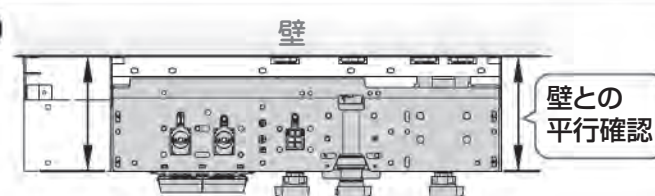


オーバーヘッドシャワーあり

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



②



4 水栓上カバー取付け

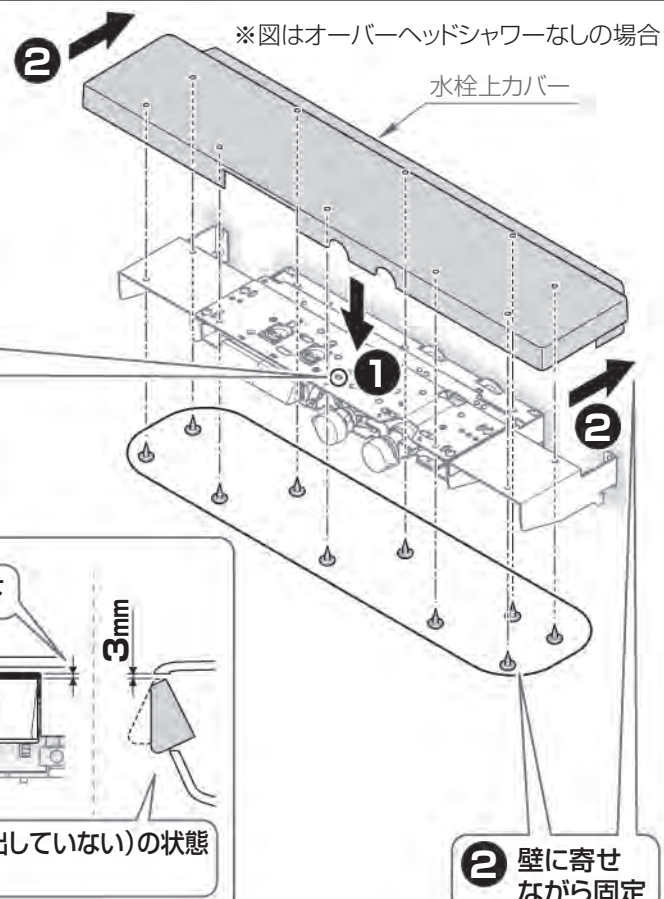
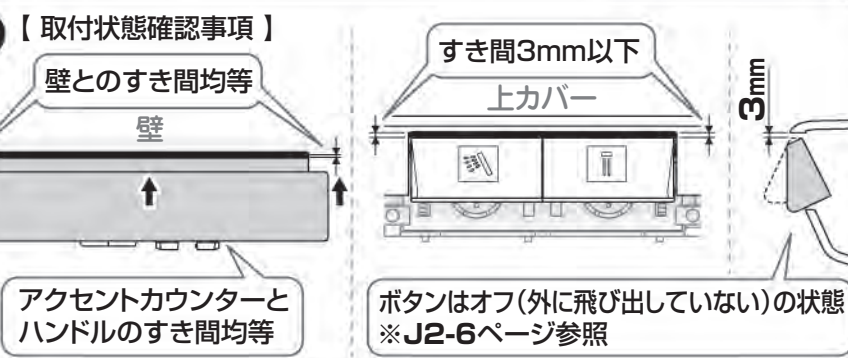
トラス小ねじ4×6
×10 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

①



②



壁に寄せ
ながら固定

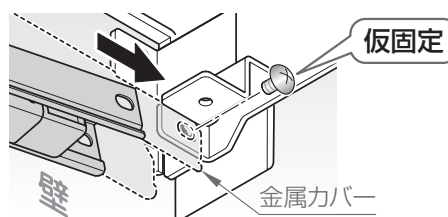
調光調色
システム

5 照明取付け

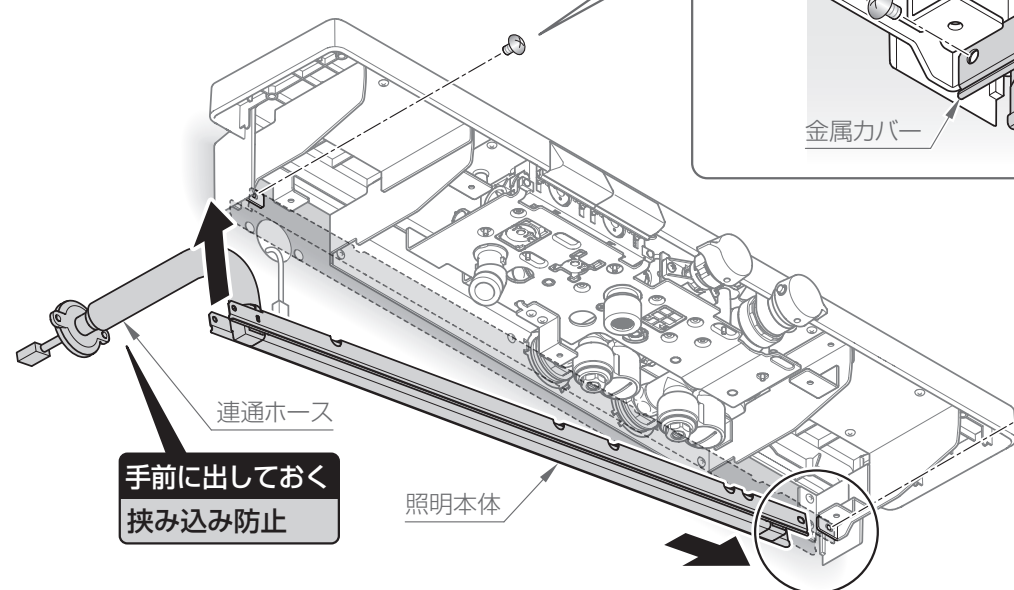
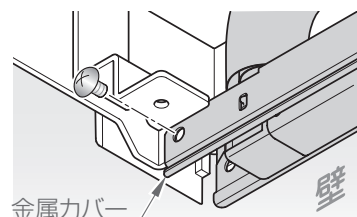
① 照明本体固定

小ねじM4×5
×2 (照明付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

① ホース(コード)側以外の支持材に引っ掛けて仮固定



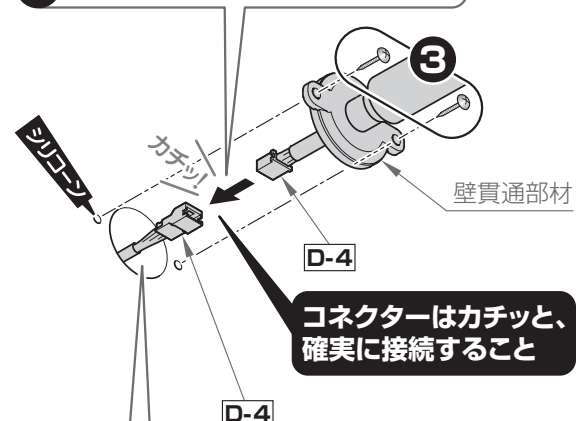
② ホース側の支持材に固定



② 壁貫通部材固定

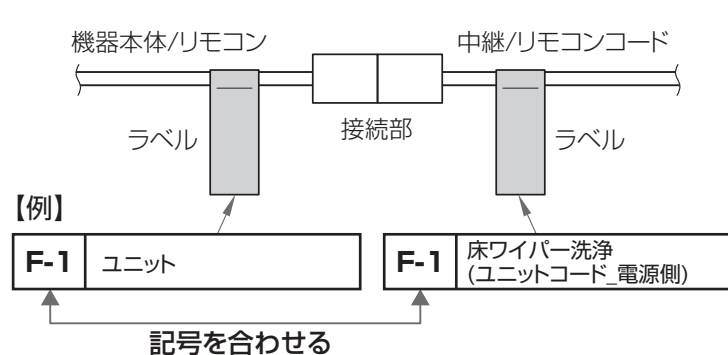
タッピンねじ4.2×25
×2 (照明付属)シリコン塗布
水漏れ防止

① 同記号、同番号のコネクター接続

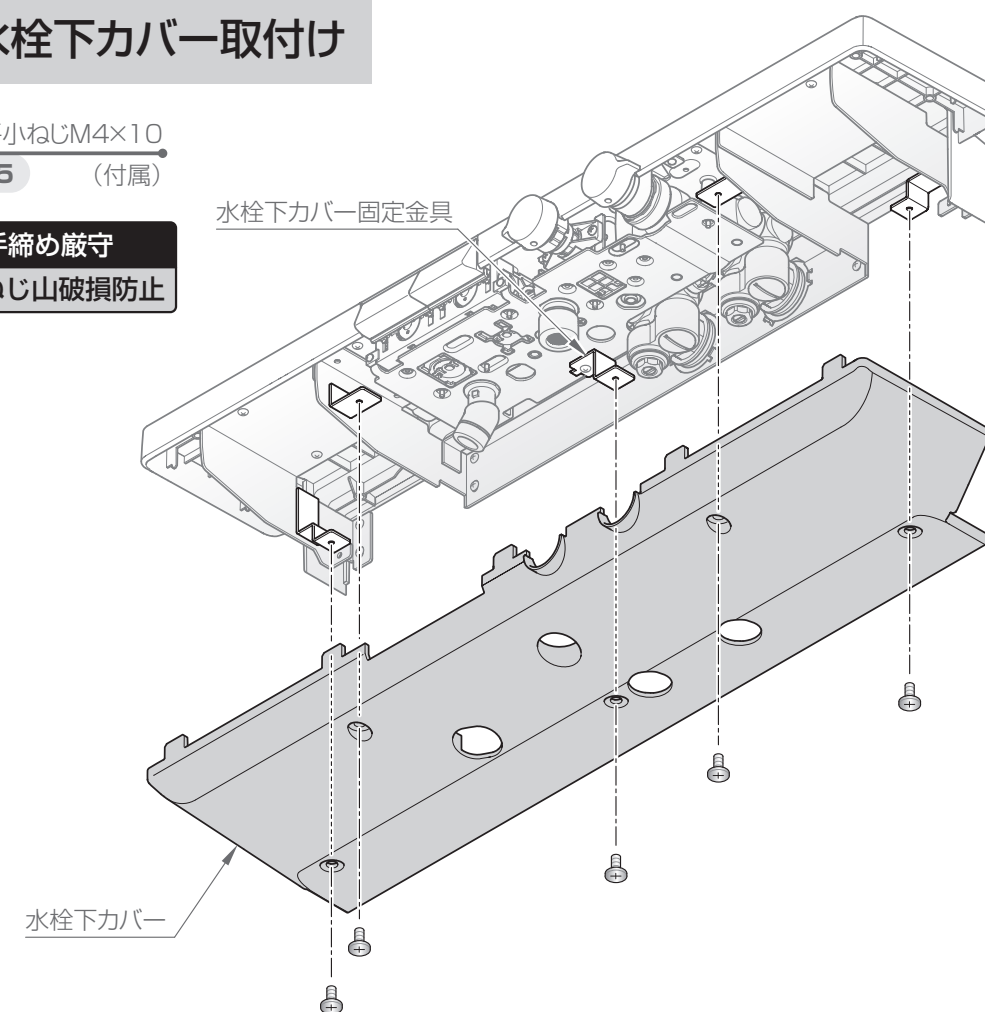


② コネクター接続後、コードを壁裏に押し出す

■ 中継/リモコンコードの接続部合わせかた

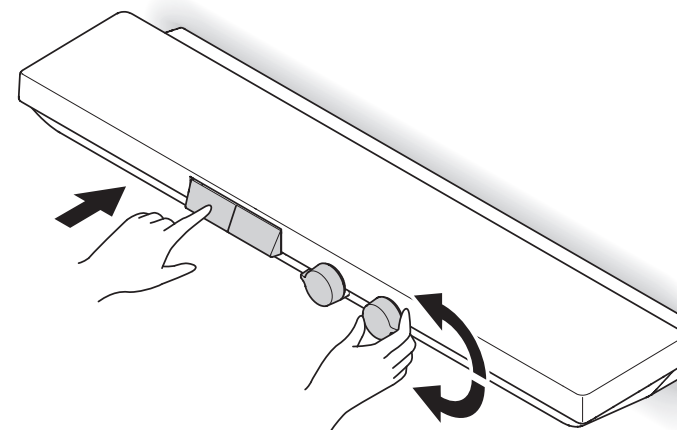


6 水栓下カバー取付け

平小ねじM4×10
×5 (付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

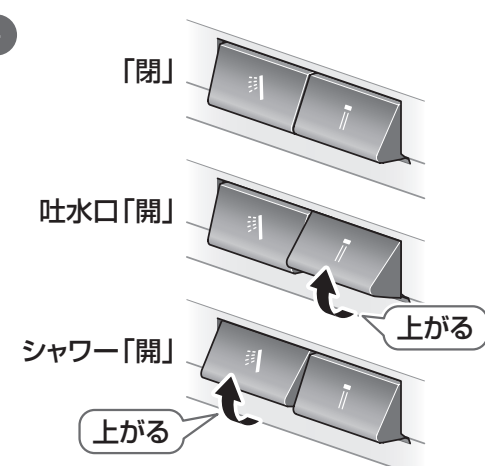
【取付状態確認事項】

- ・ ボタンを押す
 - ・ ハンドルを回す
- に引っかかりや、こすれないこと

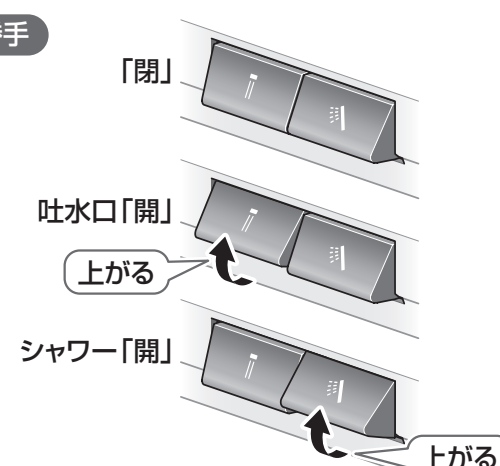


【吐水口/シャワー開閉ボタン状態図】

R勝手



L勝手



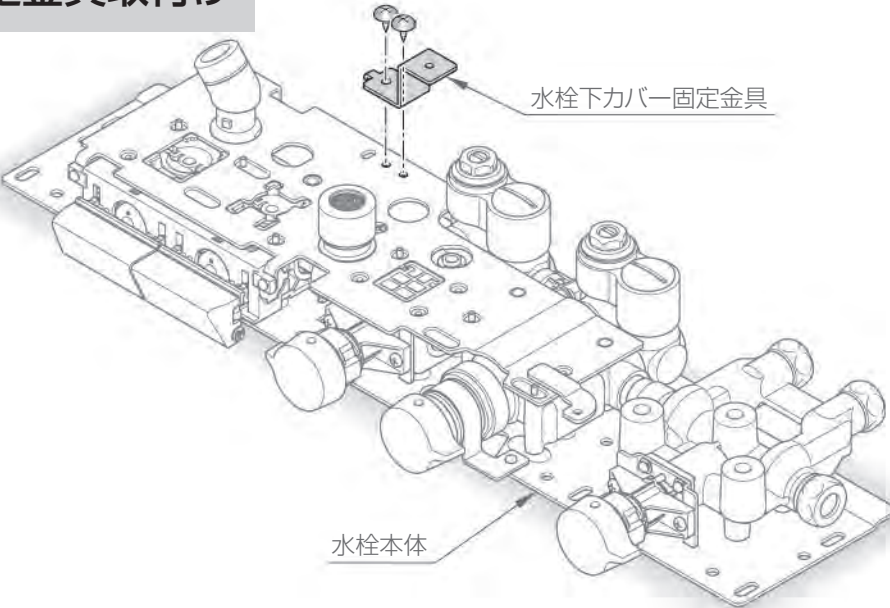
2 水栓下カバー固定金具取付け



トラス小ねじ4×6
×2 (付属)



手締め厳守
ねじ山破損防止



水栓下カバー固定金具

水栓本体

3 水栓本体取付け

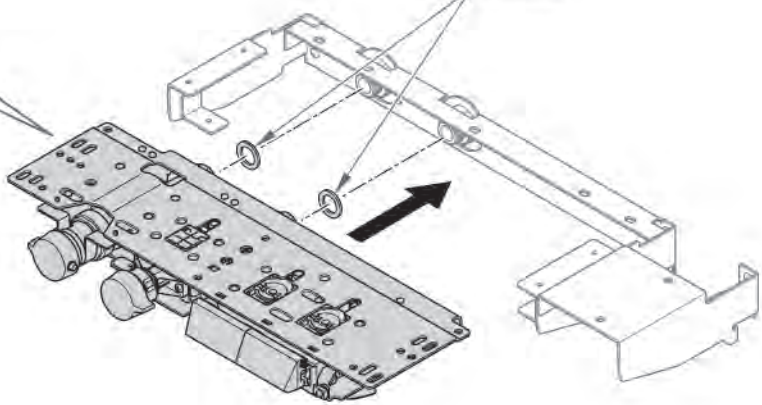
① 水栓本体取付け



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

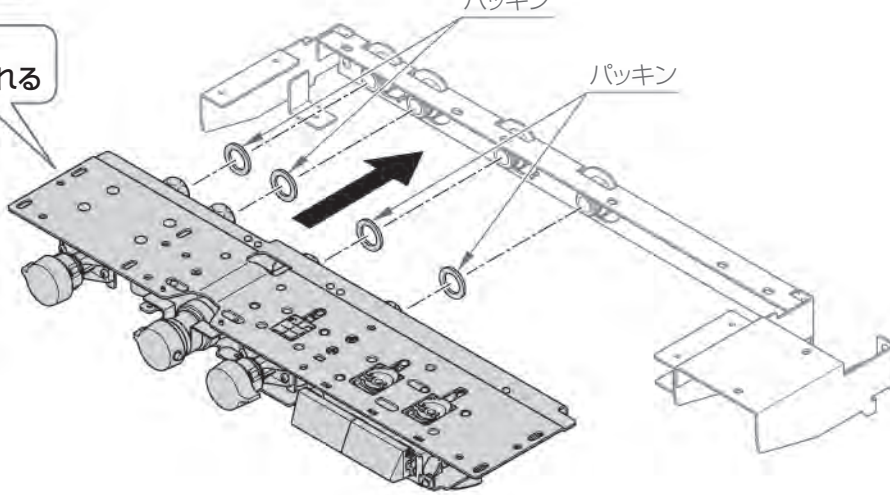
オーバーヘッドシャワーなし

支持材に載せて
スライドさせながら入れる



オーバーヘッドシャワーあり

支持材に載せて
スライドさせながら入れる



② 水栓本体本固定



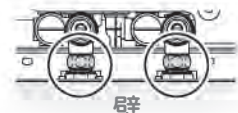
トラス小ねじ4×6
×4 (付属)



手締め厳守
ねじ山破損防止

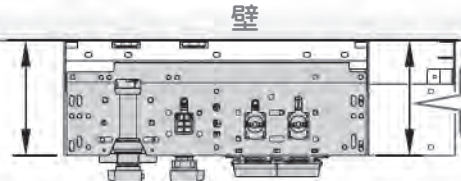
オーバーヘッドシャワーなし

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



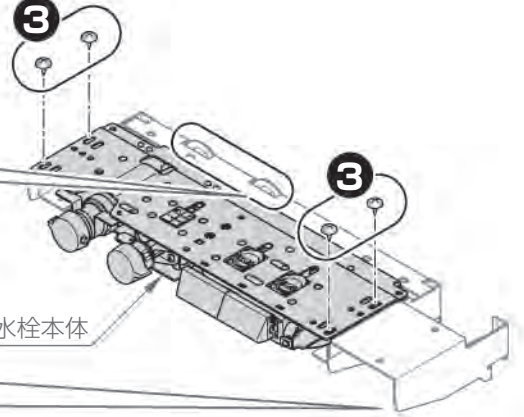
壁

②



壁との
平行確認

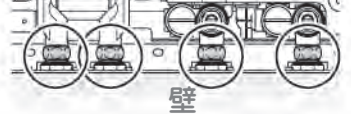
③



水栓本体

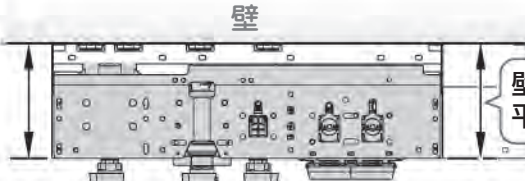
オーバーヘッドシャワーあり

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



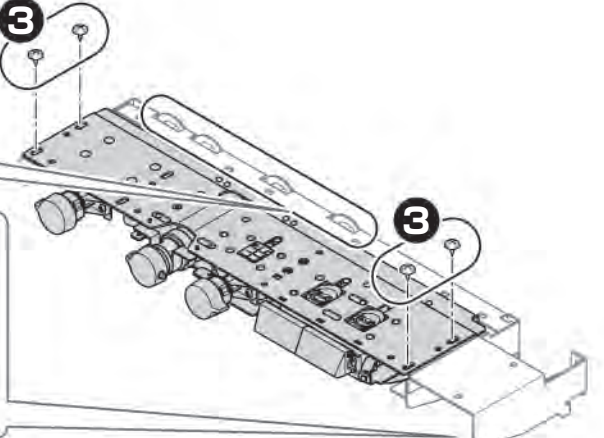
壁

②



壁との
平行確認

③



4 カウンター支持材取付け



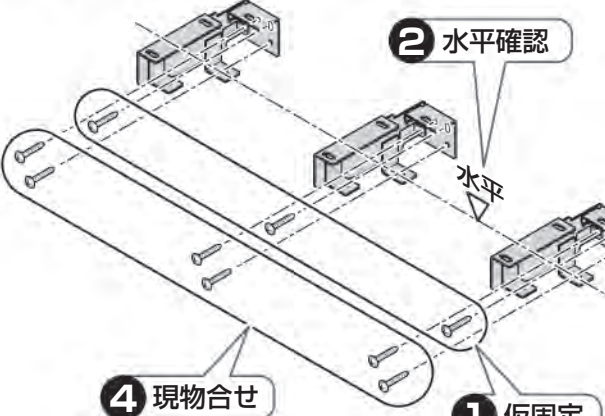
トラススタッピンねじ4×25
すべて (付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

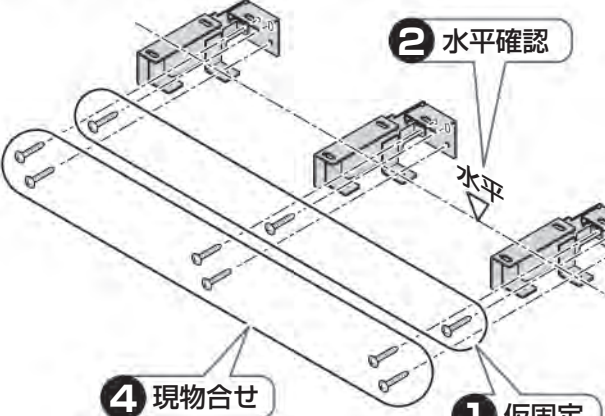
水栓本体とカウンター支持材の
高さを合わせる

② 水平確認



水平

④ 現物合せ



① 仮固定

③ 本固定



カウンター支持材



カウンター支持材の数

UBサイズ	オーバーヘッドシャワー	
	あり	なし
1624	5個	6個
1620	4個	5個
1618	3個	4個
1717/1616	3個	4個
1418/1416	-	4個

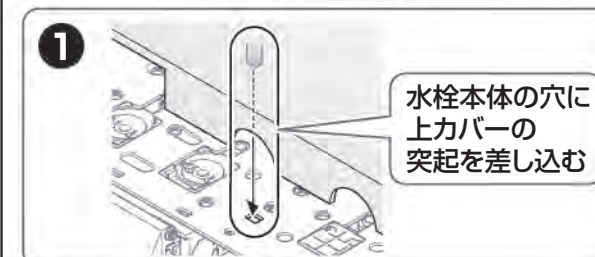
※図は1616サイズ

5 水栓上カバー取付け

※図は1616サイズ

トラス小ねじ4×6
すべて (付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

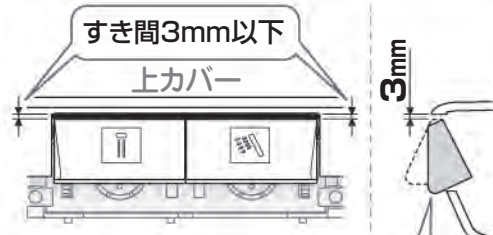
UBサイズ	オーバーヘッドシャワー	
	あり	なし
1624	21カ所	22カ所
1620	19カ所	20カ所
1618	17カ所	18カ所
1717/1616	17カ所	18カ所
1418/1416	-	18カ所

水栓本体の穴に
上カバーの
突起を差し込む

2 【取付状態確認事項】

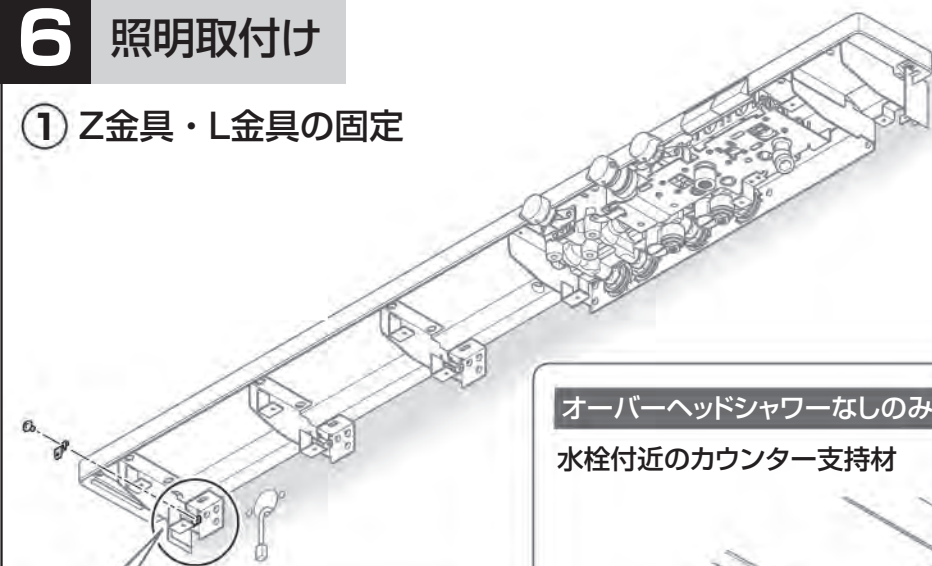
壁との
すき間均等
ねじで仮固定し、すき間を
確認後本固定する

アクセントカウンターとハンドルのすき間均等

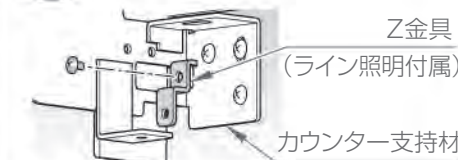
すき間3mm以下
上カバーボタンはオフ(外に飛び出していない)の状態
※J3-8ページ参照壁に寄せ
ながら固定

6 照明取付け

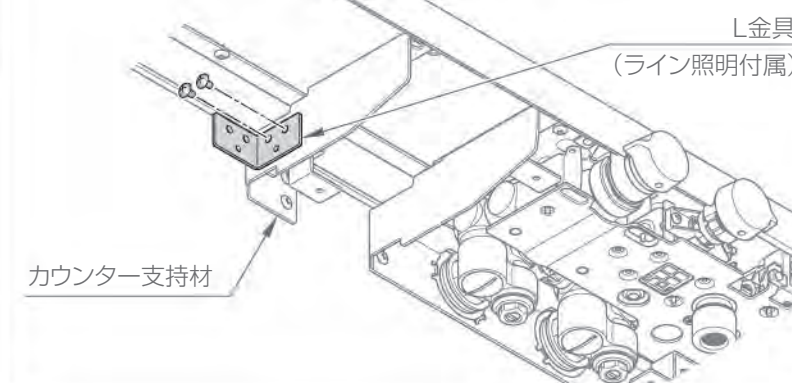
1 Z金具・L金具の固定

オーバーヘッドシャワーなしのみ
水栓付近のカウンター支持材小ねじM4×5
×2 (照明付属)

浴槽付近のカウンター支持材

小ねじM4×5
×1 (照明付属)Z金具
(ライン照明付属)

カウンター支持材

L金具
(ライン照明付属)

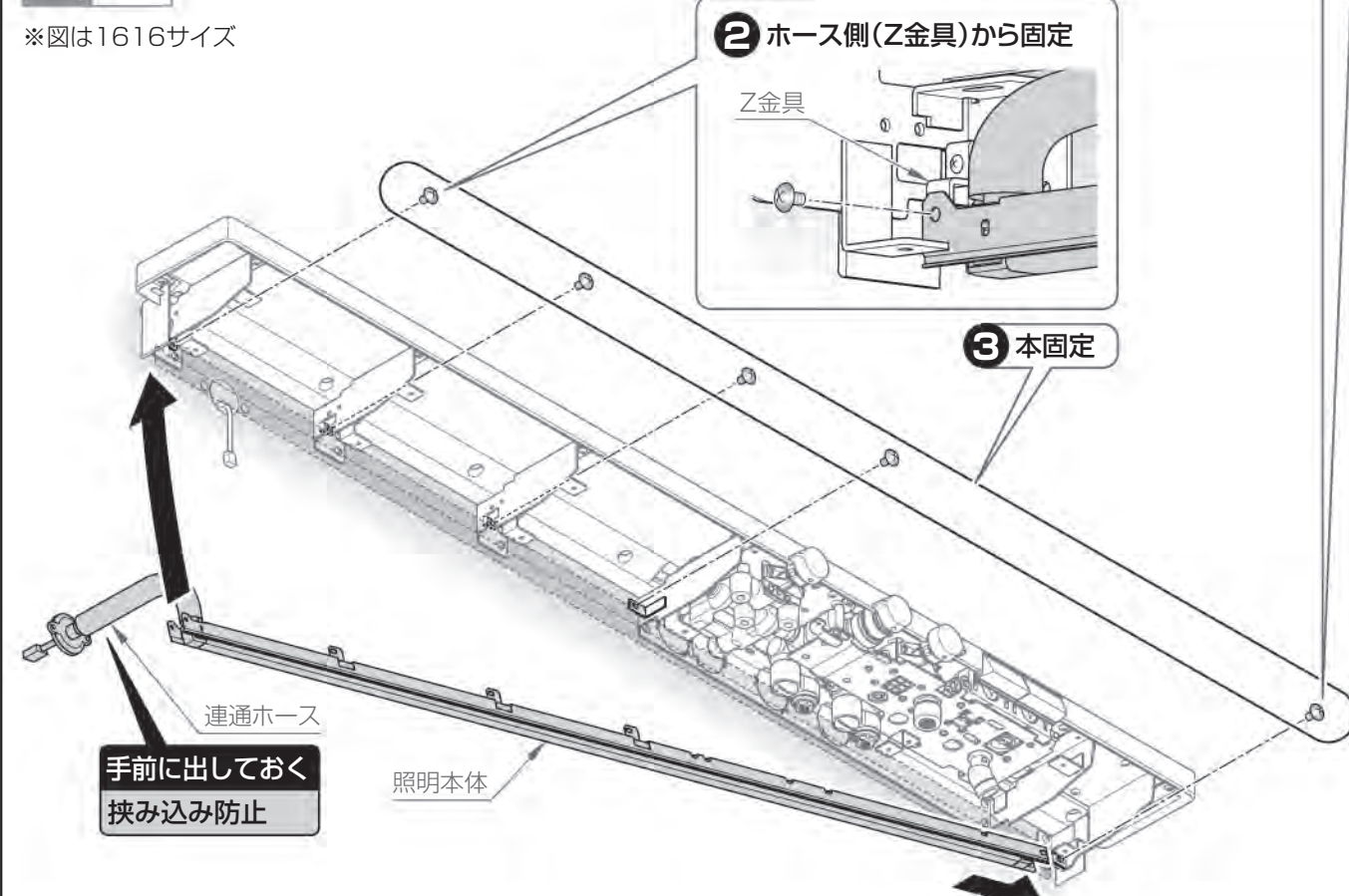
カウンター支持材

2 照明本体固定

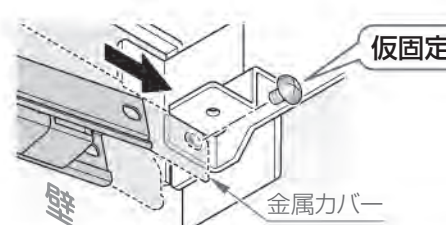
小ねじ4×5
すべて (照明付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

1624	7カ所
1620	6カ所
1618	
1717	
1616	5カ所
1418	
1416	

※図は1616サイズ



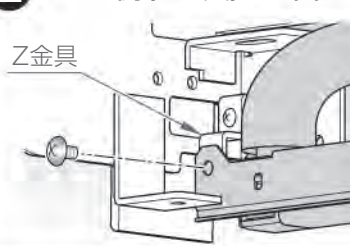
1 支持材に引っ掛けて仮固定



仮固定

金属カバー

2 ホース側(Z金具)から固定



Z金具

3 本固定

連通ホース

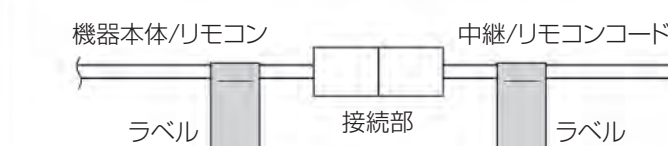
手前に出しておく
挟み込み防止

照明本体

3 壁貫通部材固定

タッピンねじ4.2×25
×2 (照明付属)シリコン塗布
水漏れ防止

■中継/リモコンコードの接続部合わせかた

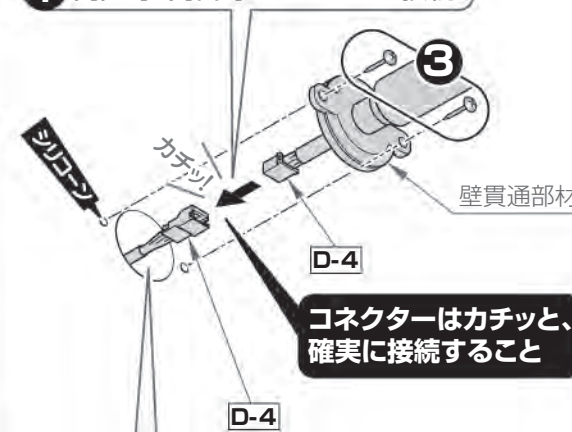


【例】

F-1 ユニット F-1 床ワイパー洗浄
(ユニットコード_電源側)

記号を合わせる

1 同記号、同番号のコネクター接続

コネクターはカチッと、
確実に接続すること

2 コネクター接続後、 コードを壁裏に押し出す

7

水栓下カバー取付け

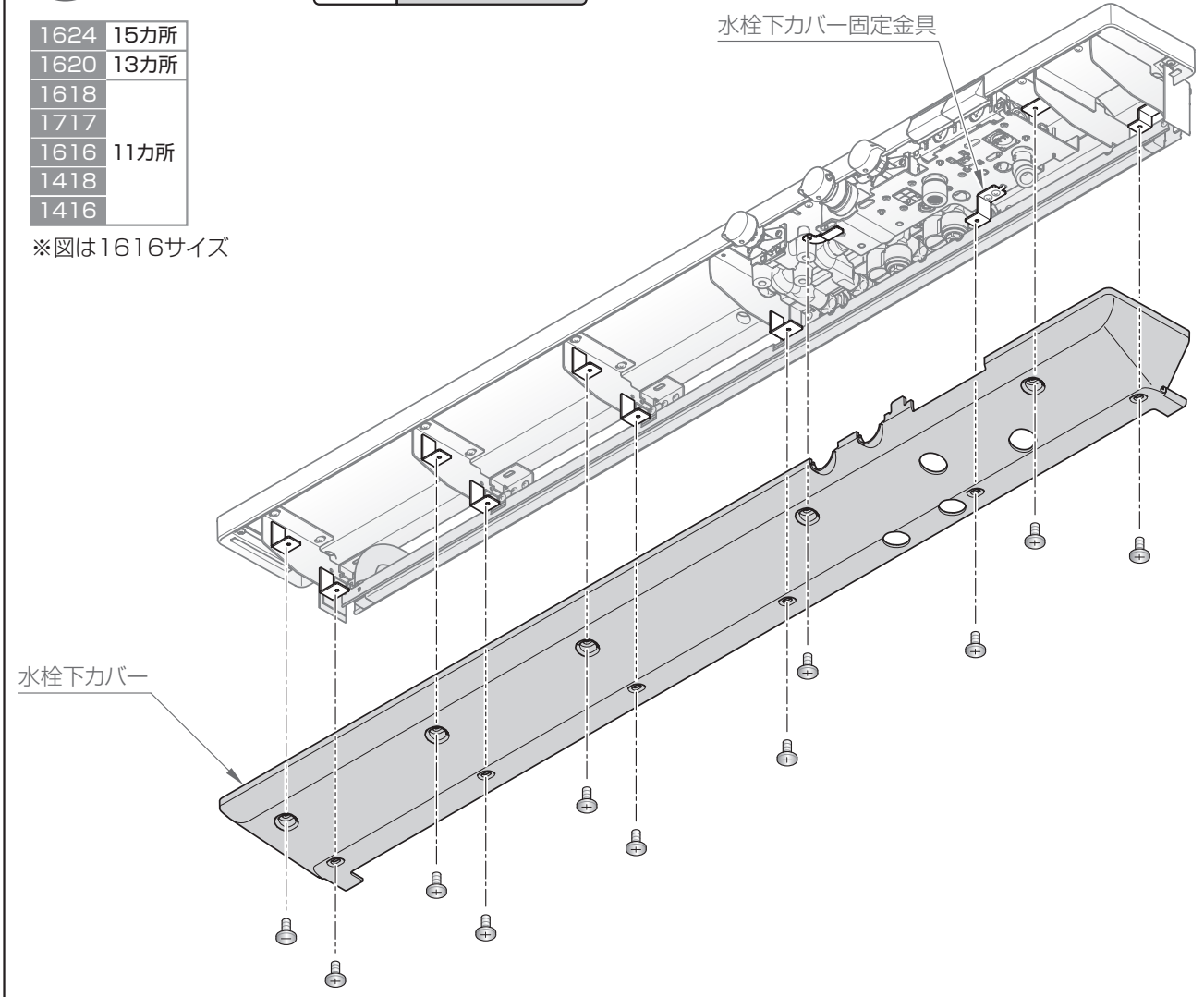
平小ねじM4×10
すべて (付属)

✕

手締め厳守
ねじ山破損防止

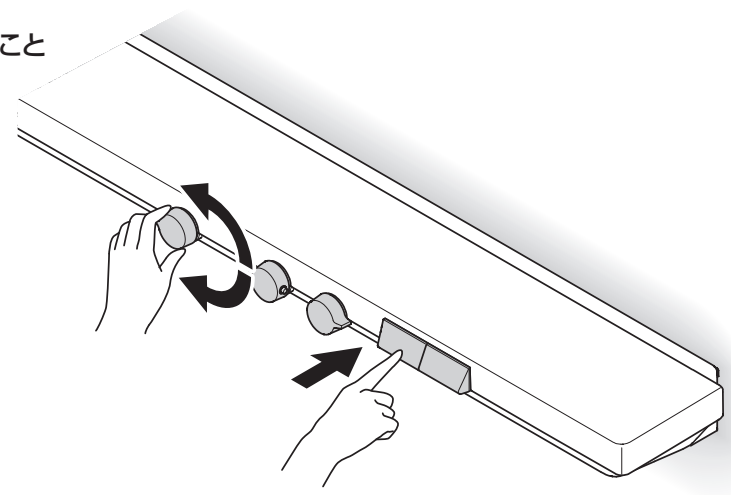
1624	15カ所
1620	13カ所
1618	
1717	
1616	11カ所
1418	
1416	

※図は1616サイズ



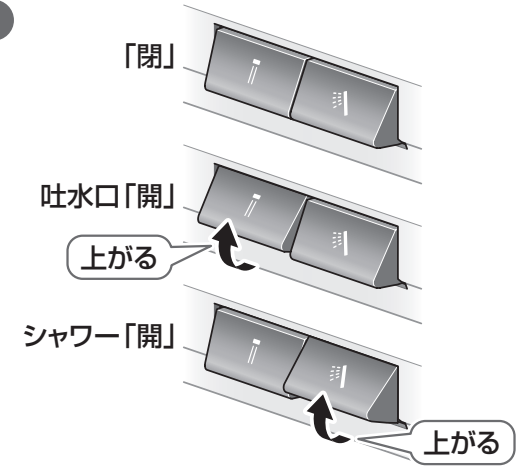
【 取付状態確認事項 】

- ・ ボタンを押す
 - ・ ハンドルを回す
- に引っかかりや、こすれないこと

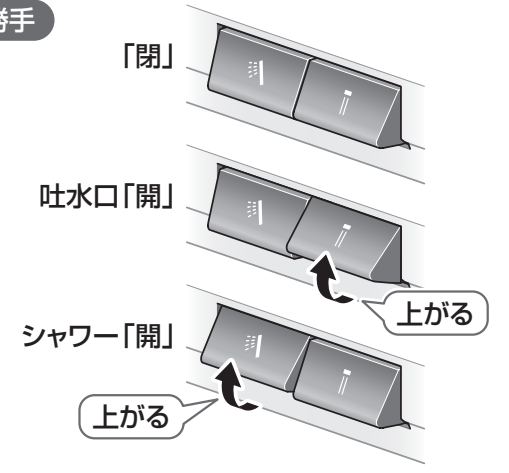


【 吐水口/シャワー開閉ボタン状態図 】

R勝手

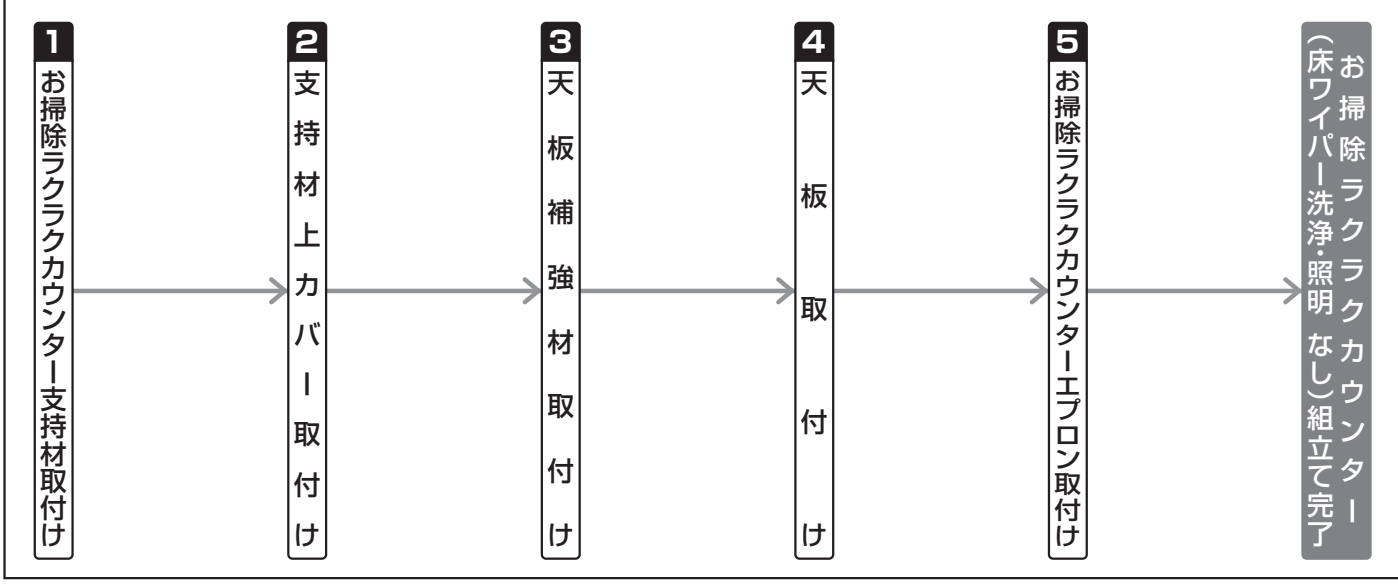


L勝手

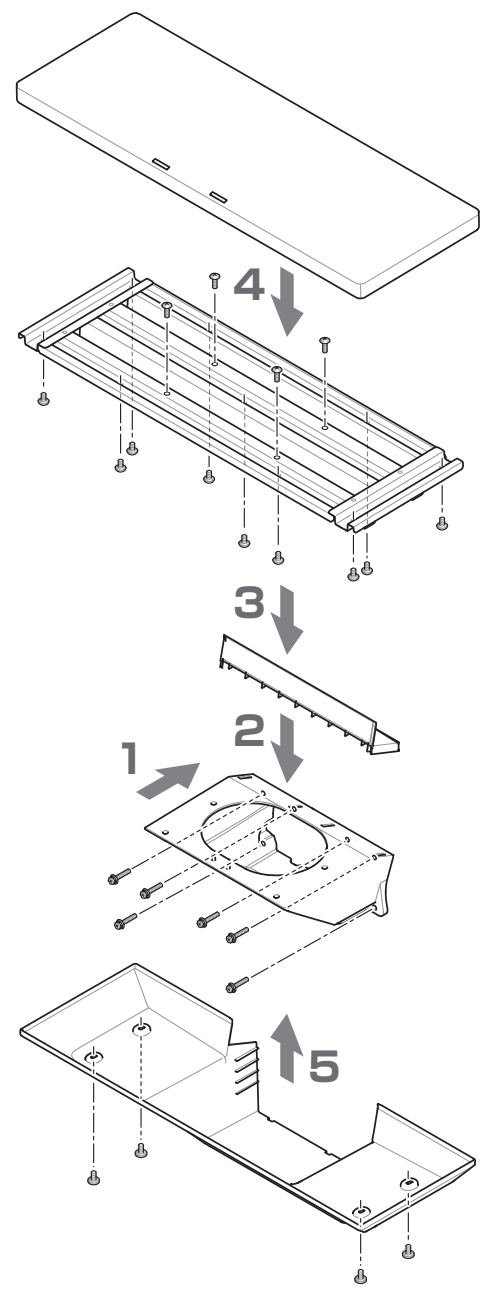


MEMO

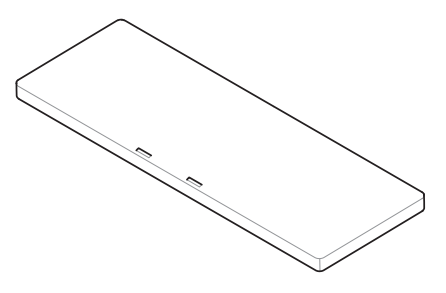
J4. お掃除ラクラクカウンター(床ワイパー洗浄・照明 なし)



カウンター構成図



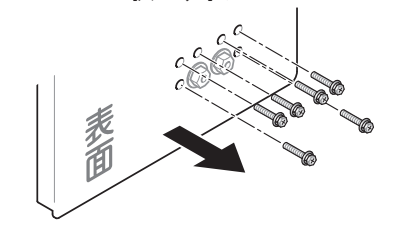
【完成図】



1 お掃除ラクラクカウンター支持材取付け

① 支持材を取り付ける前に、6本の仮留めねじを取り外す

UB組立て後はナットを外さない
ナット・ボルトを全て外すと壁裏補強材が脱落する



② 支持材取付け

No.3使用
ねじ頭潰れ防止

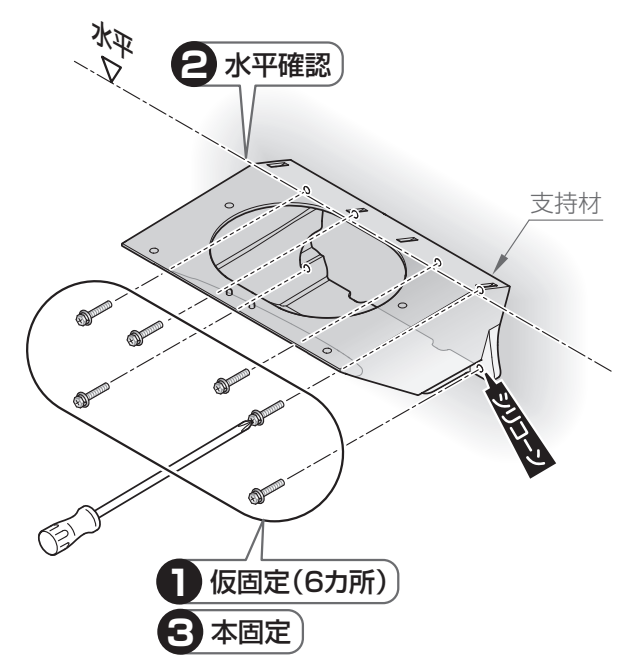
または

対辺10mm
ソケットレンチ使用

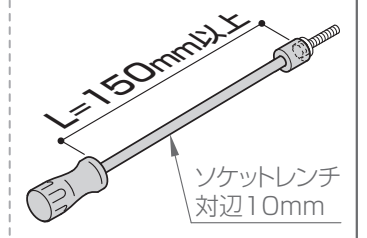
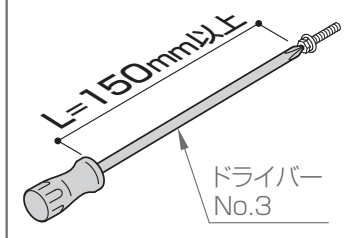
手締め厳守
ねじ山破損防止

シリコン塗布
水漏れ防止

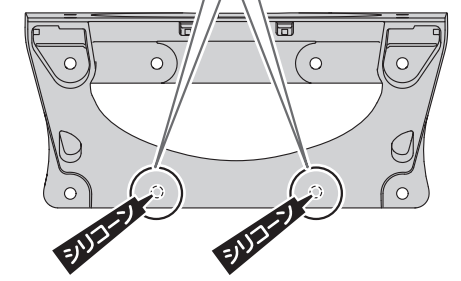
平座・ばね組込六角ボルトM6×30
x6 (取付ねじセット付属)



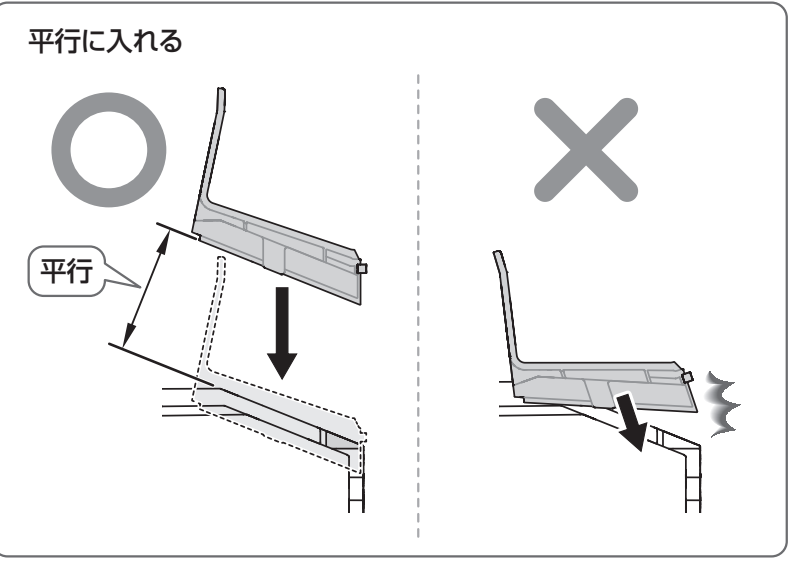
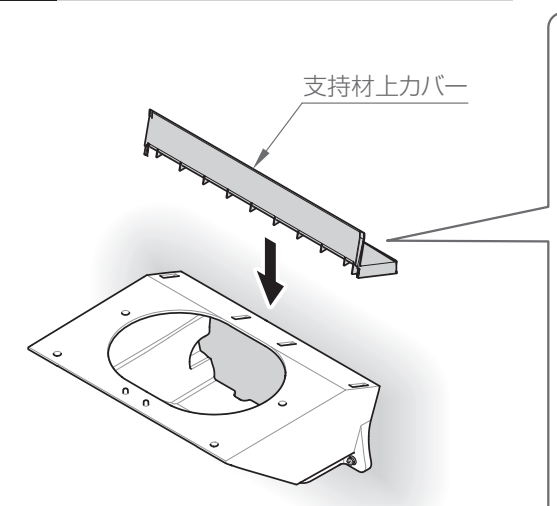
【使用工具】



下側中央2カ所はナットの上から塗布



2 支持材上カバー取付け



3 天板補強材取付け

① 仮置き

② 固定

4 天板取付け

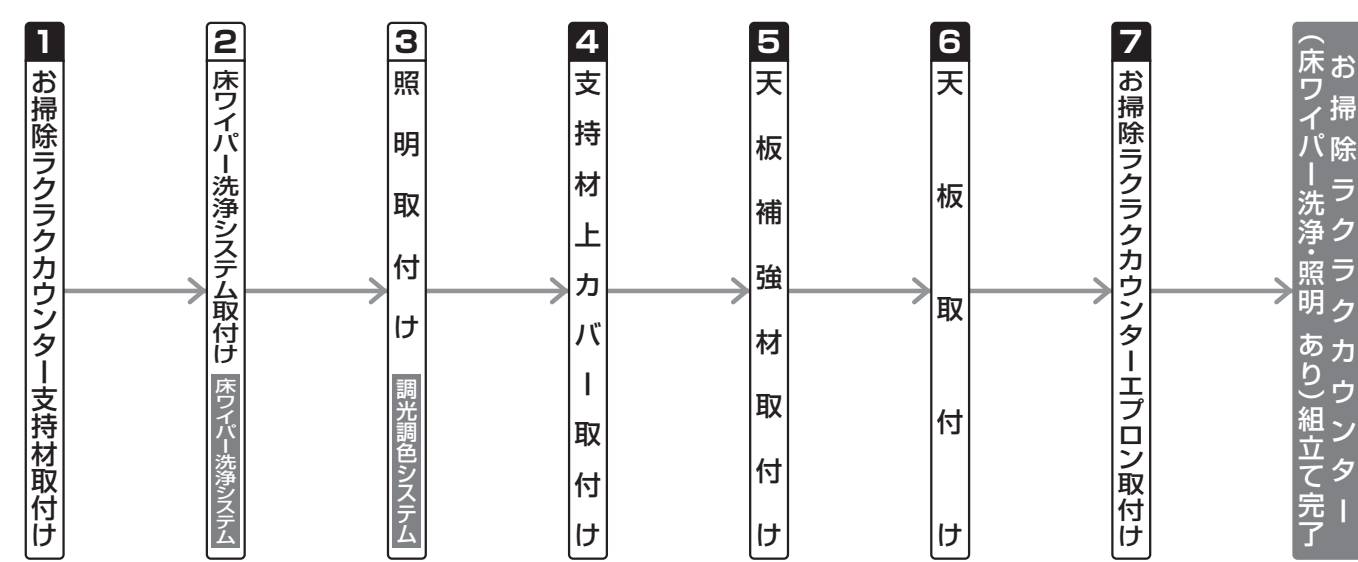
② 仮固定(中央1カ所)

④ 固定

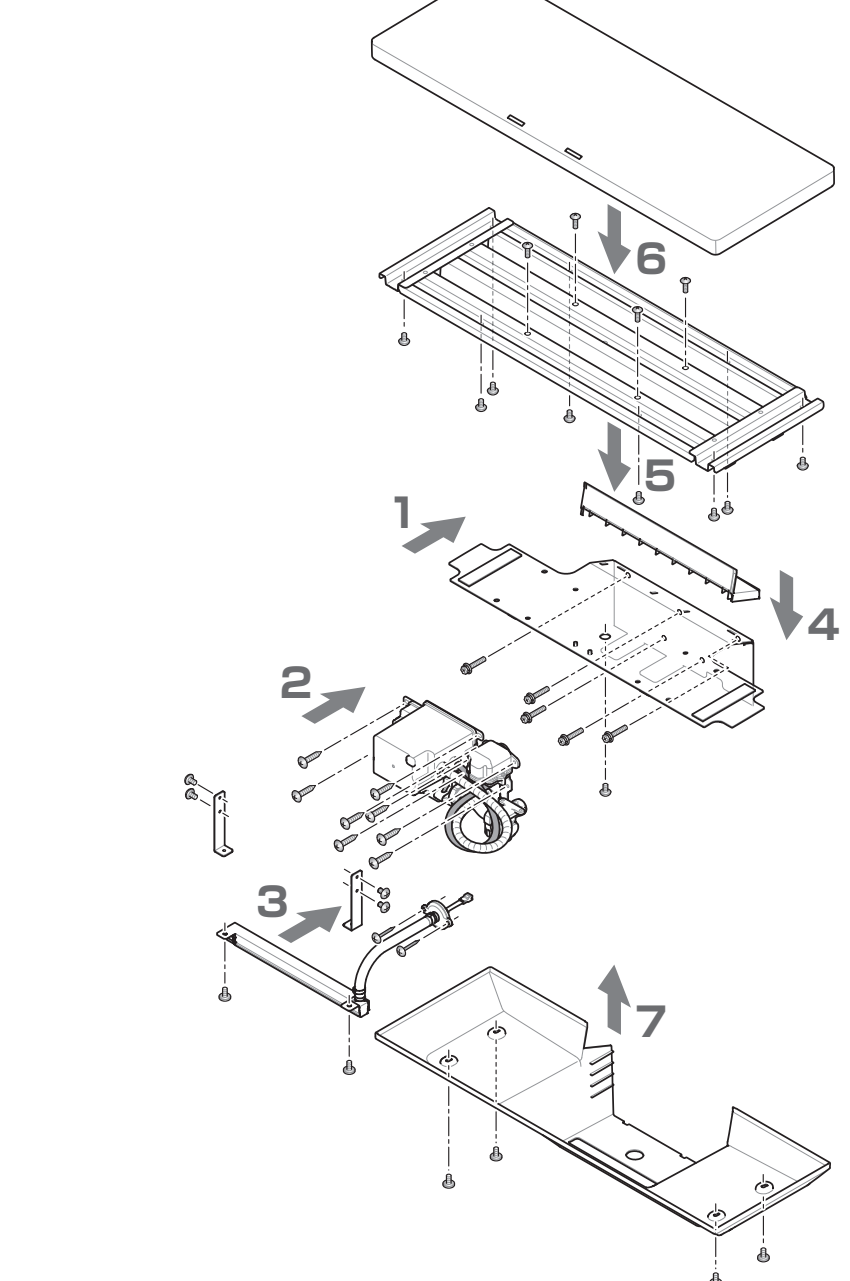
5 お掃除ラクラクカウンターエプロン取付け

MEMO

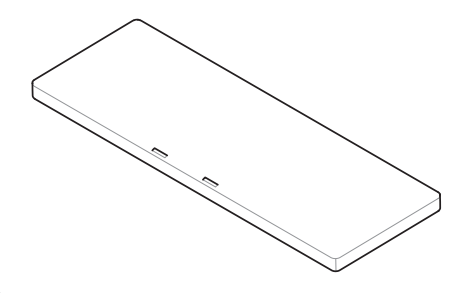
J5. お掃除ラクラクカウンター(床ワイパー洗浄・照明 あり)



カウンター構成図



【完成図】



※この構成図は一例

1 お掃除ラクラクカウンター支持材取付け

① 支持材を取り付ける前に、
5本の仮留めボルトを取り外す

ナットは外さない
ナット・ボルトを全て外すと
壁裏補強材が脱落する

② 八角形締付フランジの本固定

③ 支持材取付け 壁の傷付け注意

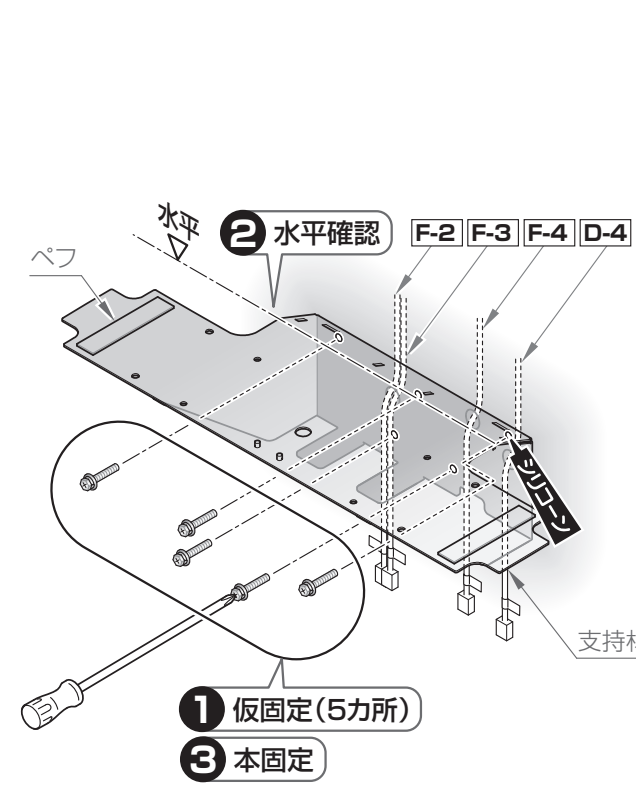
No.3使用
ねじ頭潰れ防止

または
対辺10mm
ソケットレンチ使用

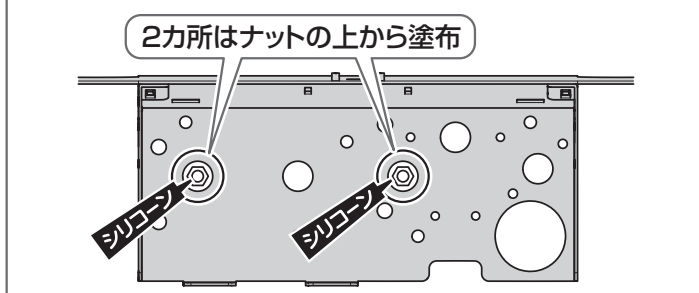
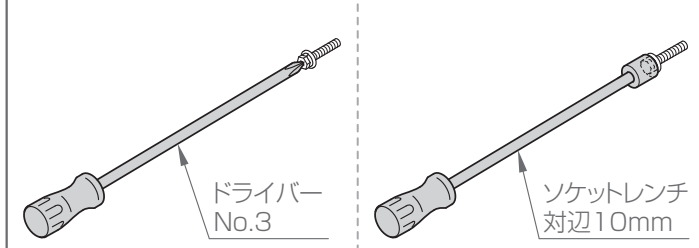
手締め厳守
ねじ山破損防止

シリコン塗布
水漏れ防止

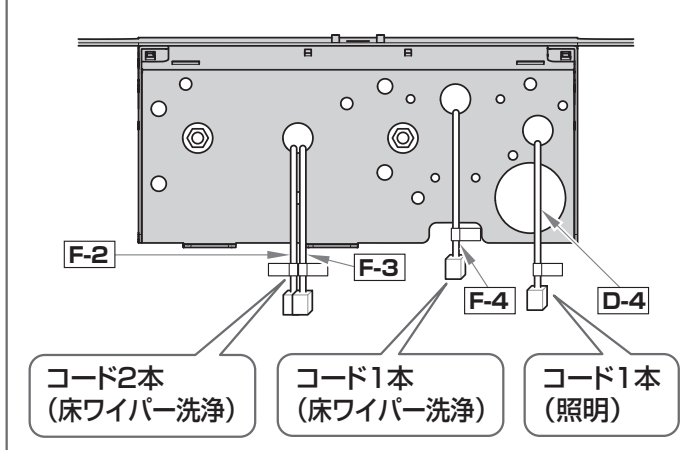
平座・ばね組込六角ボルトM6×30
×5 (EKL11136N2
EKL11137N2 付属)



【使用工具】

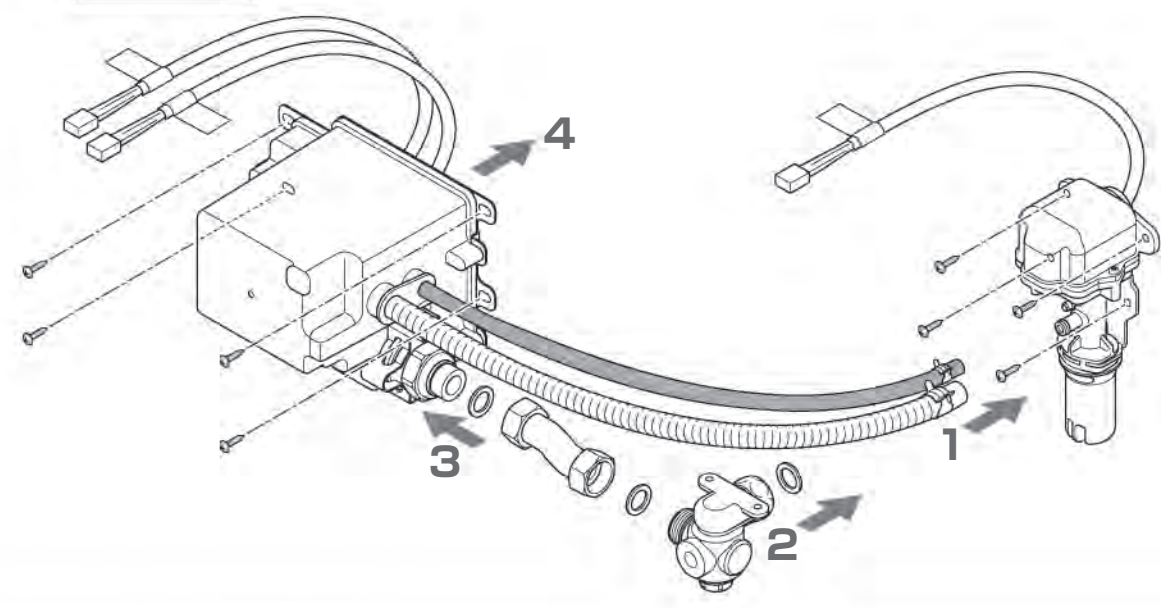


【コード引き込み位置】 L/R共通

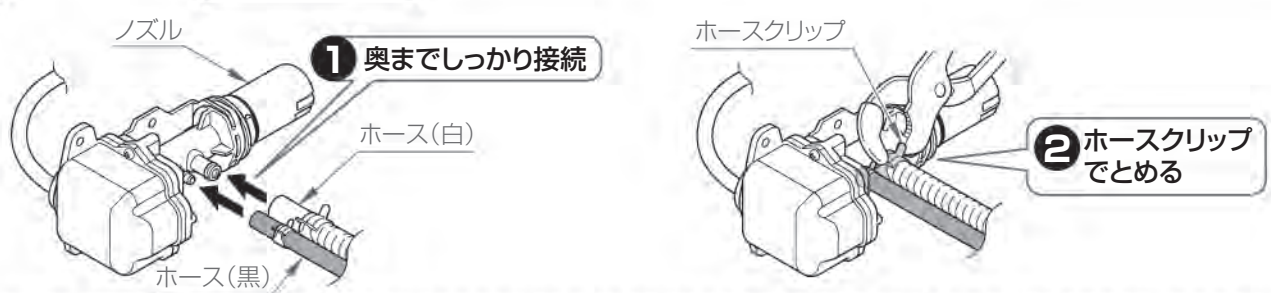


2 床ワイパー洗浄システム取付け

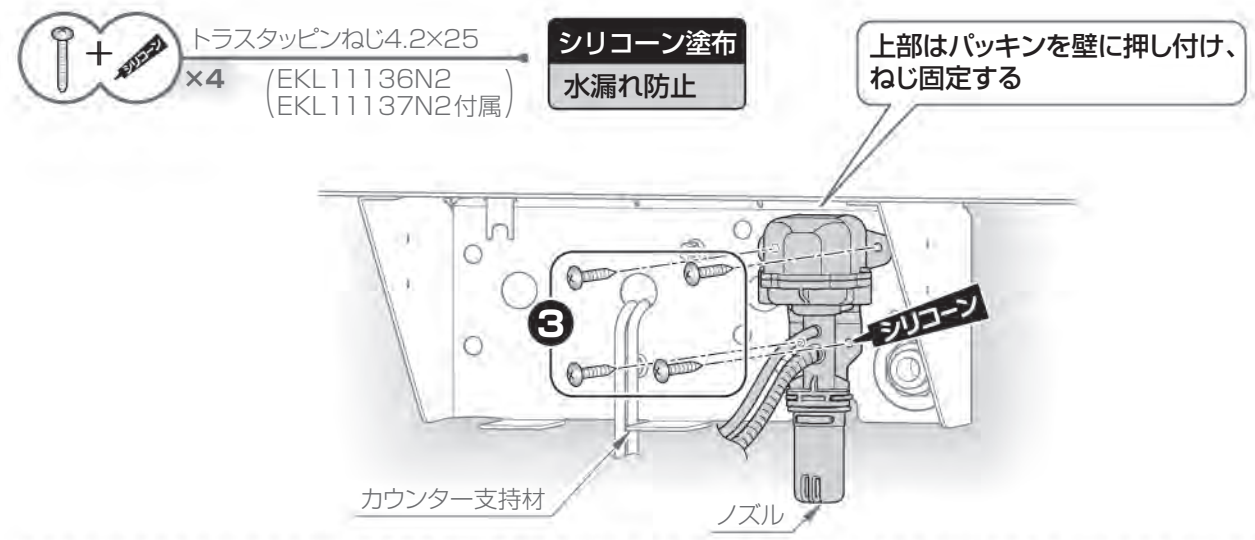
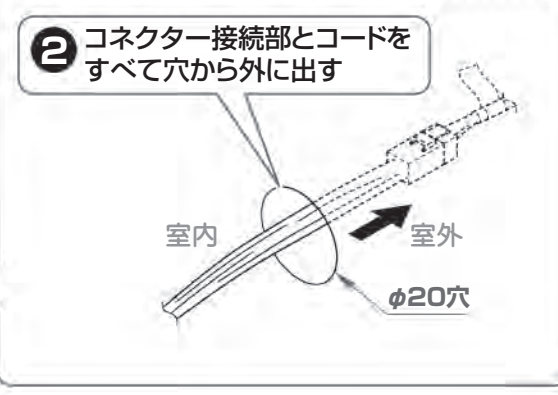
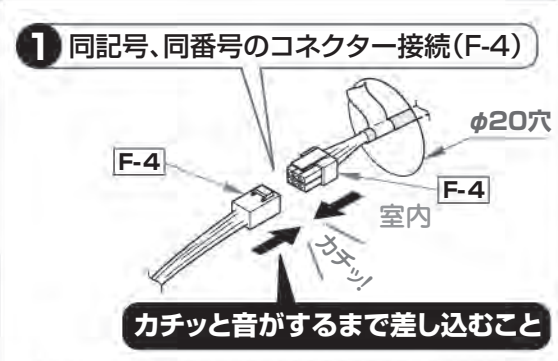
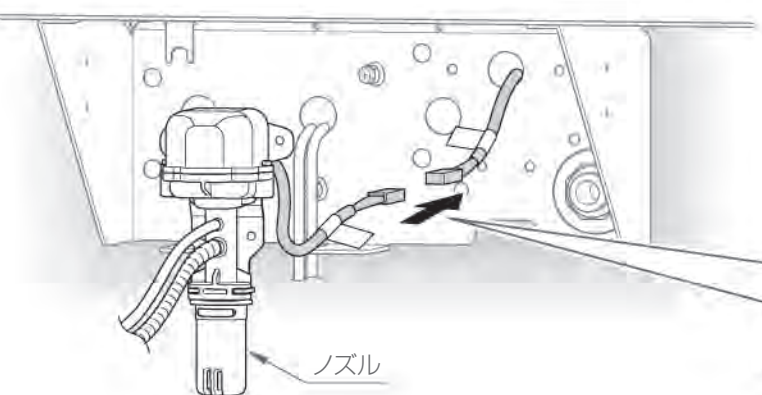
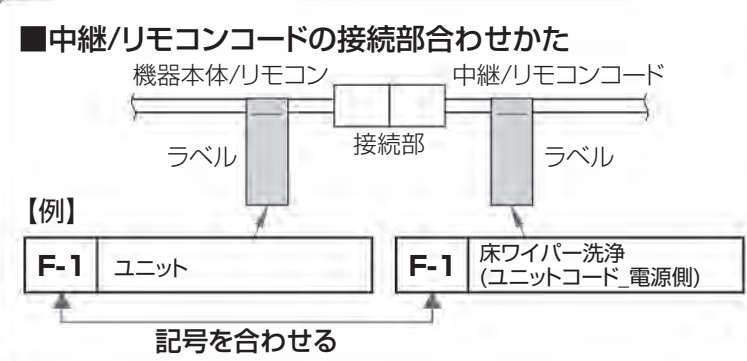
【構成図】 R/L勝手共通 ※ホースのカットは不要



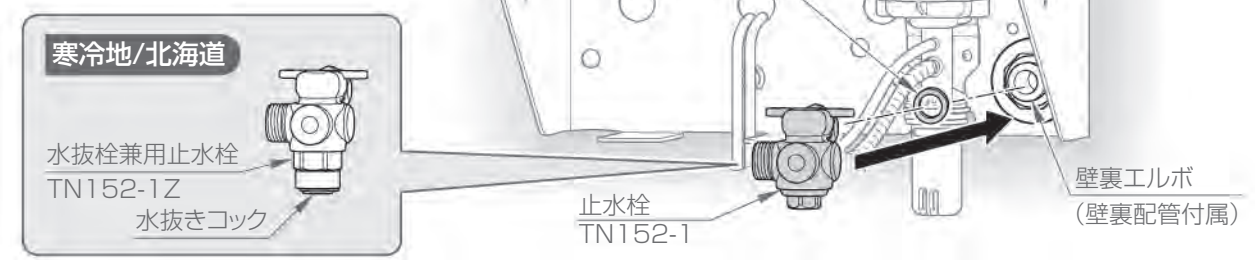
① ホース接続 ノズル取付け前



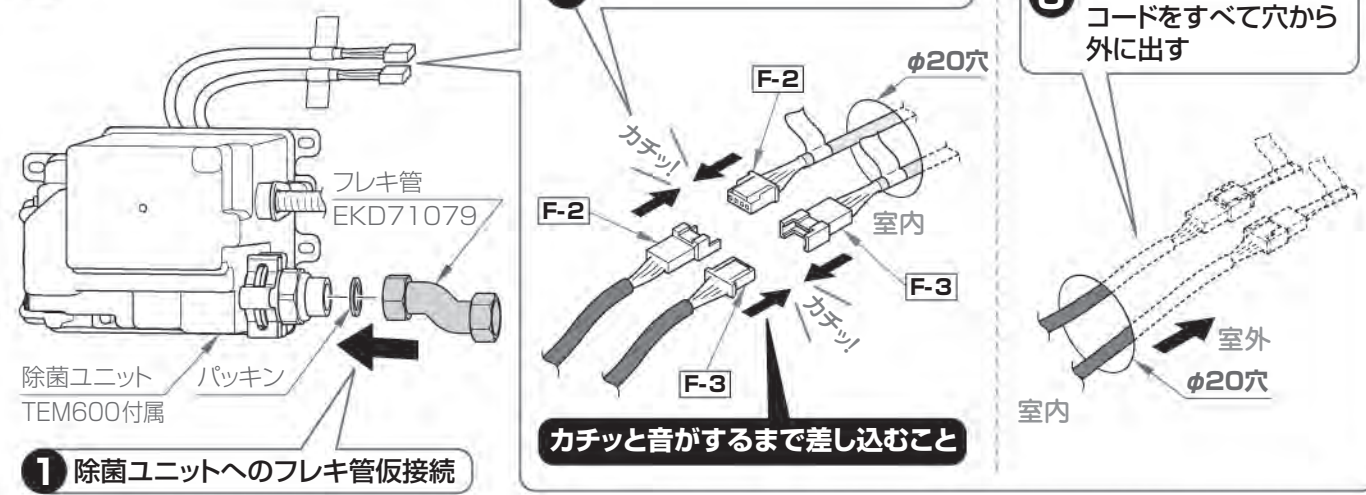
② ノズル取付け



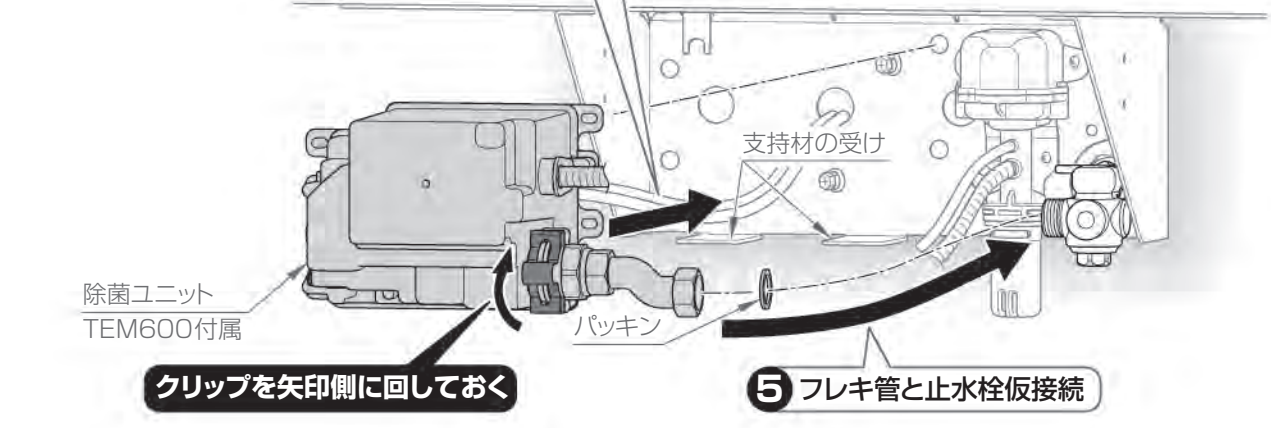
③ 止水栓仮固定



④ 除菌ユニット仮固定

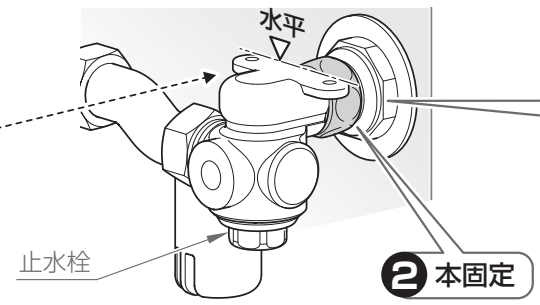


④ 除菌ユニットを支持材の受けに載せる



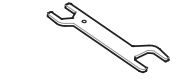
⑤ 止水栓本固定

① 目視で水平確認



② 本固定

袋ナットの締付けは
特殊工具を使う

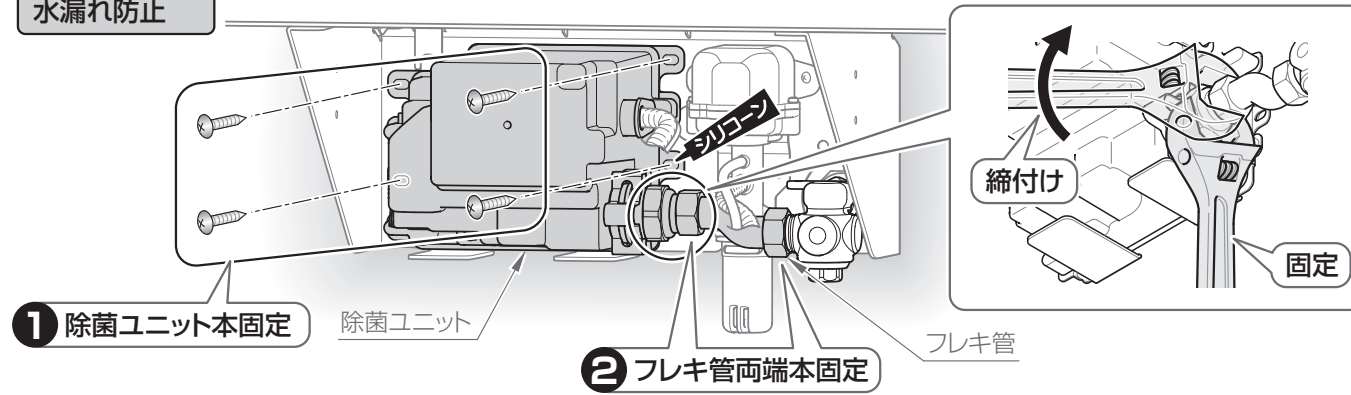


特殊工具
(配管締付け用)
EKL01023N2

⑥ 除菌ユニット本固定

トラスタッピンねじ4.2×25
×4 (EKL11136N2
EKL11137N2(照明のみ)付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止



① 除菌ユニット本固定

② フレキ管両端本固定

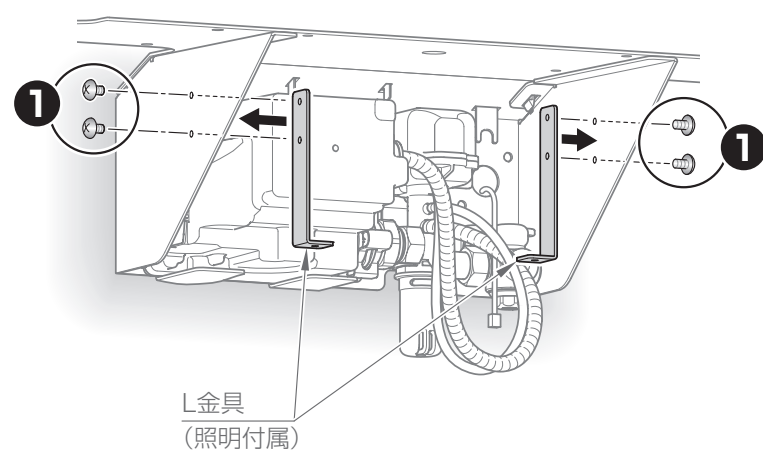
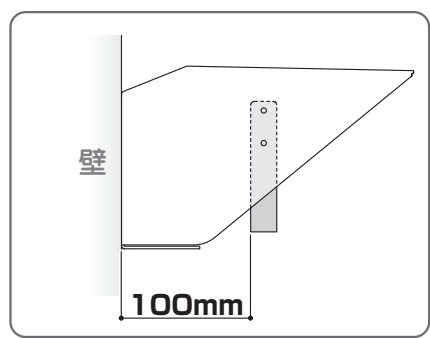
③ 照明取付け

※図は床ワイパー洗浄ありの場合

① 照明本体固定

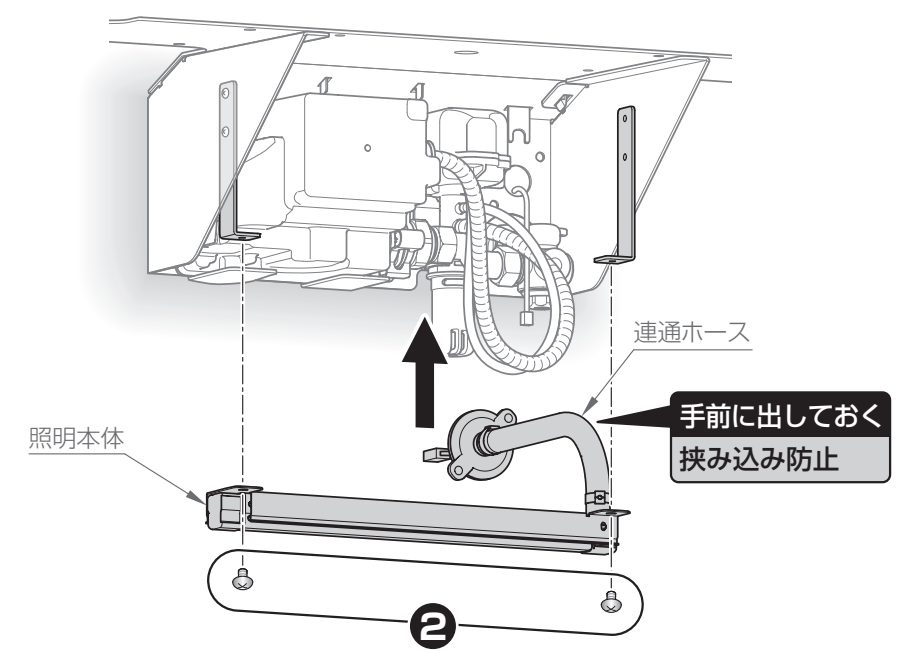
小ねじM4×5
×4 (照明付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止



小ねじM4×5
×2 (照明付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

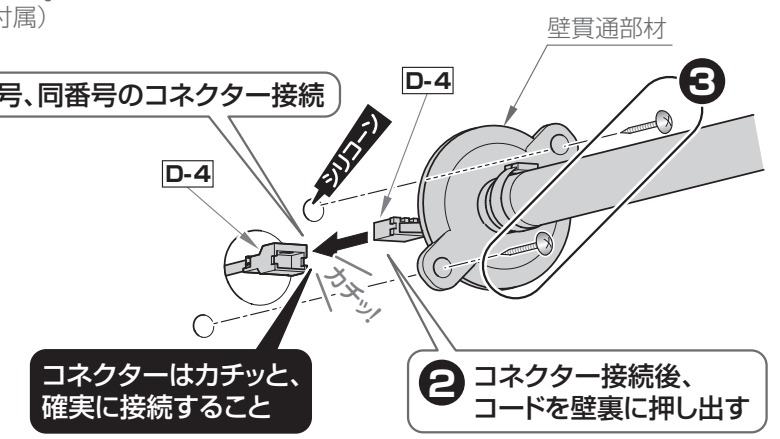


② 壁貫通部材固定

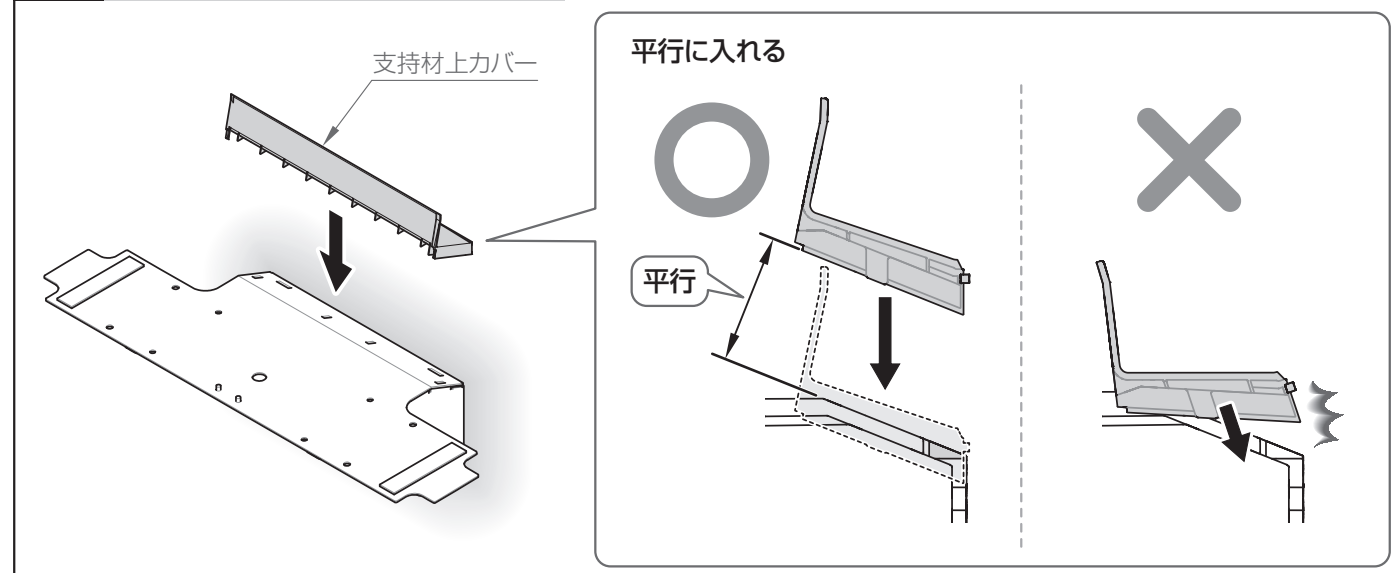
トラスタッピンねじ4.2×25
×2 (照明付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止

① 同記号、同番号のコネクター接続

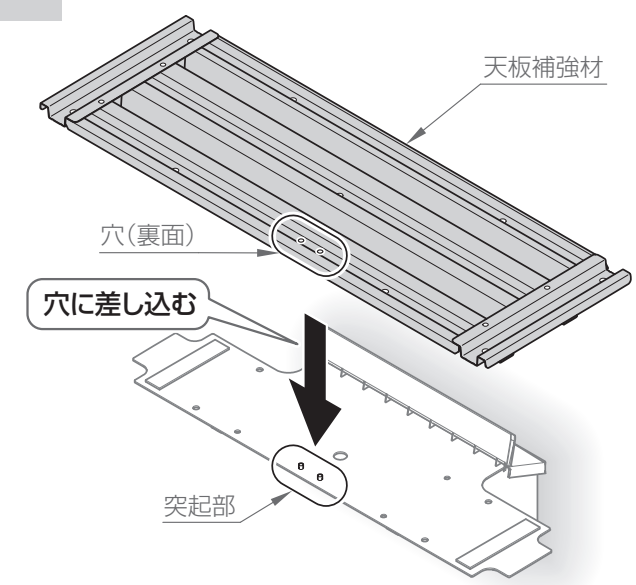


4 支持材上カバー取付け

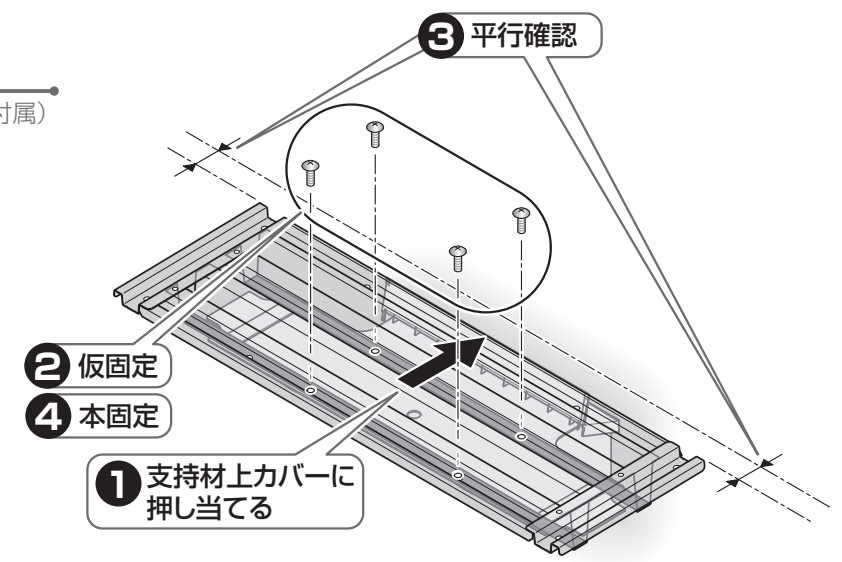


5 天板補強材取付け

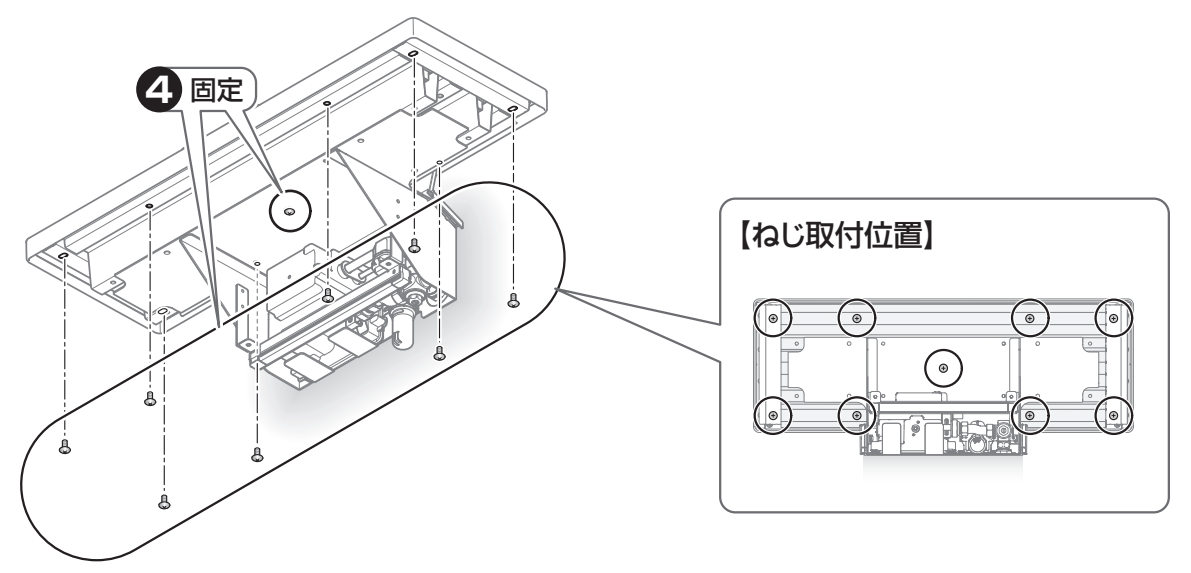
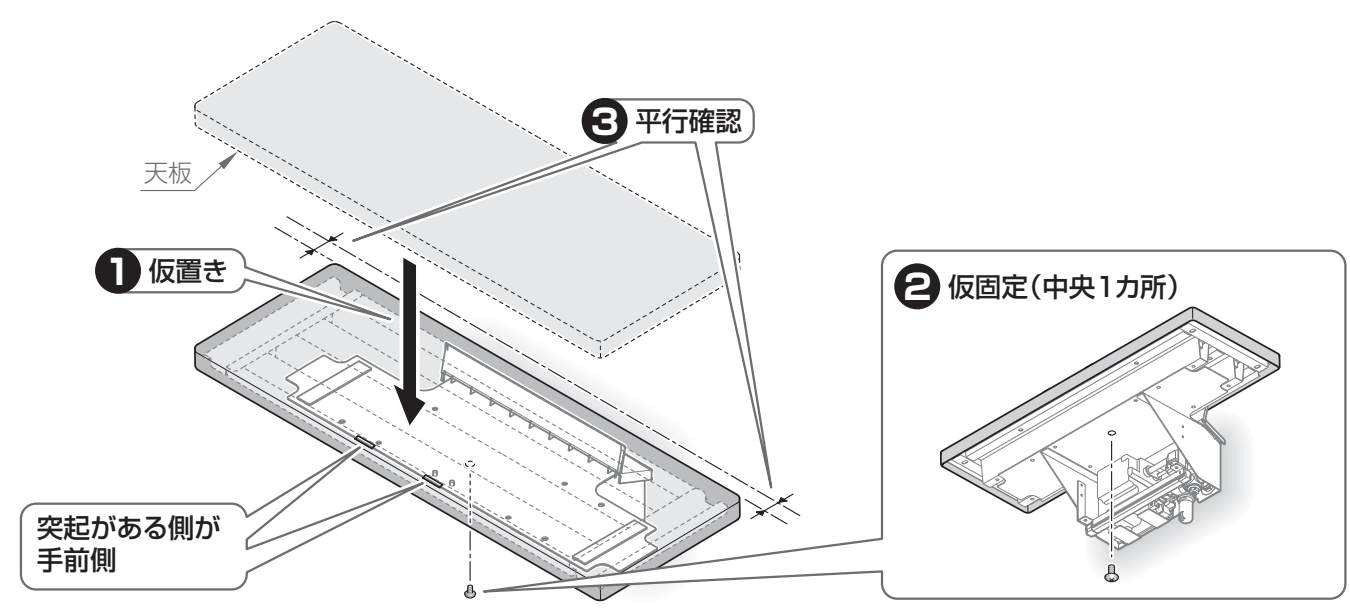
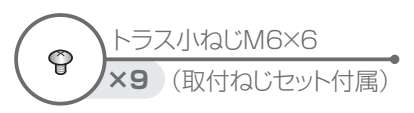
① 仮置き



② 固定



6 天板取付け

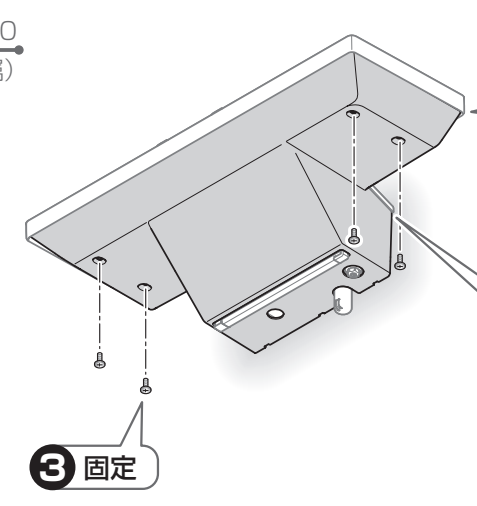
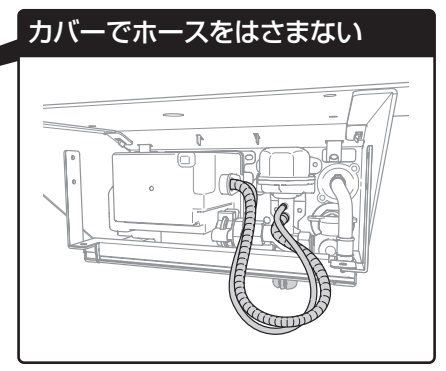
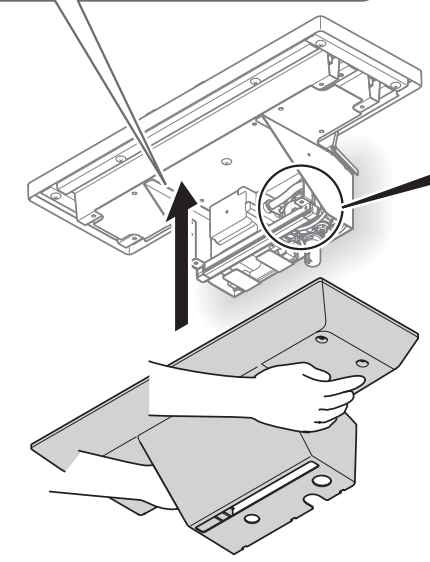


7 お掃除ラクラクカウンターエプロン取付け

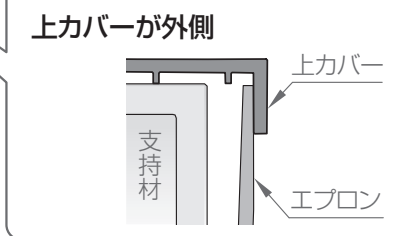
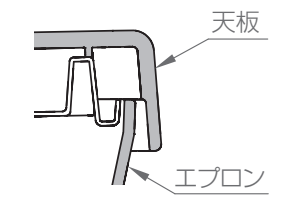
※図は床ワイパー洗浄あり/照明ありの場合



① 天板と天板補強材のすき間に差し込む(全周)



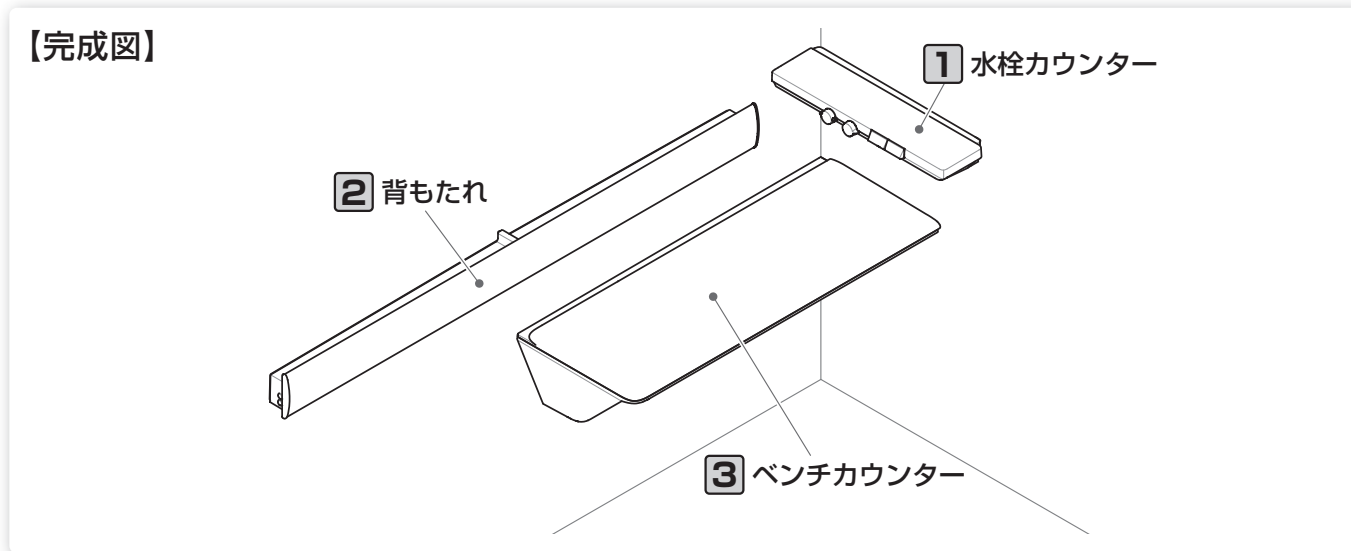
② 正しくはめ込まれているか確認(全周)



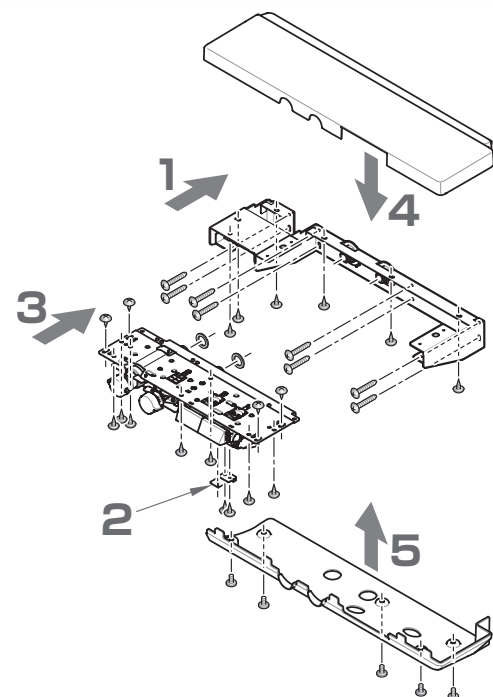
J6. コンフォートベンチ

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 水栓カウンター |
| 1 | 水栓支持材取付け |
| 2 | 水栓下カバー固定金具取付け |
| 3 | 水栓本体取付け |
| 4 | 水栓上カバー取付け |
| 5 | 水栓下カバー取付け |
| 2 | 背もたれ |
| 6 | 背もたれ支持材取付け |
| 7 | 背もたれライン照明取付け |
| 8 | 背もたれ本体取付け |
| 9 | 背もたれ上下カバー取付け |
| 3 | ベンチカウンター |
| 10 | ベンチカウンター支持材取付け |
| 11 | 床ワイパー洗浄システム取付け |
| 12 | カウンター内部配管接続 |
| 13 | ベンチカウンター照明取付け |
| 14 | ベンチカウンター天板取付け |
| 15 | 端部支持材取付け (6024/16000タイプ浴槽) |
| 16 | ベンチカウンターエプロン取付け |
- コンフォートベンチ組立て完了

カウンター構成図

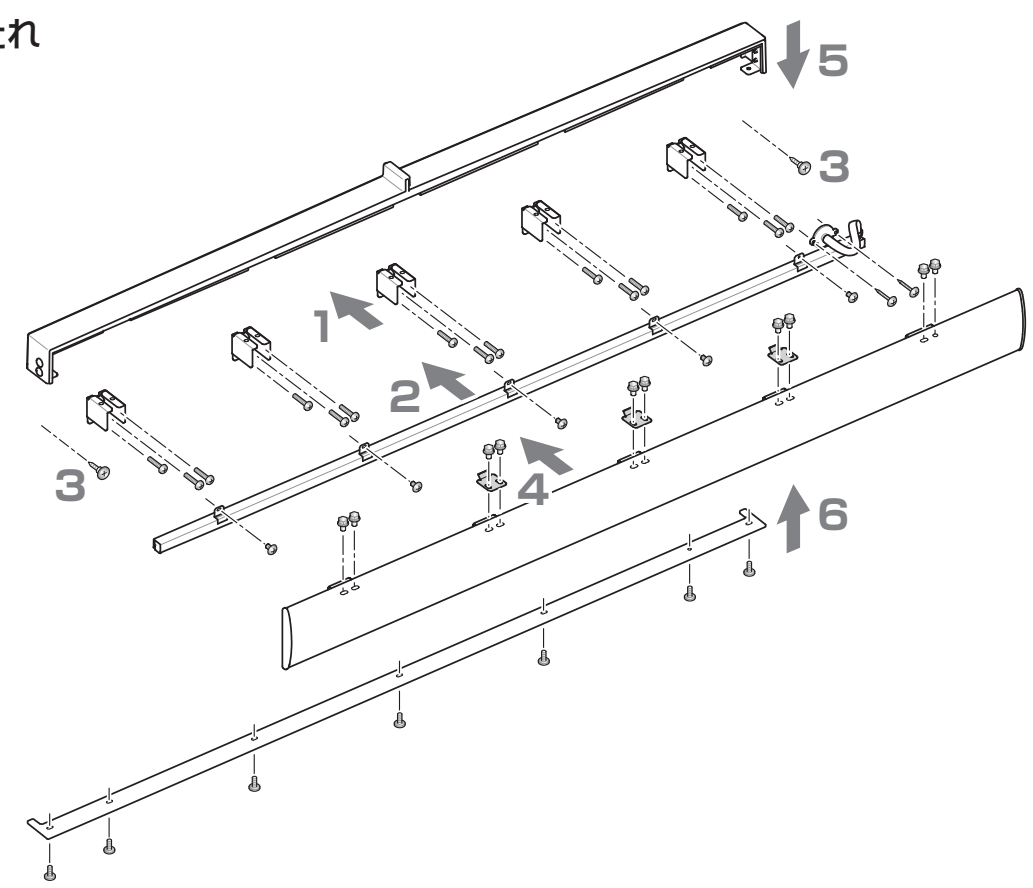


1 水栓カウンター



※この構成図は一例

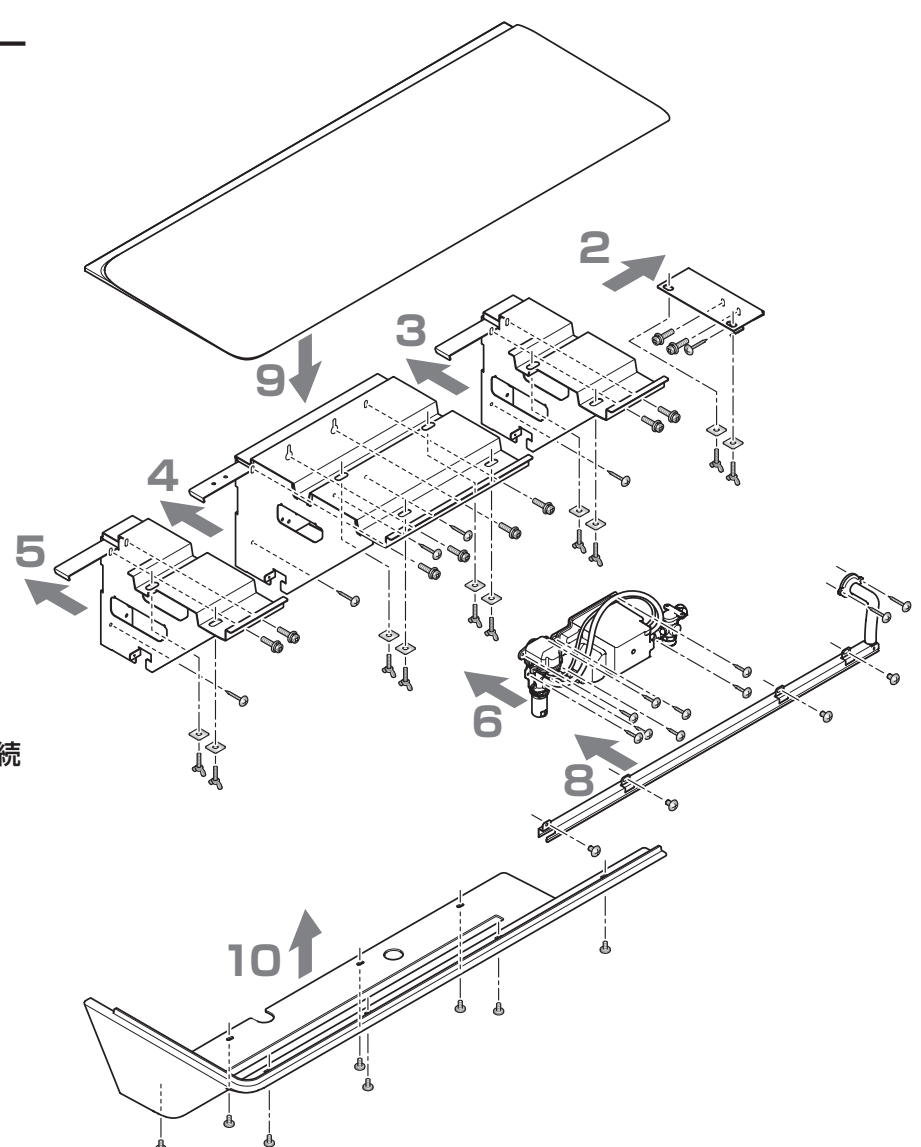
2 背もたれ



3 ベンチカウンター

1 支持材取付け基準出し

7 カウンター内部配管接続



水栓カウンター

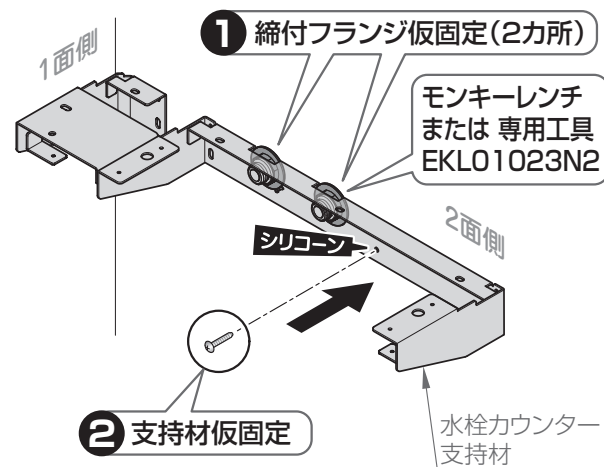
1 水栓支持材取付け

オーバーヘッドシャワーなし

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25
×1 (付属)

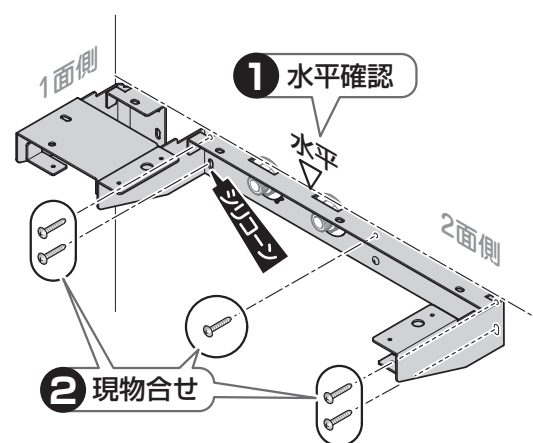
シリコン塗布
水漏れ防止



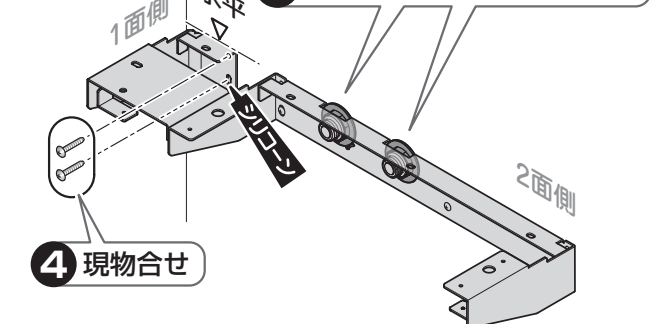
② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25
×7 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止



③ 水平確認

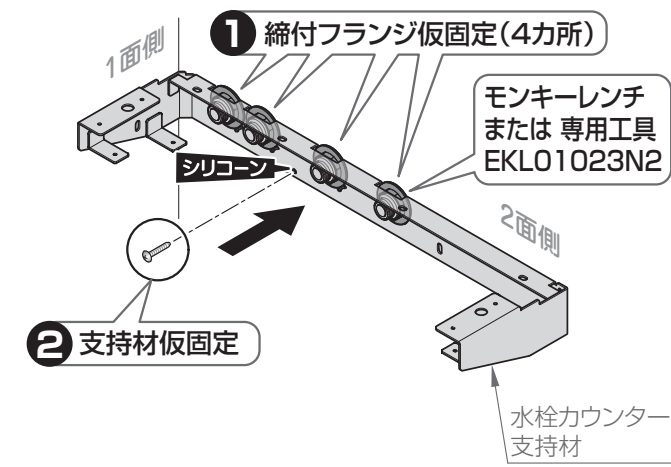


オーバーヘッドシャワーあり

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25
×1 (付属)

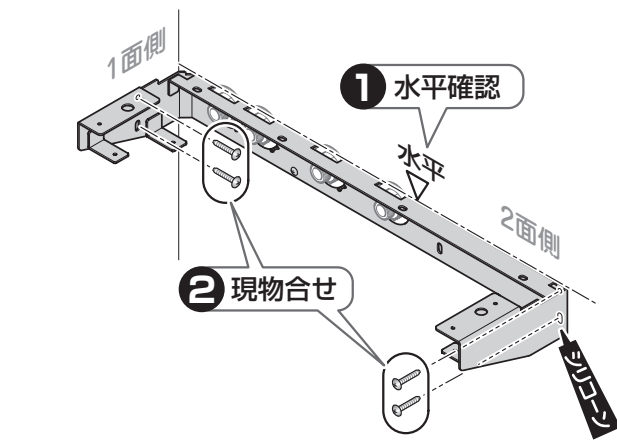
シリコン塗布
水漏れ防止



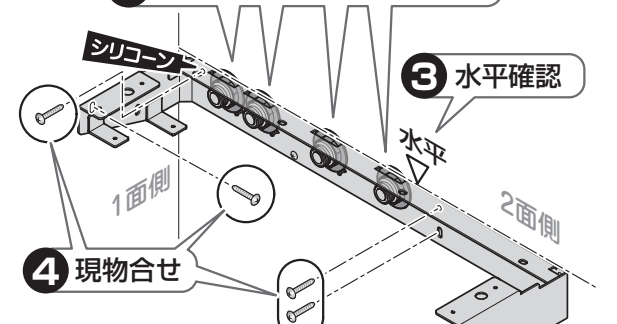
② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25
×8 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止



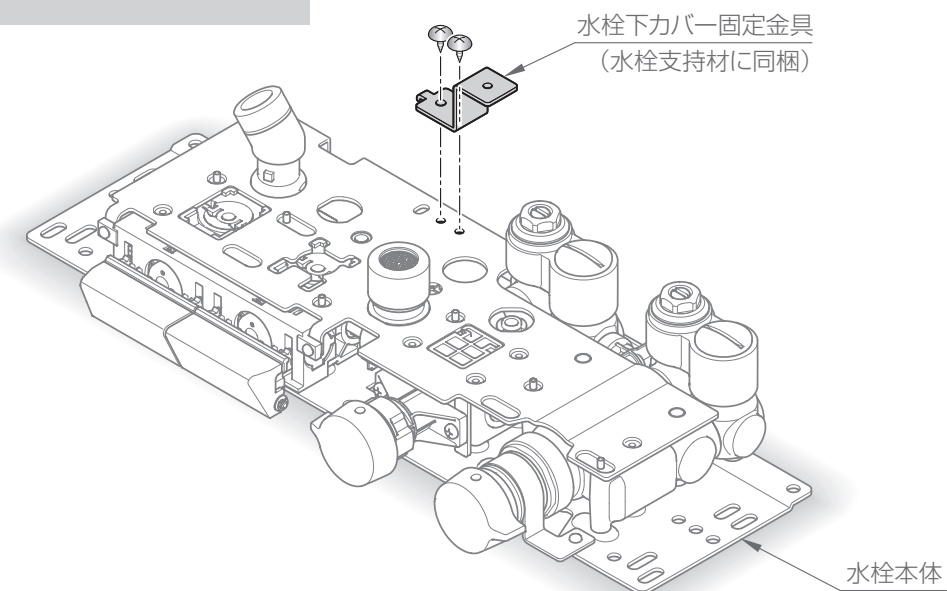
⑤ 締付フランジ本固定(4カ所)



2 水栓下カバー固定金具取付け

トラス小ねじ4×6
×2 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止



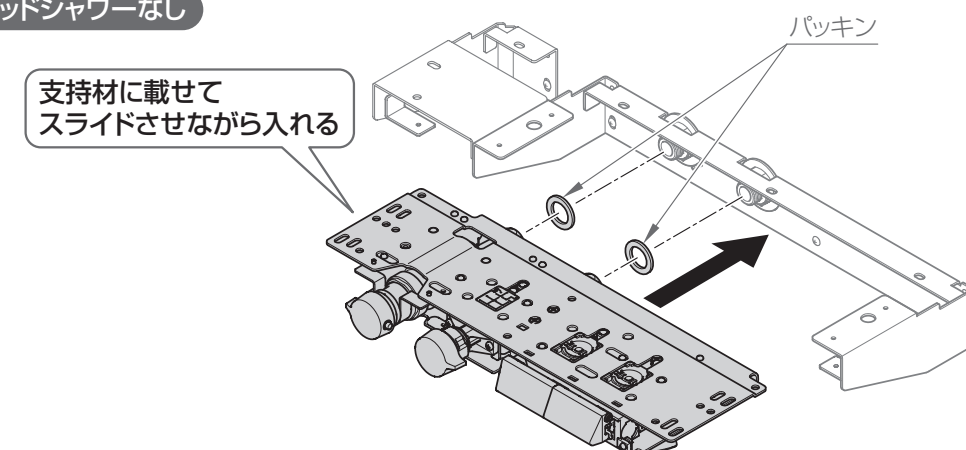
※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

3 水栓本体取付け

① 水栓本体取付け

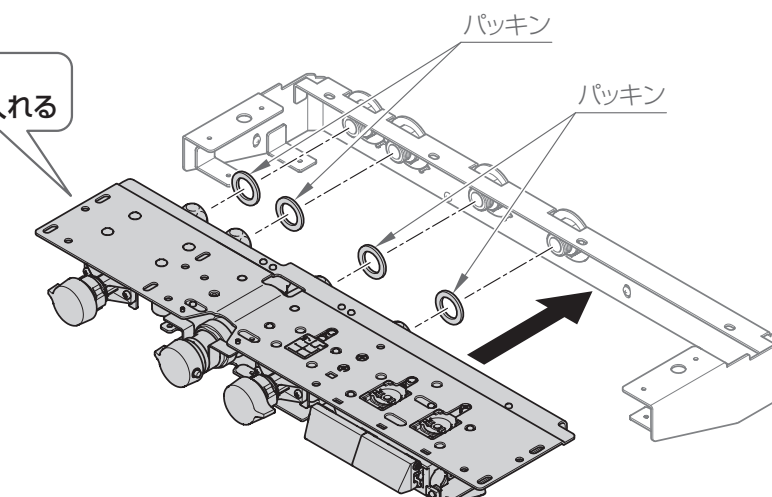
パッキン忘れ注意
水漏れ防止

オーバーヘッドシャワーなし



オーバーヘッドシャワーあり

支持材に載せて
スライドさせながら入れる

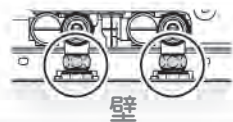


② 水栓本体本固定

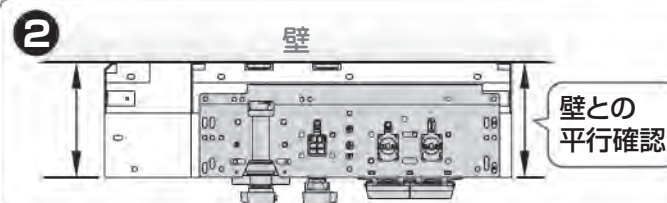
オーバーヘッドシャワーなし

トラス小ねじ4×6
×4 (付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



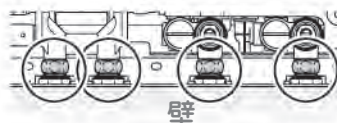
壁

壁との
平行確認

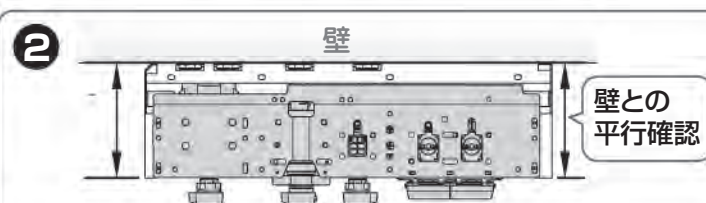
水栓本体

オーバーヘッドシャワーあり

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け

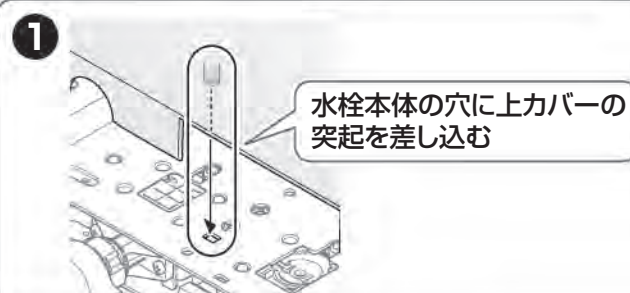
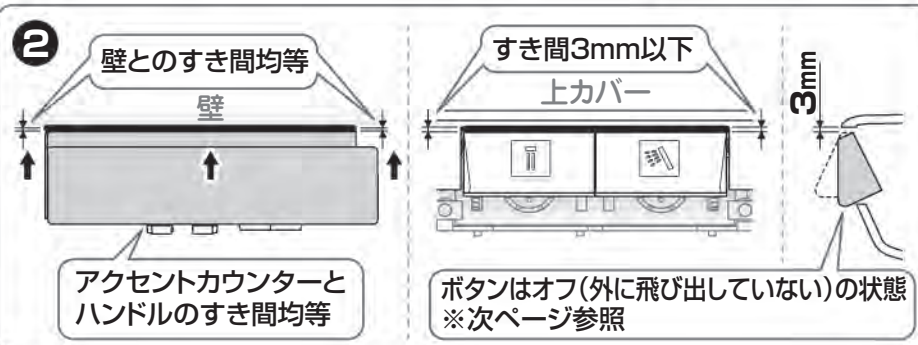


壁

壁との
平行確認

水栓本体

4 水栓上カバー取付け

トラス小ねじ4×6
×8 (付属)手締め厳守
ねじ山破損防止水栓本体の穴に上カバーの
突起を差し込む

壁とのすき間均等

すき間3mm以下
上カバー

3mm

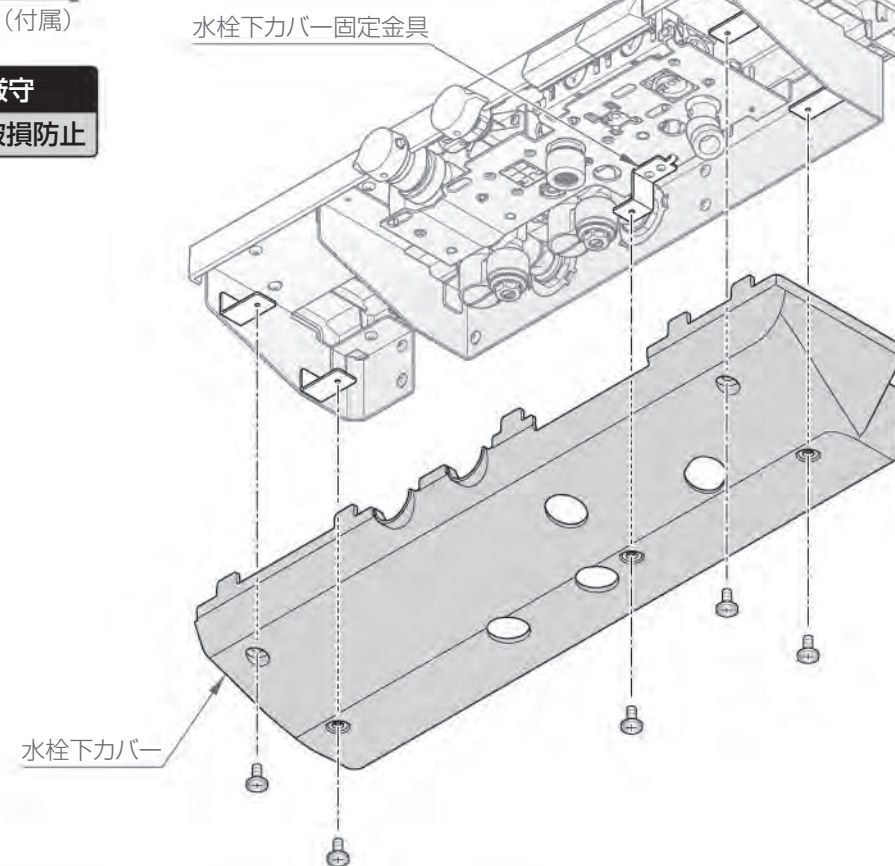
アクセントカウンターと
ハンドルのすき間均等ボタンはオフ(外に飛び出していない)の状態
※次ページ参照② 壁に寄せ
ながら固定

※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

水栓上カバー

5 水栓下カバー取付け

※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

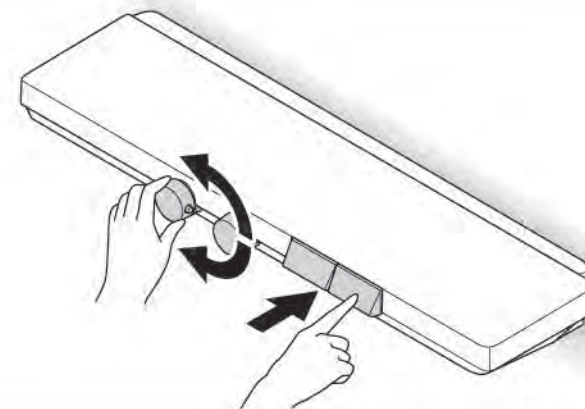
平小ねじM4×10
×5 (付属)手締め厳守
ねじ山破損防止

水栓下カバー固定金具

水栓下カバー

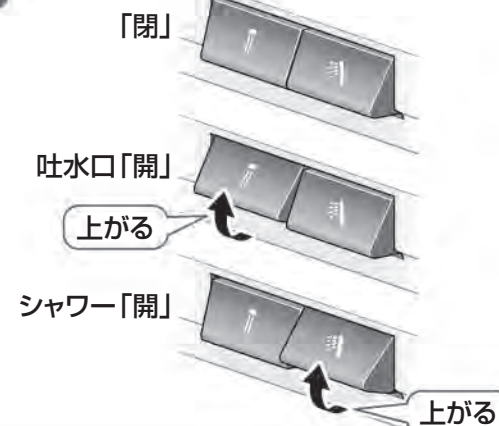
【取付状態確認事項】

- ・ ボタンを押す
 - ・ ハンドルを回す
- に引っかかりや、こすれないこと



【吐水口/シャワー開閉ボタン状態図】

R勝手



「閉」

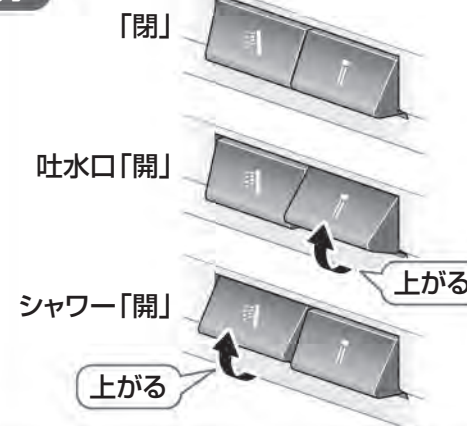
吐水口「開」

上がる

シャワー「開」

上がる

L勝手



「閉」

吐水口「開」

上がる

シャワー「開」

上がる

背もたれ

6 背もたれ支持材取付け



トラスとがり先ねじ4.2×25
すべて (付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

一番初めの支持材のみ長穴中心で仮固定

1 端から順に水平出し

2 水平を出した隣の支持材と水平を出し、仮固定

3 現物合せ
すべての水平確認後

4 本固定

背もたれ支持材

1616	4個
1717	4個
1620	5個
1624	6個

7 背もたれライン照明取付け

1 ライン照明取付け



トラス小ねじM4×5
ライン照明セット (1 5) (LED照明付属)



手締め厳守
ねじ山破損防止

2 中央付近の支持材に仮固定

3 コネクター接続後、コードを壁裏に押し出す

4 壁貫通部材

5 本固定

照明本体

背もたれ支持材

連通ホース

手前に出しておく
挟み込み防止

■中継/リモコンコードの接続部合わせかた

機器本体/リモコン

ラベル

接続部

中継/リモコンコード

ラベル

【例】

F-1	ユニット	F-1	床ワイパー洗浄 (ユニットコード 電源側)
-----	------	-----	-----------------------

記号を合わせる



トラスとがり先ねじ4.2×25
壁貫通部 ×2 (4) (LED照明付属)

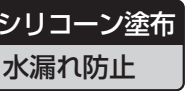


シリコン塗布
水漏れ防止

2 段付ねじ取付け



段付ねじ
×2 (付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

1 下記表に合わせてけがく ※高さ方向：背もたれ支持材パッキンの上面より7mm

呼び寸法	A寸法
L=1250	160
L=1650	115
L=2050	115

7mm

Amm

7mm

2

※図はL=1650

8 背もたれ本体取付け



支持材付属ねじ
すべて (背もたれ支持材付属)

6 ライナーを受け固定材の上に置き、壁に固定バネと背もたれ本体2つを押さえつけながら本固定

同梱ライナー (t=2.5mm)

ライナーを壁と背もたれ受け固定材に挟まないよう注意!!

2.5mm

壁

4 基準の受け固定材 (1つ丸穴) から本固定

2 仮固定
必ず1カ所ねじ仮固定する
手を放すと落下するため

1

5 本固定

基準の受け固定材

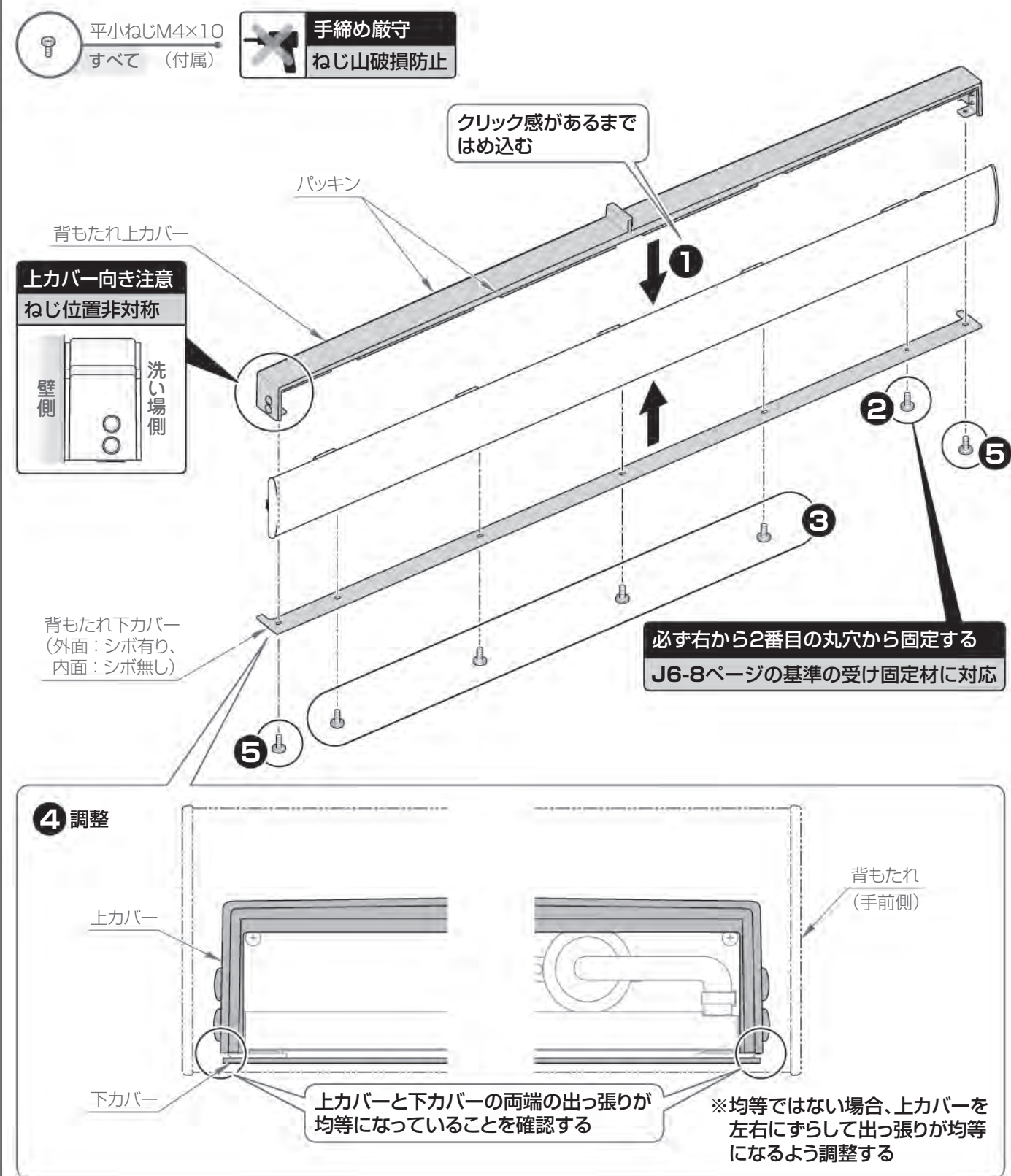
背もたれ本体

3 1カ所仮固定後、中央付近の受け固定材 (2カ所 or 3カ所) に置き、ねじで仮固定

呼び	固定バネ数量
L=1250	2個
L=1650	3個
L=2050	2個

(固定バネセットは背もたれ上カバーのアングル部に同梱)

9 背もたれ上下カバー取付け

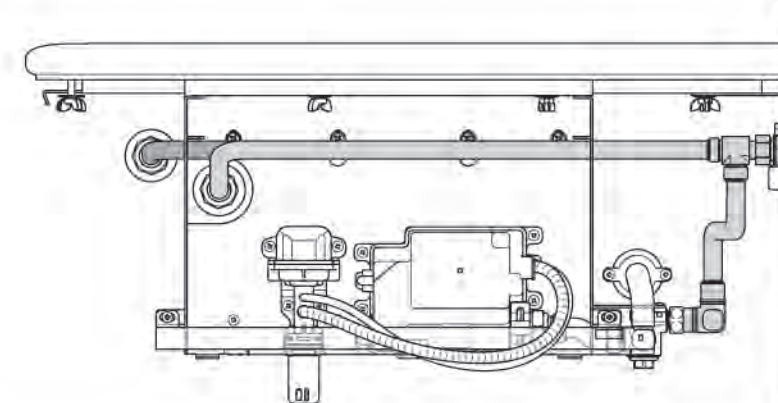


MEMO

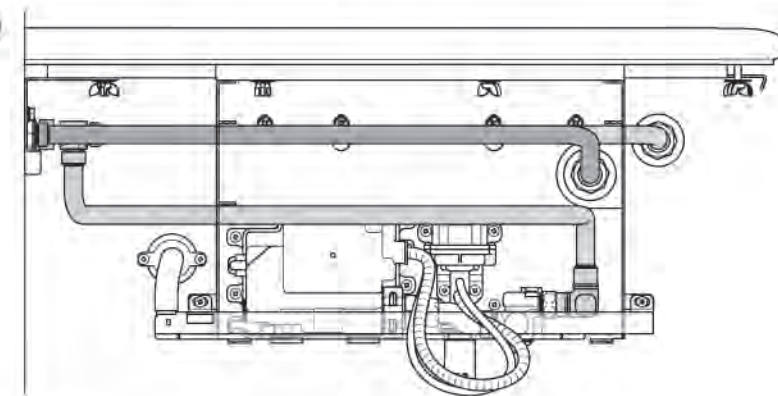
ベンチカウンター

【完成正面図 バリエーション一覧】※図は床ワイパー洗浄ありの場合

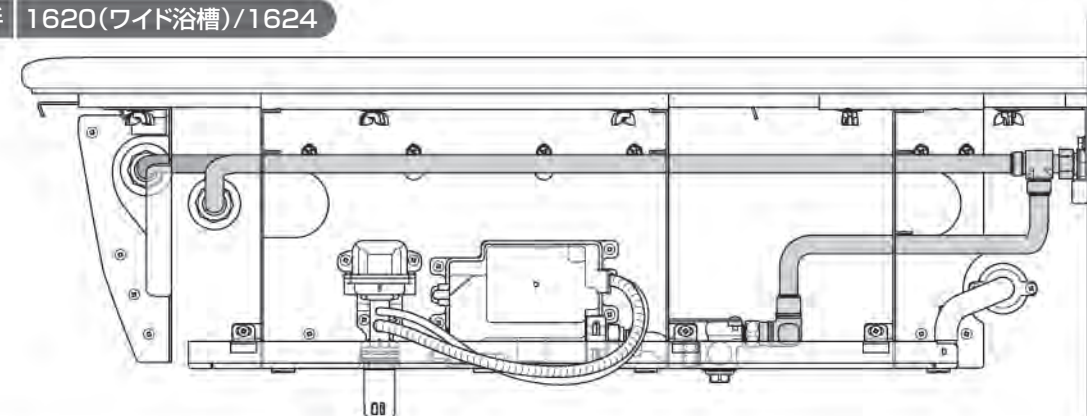
R勝手 1616/1717



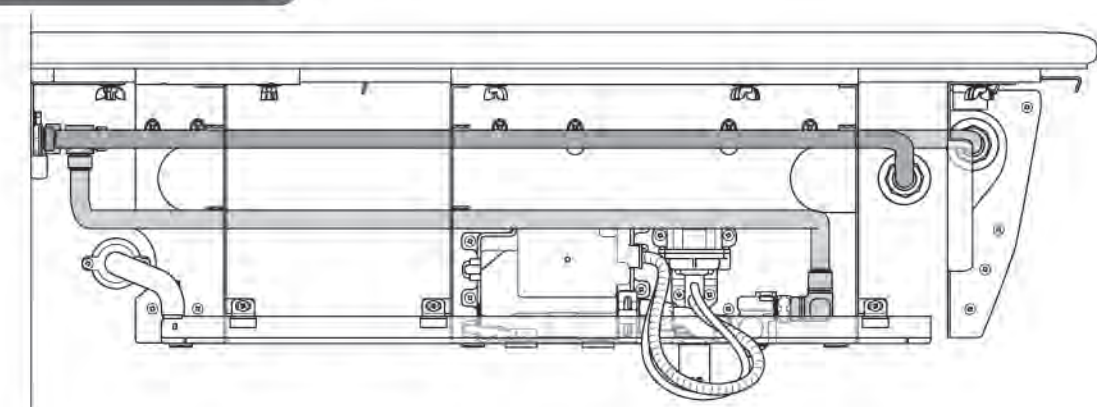
L勝手 1616/1717



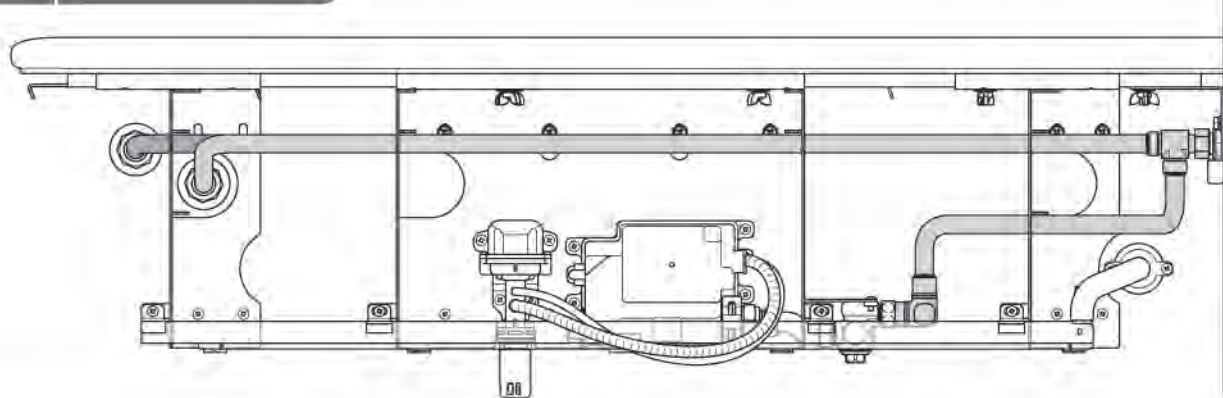
R勝手 1620(ワイド浴槽)/1624



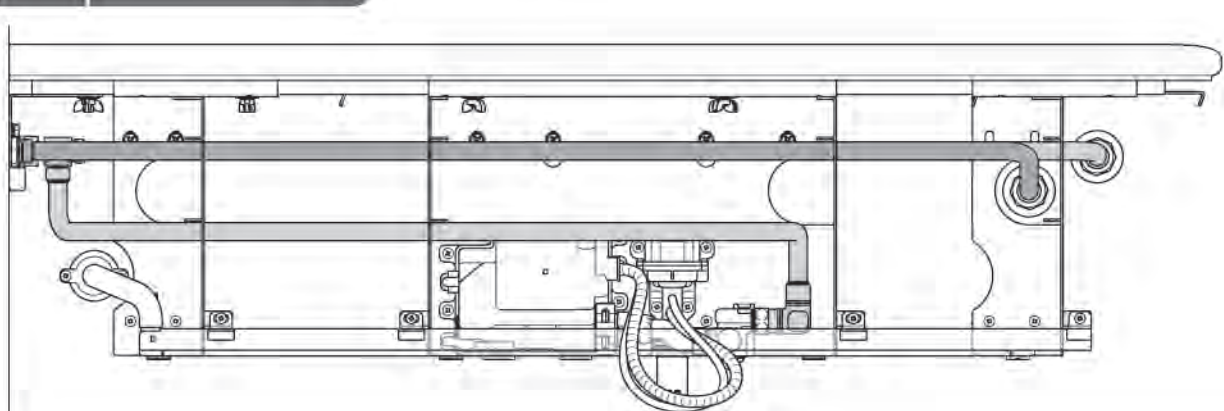
L勝手 1620(ワイド浴槽)/1624



R勝手 1620(ストレート浴槽)

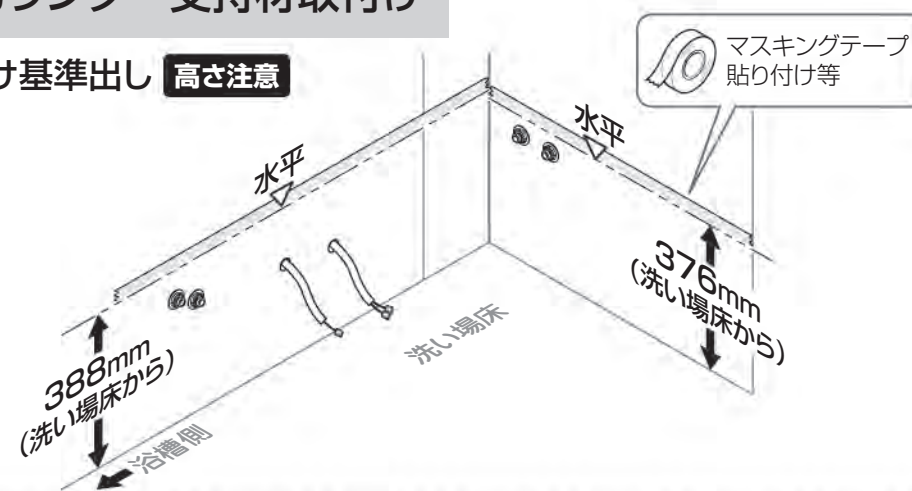


L勝手 1620(ストレート浴槽)



10 ベンチカウンター支持材取付け

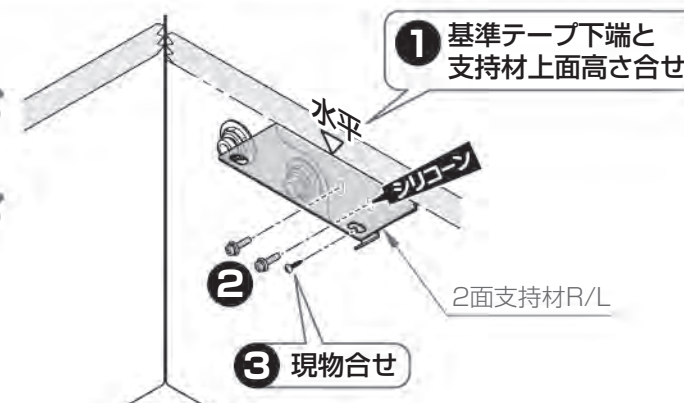
① 支持材取付け基準出し 高さ注意



② 2面支持材取付け

- 六角ボルトM6×30
×2(②) (ねじセットに付属)
- トラスとがり先ねじ4.2×25
×1(③) (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

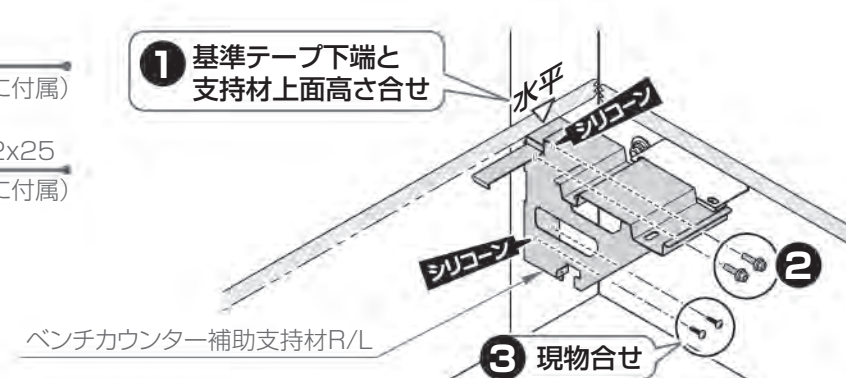


③ 補助支持材取付け(1616/1717以外)

- 六角ボルトM6×30
×2(②) (ねじセットに付属)
- トラスとがり先ねじ4.2×25
×2(③) (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

① 基準テープ下端と 支持材上面高さ合せ

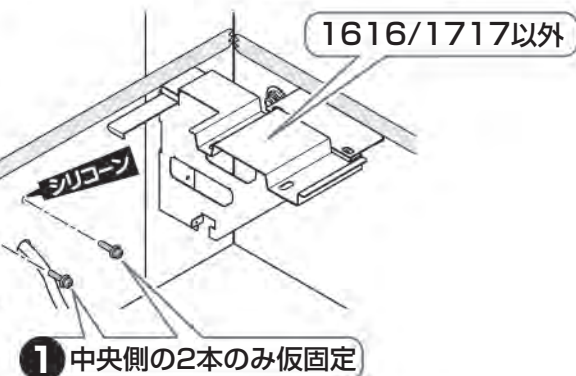


④ ベンチカウンター支持材取付け(全サイズ共通)

- 六角ボルトM6×30
×4(①④) (ねじセットに付属)
- トラスとがり先ねじ4.2×25
×4(⑤) (ねじセットに付属)

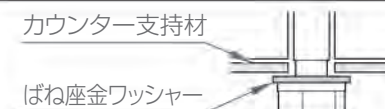
シリコン塗布
水漏れ防止

10mm以上すき間をあける



② 引っ掛ける

引掛け用ボルトのばね座金/ワッシャーが 支持材の手前側にあることを確認する

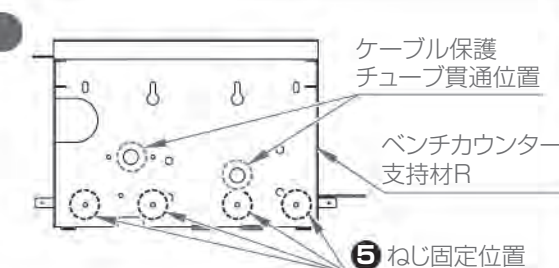


③ 基準テープ下端と 支持材上面高さ合せ

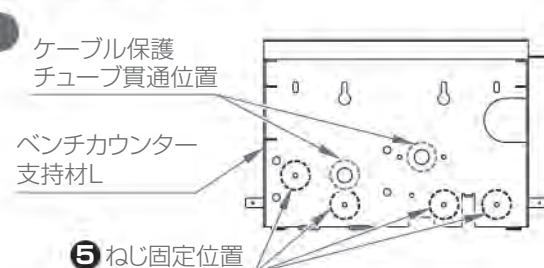


ケーブル保護チューブをカウンター支持材の穴に通しながら取り付ける

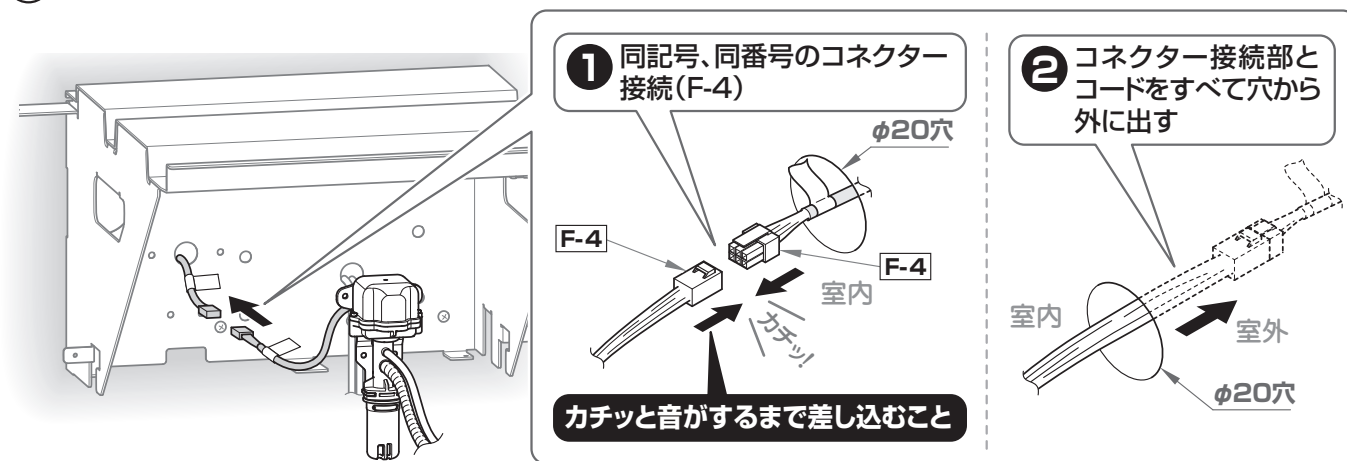
R勝手



L勝手

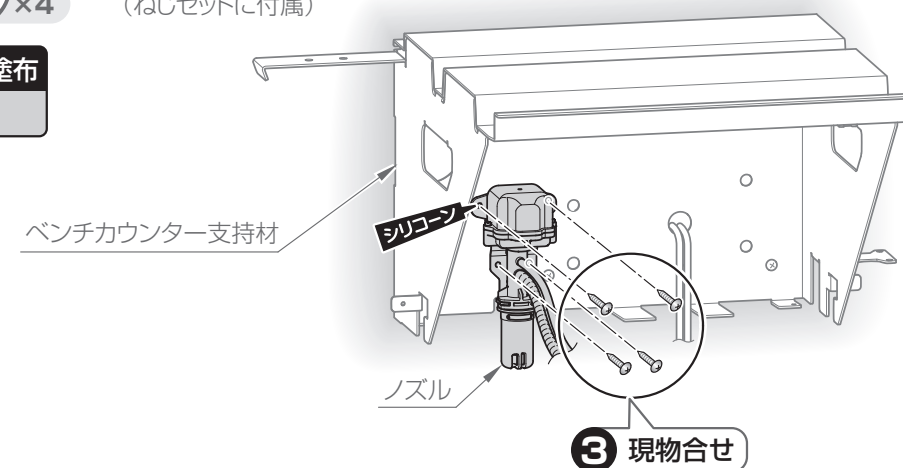


② ノズル取付け



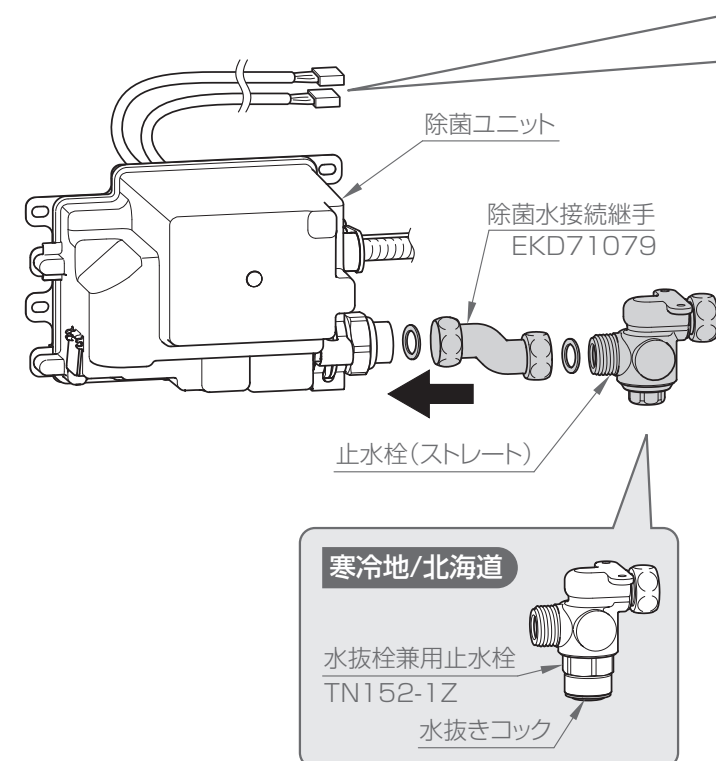
トラスとがり先ねじ 4.2×25
×4 (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

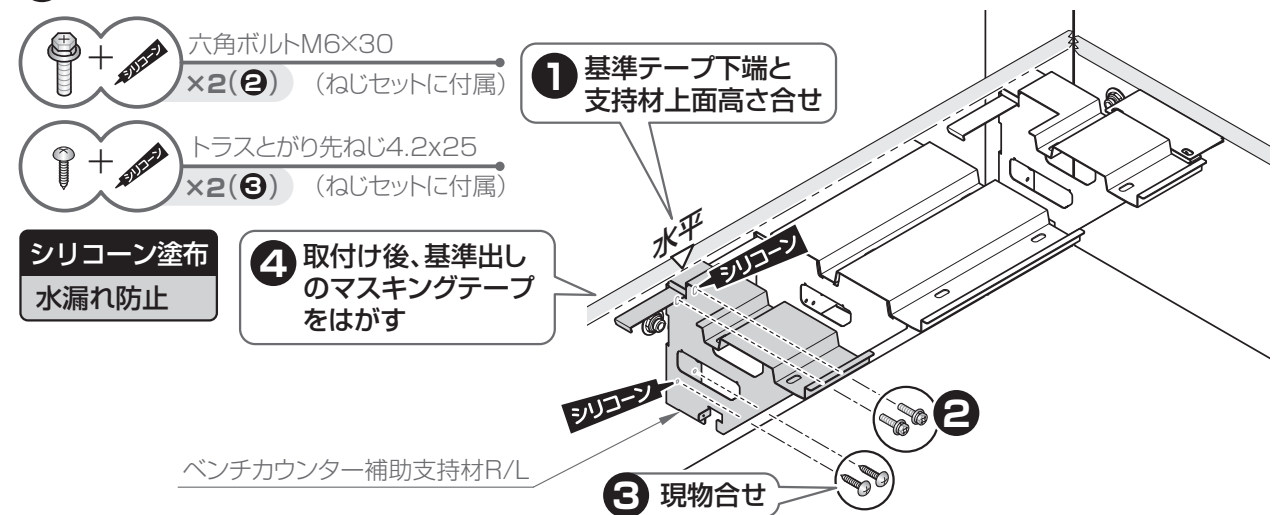


③ 除菌ユニット取付準備

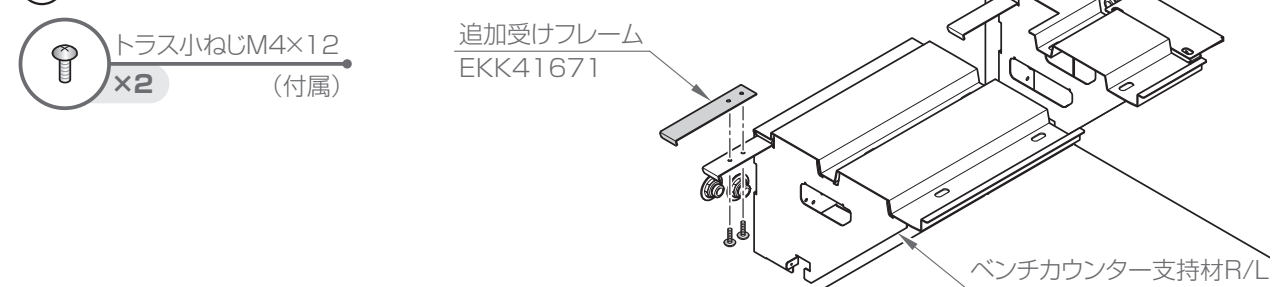
① 除菌ユニット、除菌水接続継手、
止水栓(ストレーツ)の接続



⑤ 浴槽側補助支持材取付け(1620(ストレート浴槽))

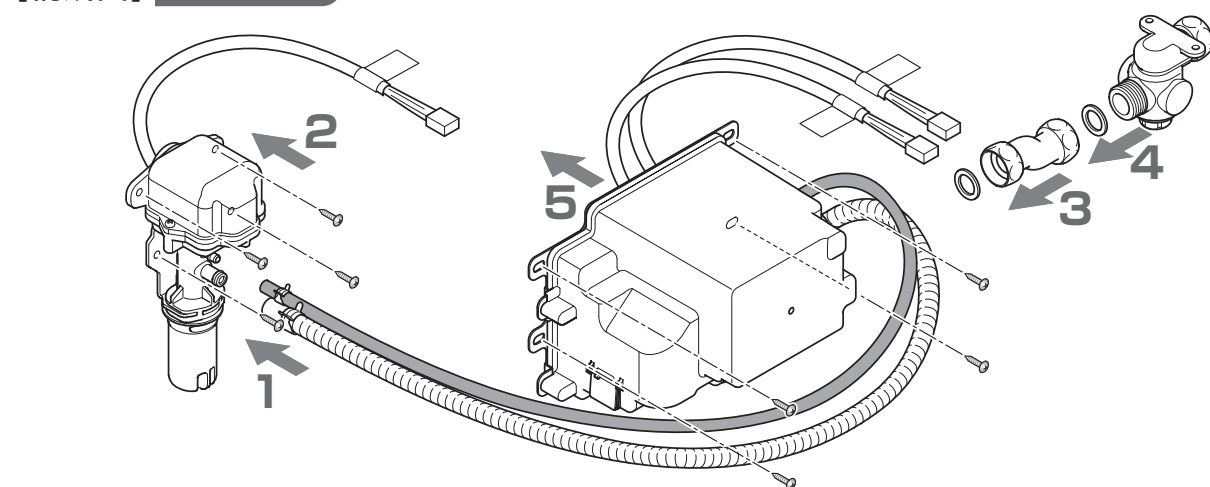


⑥ 追加受けフレーム取付け(1624/1620ワイド浴槽のみ)



11 床ワイパー洗浄システム取付け

【構成図】 R/L勝手共通



① ホース接続 ノズル取付け前



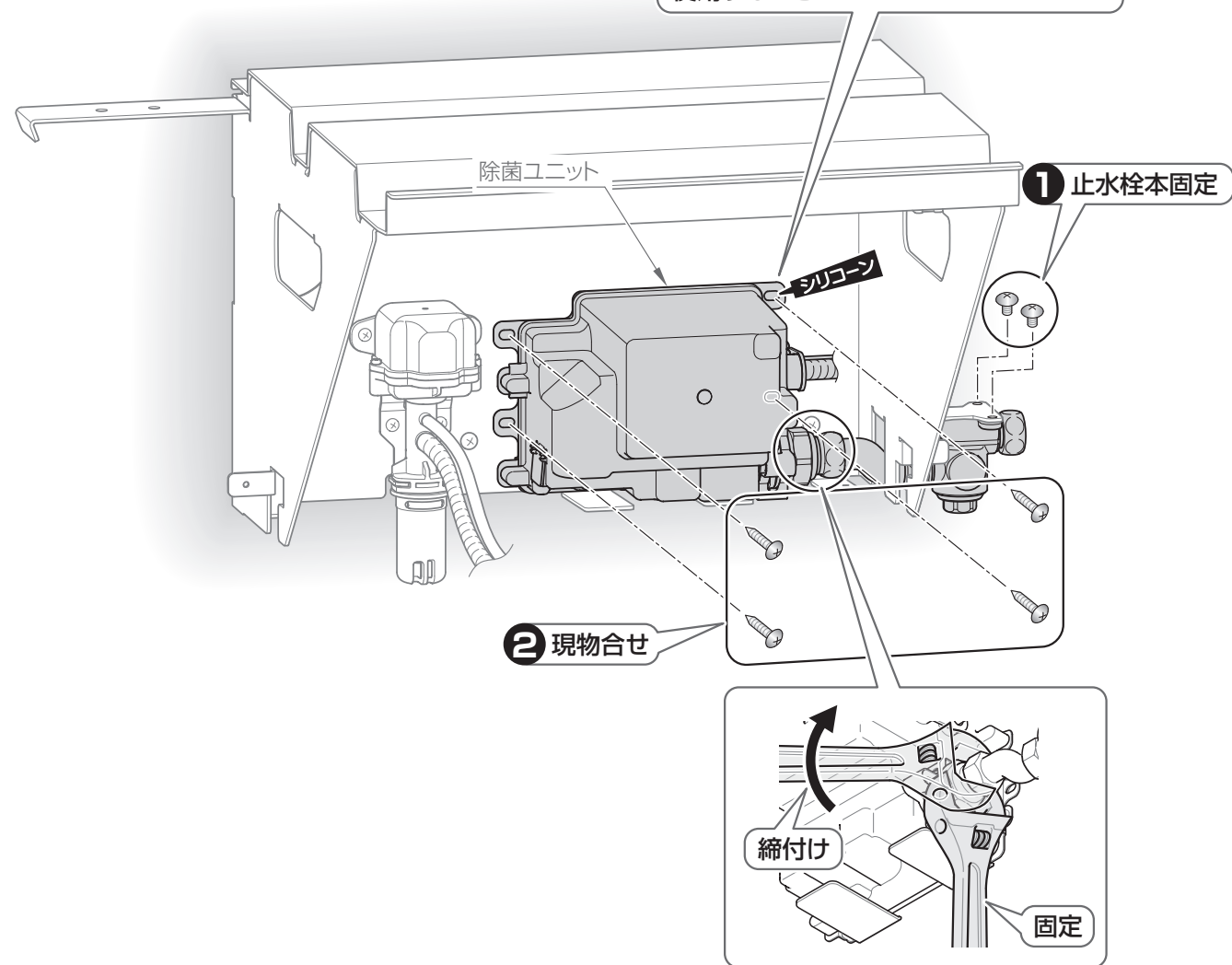
④ 除菌ユニット本固定

トラス小ねじM4×10
×2(①) (ねじセットに付属)

トラスとがり先ねじ4.2×25
×4(②) (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

シリコン塗布には、
シリコン曲がりノズル(EKL00047)を
使用すること



MEMO

12 カウンター内部配管接続

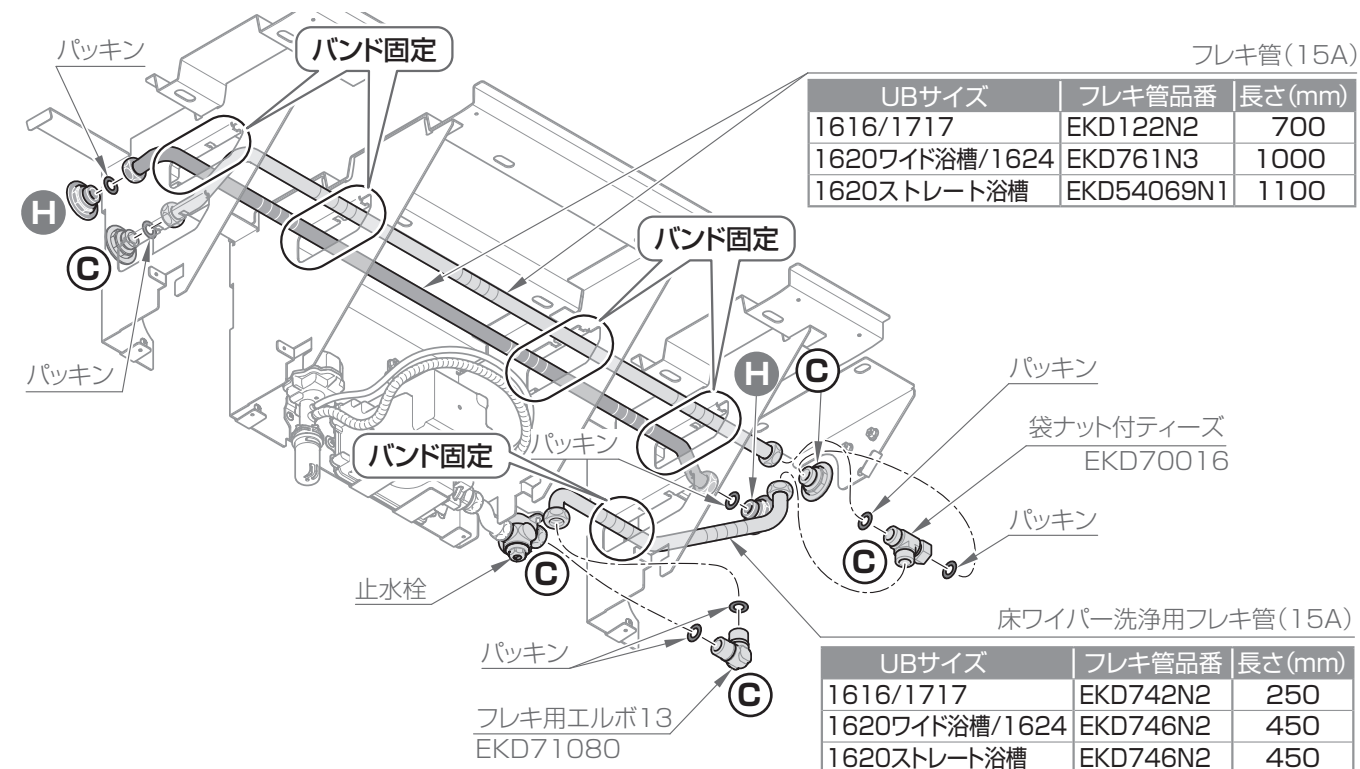
床ワイパー洗浄あり

R勝手 一般地・寒冷地兼用

配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける 音鳴り防止

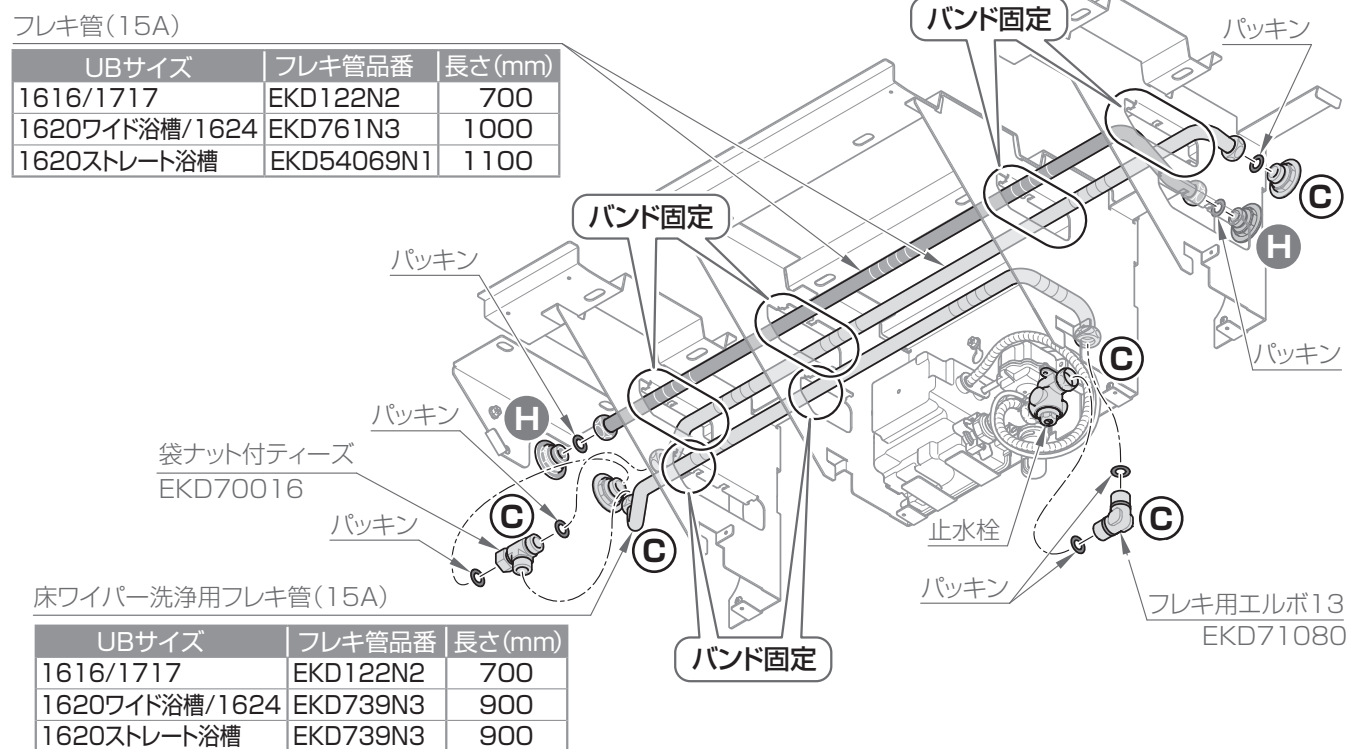


L勝手 一般地・寒冷地兼用

配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける 音鳴り防止



床ワイパー洗浄なし

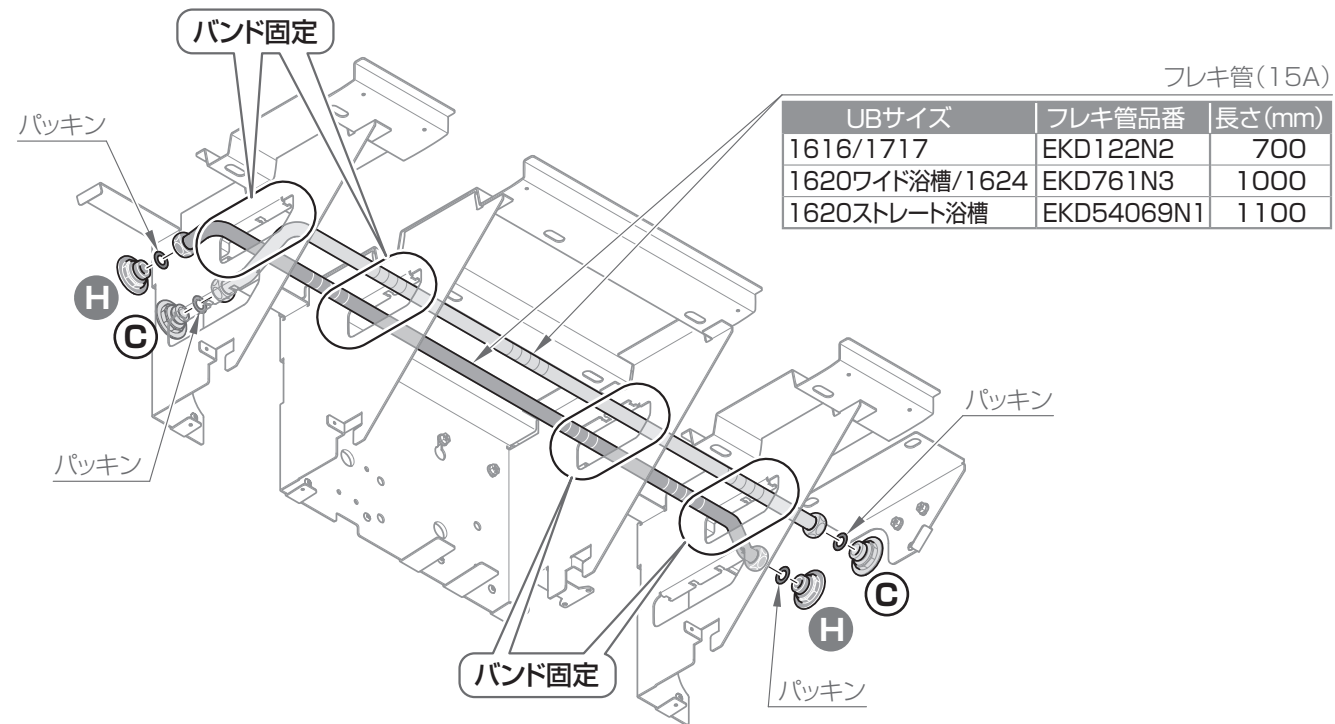
R勝手 一般地・寒冷地兼用 **配管接続チェック** ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



フレキシ管(15A)

UBサイズ	フレキシ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD761N3	1000
1620ストレート浴槽	EKD54069N1	1100

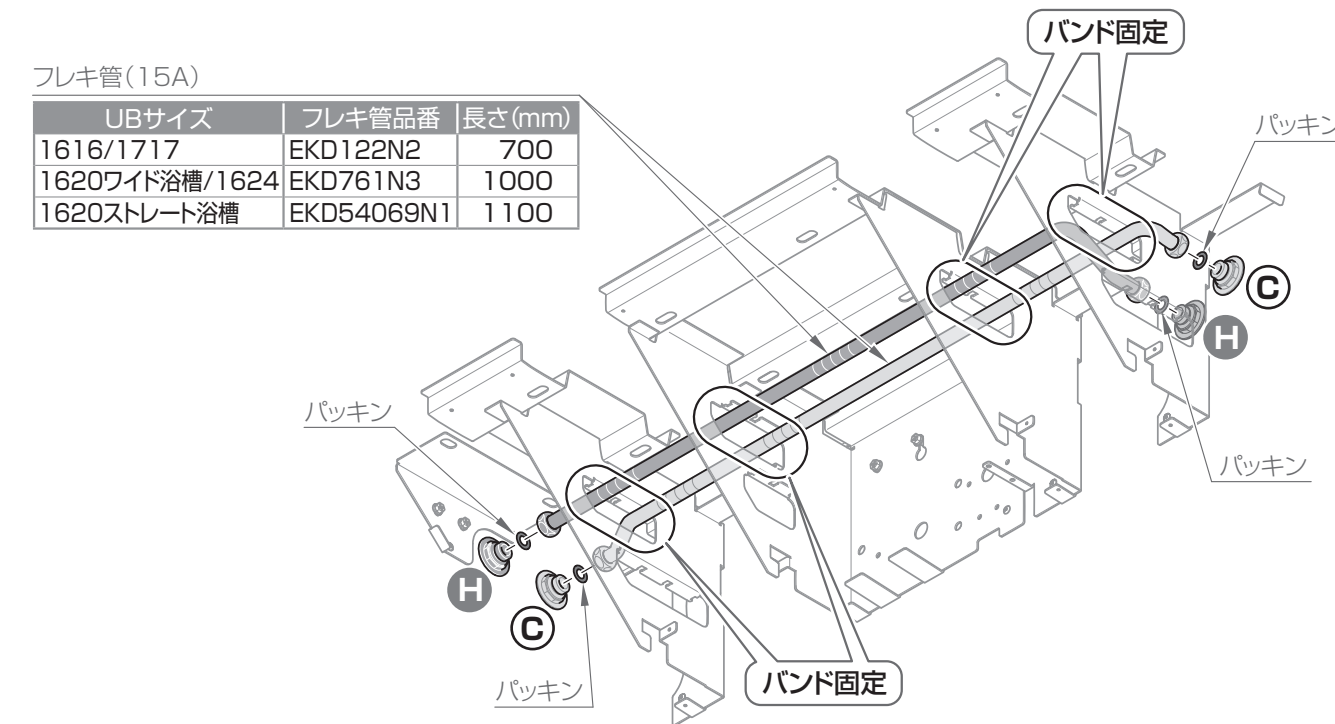
L勝手 一般地・寒冷地兼用 **配管接続チェック** ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



フレキシ管(15A)

UBサイズ	フレキシ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD761N3	1000
1620ストレート浴槽	EKD54069N1	1100

床ワイパー洗浄あり(壁裏接続)

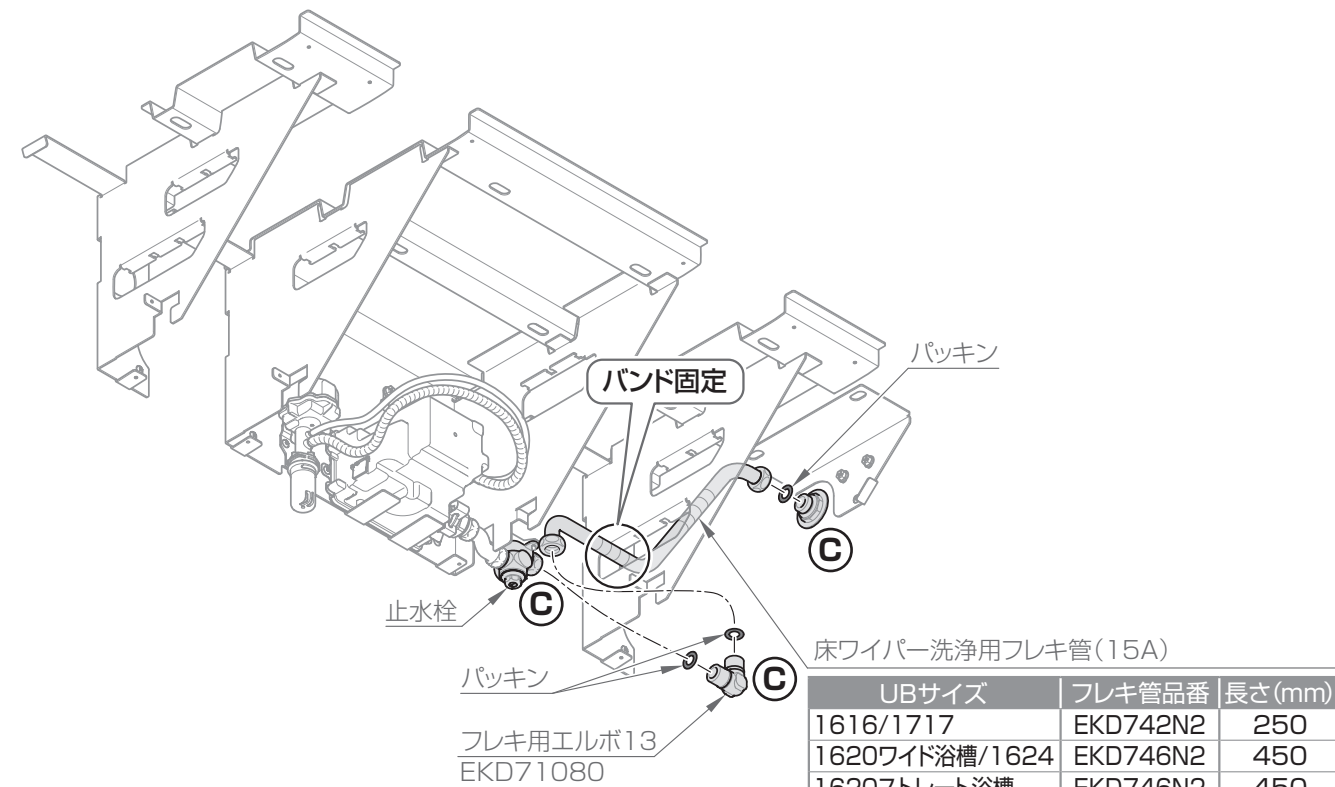
R勝手 **配管接続チェック** ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



床ワイパー洗浄用フレキシ管(15A)

UBサイズ	フレキシ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD742N2	250
1620ワイド浴槽/1624	EKD746N2	450
1620ストレート浴槽	EKD746N2	450

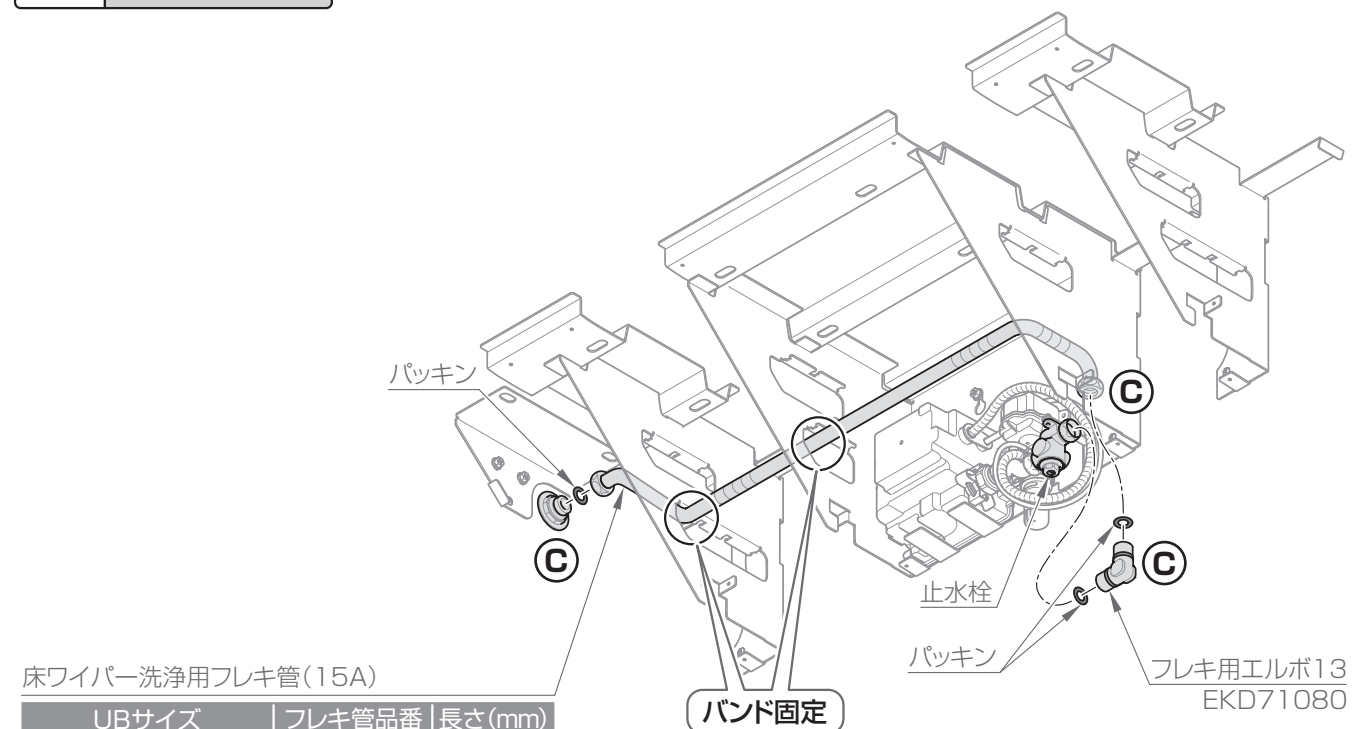
L勝手 **配管接続チェック** ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



床ワイパー洗浄用フレキシ管(15A)

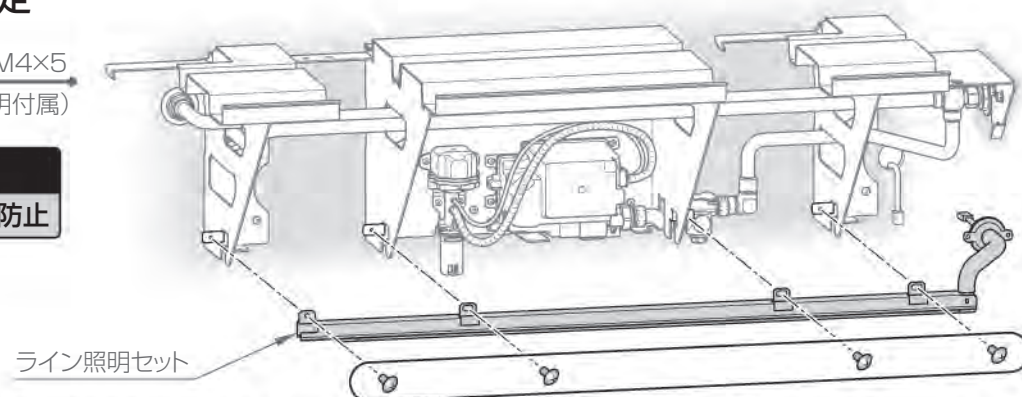
UBサイズ	フレキシ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD739N3	900
1620ストレート浴槽	EKD739N3	900

13 ベンチカウンター照明取付け

① 照明本体固定

トラス小ねじM4×5
すべて (照明付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

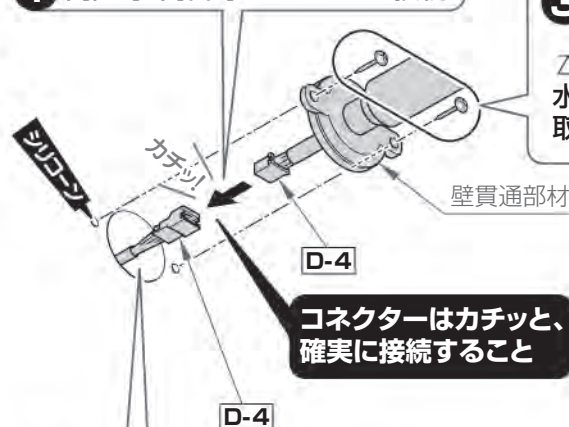


② 壁貫通部材固定

トラスとがり先ねじ4.2×25
×2 (照明付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

① 同記号、同番号のコネクター接続



③

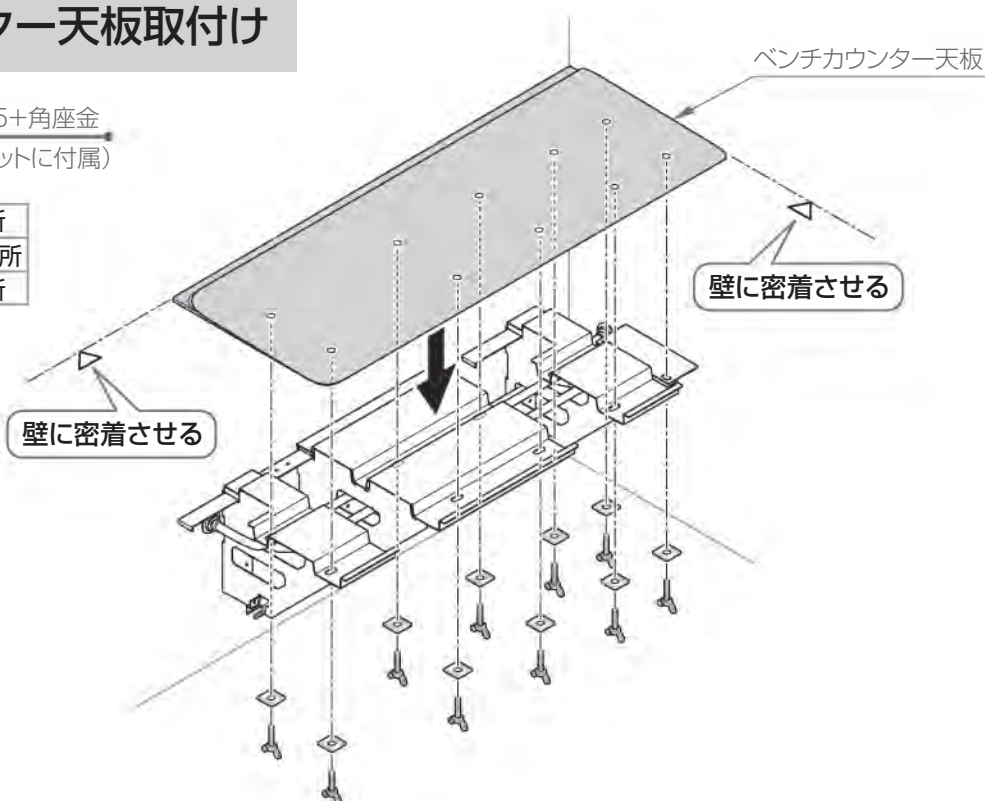


② コネクター接続後、コードを壁裏に押し出す

14 ベンチカウンター天板取付け

蝶ボルト M6×15+角座金
すべて (ねじセットに付属)

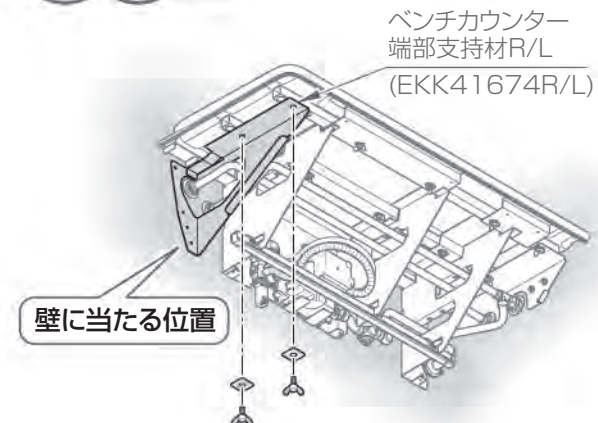
1624/1620(ワイド浴槽)	8カ所
1620(ストレート浴槽)	10カ所
1717/1616	6カ所

1624/
1620
(ワイド浴槽)

15 端部支持材取付け

① 上部固定

蝶ボルト M6×15+角座金
×2 (端部支持材に付属)

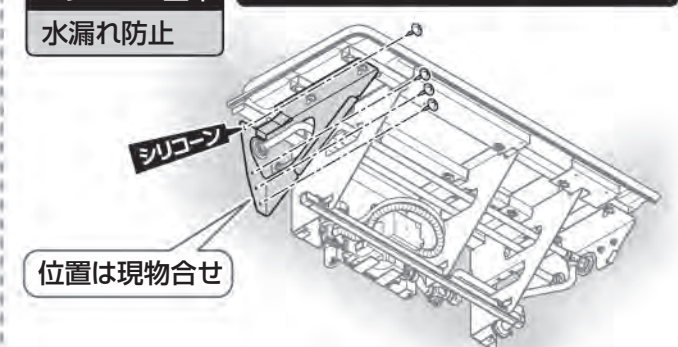


② 壁面部固定

トラスとがり先ねじ 4.2×12
×4 (端部支持材に付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

12mmを超える長さのねじは使用不可



16 ベンチカウンターエプロン取付け

平小ねじM4×10
すべて (ねじセットに付属)

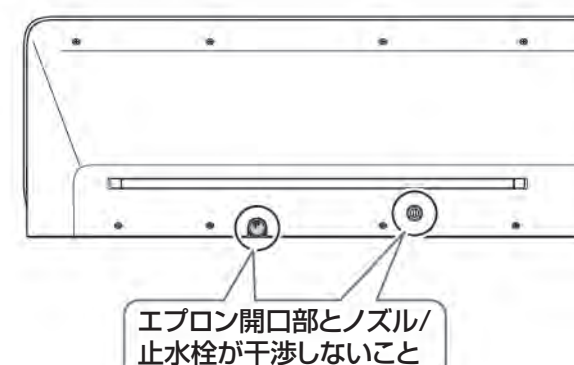
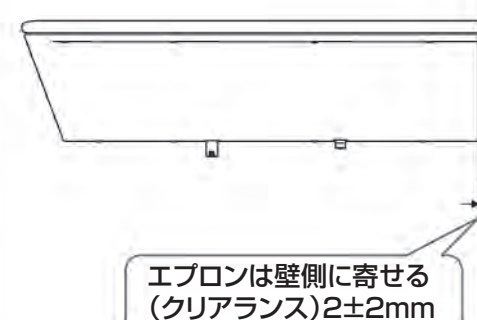
手締め厳守
ねじ山破損防止

UBサイズ/浴槽タイプ	ねじ本数
1624/1620 (ワイド浴槽)	6本
1620 (ストレート浴槽)	8本
1616/1717	4本

ねじは全箇所を仮固定した後、
下記の位置調整をしてから本固定する

※図は1620ストレート浴槽/床ワイパー洗浄ありの場合

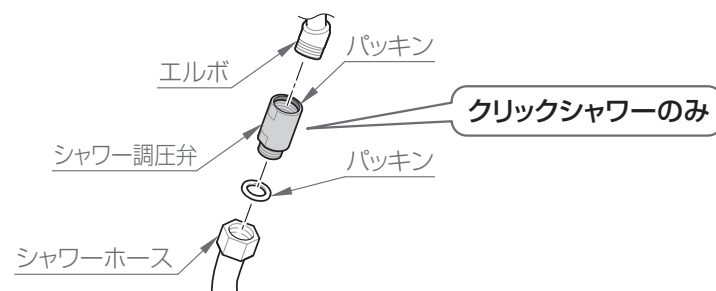
【ベンチカウンターエプロンの位置調整】



K. 器具

シャワーホース

工具で確実に締付け
水漏れ防止



シャワーハンガー

ハンガーが2種類ある場合の取付位置

【上段】：角度調節式ハンガー

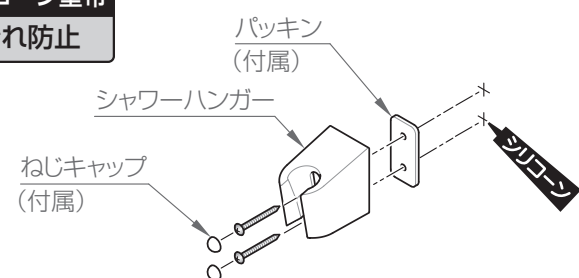
【下段】：一般(固定)ハンガー



固定ハンガー

トラスとがり先ねじ4.5×34
×2 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

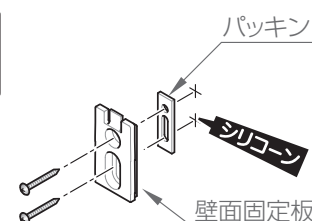


角度調節式シャワーハンガー

① 壁面固定板取付け

トラスとがり先ねじ4.2×30
×2 (付属)

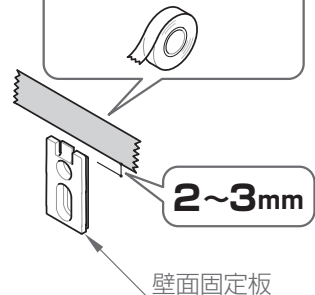
シリコン塗布
水漏れ防止



② マスキングテープ
貼付け

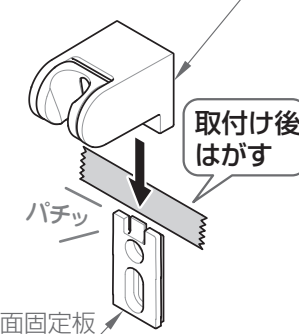
壁キズ付け防止

細いマスキングテープ

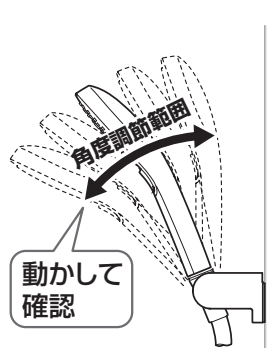


③ シャワーハンガー
本体取付け

シャワーハンガー本体



④ ガタツキ確認



⑤ シャワーヘッド
を倒す

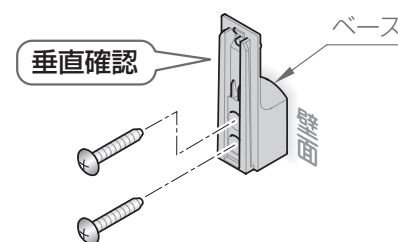


ホースフック

① ベース取付け

トラスタッピンねじ4×25
×2 (付属)

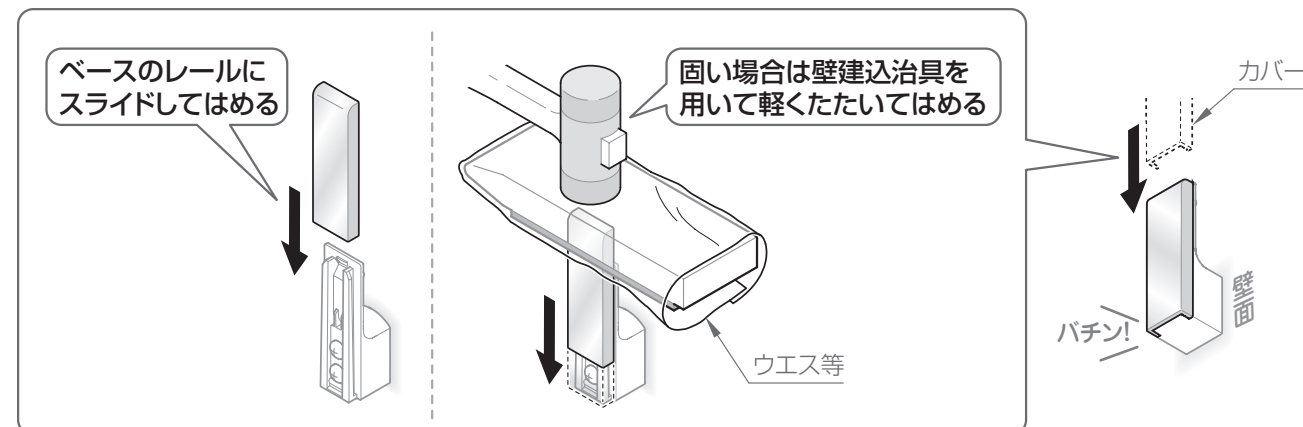
シリコン塗布
水漏れ防止



② カバー取付け

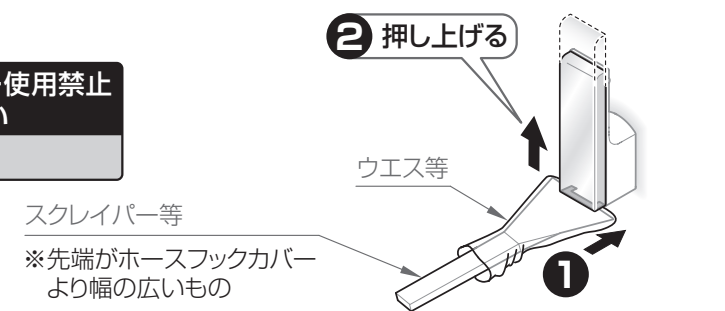
ベースのレールに
スライドしてはめる

固い場合は壁建込治具を
用いて軽くたたいてはめる



【取り外す場合】

・マイナスドライバー使用禁止
・カバーをこじらない
キズ防止



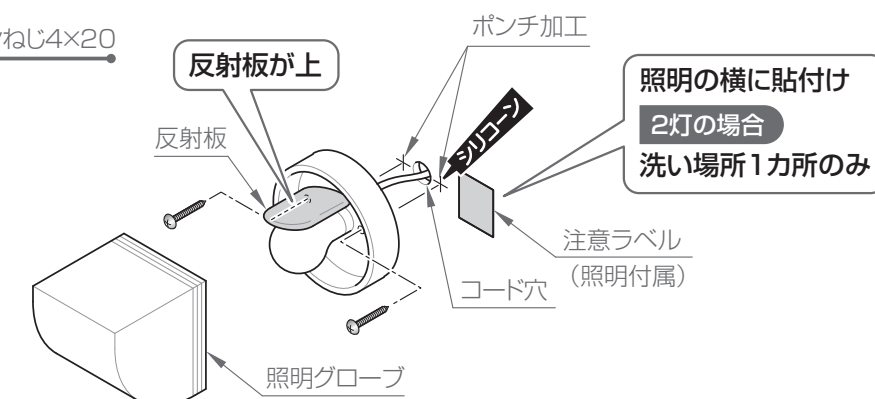
スクレイパー等
※先端がホースフックカバー
より幅の広いもの

照明

壁付照明 キューブ型照明

トラスタッピンねじ4×20
×2 (付属)

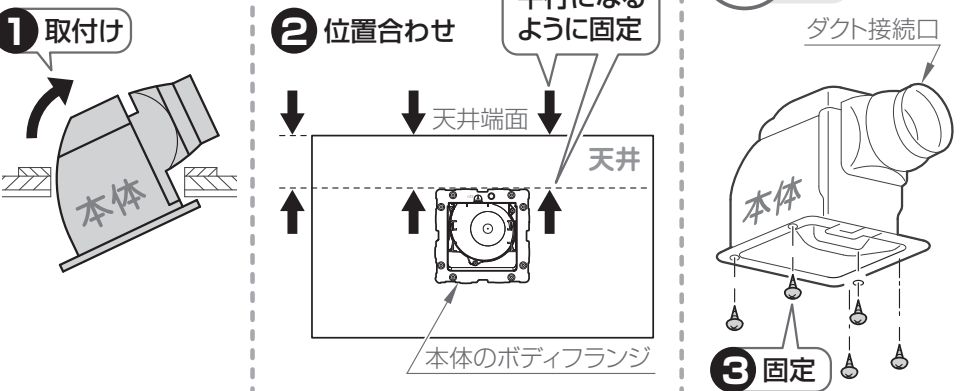
シリコン塗布
水漏れ防止



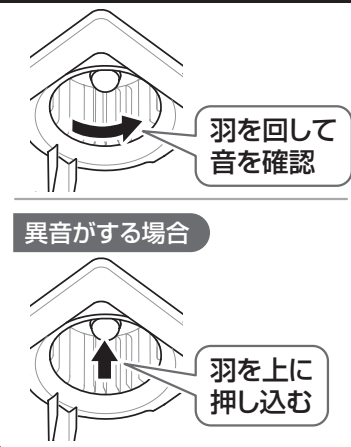
換気器具

換気扇

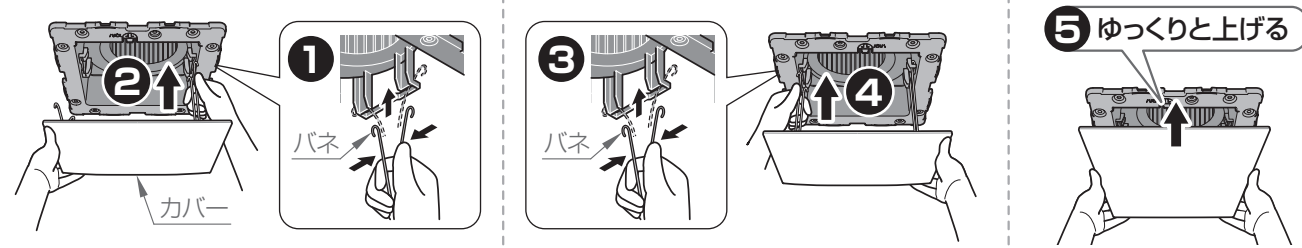
① 本体取付け



確認



② 化粧カバー取付け



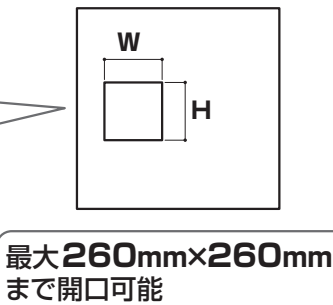
浴室換気暖房乾燥機「三乾王」/暖房換気扇

別冊 浴室換気暖房乾燥機「三乾王」/暖房換気扇付属設置説明書参照

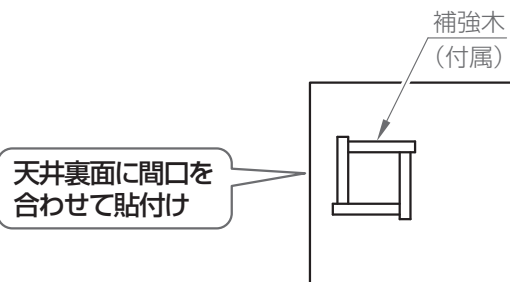
現場開口にて換気扇を取り付ける場合

① 天井の開口

- ① 表面側よりコーナー4カ所にφ10の穴をあける
- ② ジグソーまたは丸のこにて角形に開口する
- ③ 切断面にシリコンまたは防錆剤を塗布する



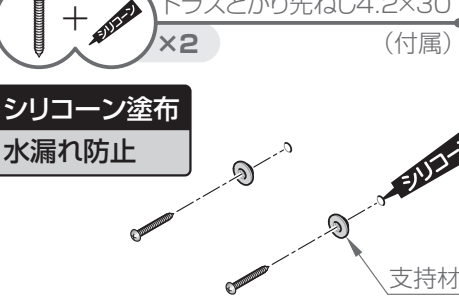
② 補強木の貼付け



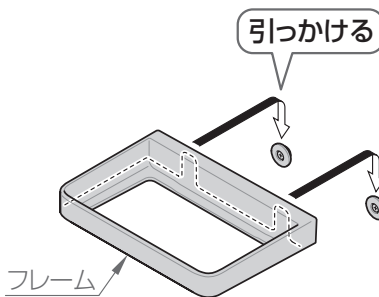
収納棚

セバレート収納棚W185

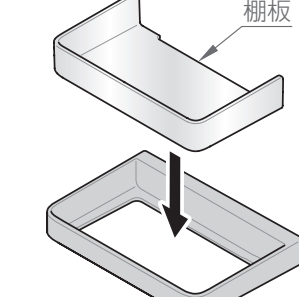
① 支持材取付け



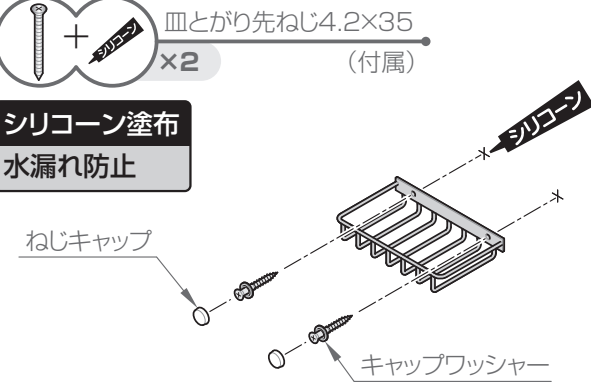
② 収納棚取付け



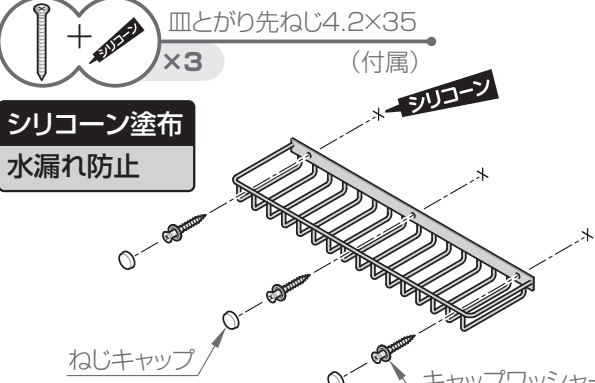
③ 棚板設置



ワイヤーシェルフ(200)

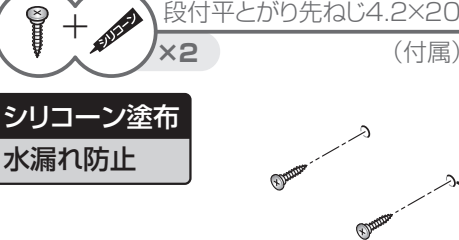


ワイヤーシェルフ(400)

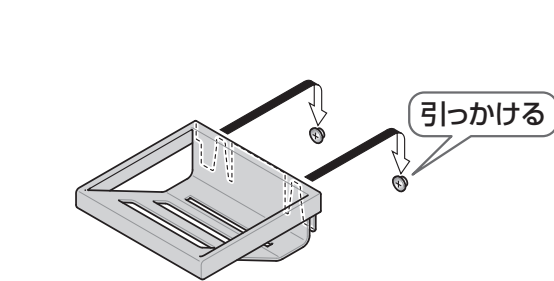


カウンター下収納棚

① ねじ取付け

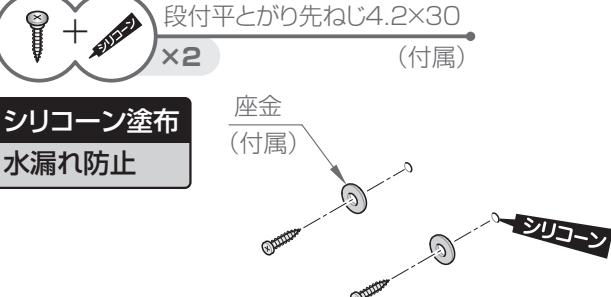


② 収納棚取付け

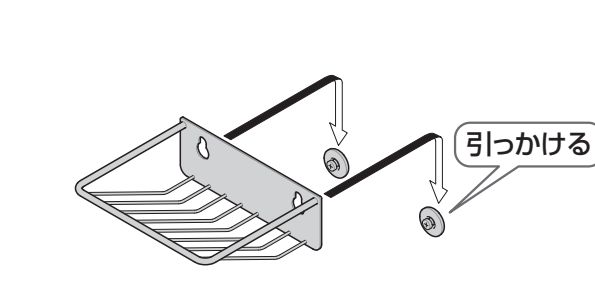


カウンター下ワイヤーシェルフ

① ねじ取付け



② カウンター下ワイヤーシェルフ取付け



タオル掛け

タオル掛け
ホワイト/ブラック

トラスとがり先ねじ4.2×30
×2 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 シリコン

2 ふた カチッ! 押し込む

メタル(角形)

トラスとがり先ねじ4.2×35
×2 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 ベース

2 差し込む

3 パイプ

4 スライド

5 はめ込む

【カバーを取り外す場合】
※手で取り外しにくい場合はライナー(t1)
を差し込んで取り外す

差し込む

樹脂ライナー(t1)

ドア外タオル掛け

1 取り付け前準備

1 下穴あけ(φ8)
下穴貫通不可
キズつけ注意

2 押し込む
向き注意

縦向き

ターンナット
(ドア外タオル掛け付属)

障子下端

※()内はW700ドアの場合

2 取り付け(取付方法は上記 タオル掛け 参照)

メタル/ブラチナステン(角形)

トラス小ねじM4×25
×2 (付属)

タオル棚

皿とがり先ねじ4.2×25
×4 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 シリコン

ワッシャ
(付属)

座金
(付属)

締付ナット
(付属)

2

3 座締付け

4 カバー締付け

タオル棚
EKK50004

ガタツキなきこと

鏡

特殊表面処理のため取扱い注意

- ・研磨剤入り洗剤や硬いもので表面を
擦らない
- ・接着剤やシリコン等の付着注意
※付着した場合、直ちにエタノール
拭きすること

【鏡パッキン貼付位置(ワイドミラー以外)】

1枚の場合

中央

2枚の場合

H/4

H/4

縦長鏡(樹脂フレーム)

1 ツメ・パッキン取付け

なべとがり先ねじ4.2×20
×4 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

鏡裏面貼付け禁止
※腐蝕のおそれあり

固定金具
(鏡フレームセット付属)

上ツメ

パッキン

下ツメ

5 上フレーム取付け

左右均等

上フレーム

パチン!

縦長鏡(フレームなし)/楕円鏡

1 ツメ・パッキン取付け

なべとがり先ねじ4.2×20
×4 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

上ツメ

パッキン

下ツメ

鏡裏面貼付け禁止
※腐蝕のおそれあり

2 鏡取付け

1

縦長鏡(樹脂フレーム)

2 下フレーム取付け

引っかかるまで
しっかりと押し込む

※一度取り付けると、
鏡と鏡下ツメを外さ
ないと取れない

左右均等

下フレーム

3 鏡取付け

鏡

上ツメ

6 上フレームうねり確認

うねり
※指で部分的に押さない
(うねりの原因)

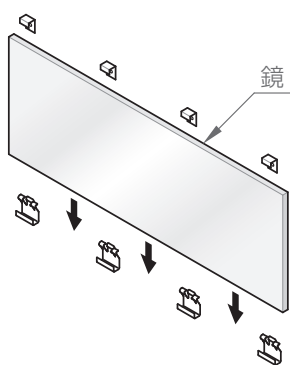
【うねりがある場合】

押し込む

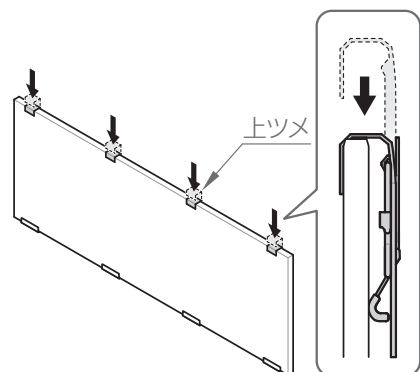
壁建込治具

ゴムは手前

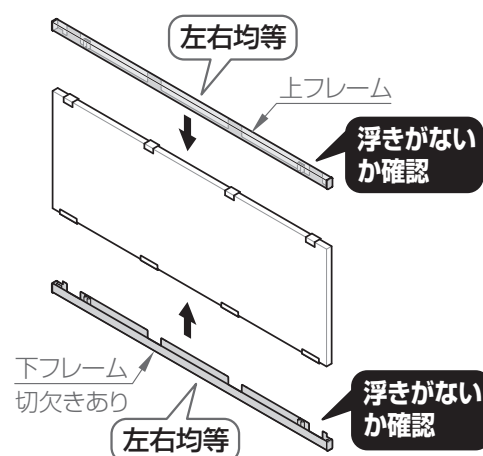
② 鏡取付け



③ 上ツメはめ込み

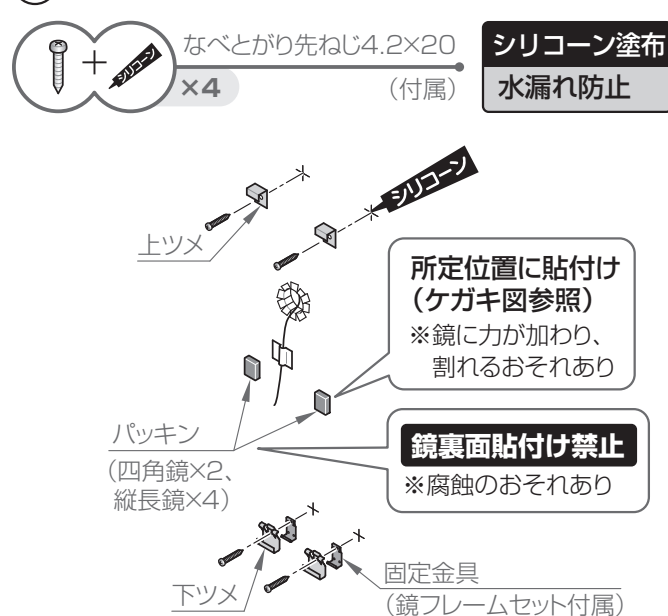


④ 上下フレーム取付け



くもり止めヒーター付/縦長鏡(樹脂フレーム)

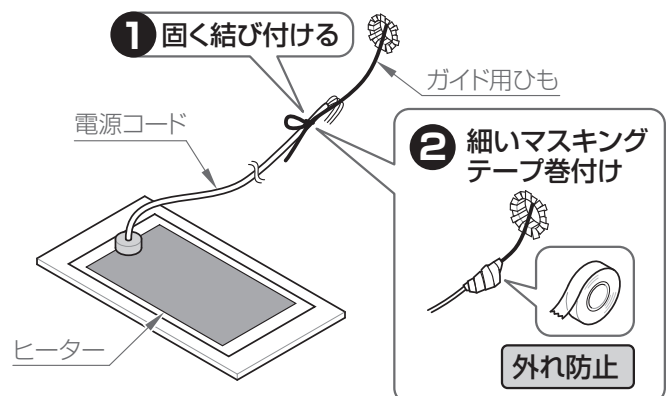
① ツメ・パッキン取付け



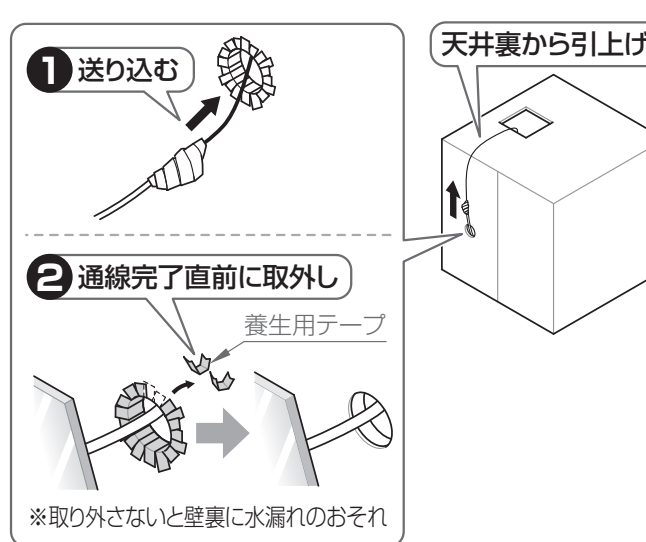
② 下フレーム取付け



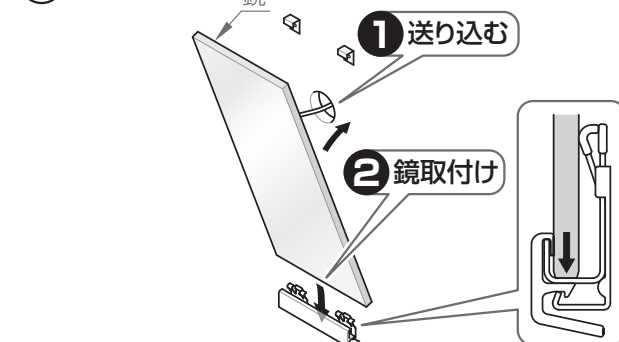
③ ヒーター電源コード接続



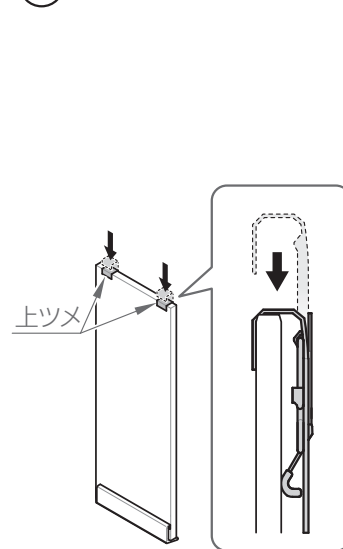
④ ヒーター電源コード通線



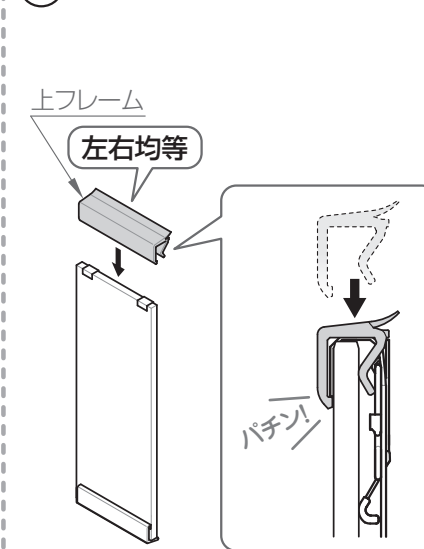
⑤ 鏡取付け



⑥ 上ツメはめ込み



⑦ 上フレーム取付け



⑧ 上フレームうねり確認

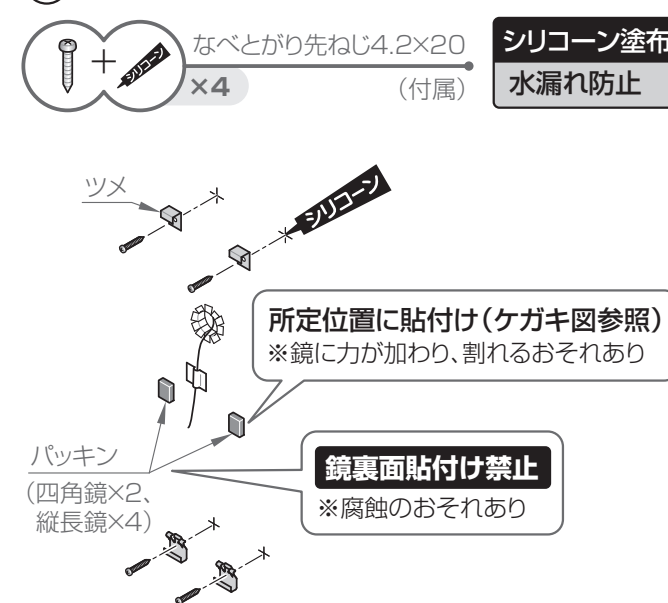


⑨ 電気工事業者への引継ぎ

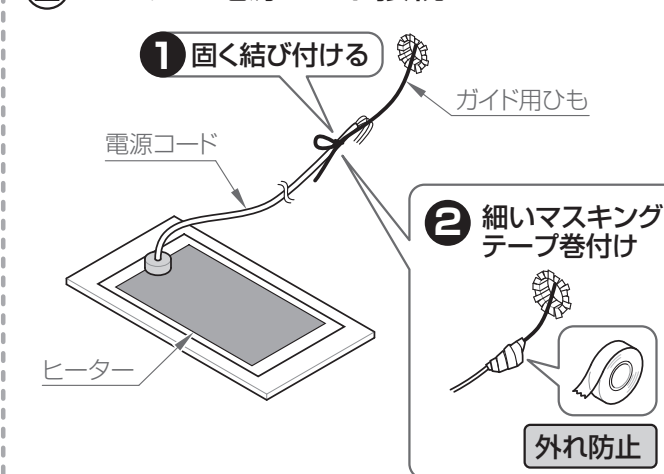
付属の「電気工事・試運転要領書」を、電気工事店様にお渡しください。

くもり止めヒーター付縦長鏡(アルミフレーム)

① ツメ・パッキン取付け



② ヒーター電源コード接続



③ ヒーター電源コード通線

① 送り込む

天井裏から引上げ

② 通線完了直前に取外し

養生用テープ

※取り外さないと壁裏に水漏れのおそれ

④ 鏡取付け

① 送り込む

鏡

② 鏡取付け

注意

穴にバリがないこと
ヒーターを損傷し、漏電
により感電のおそれあり

⑤ 上ツメはめ込み

上ツメ

⑥ 上下フレーム
取付け

浮きがないか確認

上フレーム

左右均等

浮きがないか確認

下フレーム
切欠きあり

左右均等

⑦ 電気工事業者への引継ぎ

付属の「電気工事・試運転要領書」を、電気工事店様にお渡しください。

MEMO

ふろふたフック

上用

① トラスとがり先ねじ4.5×30
(メタル調の場合:同4.2×30)
×3 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

※メタル調はカバーがメッキ品

ねじ固定位置

② 現物合せ

水平

ねじ固定位置

③ カバー

下用

① トラスとがり先ねじ4.5×30
(メタル調の場合:同4.2×30)
×3 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

※メタル調はカバーがメッキ品

ねじ固定位置

② 現物合せ

水平

ねじ固定位置

③ カバー

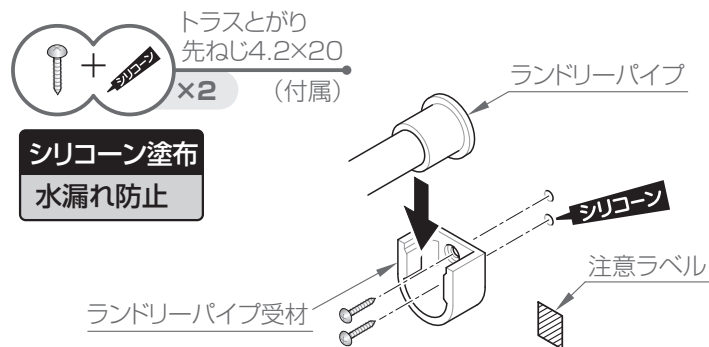
【収納方法】 お客様引渡しが組立て当日の場合

上フック+下受けフック(フック3カ所)

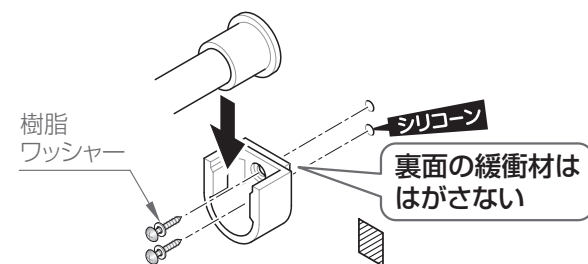
横に手すりがかかる場合
(浴槽サイズ 1200)

上記以外 S-4ページ 断熱風呂ふた参照

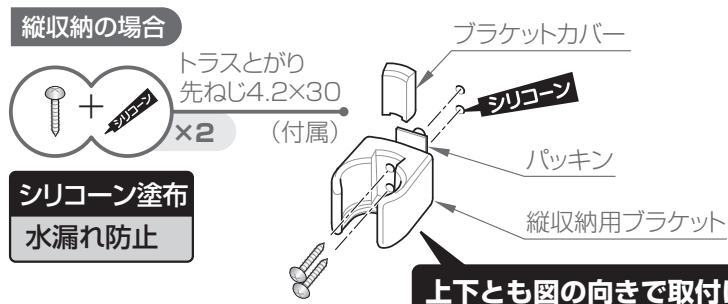
ランドリーパイプ



メッキ品の場合

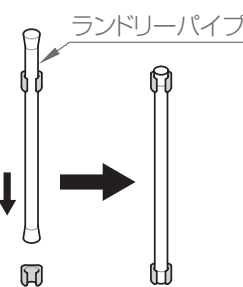


取付位置厳守 間違った位置に取り付けると、乾燥時間が長くなる



【収納方法】

ランドリーパイプをフックに通し、下にずらして収納する

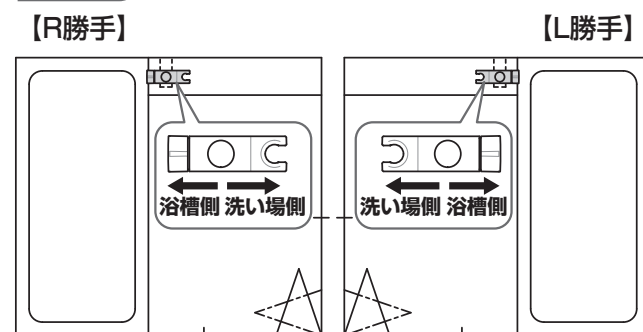


スライドバー/インテリアバー/コンフォートシャワーバー取付け前準備(スライドハンガーの向き確認)

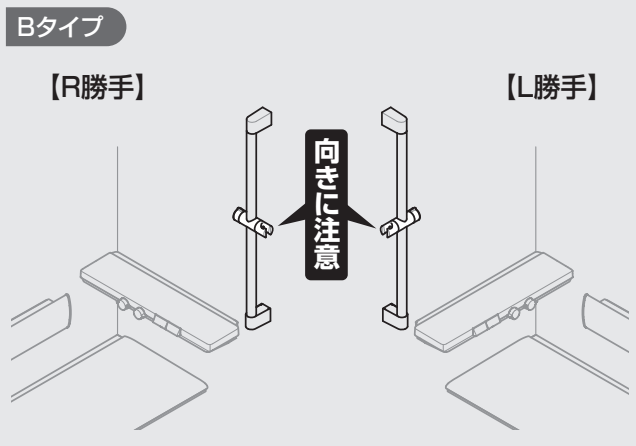
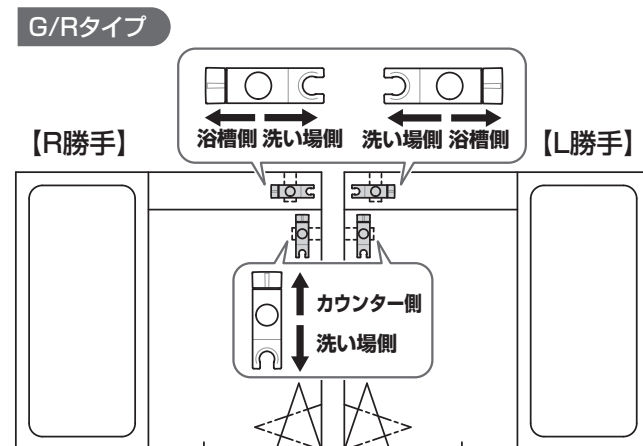
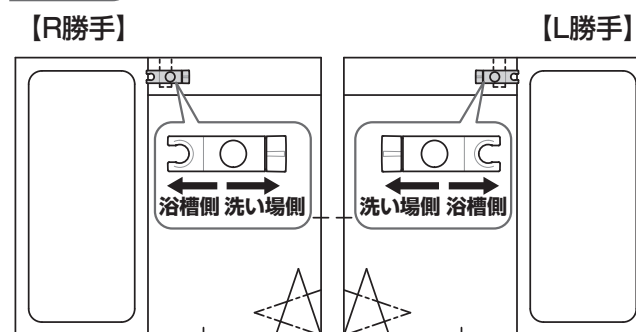
※インテリアバー Jシリーズの場合、取付け後のスライドハンガーの向き変更はできない

ハンガーの向き

Cタイプ ※コンフォートシャワーバーの場合逆向き

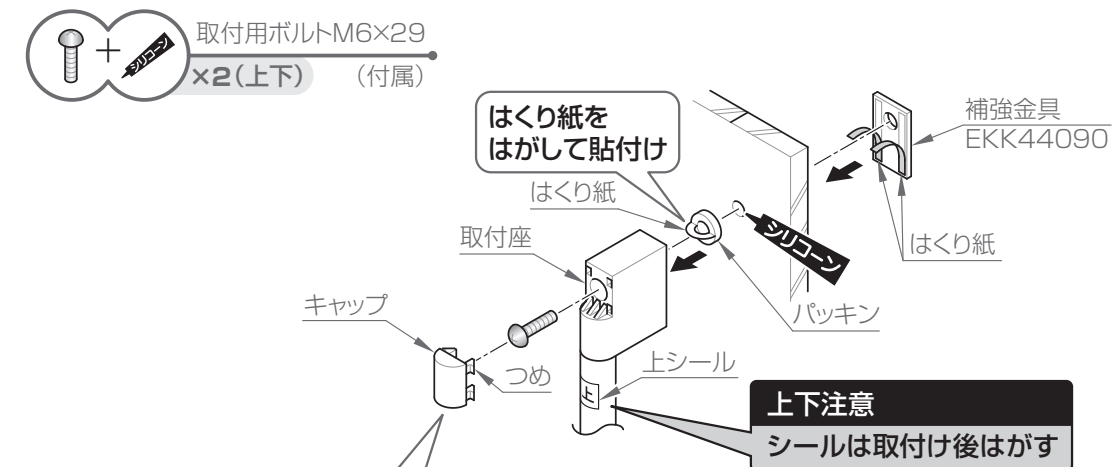


Dタイプ ※他タイプとハンガーの向きが逆になる

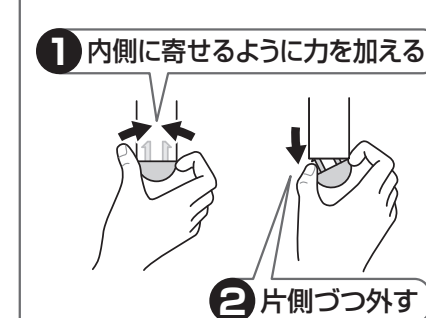


スライドバー

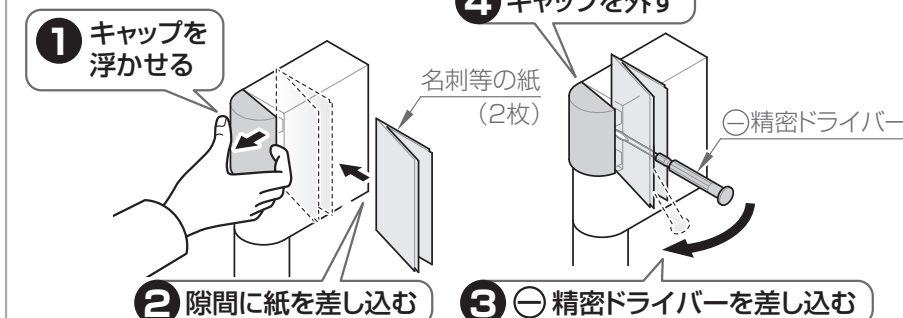
取付け前にスライドハンガーの向き確認 K-13 ページ参照



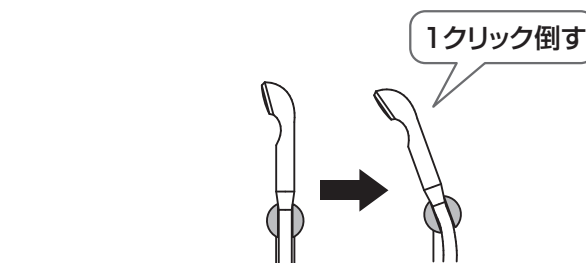
〈キャップの外しかた〉



〈固くて外せない場合〉



スライドハンガー角度調整
シャワーヘッド水垂れ防止



コンフォートウェーブシャワー 3モード(メタル調)/
コンフォートウェーブシャワー(メタル調)

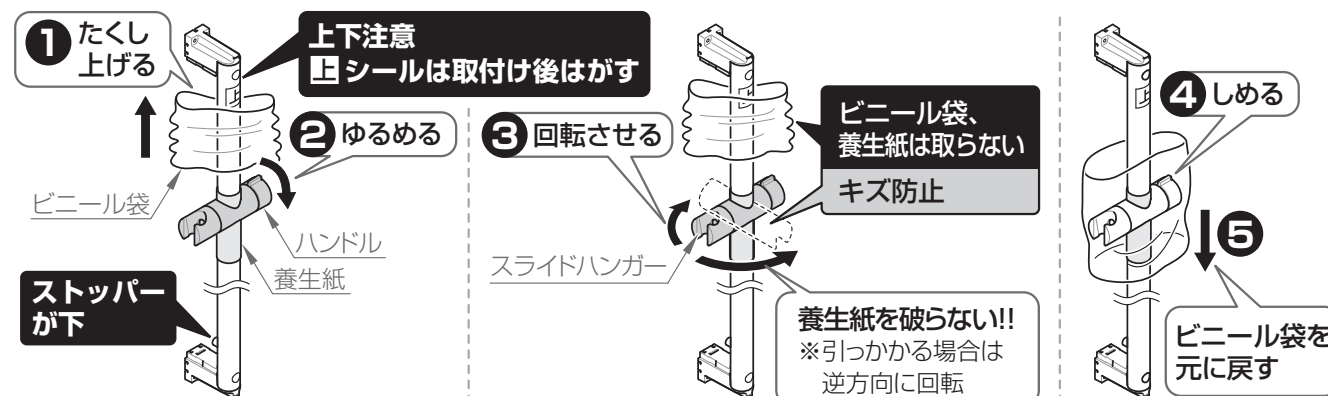


MEMO

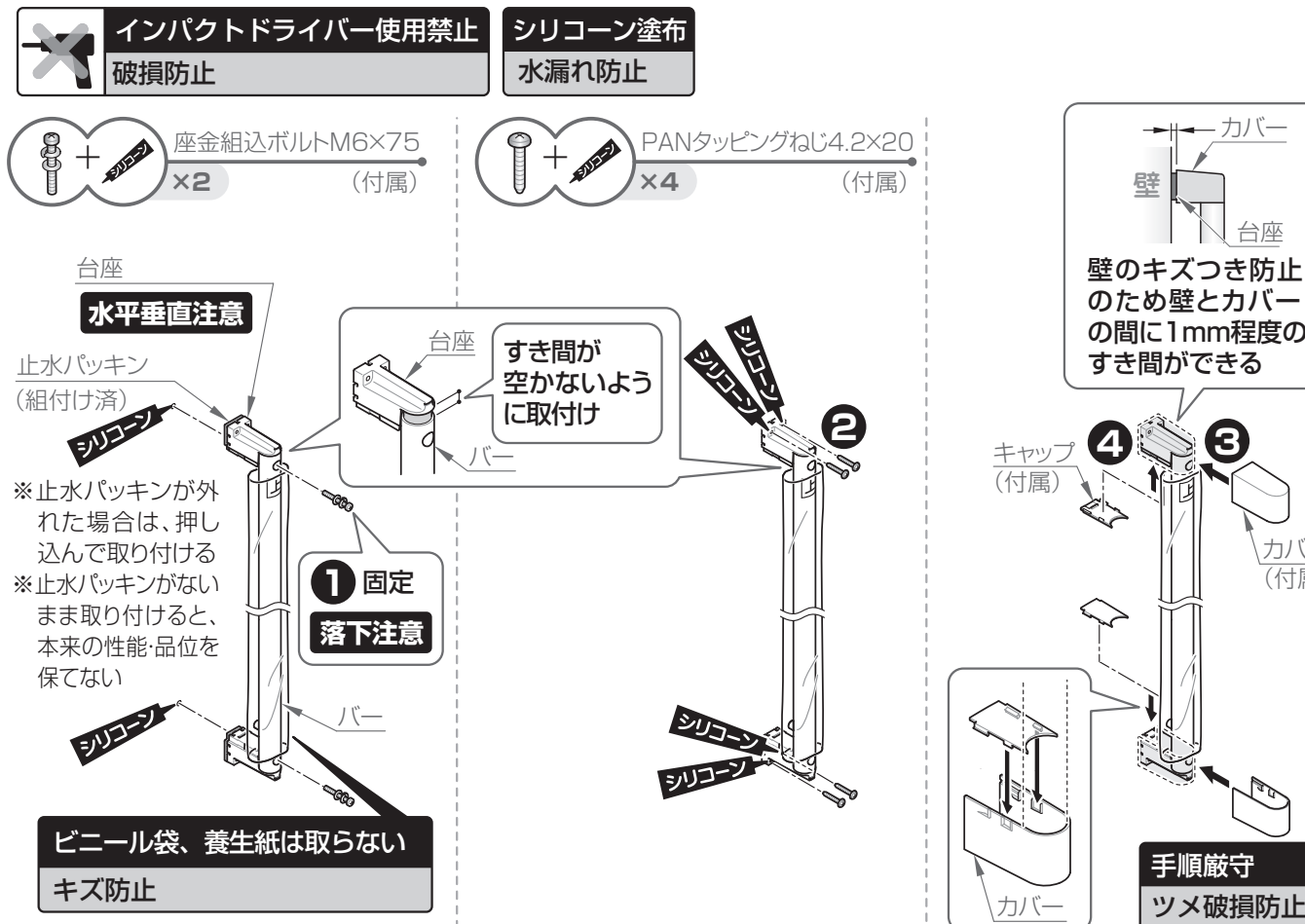
インテリア・バー

取付け前にスライドハンガーの向き確認 K-13ページ参照

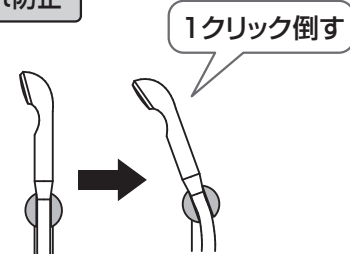
ハンガーの位置調整



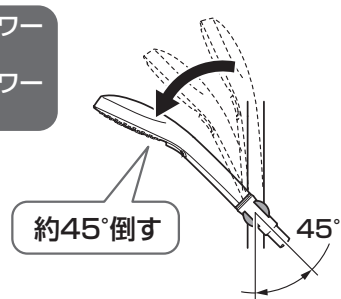
手すり固定 ※図はスライドハンガー仕様



スライドハンガー角度調整
シャワーヘッド水垂れ防止



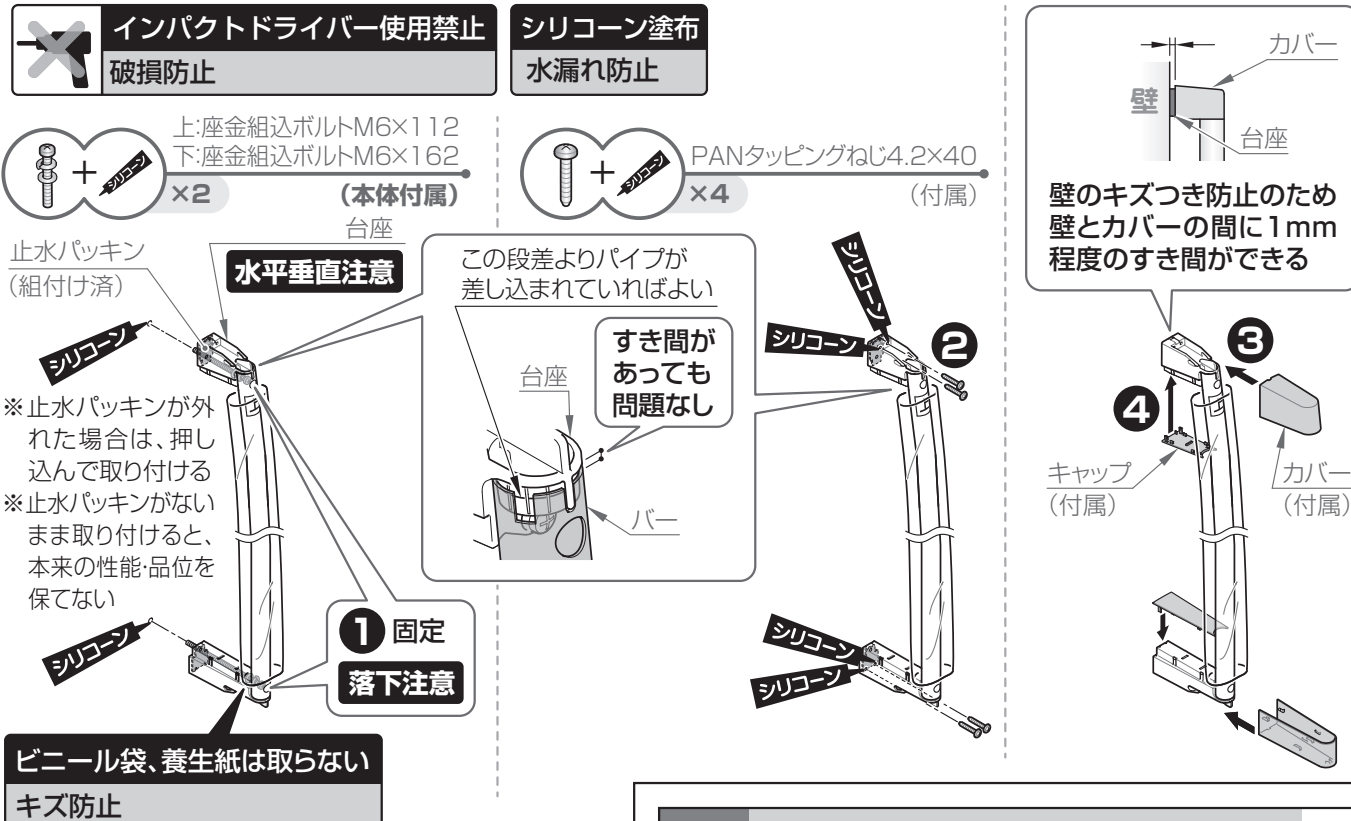
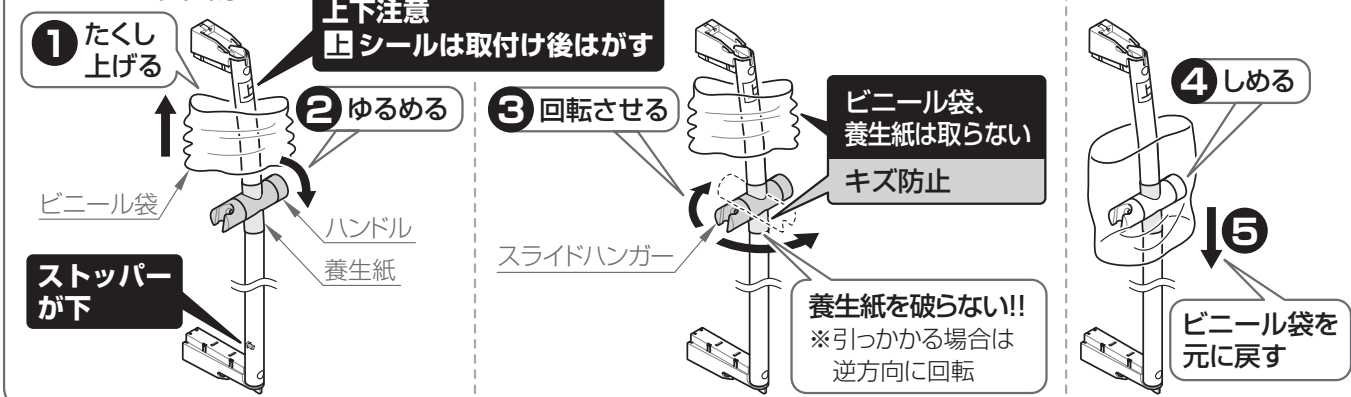
コンフォートウェーブシャワー
3モード(メタル調)/
コンフォートウェーブシャワー
(メタル調)



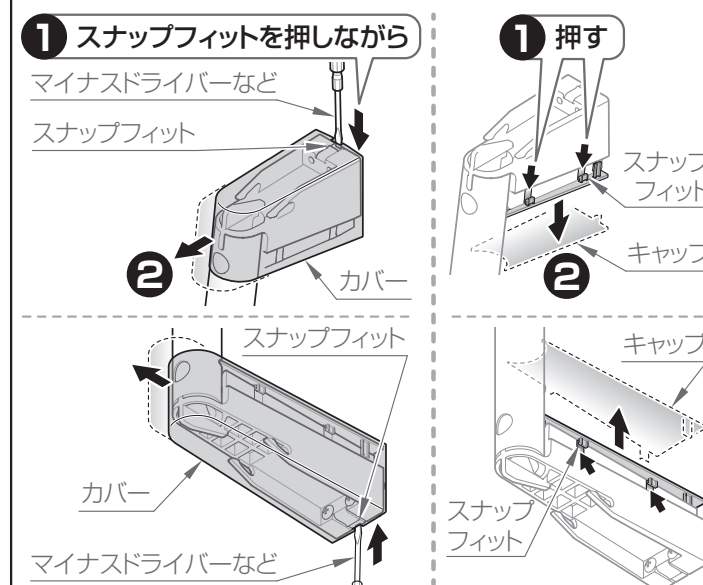
コンフォートシャワーバー

取付け前にスライドハンガーの向き確認 K-13ページ参照

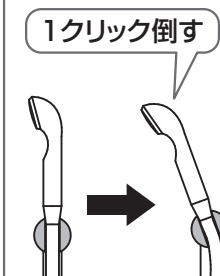
ハンガーの位置調整



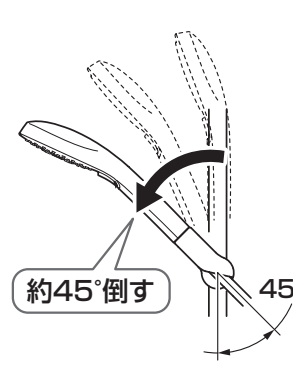
メンテナンス要領 カバーとキャップの外しかた



スライドハンガー
角度調整
シャワーヘッド
水垂れ防止



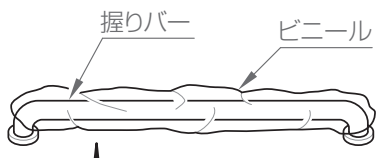
コンフォートウェーブシャワー
3モード(メタル調)/
コンフォートウェーブシャワー
(メタル調)



Jシリーズ(I型・L型・スライドハンガー付)

【取付け前の注意】

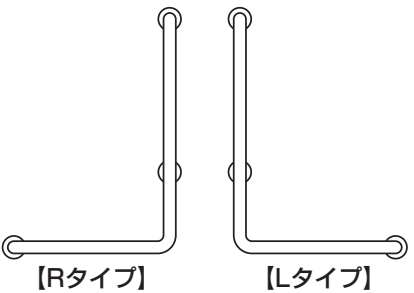
保護カバー



握りバー ビニール

**ビニール袋は取らない
キズ防止**

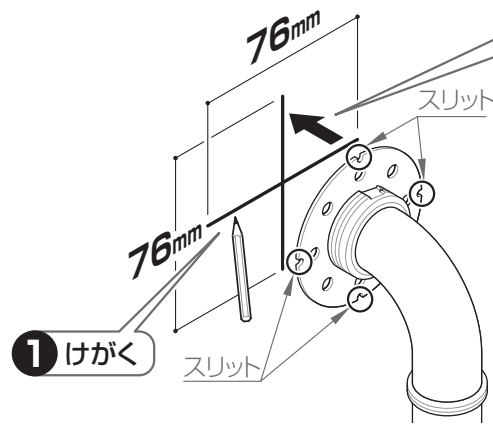
L型のRタイプとLタイプ



[Rタイプ] [Lタイプ]

R/L組替え不可

① 位置出し

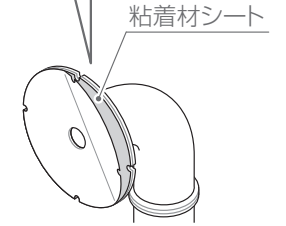


76mm スリット

1 けがく スリット

② 壁に取付け

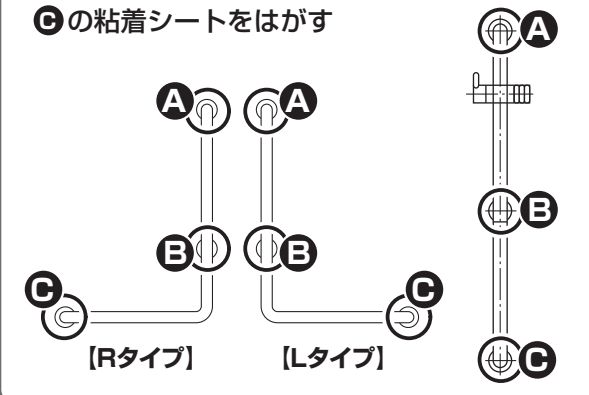
粘着材シートをはがし、
壁に取り付ける



粘着材シート

L型・スライドハンガー付

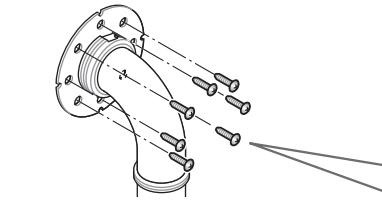
A B の粘着シートをはがして壁に取付け後、
C の粘着シートをはがす



A B C

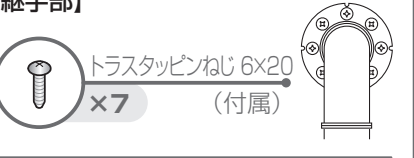
[Rタイプ] [Lタイプ]

④ ねじ固定



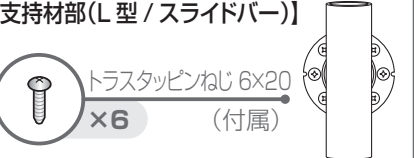
インパクトドライバー使用禁止
空転させない
ビット長さ150mm以上
破損防止

【継手部】



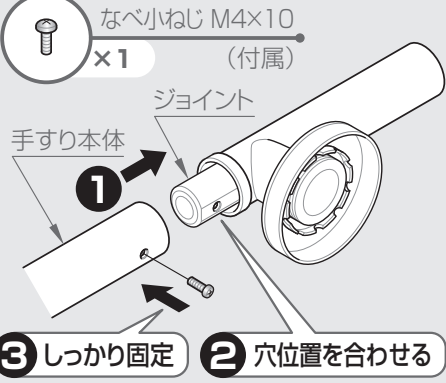
トラスタッピンねじ 6×20
×7 (付属)

【支持材部(L型 / スライドバー)】



トラスタッピンねじ 6×20
×6 (付属)

スライドハンガー付
接続部組立て



なべ小ねじ M4×10
×1 (付属)

ジョイント

手すり本体

1 2 3

3 しっかり固定 2 穴位置を合わせる

③ シリコンコーキング

ねじ打ち前実施



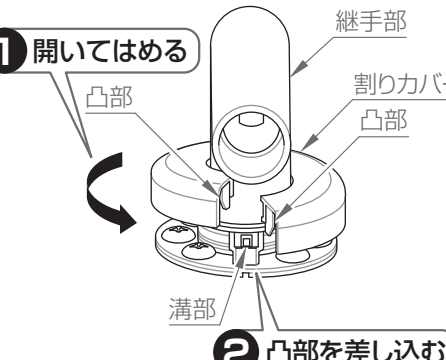
1 ポンチ打ち
下穴不要

フランジ

シリコン

シリコン塗布
水漏れ防止

⑤ 割りカバー取付け



1 開いてはめる

凸部

継手部

割りカバー

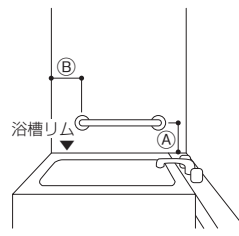
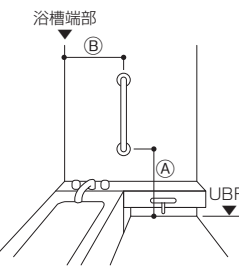
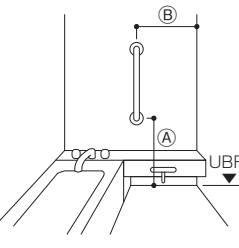
凸部

溝部

2 凸部を差し込む

【インテリア・バー取付推奨位置】シンラHK用

※他の器具(鏡・水栓・スライドバー・窓・ドア・ふろふたなど)と干渉する場合があるので、十分確認したうえで位置を決定すること

	タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
浴槽横 〈浴槽内での立ち座り用〉		全サイズ	600mm	KNR6R	KNR6*
浴槽側正面 〈浴槽出入り用〉		全サイズ	800mm	KBR8R	KBR8*
洗い場正面 〈洗い場立ち座り用〉		全サイズ	800mm	KER8R	KER8*

④: 125

仕様 ファーストクラス浴槽の場合、浴槽中央などの低いリム面からの寸法になります。

	④
1624/1620/1616/1618	500
1717	525
1317	350
1216	300

	④	⑤
1624	800	1100
1620/1717/1616/1317/1216/1618	800 (850)	650 (700)

不可 ワイドミラー(KUW**)と同時選択できません。

不可 GRタイプでは、ワイヤーシェルフ(W400)(ESH78)と同時選択できません。

不可 1624サイズ以外は浴室テレビ(FAA5*/FEE5*)と同時選択できません。

※〈 〉内は1620サイズファーストクラス浴槽(ワイド)の場合

※〈 〉内はBタイプの場合

	④	⑤
1624/1620	800	1100
1618	800	900

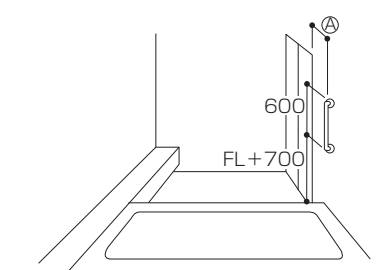
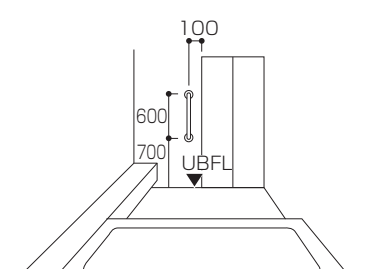
必須 必ずスライドバーなし(SBA00)と同時選択してください。

不可 スライドハンガー付インテリアバー(基本仕様-SBE*R/K**)と同時選択できません。

不可 ワイドミラー(KUW**)と同時選択できません。

		タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
洗い場正面 〈洗い場立ち座り用〉 スライドハンガー付 インテリア・バー	Jシリーズの場合					
	</					

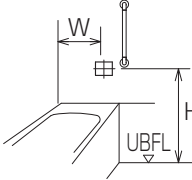
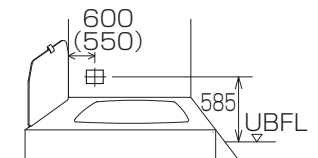
		タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号	
洗い場側 〈洗い場移動用〉 ドア位置 A	ドアが折戸の場合	GR DC	1624 1620 1717 1616 1618	800mm	KVR8R	KVR8*	
	不可 開き戸 (GRBタイプ基本仕様・HDP** /V**) と同時選択できません。 不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため浴室換気暖房乾燥機と同時選択できません。 不可 Bタイプでは、折戸 (HDR**) と同時選択できません。		1317 1216	—	—	—	
	洗い場側 〈洗い場移動用〉 ドア位置 C	ドアが引戸の場合	GR DC	1624 1620 1717 1616 1618	800mm	KVR8R	KVR8*
		不可 開き戸 (GRBタイプ基本仕様・HDP** /V**) と同時選択できません。 不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため浴室換気暖房乾燥機と同時選択できません。		1317 1216	600mm	KVR6R	KVR6*
		B	全サイズ	400mm	KVR4R	KVR4*	
洗い場側 〈洗い場移動用〉 ドア位置 B		ドアが折戸の場合	GR DC	1624 1620	600mm	KVR6R	KVR6*
	不可 開き戸 (GRBタイプ基本仕様・HDP** /V**) と同時選択できません。 不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため浴室換気暖房乾燥機と同時選択できません。	1717 1616 1317 1216		—	—	—	
		B	1618	400mm	KVR4R	KVR4*	
		B	1624 1620	600mm	KVR6R	KVR6*	
	ドアが引戸の場合	GR DC	1624 1620	800mm	KVR8R	KVR8*	
不可 開き戸 (GRBタイプ基本仕様・HDP** /V**) と同時選択できません。 不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため浴室換気暖房乾燥機と同時選択できません。	1717 1616 1317 1216		400mm	KVR4R	KVR4*		
		B	全サイズ	800mm	KVR8R	KVR8*	
		B	全サイズ	400mm	KVR4R	KVR4*	

		タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号																																				
ドア横縦 〈浴室出入り用〉 ドア位置 A C	ドアが折戸・開き戸の場合  Ⓐ寸法は浴室サイズ・ドア幅・浴槽種類により異なります。 詳細は見積り・商品図面サービスでご確認ください。 必須 1717/1616サイズの場合、3枚割ふた (YPH13) を同時選択してください。 不可 1317サイズは選択できません。 不可 ドア位置変更 (HCA14 / 03 / 02 / 01) と同時選択できません。 不可 引戸 (HDJ **) と同時選択できません。 手すりセレクト選択可否一覧表 <table><tr><th rowspan="2">タイプ</th><th rowspan="2">サイズ</th><th rowspan="2">浴槽種類</th><th colspan="2">ふろふた仕様</th></tr><tr><th>2枚割ふた (断熱仕様)</th><th>3枚割ふた (断熱仕様)</th></tr><tr><td rowspan="8">GRBDC</td><td>1624</td><td>スーパーワイド浴槽</td><td>○</td><td>—</td></tr><tr><td>1620</td><td>全浴槽</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>1717</td><td>ストレート浴槽</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>1616</td><td>ストレート浴槽</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>1317</td><td>ストレート浴槽</td><td>×</td><td>—</td></tr><tr><td>1216</td><td>ストレート浴槽</td><td>○</td><td>—</td></tr><tr><td>1618</td><td>ストレート浴槽</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	タイプ	サイズ	浴槽種類	ふろふた仕様		2枚割ふた (断熱仕様)	3枚割ふた (断熱仕様)	GRBDC	1624	スーパーワイド浴槽	○	—	1620	全浴槽	○	○	1717	ストレート浴槽	×	○	1616	ストレート浴槽	×	○	1317	ストレート浴槽	×	—	1216	ストレート浴槽	○	—	1618	ストレート浴槽	○	○	GRBDC	全サイズ	600mm	KAR6R	KAR6*
	タイプ				サイズ	浴槽種類	ふろふた仕様																																			
2枚割ふた (断熱仕様)		3枚割ふた (断熱仕様)																																								
GRBDC	1624	スーパーワイド浴槽	○	—																																						
	1620	全浴槽	○	○																																						
	1717	ストレート浴槽	×	○																																						
	1616	ストレート浴槽	×	○																																						
	1317	ストレート浴槽	×	—																																						
	1216	ストレート浴槽	○	—																																						
	1618	ストレート浴槽	○	○																																						
	ドア横縦 〈浴室出入り用〉 ドア位置 B D	ドアが折戸・開き戸の場合  不可 ドア位置変更 (HCA14 / 03 / 02 / 01) と同時選択できません。 不可 引戸 (HDJ **) と同時選択できません。 不可 開き戸 + FIX窓 (HDV **) と同時選択できません。	GRDC	全サイズ	600mm	KAR6R	KAR6*																																			
B		全サイズ	—	—	—																																					

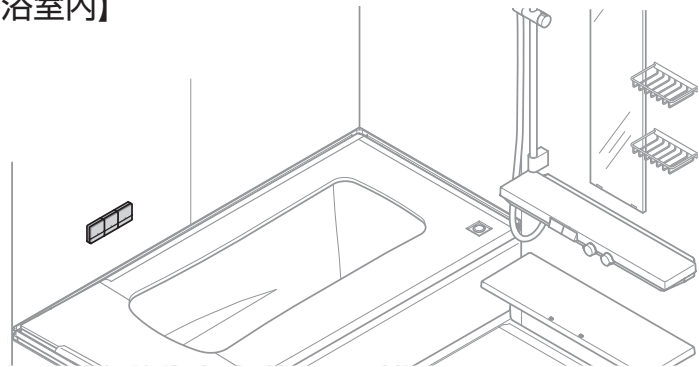
リモコン

【給湯機リモコン参考位置】

※他の器具(手すり・窓・鏡など)と干渉する場合があるので、十分確認したうえで位置を決定すること
正面側の参考位置に取り付けられない場合は、側面側を検討すること
正面側で参考位置以外に取り付ける場合は、壁裏配管と干渉しないように十分確認すること

正面側					側面側	
	サイズ	タイプ	W	H		()内は1317/1216サイズ 上記位置の場合はインテリア・バー (浴槽横)なしを選択してください。
	1624	GRDC B	775	620 920		
	1624以外	GRDC B	375	620 920		

[リモコン取付イメージ図] 【浴室内】



【浴室外】電気工事区分

- 給湯機
- 床ワイパー洗浄

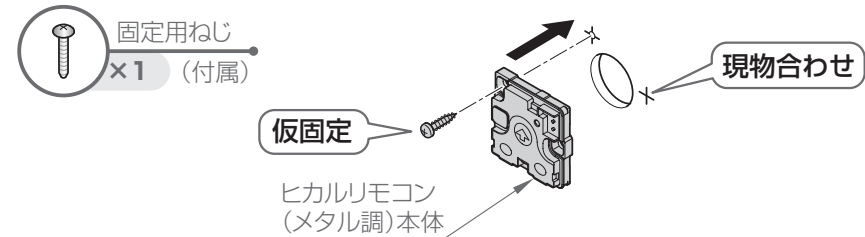
ヒカルリモコン [浴室内設置]

浴室内設置 | 単独

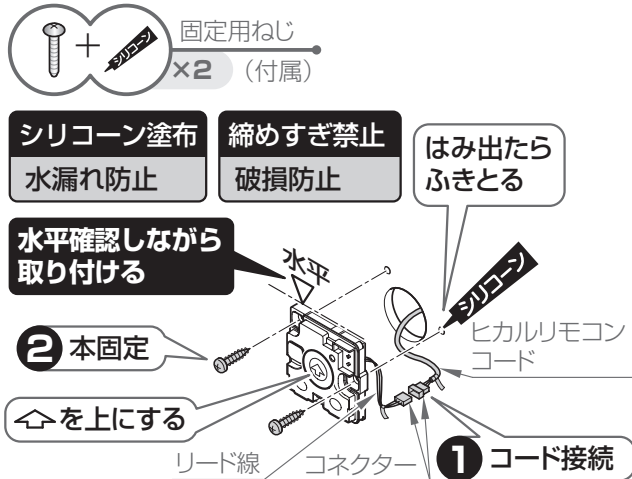
① ケガキ図にてケガく



② ヒカルリモコン本体仮固定

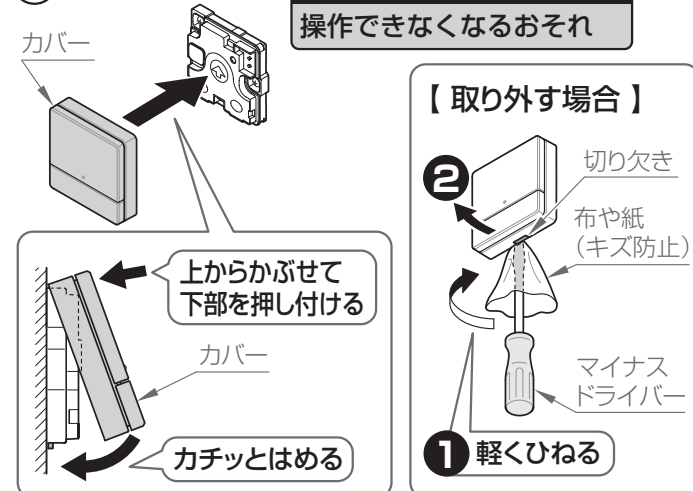


③ ヒカルリモコン本体固定



④ カバー取付け

カバーは確実に取り付ける
操作できなくなるおそれ



2連

① 付属のヒカルリモコン用
ケガキシートにてケガク

ポンチ打ち(4カ所)

※φ32穴加工ありの場合は現物合せ

② ヒカルリモコン本体仮固定

固定用ねじ
×1 (付属)

仮固定

ヒカルリモコン
(メタル調) 本体

③ ヒカルリモコン本体固定

固定用ねじ
×4 (付属)シリコン塗布
水漏れ防止締めすぎ禁止
破損防止水平確認しながら
取り付けるはみ出たら
ふきとる

② 本固定

△を上にする

リード線

コネクター

① コード接続

ヒカルリモコン
コード

④ カバー取付け

カバーは確実に
取り付ける
操作できなくなるおそれ

カバー

上からかぶせて
下部を
押し付けるカバー
カチッとほめる※取り外す場合は
「単独」と同様

3連

① 付属のヒカルリモコン用
ケガキシートにてケガク

ポンチ打ち(6カ所)

※φ32穴加工ありの場合は現物合せ

② ヒカルリモコン本体仮固定

固定用ねじ
×1 (付属)

仮固定

ヒカルリモコン
(メタル調) 本体

③ ヒカルリモコン本体固定

固定用ねじ
×6 (付属)シリコン塗布
水漏れ防止締めすぎ禁止
破損防止水平確認しながら
取り付けるはみ出たら
ふきとる

② 本固定

△を上にする

リード線

コネクター

① コード接続

ヒカルリモコン
コード

④ カバー取付け

カバーは確実に
取り付ける
操作できなくなるおそれ

カバー

上からかぶせて
下部を
押し付けるカバー
カチッとほめる※取り外す場合は
「単独」と同様

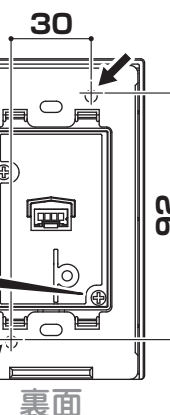
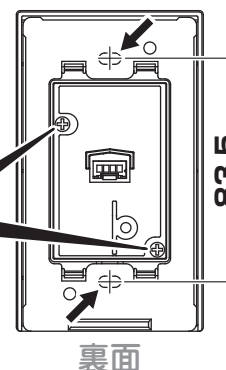
床ワイパー洗浄用リモコン [浴室外設置] 電気工事

※リモコンコードはシステムバスルーム組立て時に脱衣所・台所等へ延ばしておくこと

浴室内取付け禁止
故障防止リモコンは確実に取り付ける
動作不良防止スイッチボックス等に取り付ける場合は、ねじを締めすぎない
フレームが変形してリモコンがうまく入らなくなったり、
フレームと壁のすき間が大きくなる原因

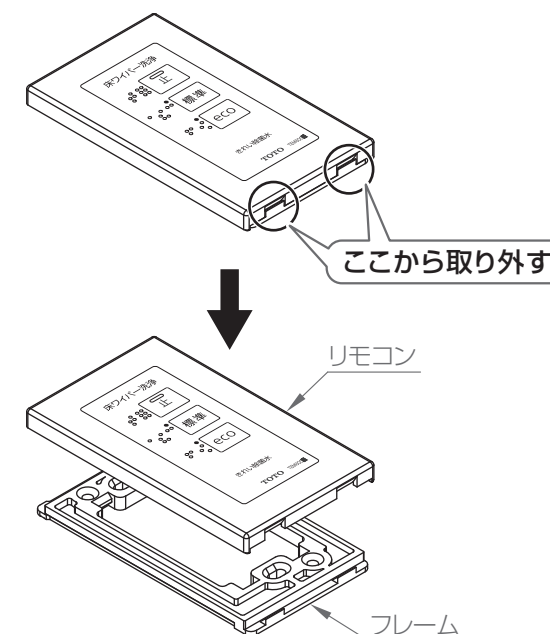
【リモコン取付用穴の使い分け】

壁に直接取り付ける場合

このねじは
外さないスイッチボックス
(材工別途)等使用の場合このねじは
外さない

壁に直接取り付ける場合

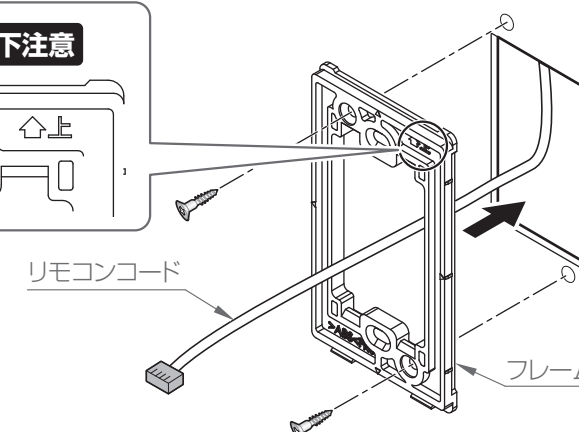
① リモコンからのフレーム取外し



② フレーム壁固定

皿木ねじ4.1×16
×2 (付属)手締め厳守
破損防止

上下注意

フレームと壁のすき間が大きくなり過ぎたときは、
締め付け量を調整する

③ リモコン固定

リモコンコード断線注意

① リモコンコード接続

コネクター
クランプ
(リモコン付属)

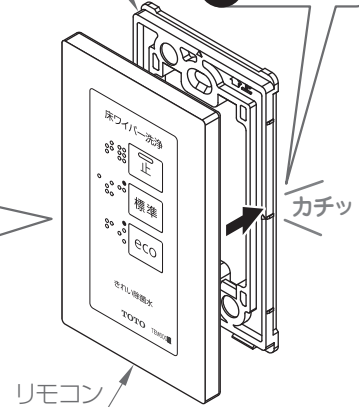
リモコンコード

② 固定

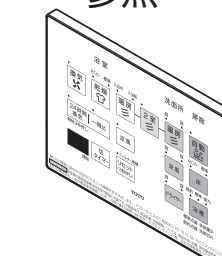
十字穴付タッピンねじ4×10
×1 (付属)

フレーム

③ はめ込む



リモコン

マルチリモコン
[浴室外設置]
電気工事同梱 設置説明書
参照

※イラストは一例

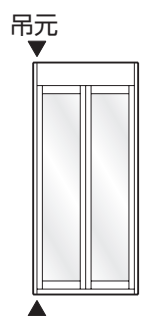
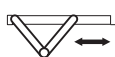
L1. ドア(折戸)

(浴室側から見て)
右吊元
のみ

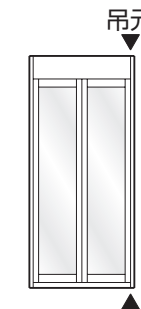
1 吊元交換

- 出荷時は浴室側から見て左吊元
※右吊元の場合は吊元交換実施

浴室側から見て左吊元
→そのまま使用



浴室側から見て右吊元
→吊元交換



〈吊元交換方法〉

① ストッパー交換

ストッパーは必ず取付け

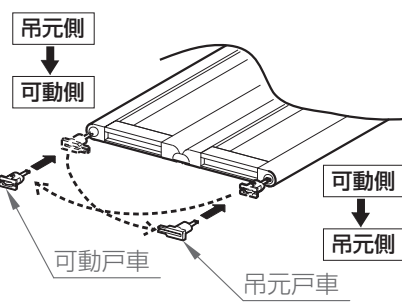
浴室側

ストッパー

押す ストッパー

左右に振りながら
引き抜く

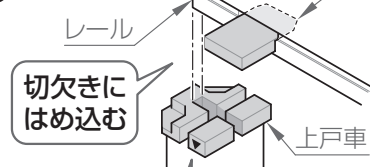
② 戸車交換



2 障子吊込み

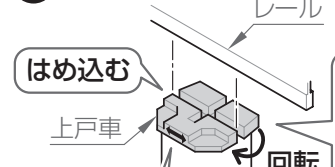
① 吊込み

③ 吊元側



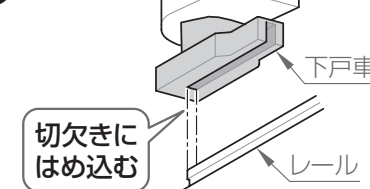
向きに注意 「▼」が浴室側

④ 可動側



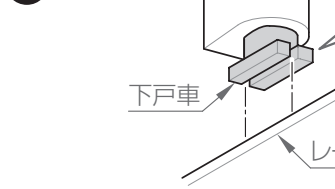
向きに注意 「←」が浴室側

① 吊元側



切欠きにはめ込む

② 可動側



はめ込む

② 開閉確認

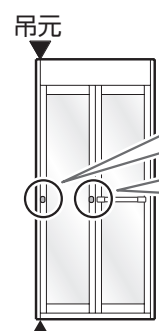
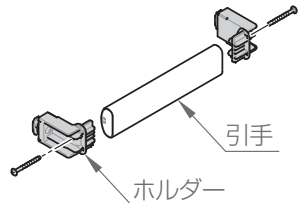
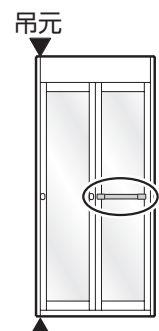
上下の戸車が正しくセットされていないと、障子が外れるおそれあり

3 引手取付け

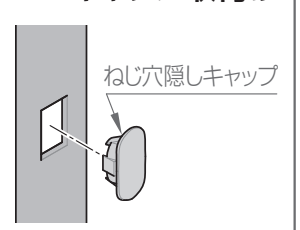
手締め厳守
ドア破損防止

浴室側

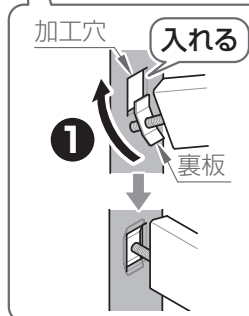
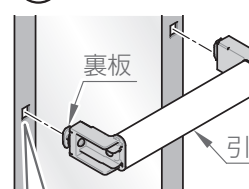
① ホルダー取付け



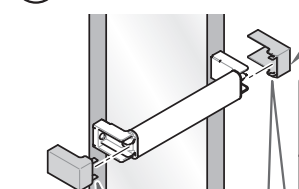
④ ねじ穴隠しキャップ取付け



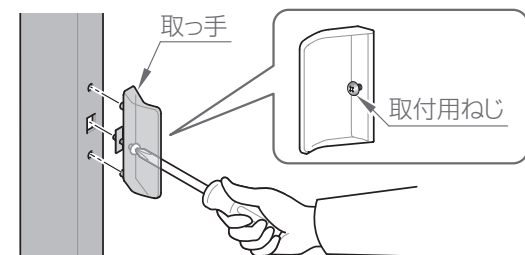
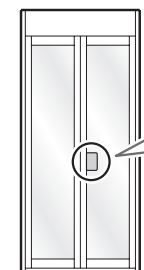
② 引手取付け



③ キャップ取付け



洗面所側

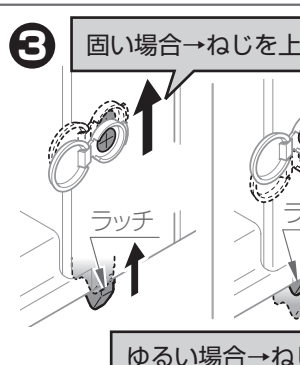
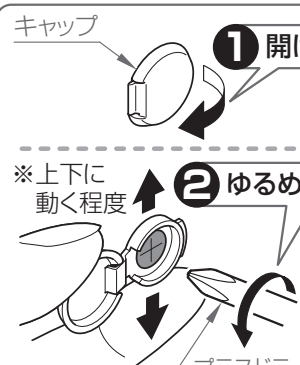


4 ラッチ調整

初期設定は一番上げた(ゆるい)状態のため、必ず調整

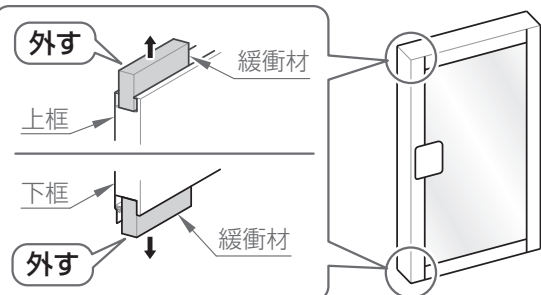
手締め厳守
ドア破損防止

※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない
※調整機能は下ラッチのみ



L2. ドア（開き戸）

1 緩衝材取外し

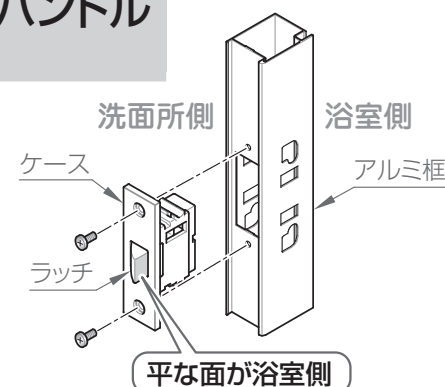


2 ドアロック・ハンドル 取付け

① ケース取付け

小ねじ4×10
x2 (付属)

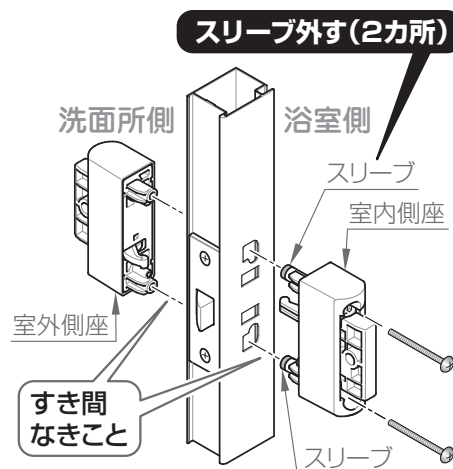
手締め厳守
ドア破損防止



② 座取付け

小ねじ4×45
x2 (付属)

手締め厳守
ドア破損防止

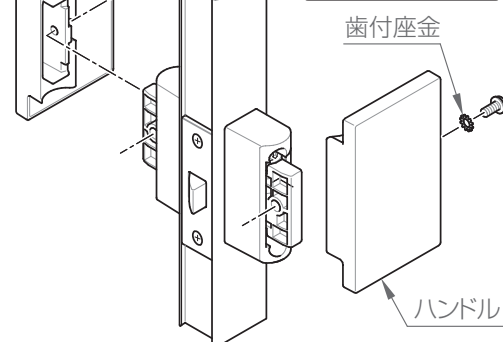


③ ハンドル取付け

小ねじ4×12
x2 (付属)

手締め厳守
ドア破損防止

締め過ぎ注意
※ハンドルと室内側座が当たり、ハンドルが固くなりもどらなくなるおそれあり



④ ハンドルキャップ取付け

【A矢視図：キャップ】



⑤ ハンドル動作確認

ハンドルがスムーズに動くこと

動きが固い場合→③ハンドル取付けからやり直し

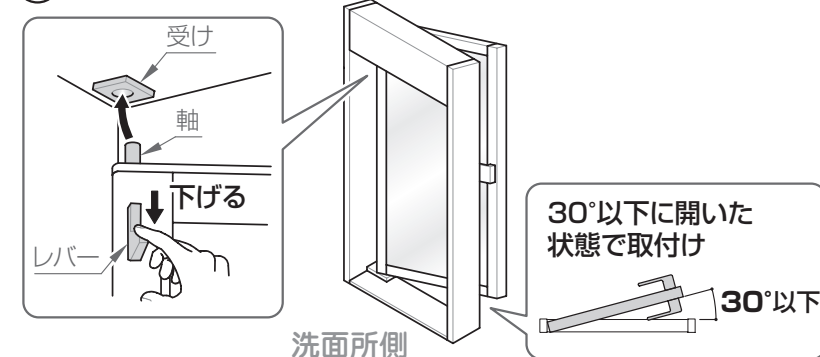
3 障子吊込み

- 障子は必ず開いた状態で作業を行う
- 作業は洗面所側から行う

① 下部はめ込み

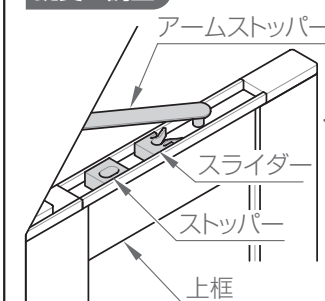


② 上部はめ込み

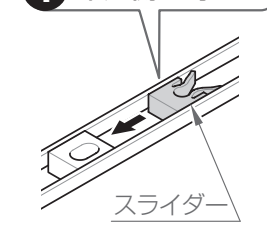


③ アームストッパーとスライダーの連結

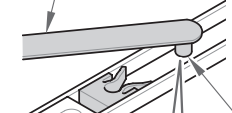
錠受の調整



① 吊元側へ寄せる



アームストッパー



② ストッパーより戸先側に挿入

③ ドアを開いて連結



※アームストッパーの軸がスライダーに連結される

④ 開閉確認 必ず実施

4 調整

手締め厳守
ドア破損防止

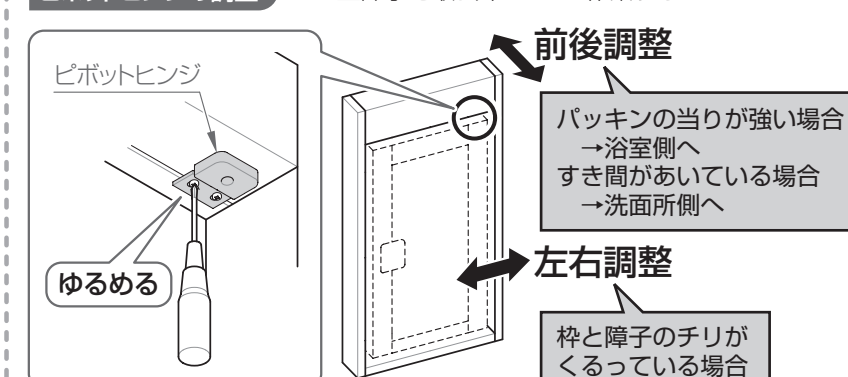
- すべての調整において、調整後は再度ねじをしっかりと締める
- ※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

錠受の調整

ラッチのかかりが悪い場合 → 浴室側へ
障子のガタツキが大きい場合 → 洗面所側へ



ピボットヒンジの調整 ※一旦障子を取り外してから作業すること



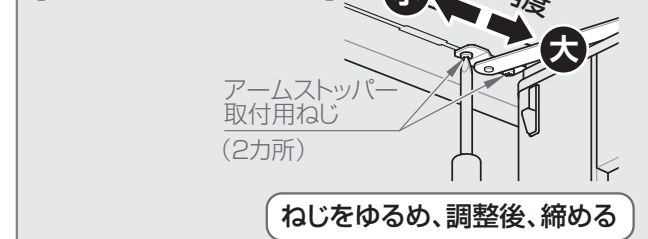
ドア開口角度の調整 広げたい場合 ※初期設定は約70°

勢いよくドアを開けた場合、調整した角度より大きく開くため注意する

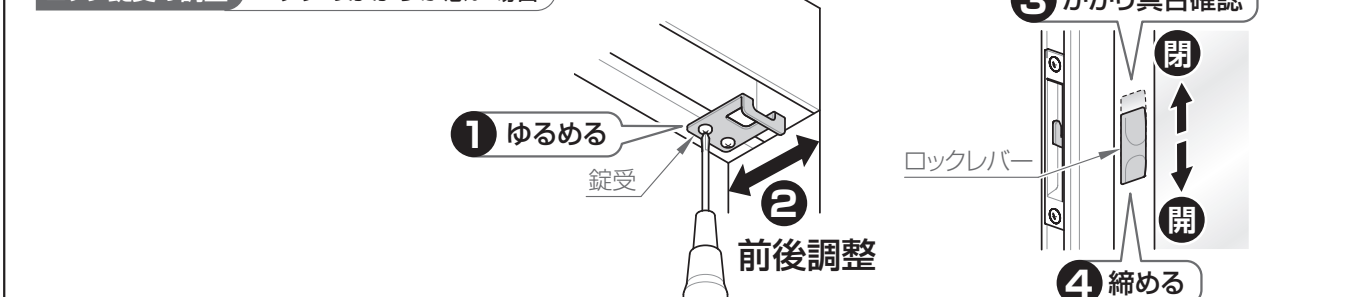
【約80°、90°に変更】



【微調整(1~2°程度)】



ロック錠受の調整 ロックのかかりが悪い場合



5 開閉確認

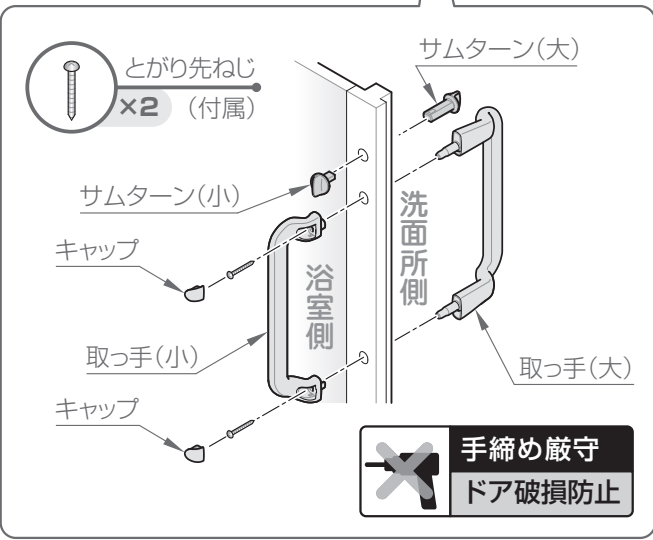
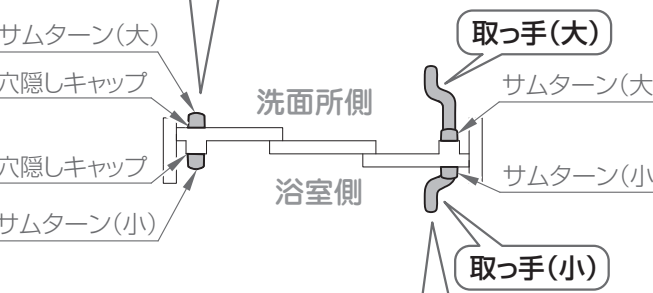
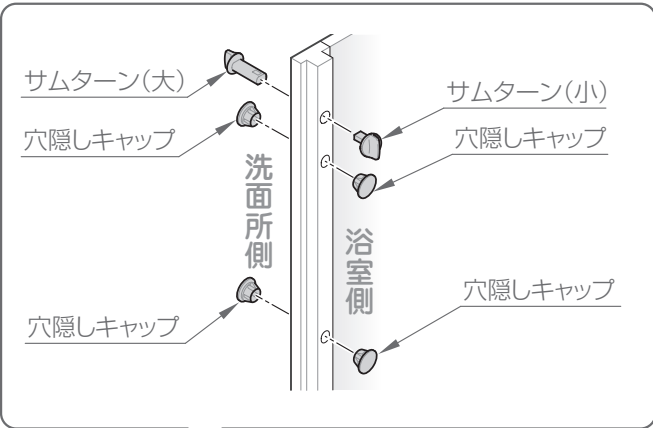
- ※異常があった場合、前述の調整を繰り返し、場合によっては取付開口部の垂直度、水平度を確認すること

L3. ドア(3枚引戸)

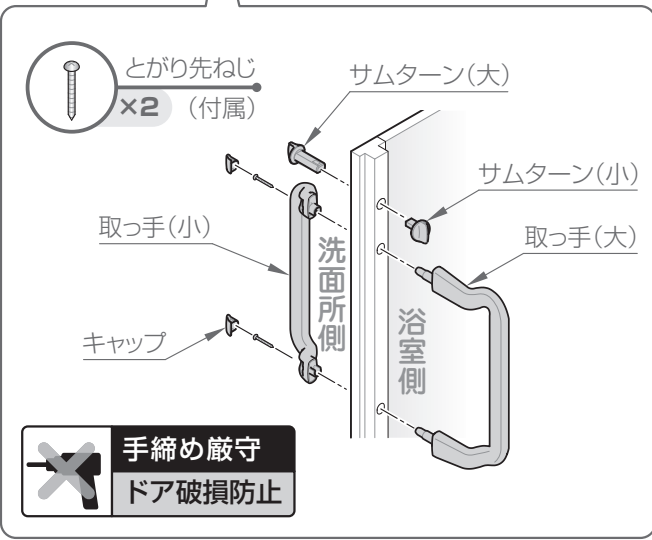
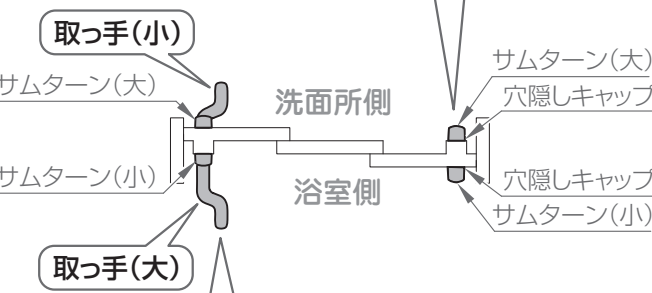
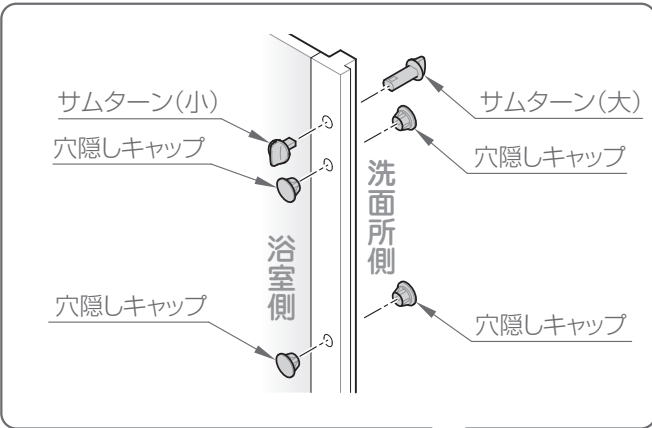
1 取っ手・サムターン取付け

大型ハンドル

洗面所側から見て左取っ手

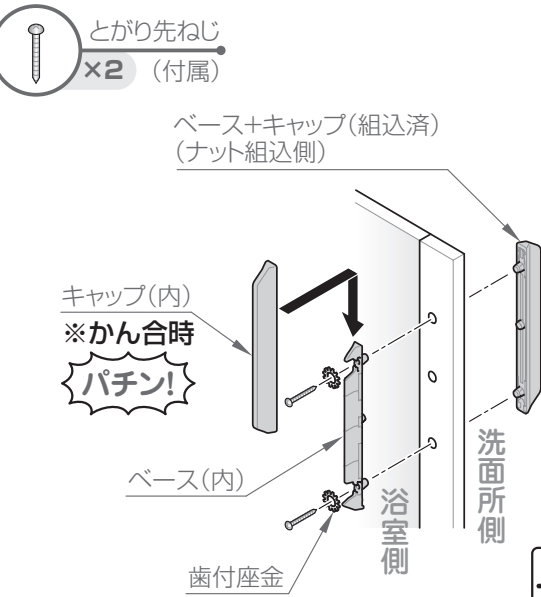


洗面所側から見て右取っ手

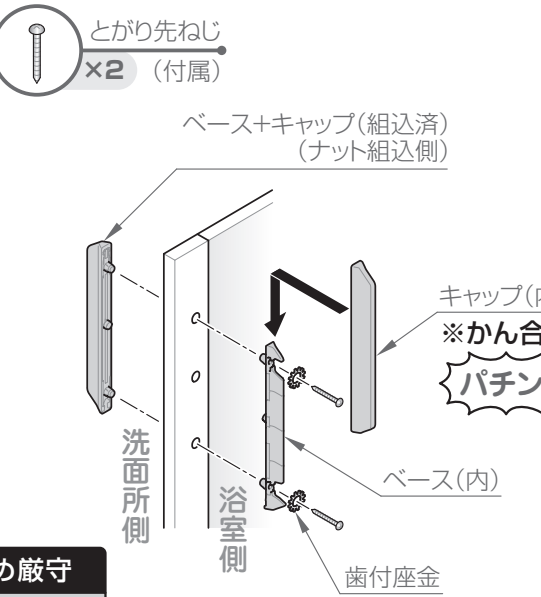


スリムハンドル

洗面所側から見て左取っ手



洗面所側から見て右取っ手



手締め厳守
ドア破損防止

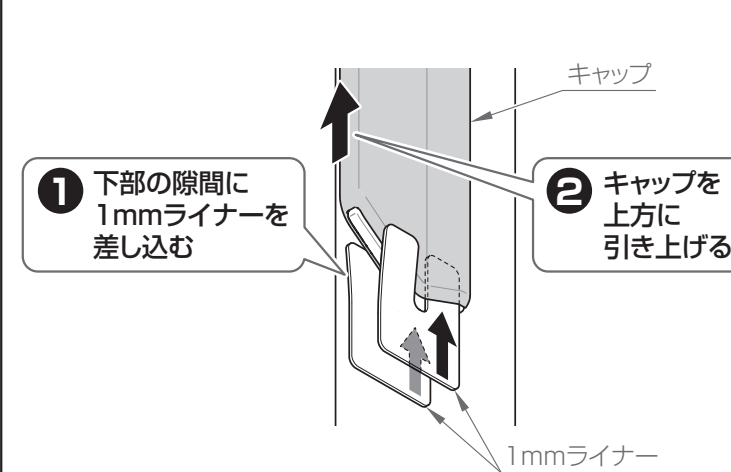
締め過ぎ注意
障子を変形させないため (キャップがセットできなくなります)

必ず、すき間を確認すること

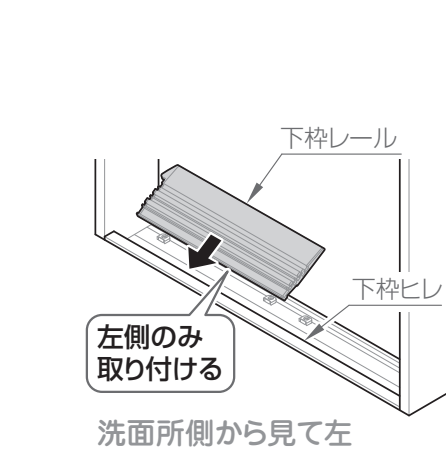


※サムターンと穴隠しキャップの取付けは、左記(大型ハンドル)を参照

メンテナンス要領 キャップの取外しかた



2 下枠レール取付け(一部)



3 障子取付け

●作業は洗面所側から行う

【障子取付け時注意】



大型ハンドルの場合

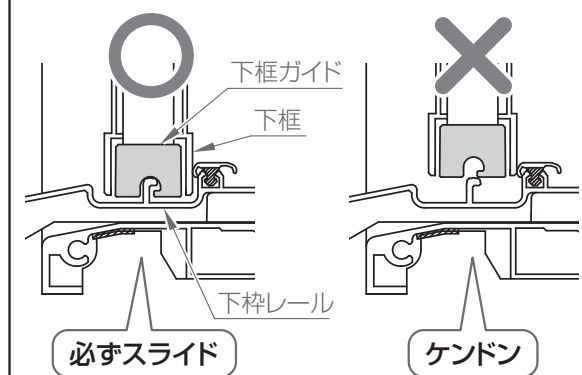
この内側に下枠ガイドが
セットされる
下枠レールに合わせた
凹形状溝

手順通り組み立てる

※スリムハンドルの場合
下枠ガイドはなし
「ケンドン式」で着脱可能



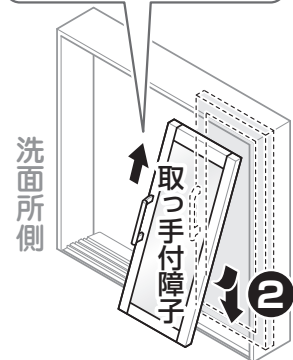
必ず下枠レールにスライドさせて差し込む
これまでのケンドンでの取付けはNG



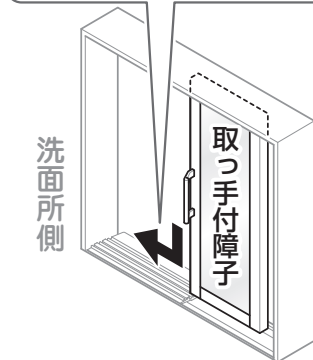
洗面所側から見て左取っ手

① 取っ手付障子取付け

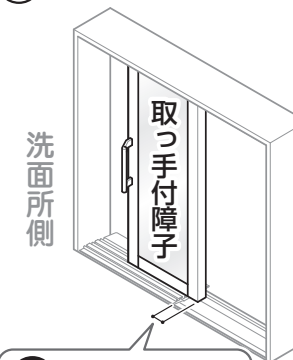
① 下枠レールがない
ところで差し込む



③ 下枠レールに沿って
スライドさせて差し込む

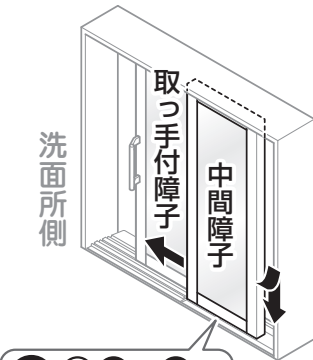


② 中間障子取付け

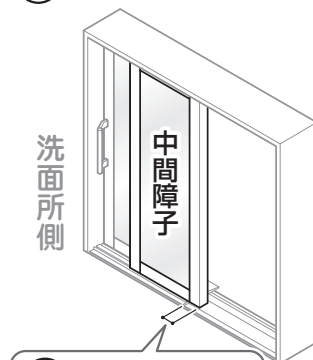


① 下枠レール端部
より約10cm出す

② ①①～③の
手順で取付け

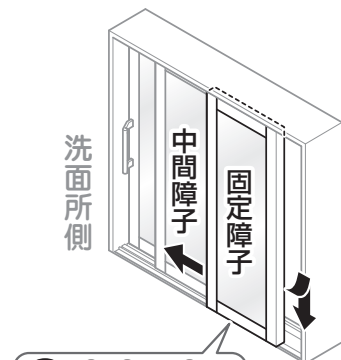


③ 固定障子取付け

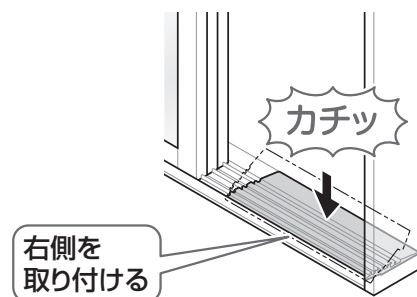


① 下枠レール端部
より約10cm出す

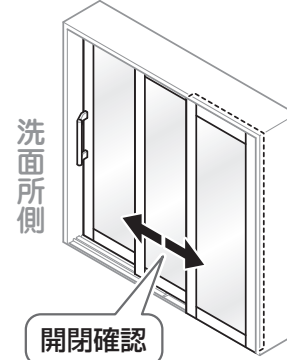
② ①①～③の
手順で取付け



④ 下枠レール取付け



⑤ 取付け後確認



下枠ガイド付障子を両手で
持ち上げ、手前に引いても
外れないことを確認する

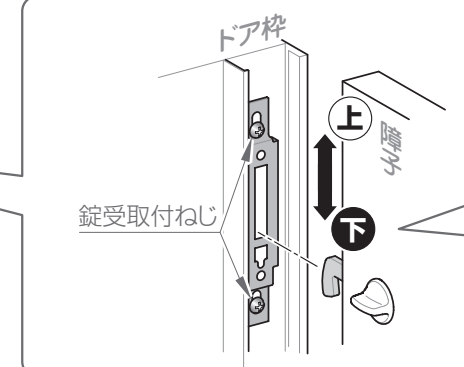
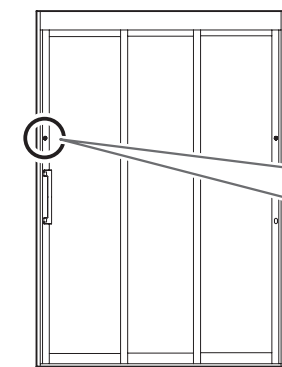


4 調整

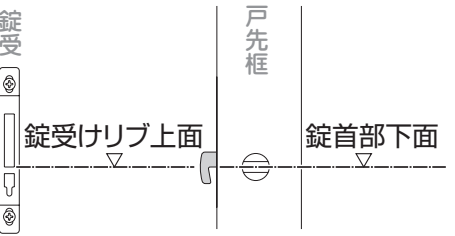
手締め厳守
ドア破損防止

※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

錠受の調整 錠のかかりが悪い場合 → 錠受のねじをゆるめ、上下方向に調整する

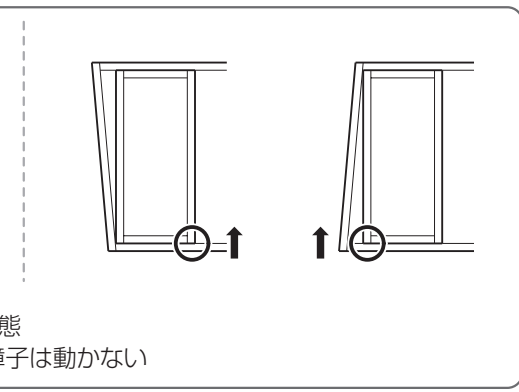
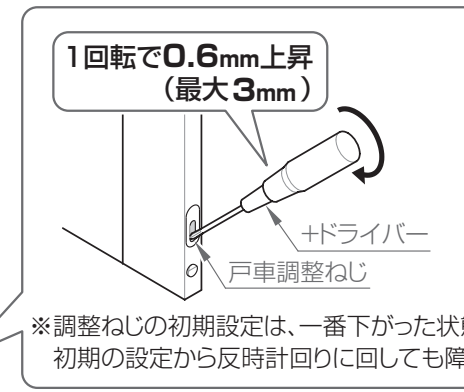
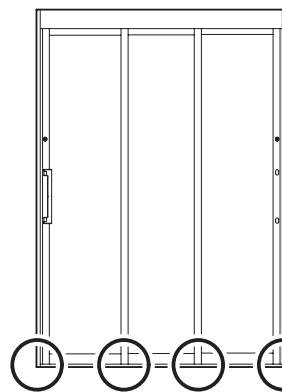


錠受けリブ上面 = 錠首部下面



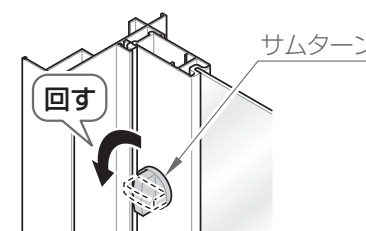
●調整後は再度ねじをしっかりと締めること

戸車の調整 建付けが悪い場合 → 戸車を上下させ、枠と障子のすき間が均等になるように調整し、開閉確認する



※調整ねじの初期設定は、一番下がった状態
初期の設定から反時計回りに回しても障子は動かない

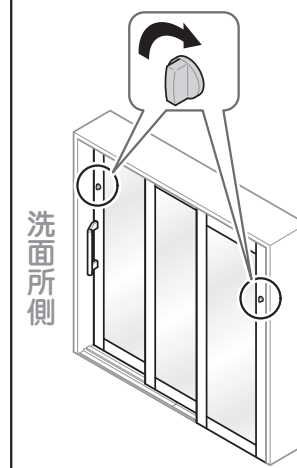
5 固定側障子施錠



障子の取外しかた

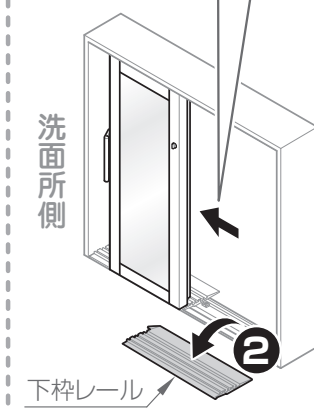
●作業は洗面所側から行う

① ロック解除



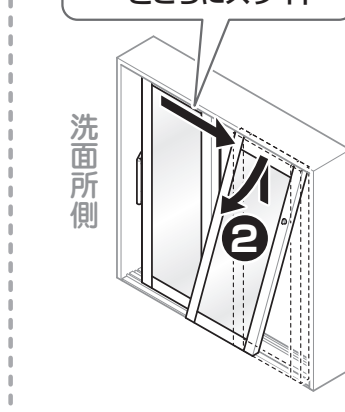
② 片側の下枠レール 取外し

① 障子を片側に寄せる



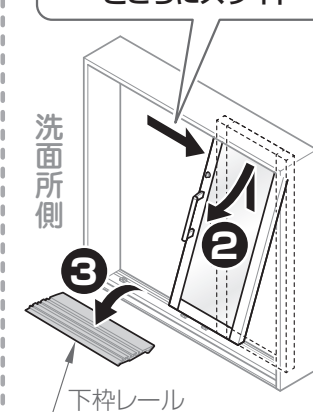
③ 固定障子から 順番に取外し

① 下枠レールのない
ところにスライド



④ 残りの障子、 下枠レール取外し

① 下枠レールのない
ところにスライド



L4. ドア(片／2枚引戸)

片引戸のみ

1

ブロック取付け

※断熱材パックが取り付けられている場合、ブロックが取り付く位置の発泡スチロールを切り欠く

2

袖パネル取付け

① パネル下挿入

洗面所側

下枠アタッチメント

② パネル上挿入

戸当たりが邪魔な場合

一度外してパネル取付け後付け直す

たわませて挿入

上枠アタッチメント

※パネルのたわみは押縁をはめ込むとなくなる

すき間左右均等

3

押縁取付け

洗面所側

押縁

たて骨、たて枠

壁建込み治具

※押縁をはめ込む際にたて枠が逃げる場合は、たて枠を押さえながらはめ込む

すき間がなくなるまでたたき込む

押縁

たて骨、たて枠

壁建込み治具

※押縁をはめ込む際にたて枠が逃げる場合は、たて枠を押さえながらはめ込む

押縁を外す場合

すき間に差し込み、こじって外す

袖パネル

養生

押縁

インテリアパール

4

袖パネル養生

太いマスキングテープ

片引戸：PEシート(障子に付属)
2枚引戸：段ボール(障子の梱包材)
※片引戸は段ボールを使わない

メンテナンス要領

額縁取付け後の押縁の取外しかた

※再度取付けの際は押縁を交換

1

押縁にねじを締め込む

プライヤー

2

プライヤーで引っ張る

3

取っ手・サムターン取付け

大型ハンドル

洗面所側から見て左取っ手

洗面所側

浴室側

取っ手(小)

サムターン(大)

サムターン(小)

取っ手(大)

洗面所側から見て右取っ手

洗面所側

浴室側

取っ手(小)

サムターン(大)

サムターン(小)

取っ手(大)

とがり先ねじ x2 (付属)

サムターン(大)

サムターン(小)

取っ手(大)

取っ手(小)

キャップ

洗面所側

浴室側

取っ手ガイド

台座

2枚引戸のみ

手締め厳守
ドア破損防止

とがり先ねじ x2 (付属)

サムターン(大)

サムターン(小)

取っ手(大)

取っ手(小)

キャップ

洗面所側

浴室側

取っ手ガイド

台座

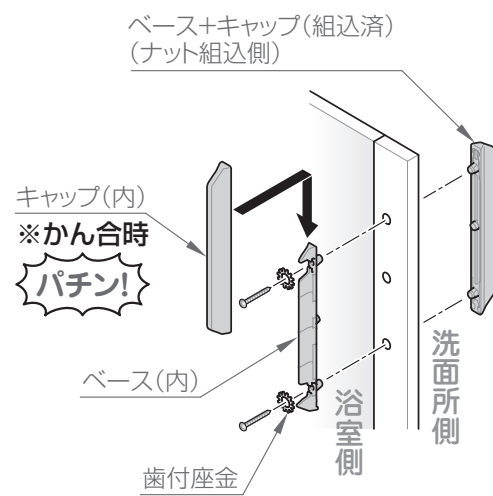
2枚引戸のみ

手締め厳守
ドア破損防止

スリムハンドル

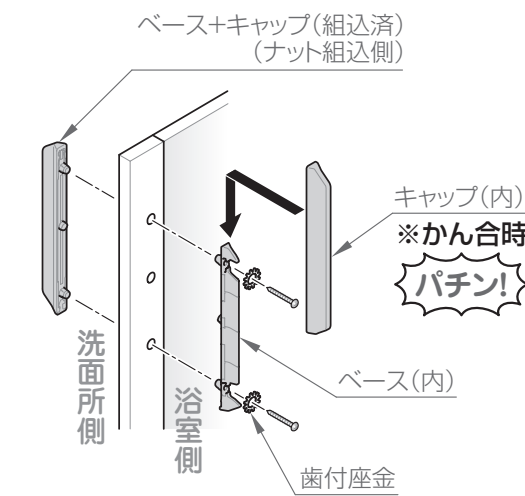
洗面所側から見て左取っ手

とがり先ねじ
×2 (付属)



洗面所側から見て右取っ手

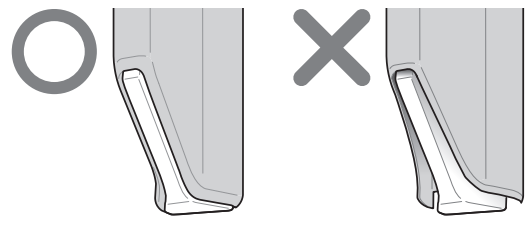
とがり先ねじ
×2 (付属)



手締め厳守
ドア破損防止

締め過ぎ注意
障子を変形させないため(キャップがセットできなくなります)

必ず、すき間を確認すること



※キャップの下端をチェック



すき間がある場合は
指でつまんではめる

※つまんでも入らない場合は、
取付ねじを多少ゆるめる

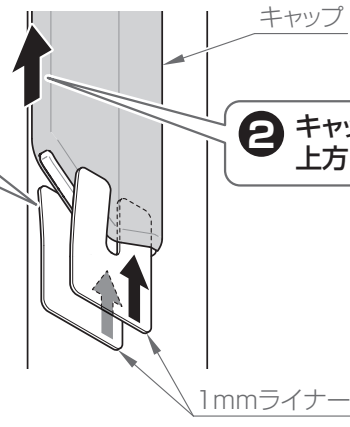
※サムターンと穴隠しキャップの取付けは、L4-2ページ(大型ハンドル)を参照

メンテナンス
要領

キャップの取外しかた

① 下部の隙間に
1mmライナーを差し込む

② キャップを
上方に引き上げる



2枚引戸
のみ

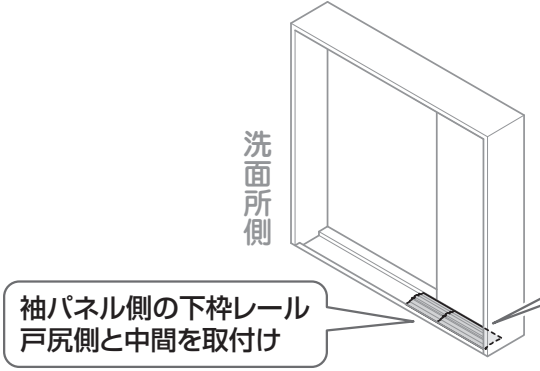
4 下枠レール・障子・下枠カバー取付け

●作業は洗面所側から行う

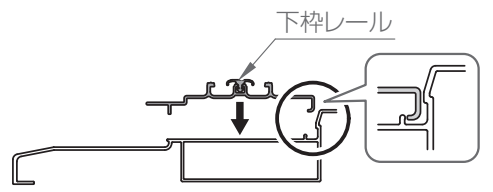
洗面所側から見て左取っ手

- 穴加工2カ所 → 戸先側
- 中央に切欠き → 中間
- 片側のみ穴加工 → 戸尻側

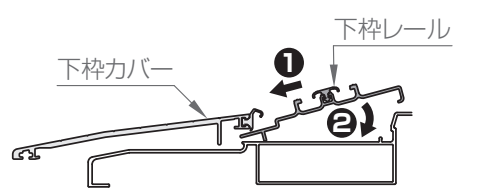
① 下枠レール取付け



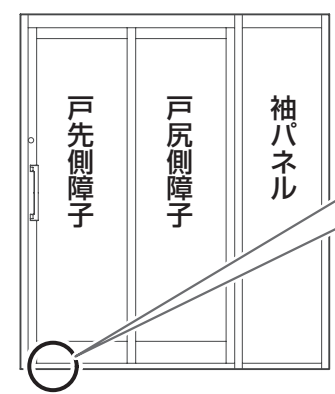
下枠カバーが取り付けしていないとき



下枠カバーが取り付けしているとき



【障子取付け時注意】

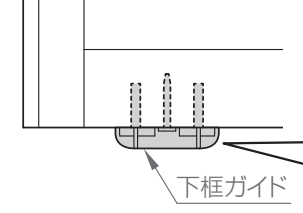


大型ハンドルの場合

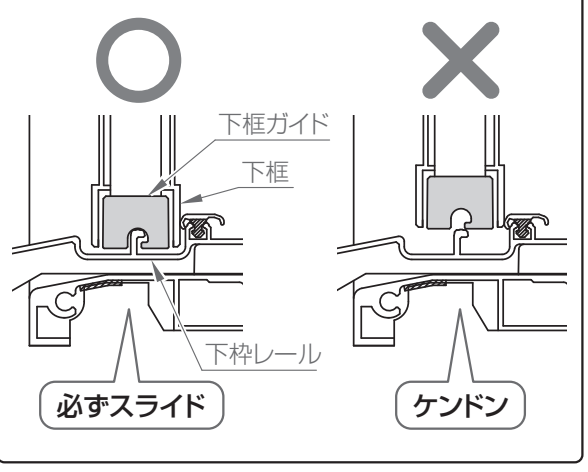
この内側に下枠ガイドが
セットされる
下枠レールに合わせた
凹形状溝

手順通り組み立てる

※スリムハンドルの場合
下枠ガイドはなし
「ケンドン式」で着脱可能

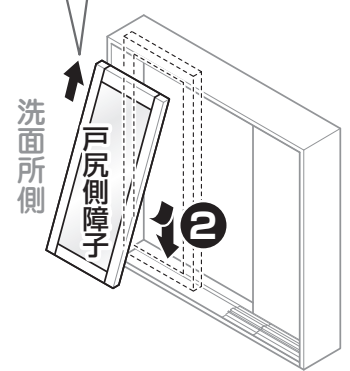


必ず下枠レールにスライドさせて差し込む
これまでのケンドンでの取付けはNG

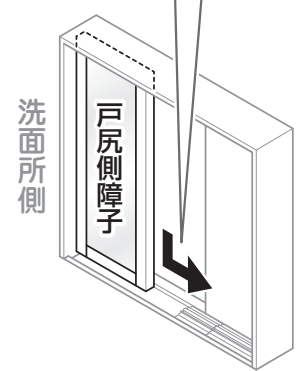


② 戸尻側障子取付け

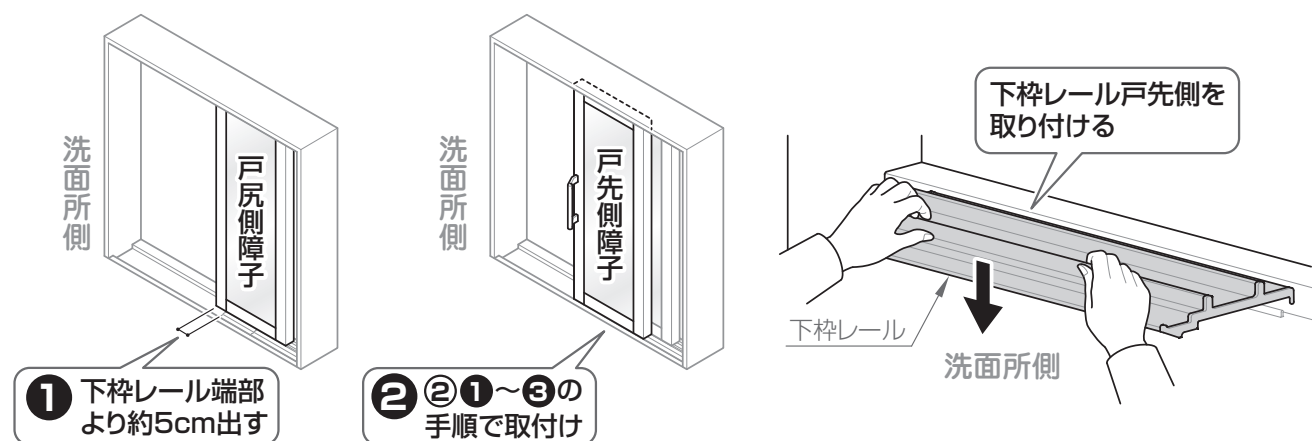
① 下枠レールがない
ところで差し込む



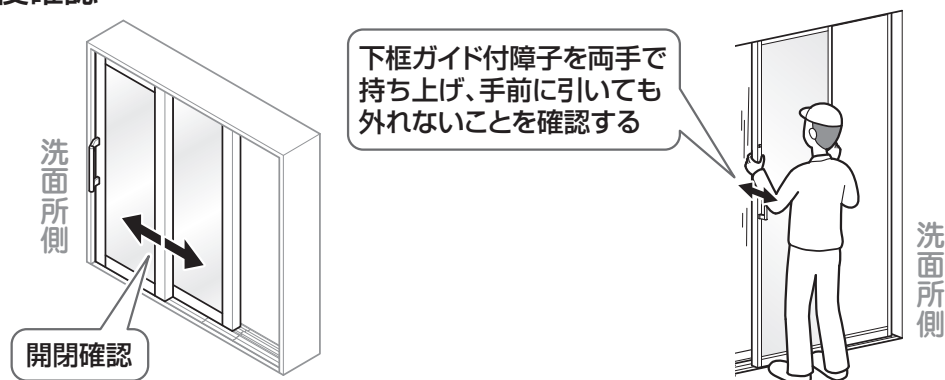
③ 袖パネル側の下枠レールに沿って
スライドさせて差し込む



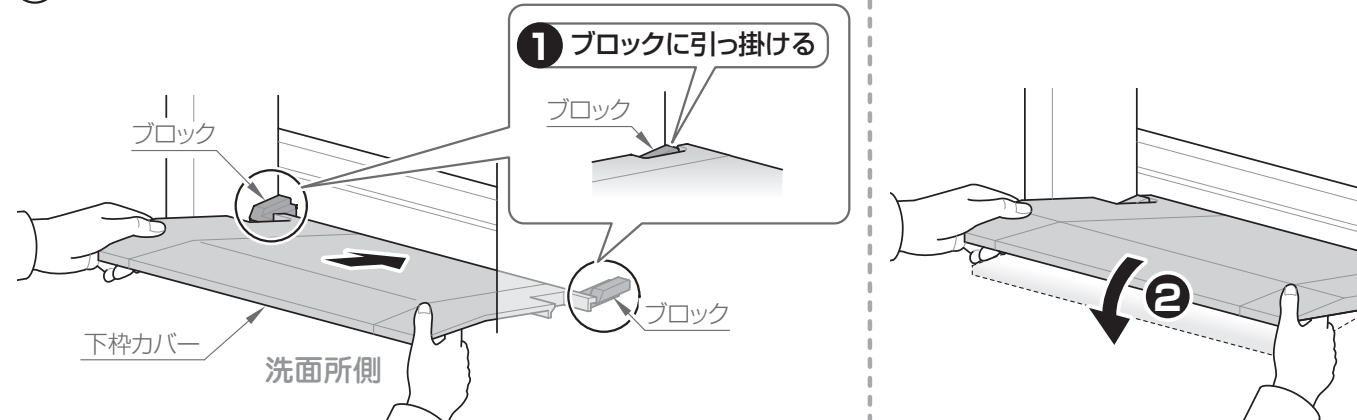
③ 戸先側障子取付け



④ 取付け後確認



⑤ 下枠カバー(開口側)取付け



片引戸のみ **5** 障子取付け

- 作業は洗面所側から行う

洗面所側から見て左取っ手



洗面所側から見て右取っ手

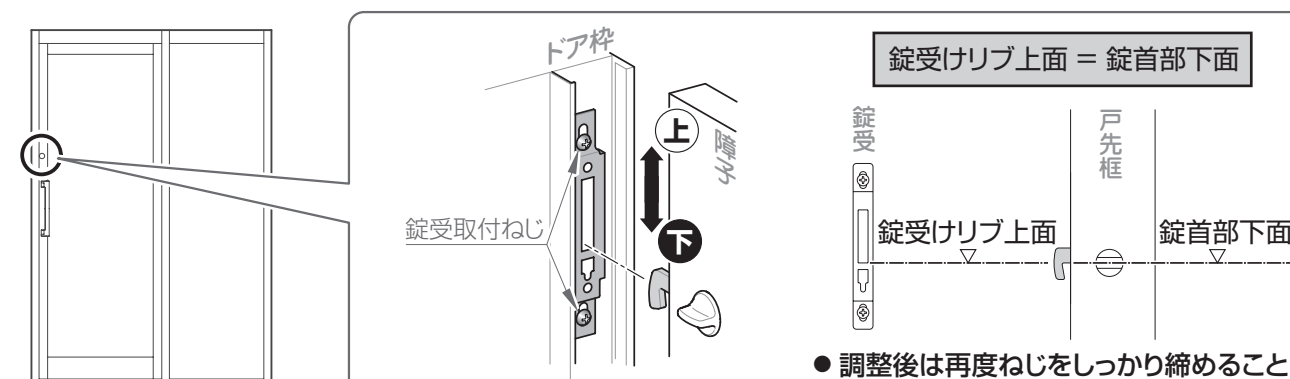


6 調整

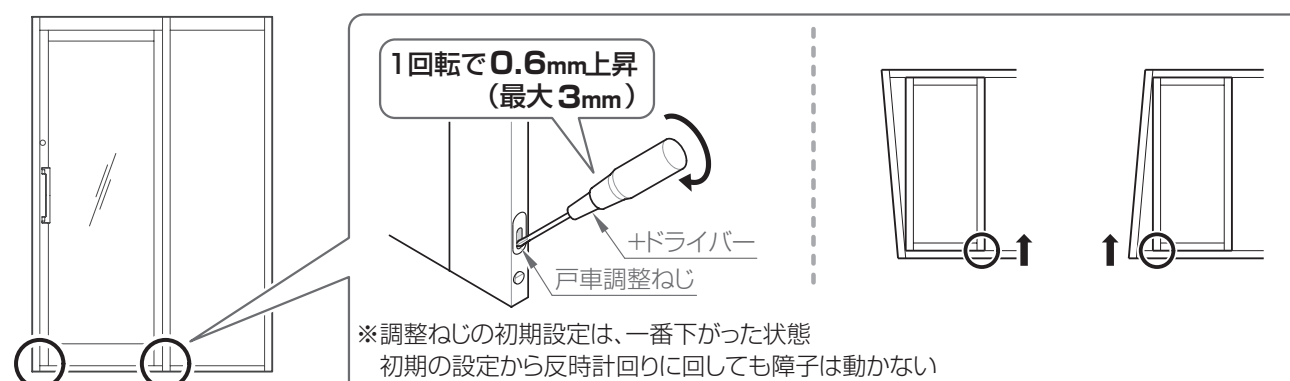


※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

錠受の調整 錠のかかりが悪い場合 → 錠受のねじをゆるめ、上下方向に調整する



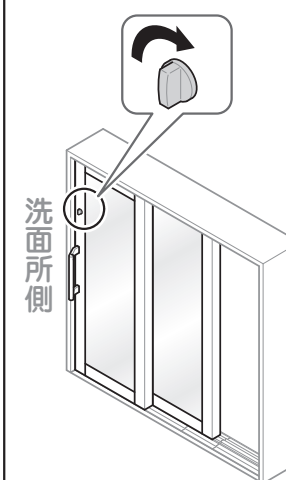
戸車の調整 建付けが悪い場合 → 戸車を上下させ、枠と障子のすき間が均等になるように調整し、開閉確認する



2枚引戸の障子の取外しかた

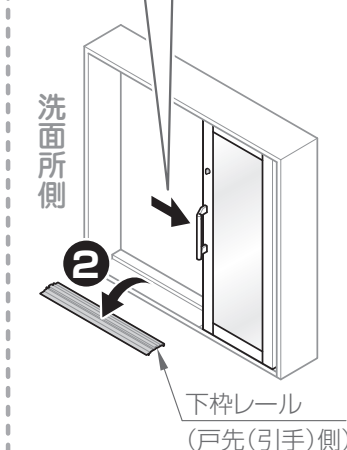
- 作業は洗面所側から行う

① ロック解除



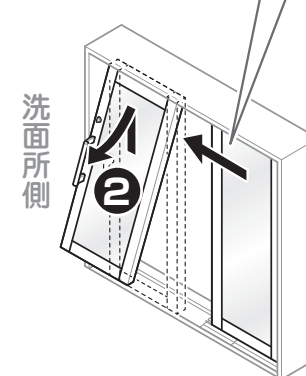
② 下枠レール
(戸先(引手)側)
取外し

① 障子を片側に寄せる



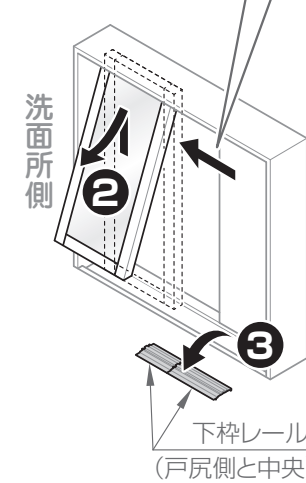
③ 障子(戸先側)
取外し

① 下枠レールのないところにスライド



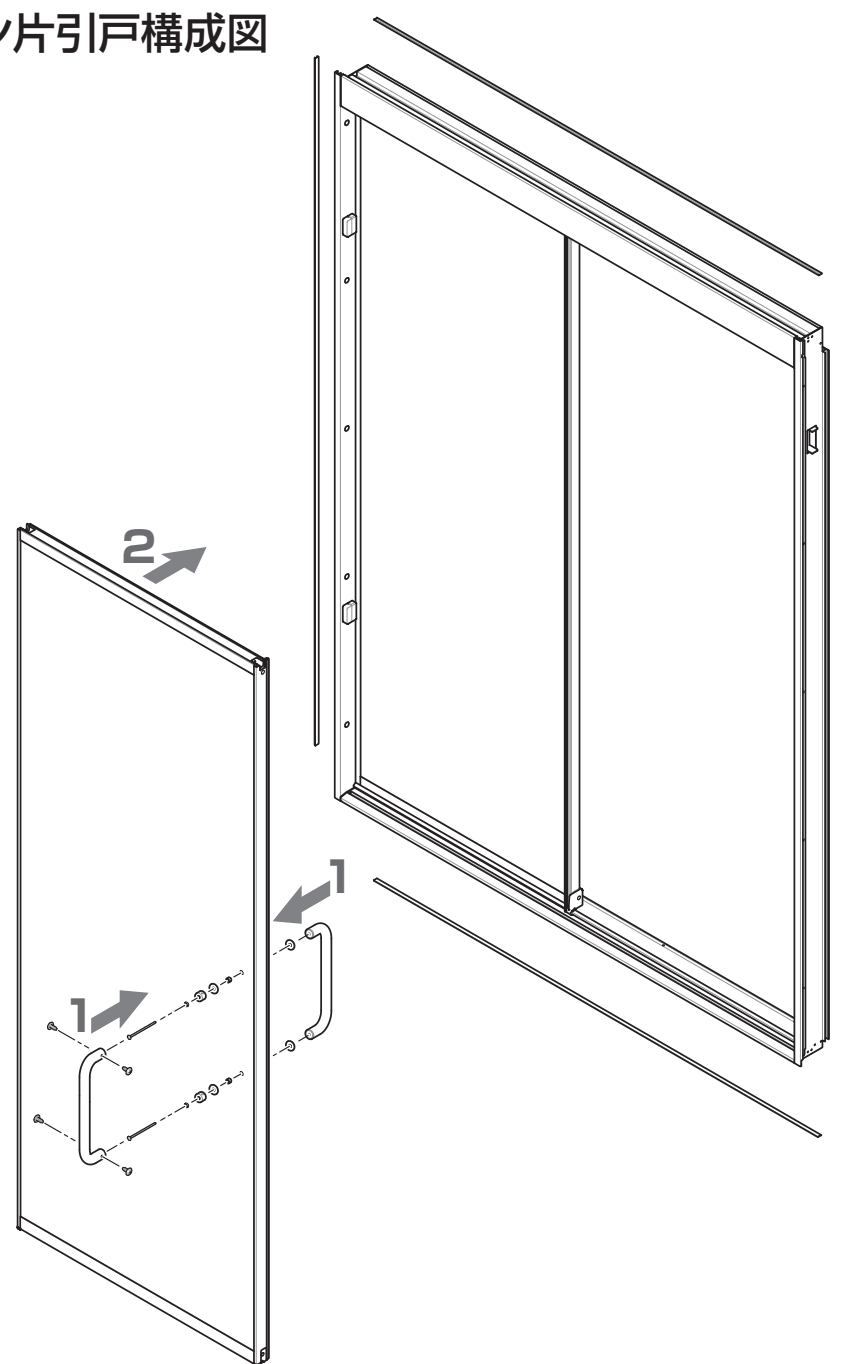
④ 障子(戸尻側)、
下枠レール(戸尻
側と中央)取外し

① 下枠レールのないところにスライド



L5. ドア(フルスクリーン片引戸)

フルスクリーン片引戸構成図

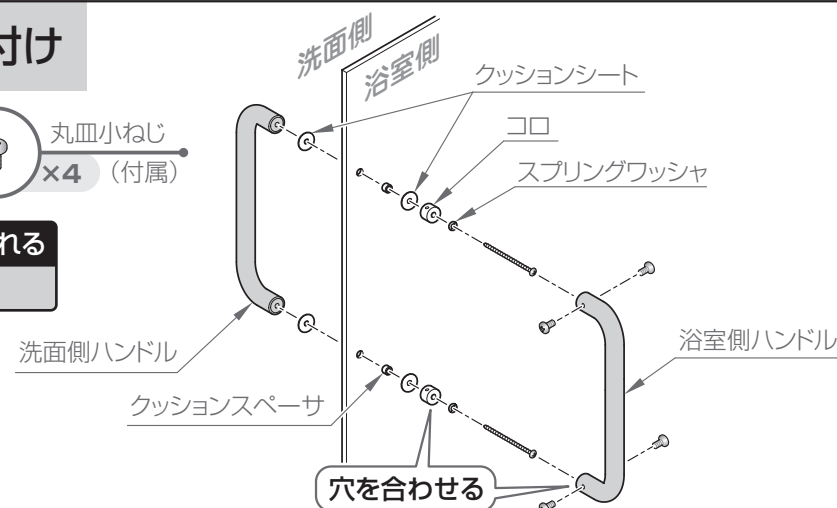


1 ハンドル取付け

なべ小ねじ
x2 (付属)

丸皿小ねじ
x4 (付属)

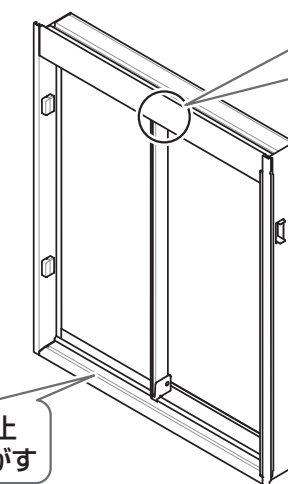
クッションシートを必ず入れる
ガラス割れ防止



2 可動障子取付け

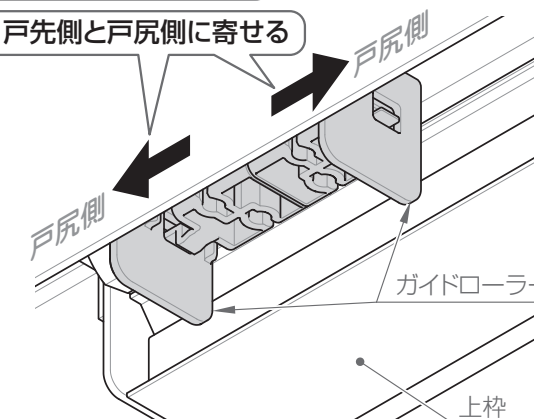
① 可動障子取付け

① 下枠傷付防止
テープをはがす

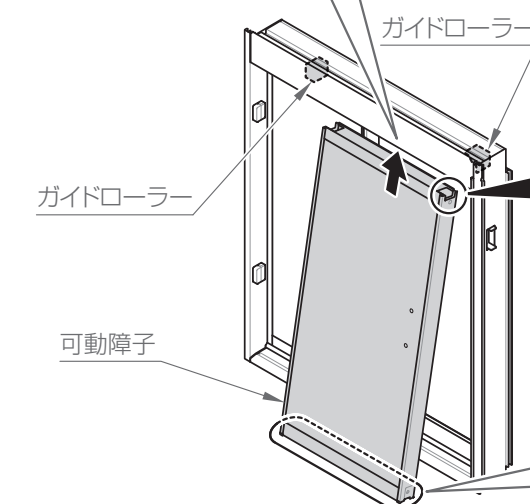


② 仮固定テープをはがす

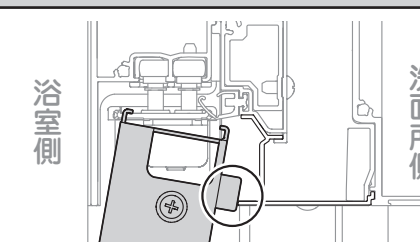
③ 戸先側と戸尻側に寄せる



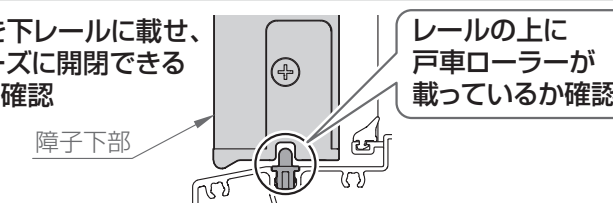
④ 上枠の左右のガイドローラー間に
挿し込む



障子上部戸先側のブレーキ受けを上枠に当てない
破損防止

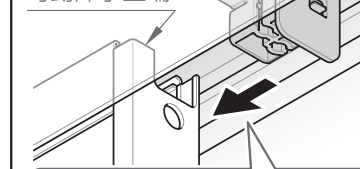


⑤ 戸車を下レールに載せ、
スムーズに開閉できる
ことを確認

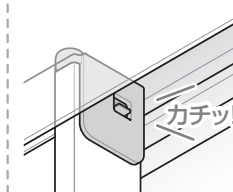


② ガイドローラー取付け

ガイドローラー
可動障子上端

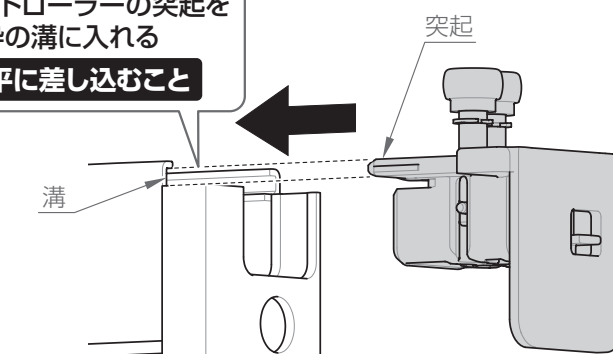


可動障子の左右上端にはめ込む

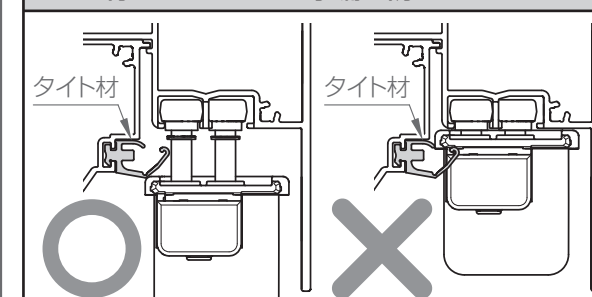


【ガイドローラー挿入時のコツ】

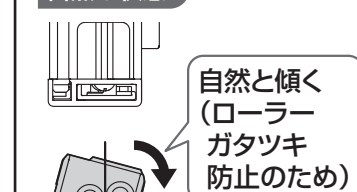
ガイドローラーの突起を
上枠の溝に入れる
水平に差し込むこと



挿入時、ガイドローラーを上を持ち上げすぎない
タイト材かみこみによる水漏れ防止

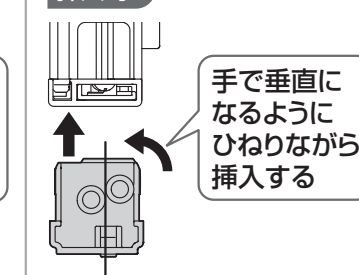


自然な状態



自然と傾く
(ローラー
ガタツキ
防止のため)

挿入時



手で垂直に
なるように
ひねりながら
挿入する

3 戸車調整

全長ですれている場合

戸先ストッパーのライナーを追加、または抜く
※カバーとライナーは枠に同梱

ライナー：t=1.5mm
(初期設定1枚)

戸先ストッパー
(上下2ヶ所)

カバー

戸車調整穴

4 緩衝材取付け

チャイルドロックのボルトに合わせて取付け

緩衝材
(裏側両面テープ)

チャイルドロック

障子縦框

ボルト

5 後工事の方への引継ぎ

※組立終了後、付属の「額縁取付業者様への引渡し部材」を洗面所側の戸尻縦枠に貼り付けてください。

洗面所側

戸尻縦枠

■額縁取付業者様引渡しユニット構成(ドア枠に同梱)

- ①③ 額縁用ビス袋
- ② 上下枠アングルカバー ×2本
- ④ 縦枠アングルカバー ×2本
- ⑤ 額縁取付業者様向けお願いチラシ
- ⑥ ストレッチフィルム巻き

L6. ドア(FIX 窓／共通)

FIX窓のみ 1 方立カバー取付け

洗面所側

FIX枠

ドア枠

方立カバー

洗面所側

1 間にはめ込む

方立カバー取付ねじ
×10 (付属)

2

2 後工事の方への引継ぎ

※UB組立業者様から後工事の方に、右記部品を袋ごとお渡しください

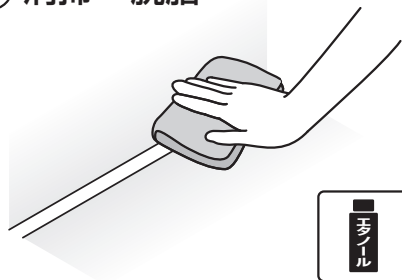
・ドアと額縁を固定するねじ
・ちらし

MEMO

P. 仕上げ

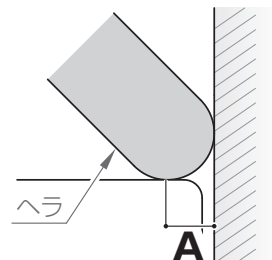
1 シリコンコーキング(シリコンの打ちかた)

① 清掃・脱脂



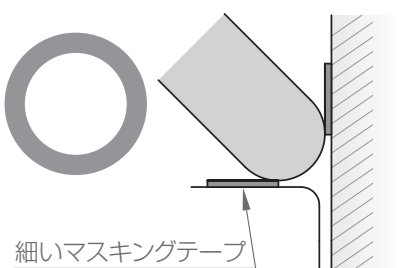
エタノール使用
凹凸・剥離防止

② ヘラの変定

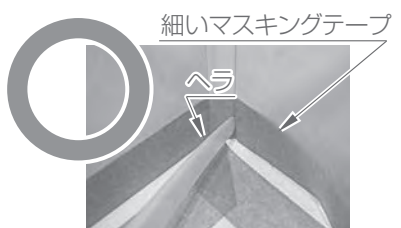


A 寸法	
5mm のヘラ	約 3mm 以内
10mm のヘラ	約 3mm より広い

③ マスキングテープ貼り

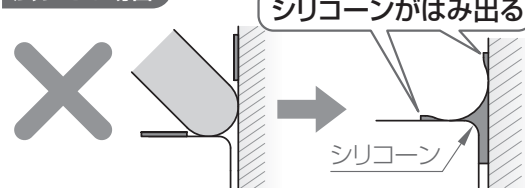


ヘラ幅に合わせて貼付け
はみ出し・はね防止

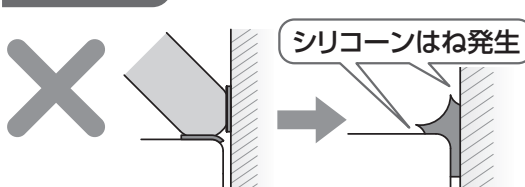


密着確認厳守
はみ出し・はね防止

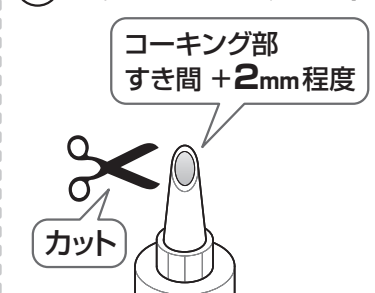
広すぎる場合



狭すぎる場合

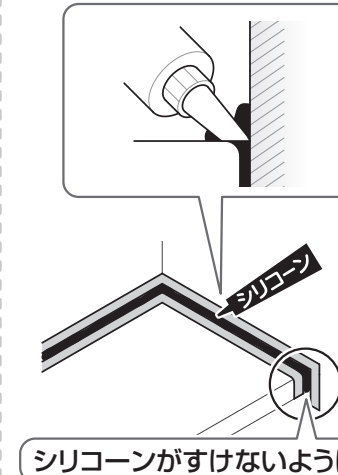


④ シリコンノズルカット



⑤ シリコン充てん

奥までたっぷり充てん
シリコン切れ防止



シリコンがすけないように

浴槽サイズ1300/1200 【浴槽ヘッドレスト側】

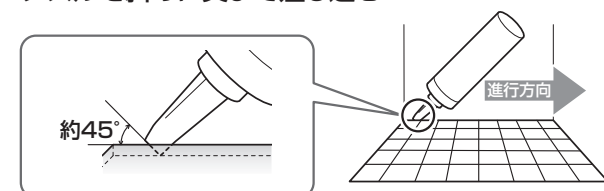
壁建込み前にマスキングテープを貼りつけておく作業手順がおすすめ
(壁建て込み後でも作業可能)

浴槽・洗い場床まわりは偏平ノズルを使用

シリコン切れ防止

【偏平ノズルの使いかた】

ノズルを斜めに奥まで差し込む



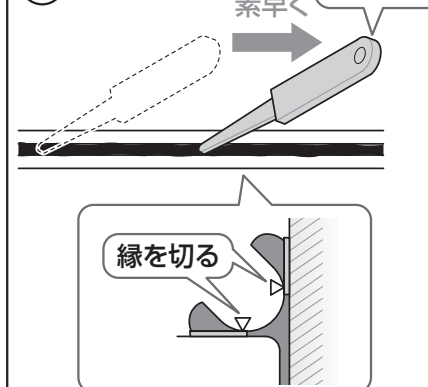
ガイドピースあり



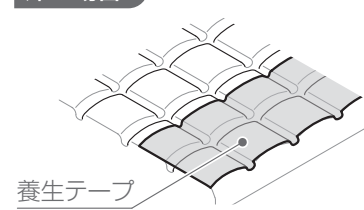
ガイドピースなし



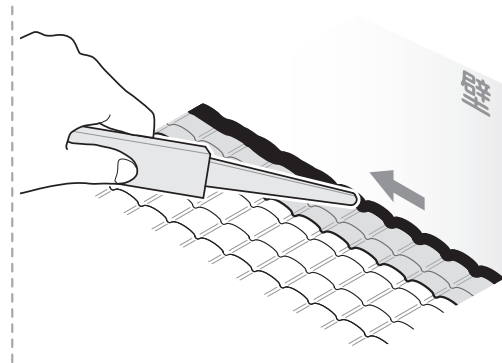
⑥ 仕上げ



床の場合



養生テープは床の際まで貼り、
床パターン形状に沿ってテープ
をなじませる。(溝部にシリコン
を入り込ませないため)

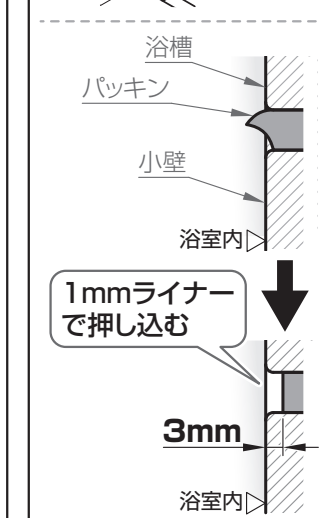
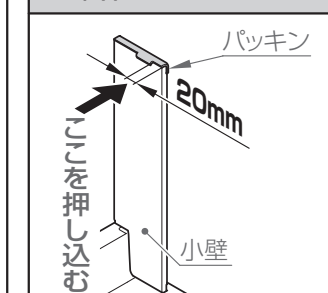


部位ごとのシリコンコーキング

※カウンターまわりのシリコンコーキングなし

【浴槽まわり】

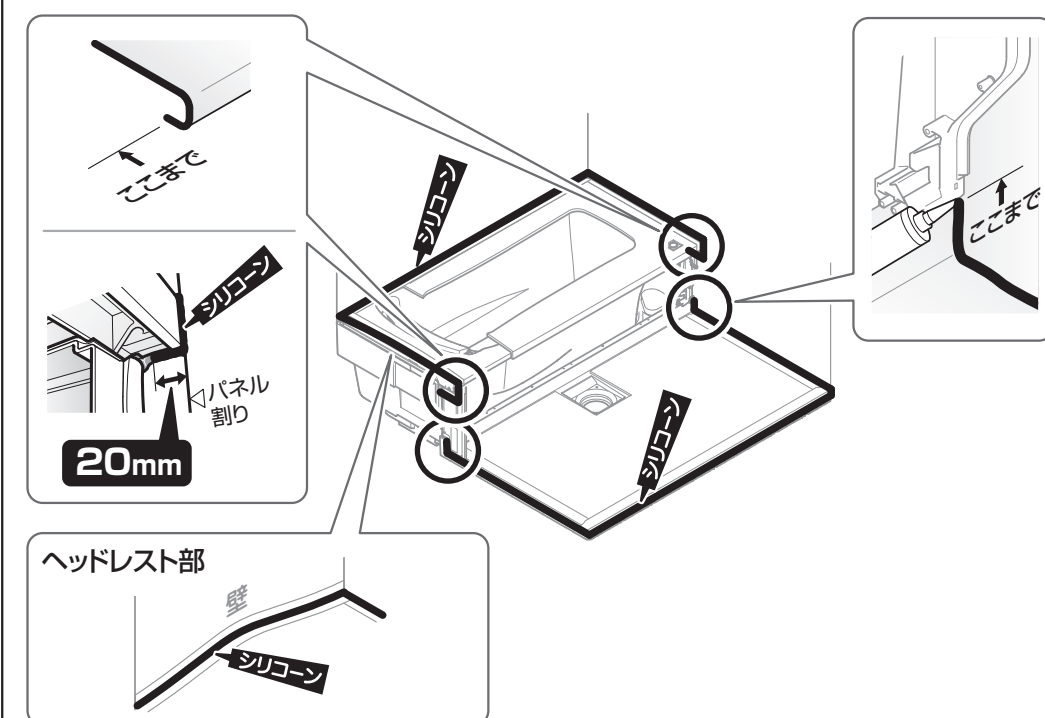
小壁パネルの上側パッキン
を押し込む
仕上げ用シリコン溝
を確保するため



浴槽色	シリコン色	品番
ホワイト	ミルトホワイト	G967#MTW
アイボリー	ホワイト	G967C
ピンク	ホワイト	G967C
グレー	ライトグレー	G967LG
ブラウン	ブラック	G967K1
ブラック	ブラック	G967K1

【洗い場床まわり】

床色	シリコン色	品番
ホワイト	ミルトホワイト	G967#MTW
ベージュ	ソフトベージュ	G967#AGV1
グレー	ライトグレー	G967LG
ブラウン	アンバー	G967AM
ブラック	ミッドナイトグレー	G967MNG1



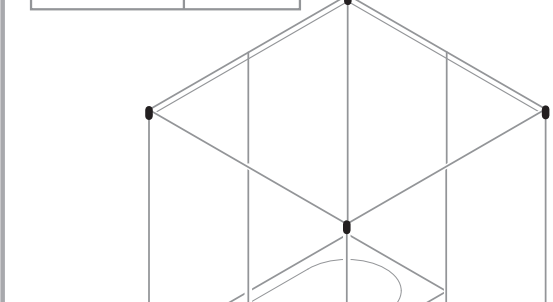
【ドア上小壁】

ドア色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ブラチナステン	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1



【天井四隅】

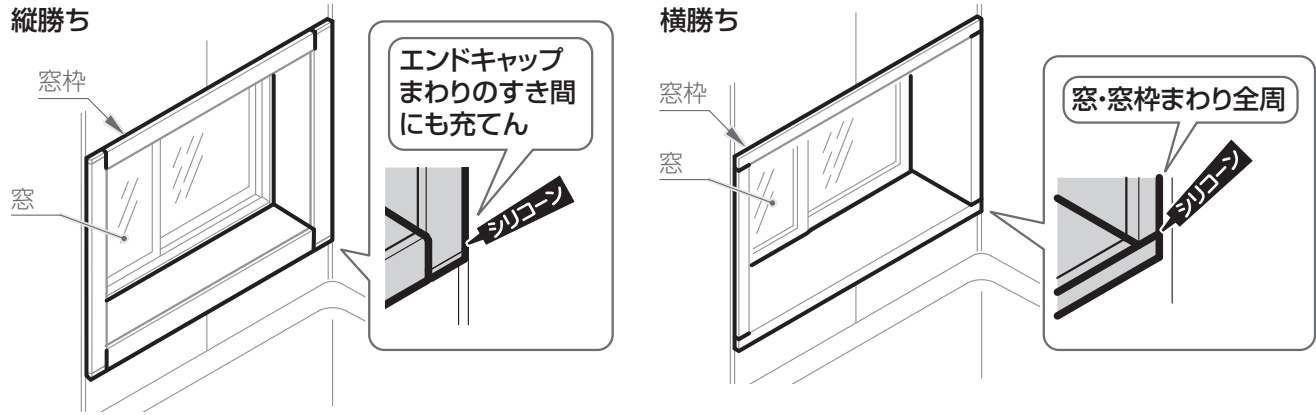
シリコン色	品番
ホワイト	G967C



窓まわりのシリコンコーキング

窓枠

窓枠色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ベージュ	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1

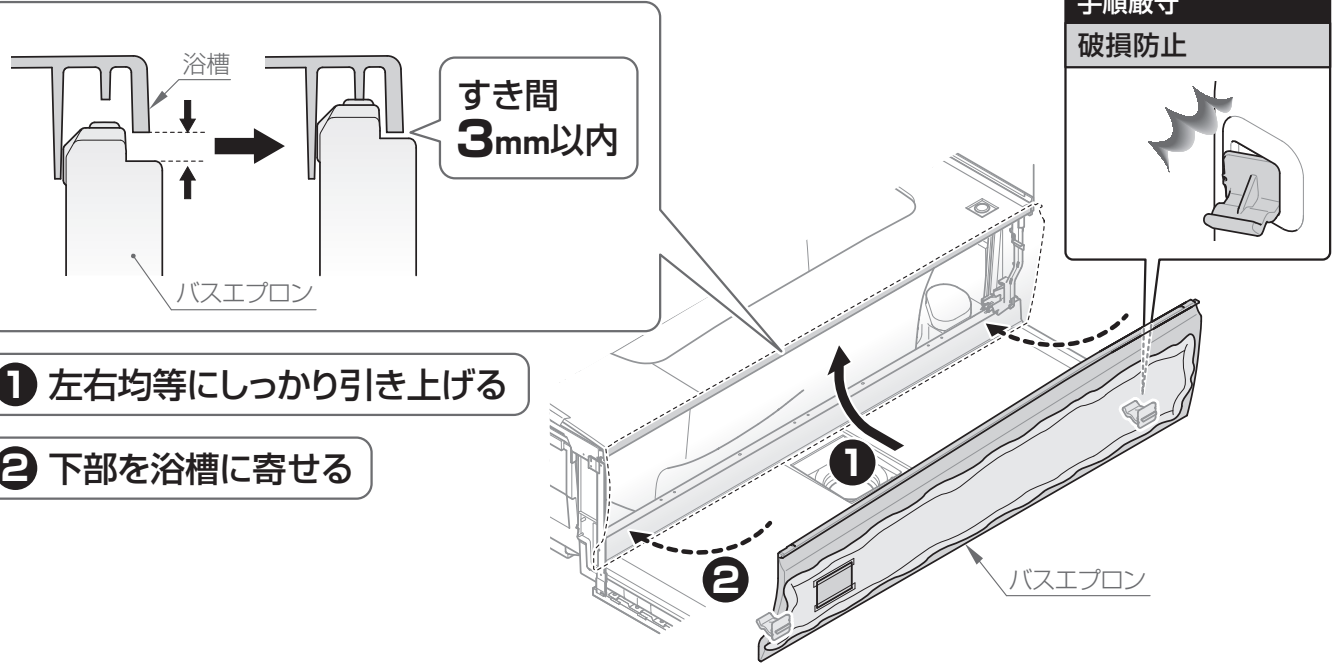


MEMO

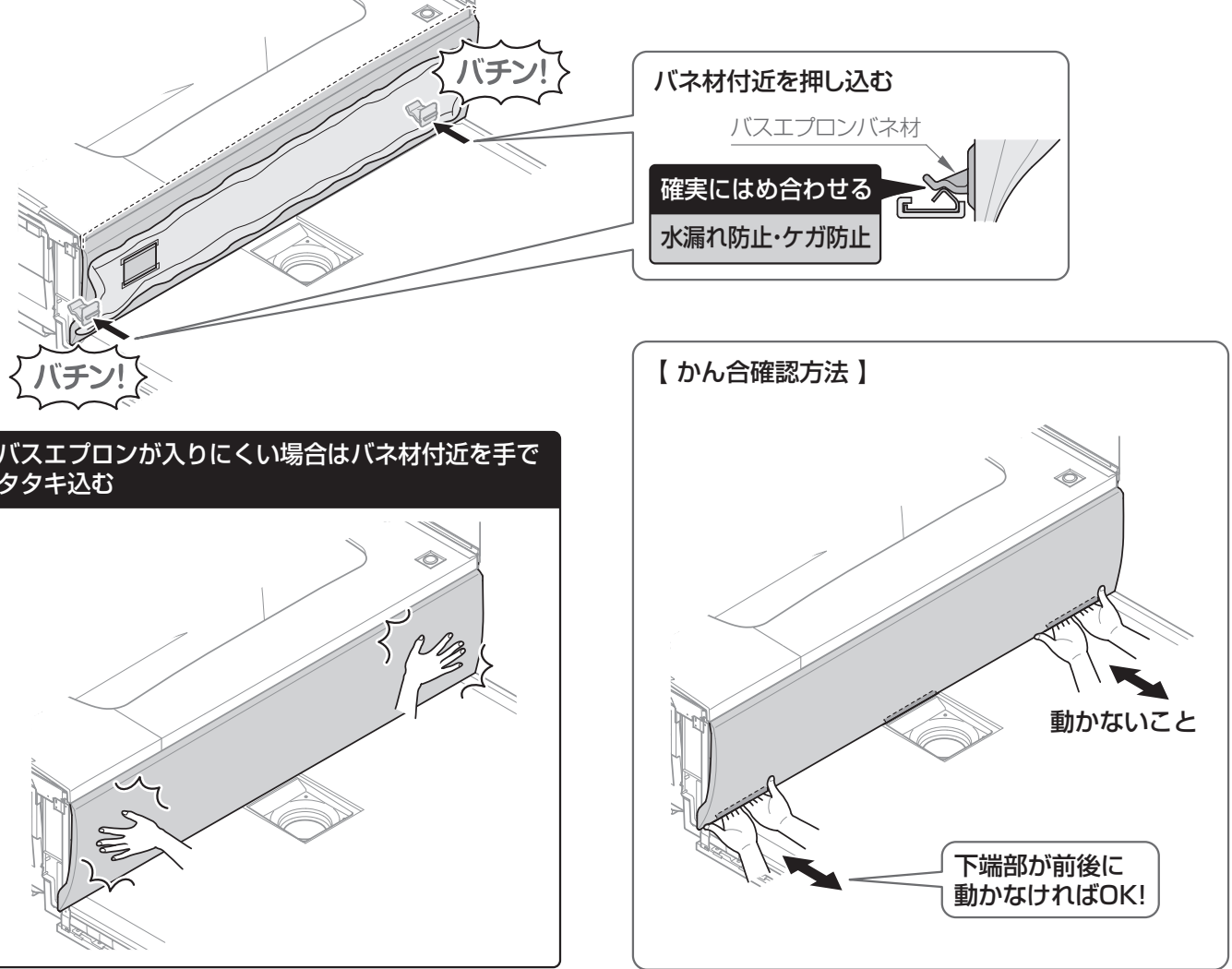
2 バスエプロン取付け

人エプロン以外

① 取付け 壁キズ付け注意

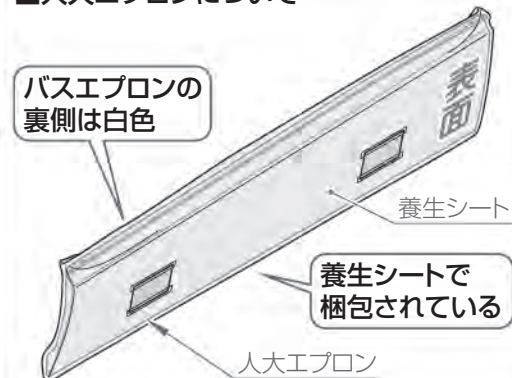


② かん合



人大エプロン

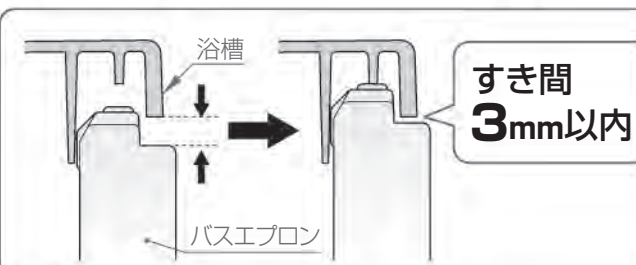
■人大エプロンについて



① 養生取外し



② 取付け 壁・カウンターキズ付け注意

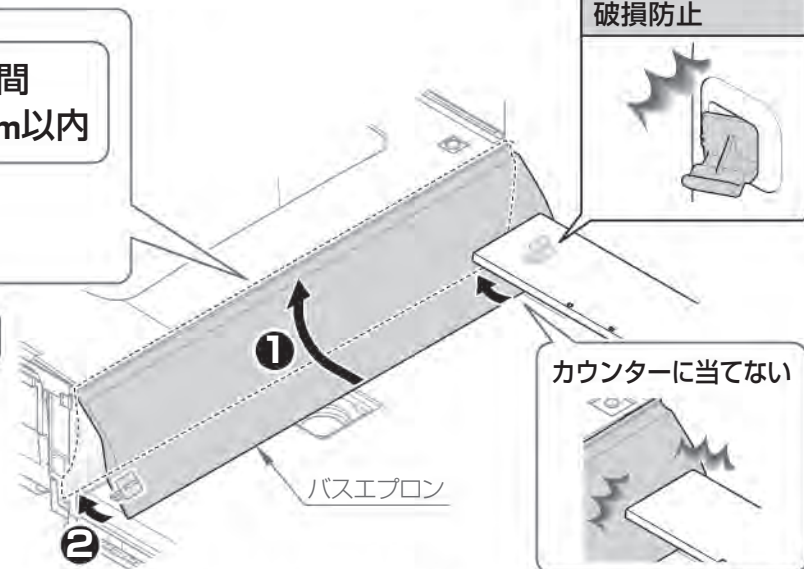


手順厳守
破損防止



① 左右均等にしっかり引き上げる

② 下部を浴槽に寄せる

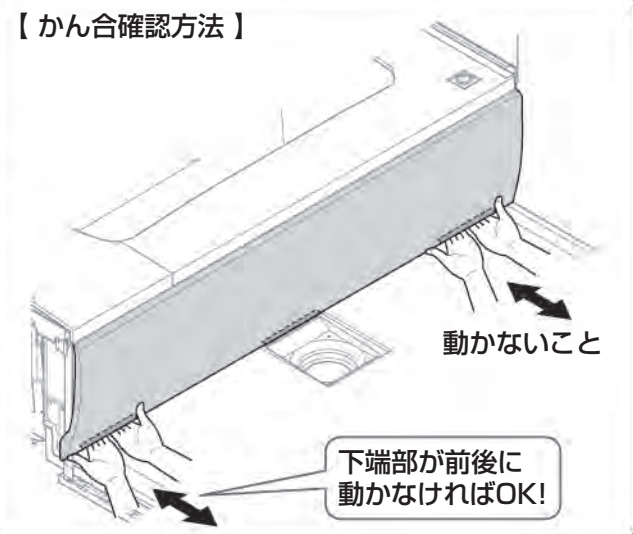
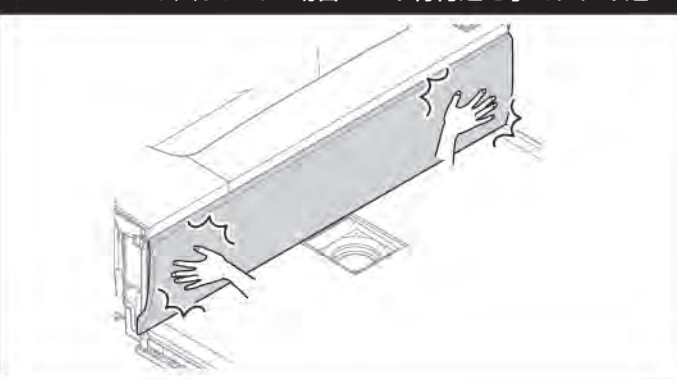


③ かん合

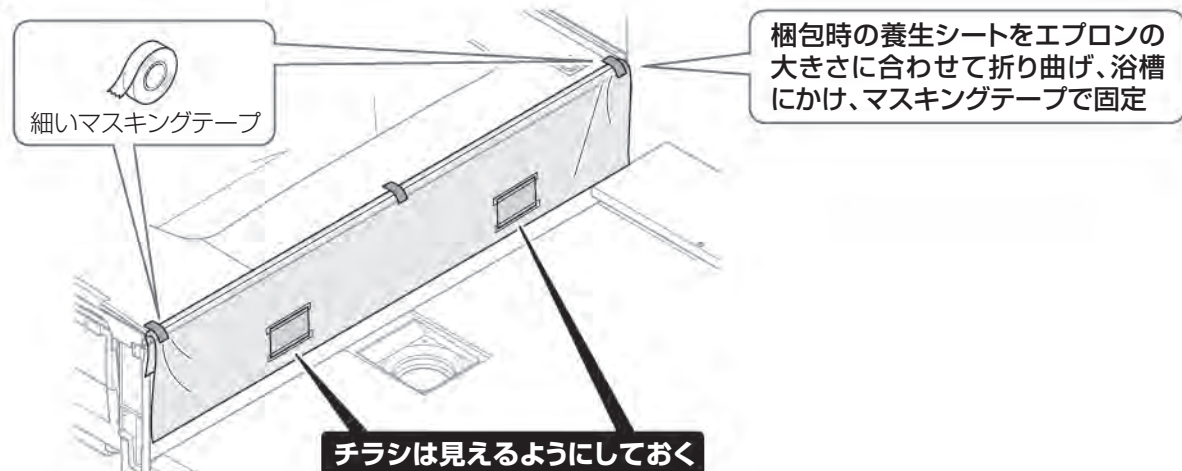


【かん合確認方法】

バスエプロンが入りにくい場合はバネ材付近を手でタタキ込む

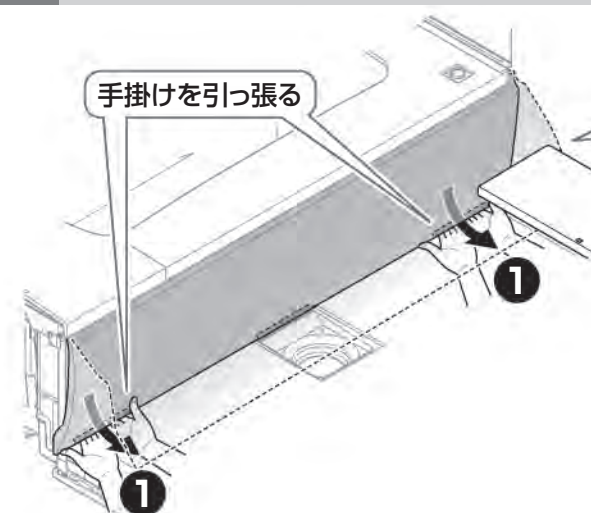


④ 養生



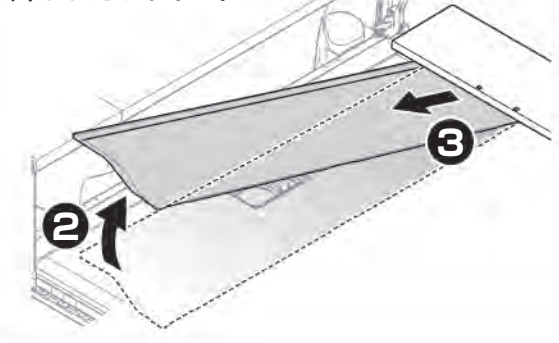
メンテナンス
要領

バスエプロンの取外しかた

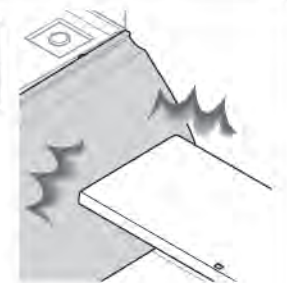


※外れにくい場合は、少し強めに引く

■ 外しかたのポイント

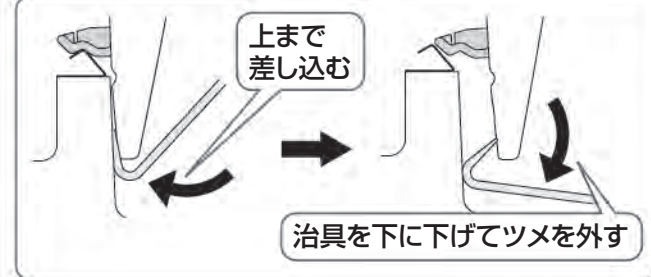


カウンターにぶつけないこと
キズ防止

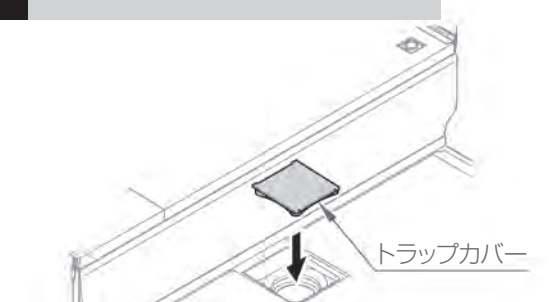


ワイド浴槽 治具を使用する場合

エプロン下端に先端を差し込んで
デコの原理でエプロンのツメを外す



3 トラップカバーセット

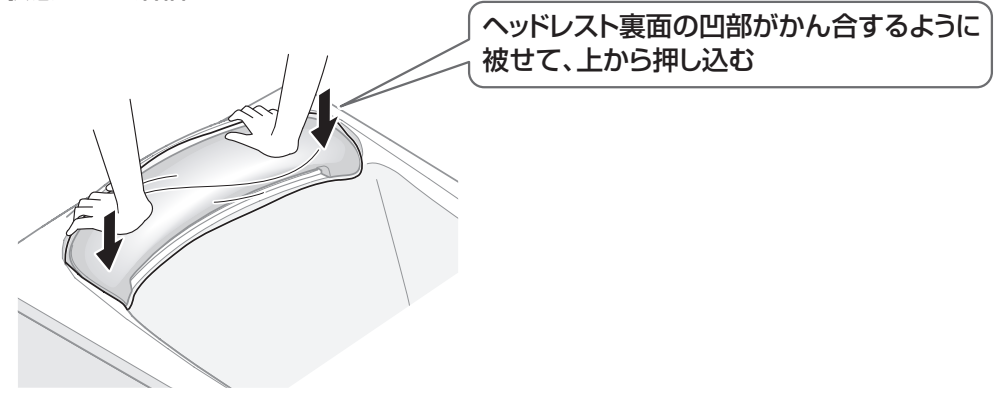


UB組立て完了後、設備業者がバスエプロンを外す場合



4 ヘッドレスト取付け

- 1 ヘッドレスト側の浴槽用養生を一旦外す
- 2 ヘッドレストを箱から出して、
必ずビニール包装をした状態のまま浴槽にセットする

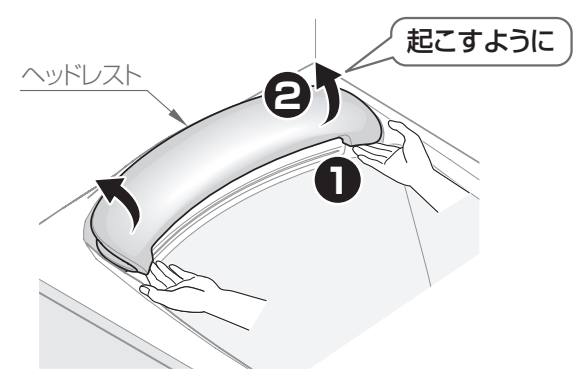


【ヘッドレスト裏面の凹部と浴槽の固定材】

通常浴槽 ストレート浴槽	ワイド/スーパーワイド浴槽 ※図はR勝手	楽湯付き浴槽 ストレート浴槽	ワイド/スーパーワイド浴槽 ※図はR勝手
凹部 (4カ所)	凹部 (4カ所)	凹部 (2カ所)	凹部 (2カ所)
固定材 (4カ所)	固定材 (4カ所)	固定材 (2カ所)	固定材 (2カ所)

メンテナンス要領 ヘッドレストの取外しかた

- 1 ヘッドレスト手前両端に手を掛ける
- 2 奥側に起こすように持ち上げ、取り外す

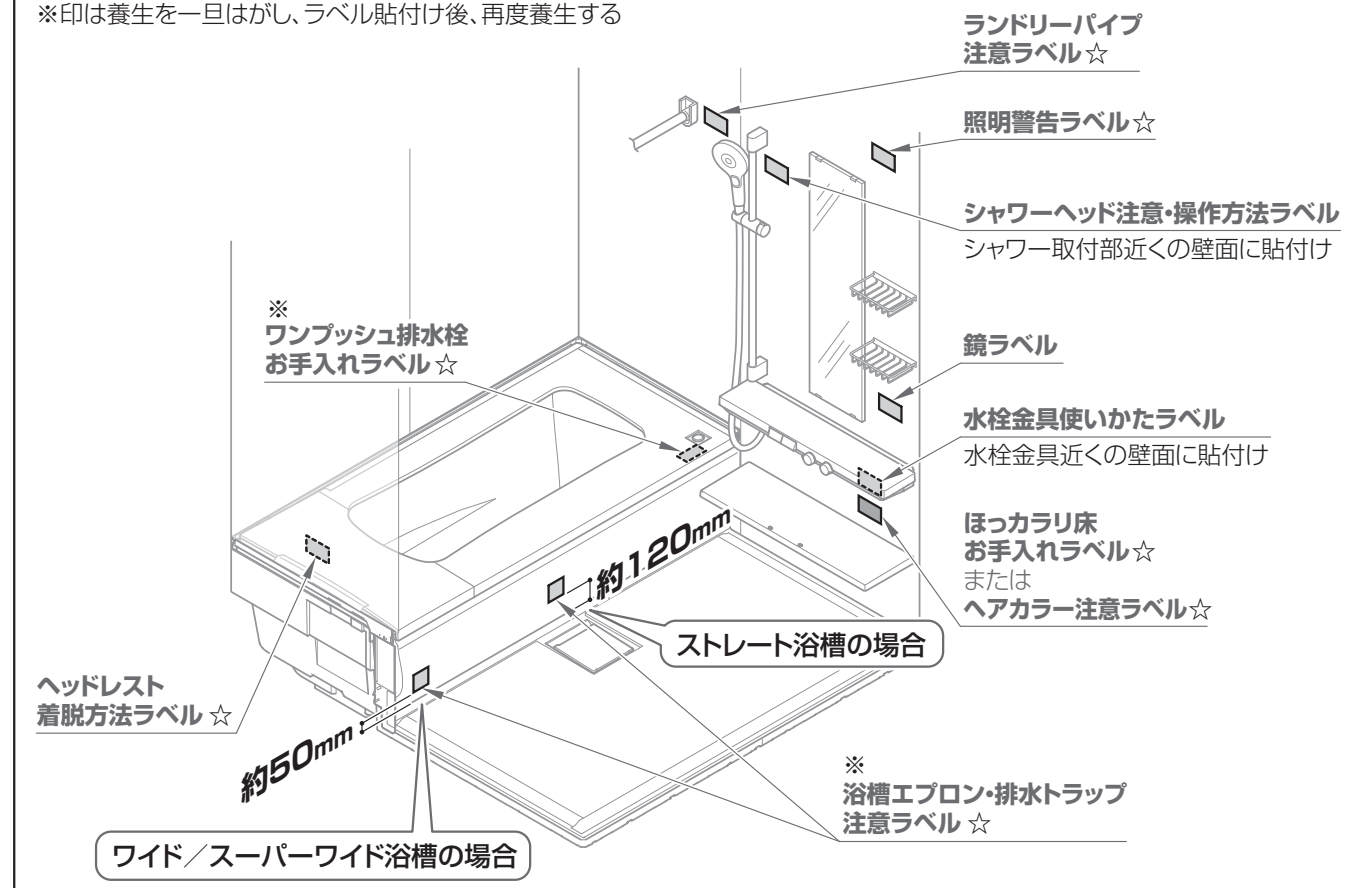


ヘッドレストに無理な力を加えたり、
曲げない
シワが入るおそれ

ヘッドレストの吐水口開口部に指を
かけて持ち上げない
シワが入るおそれ

5 ラベル貼付け 図は代表例

☆印は裏面貼付位置参照
※印は養生を一旦はがし、ラベル貼付け後、再度養生する



MEMO

Q. 水栓の確認と調節(通水条件が整っている場合)



注意



湯側止水栓部に直接触れない
ヤケドをするおそれあり

1 吐水確認

吐水口およびシャワーから水やお湯が出るか、配管からの水漏れがないか確認する

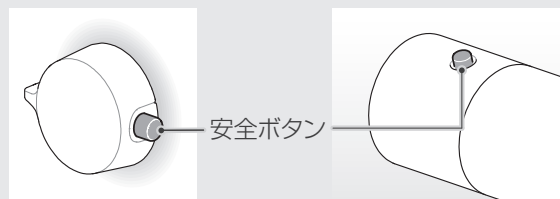
- 水栓金具の取扱説明書もご覧ください。

高温のお湯が必要なときは

安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを回す

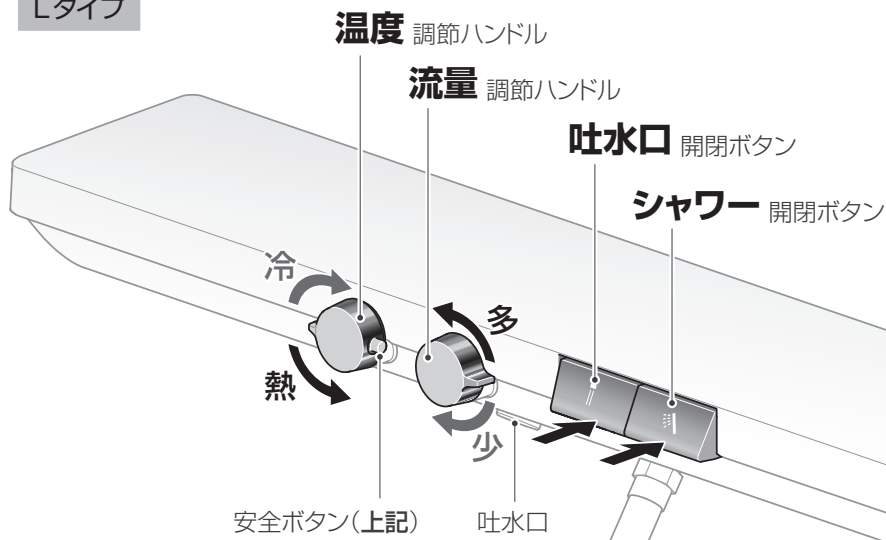
(押さないと、目盛り「40」を超えた付近でロックされます。
安全ボタンのロック位置は「40」の目盛りとは、ずれます。)

- ・ 熱湯には十分注意する。
- ・ タッチ水栓での最高温度：45℃ (安全のため)
- ※詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

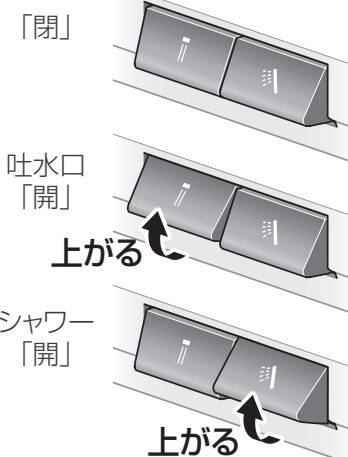


2WAYタッチ水栓(カウンター 一体型)

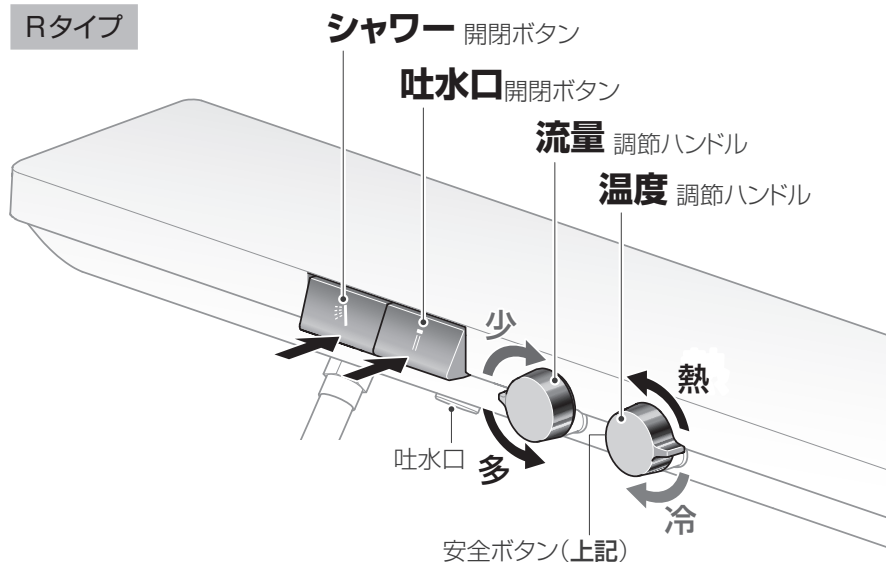
Lタイプ



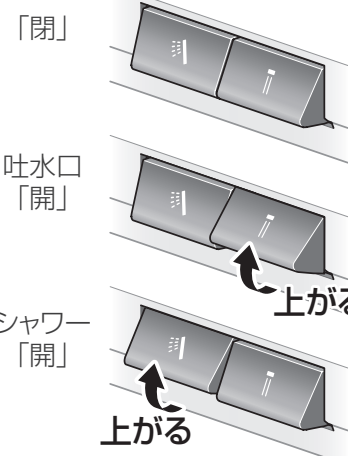
開閉ボタンの状態



Rタイプ



開閉ボタンの状態



一時的に水が出ないようにしたい

流量調節ハンドルを一時止水位置方向に回す
「カチッ」というまで回してください。

Lタイプ



Rタイプ



吐水口/シャワー開閉ボタンを押しても水が出なくなります。
小さいお子様のいたずらやお手入れの際の誤操作防止にも役立ちます。

※ 流量調節に比べ、一時止水のハンドル操作は重く設定しています。

※ 吐水口開閉ボタンを「開」のまま一時止水すると、吐水口から水滴が落ちることがあります。(シャワーホース内の残留水によるもので、故障ではありません。)

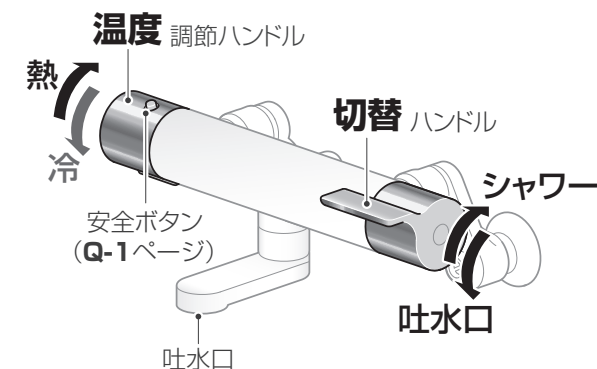
※ 一時的な止水以外は、吐水口/シャワー開閉ボタンで水を止めてください。

解除方法 流量調節ハンドルを反時計回りに回す

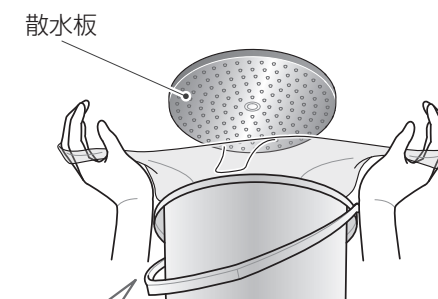
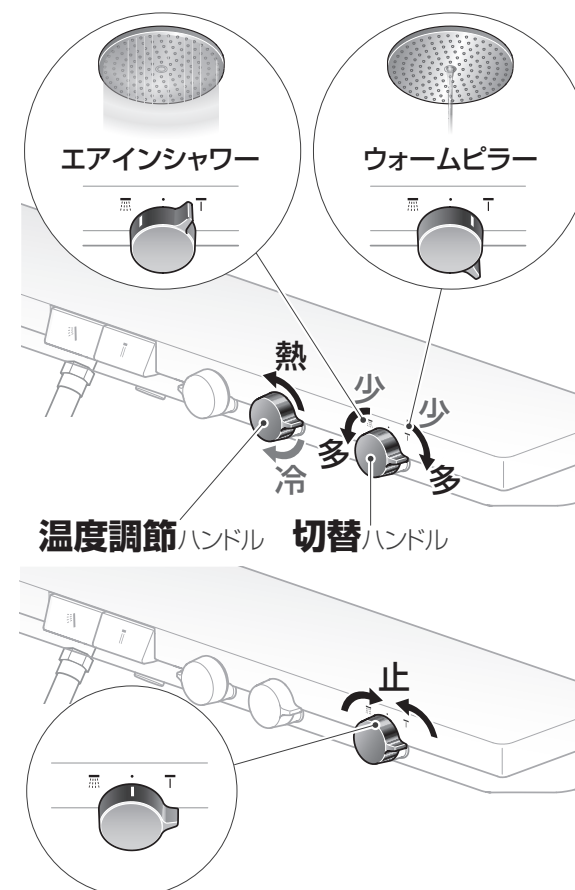
一時止水を解除する際は、吐水口/シャワー開閉ボタンが「閉」の状態であることを確認してください。

(ボタンが「開」の状態のまま一時止水を解除すると、解除と同時に水が出ます。)

壁付水栓



オーバーヘッドシャワー (2モード)



バケツ(直径30cm以上)を
散水板の下に受けて行う

- ※ 吐水始めは、水が出ます。
- ※ 吐水量が少ない場合、オーバーヘッドシャワーには切り替わりません。
- ※ タッチ水栓の場合、吐水口とオーバーヘッドシャワー両方から同時に水を出すと水勢は弱くなります。
- ※ 切替弁は内部をお湯が通るため、吐水温度に合わせてあたたかくなります。

2 フィルターの掃除

取付け後は、必ずフィルターを掃除する

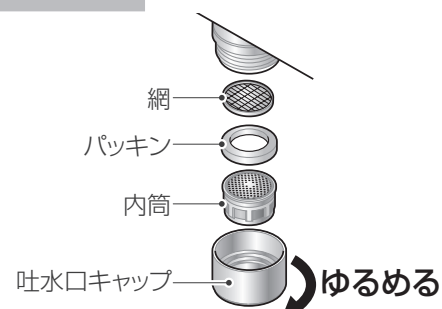
※フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水又は、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

吐水口

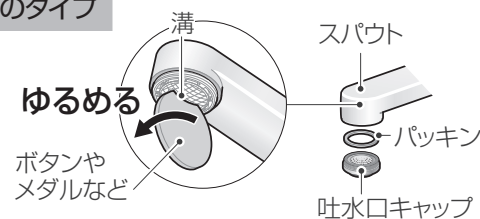
吐水口キャップ・内筒・網のゴミや汚れを取り除く



スパウトなしのタイプ



スパウトありのタイプ



 マイナスドライバーなど先の細い物は使用しない
キズ、破損防止

止水栓

水の出が悪いと感じたら

止水栓のお手入れをする

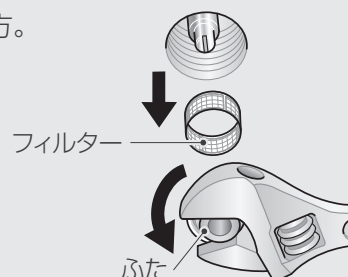
1 止水栓を閉める

湯側・水側両方。
(Q-5・6ページ)



2 ふたとフィルターを取り外す

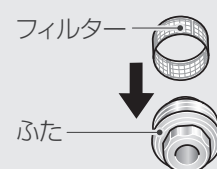
湯側・水側両方。



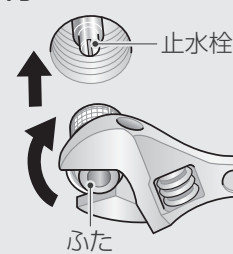
3 フィルターのゴミや汚れを取り除く



4 フィルターをふたに取り付ける



5 ふたを止水栓に取り付ける



6 止水栓の開き具合を調節する

(Q-5・6ページ)



シャワー

水の出が悪いと感じたら

コンフォートウエーブ/エアインクリック

フィルターのゴミを取り除く

ホースからシャワーヘッドを外しフィルターを取り外す。
取り付けるとき、フィルターの向きに注意する。



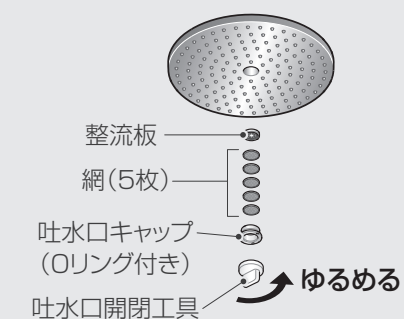
〈コンフォートウエーブの場合〉
ラジオペンチなどを
使って取り出します。



オーバーヘッド(2モード)

吐水口キャップや
網のゴミを取り除く

分解するときは、
部品を紛失しない
ように注意する。



メンテ
要領

シャワーのノズルと吸気口のお手入れ

水の出る方向が乱れるときは

※水の出る方向が乱れた状態のまま使用を続けると、散水板の周辺より水が漏れる場合があります。また、オーバーヘッド(2モード)の場合、内部部品が破損し、エアインとウォームピラーの両方から吐水することがあります。

ノズルの汚れをふき取る

水やぬるま湯に浸した布をよく絞って使用する。



汚れをふき取る際、水が
垂れてくる場合があります。

エアインクリックの吸気口(排水口)

吸気口(排水口)が詰まっていたら、
安全ピンなどで取り除く

※十分空気が取り込めない、
残留水が排出できない原因になります。



浴槽や洗面器などに水没させたり、洗剤などにつけて洗わない
散水板や吸気口(排水口)の詰まり防止



ノズル部分を強い力でふいたりこすったりしない
ノズルの破損・変形防止

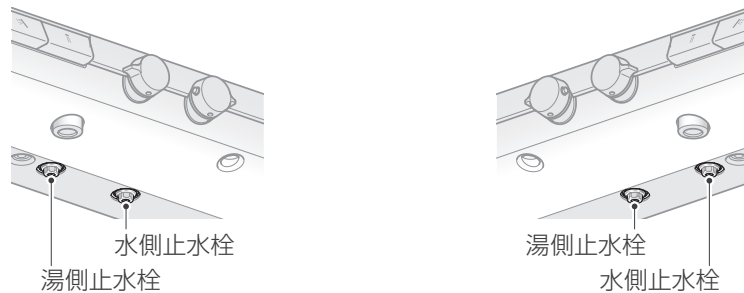
3 流量確認と調節

流量が多すぎる場合などは、次の要領で止水栓を調節する

切替ハンドルや流量調節ハンドルを操作しても吐水の勢いが弱すぎる／強すぎる場合、止水栓で調節できます。
(元の水圧や給湯機の性能によっては、止水栓を全開にしても勢いが強くならない場合があります。)

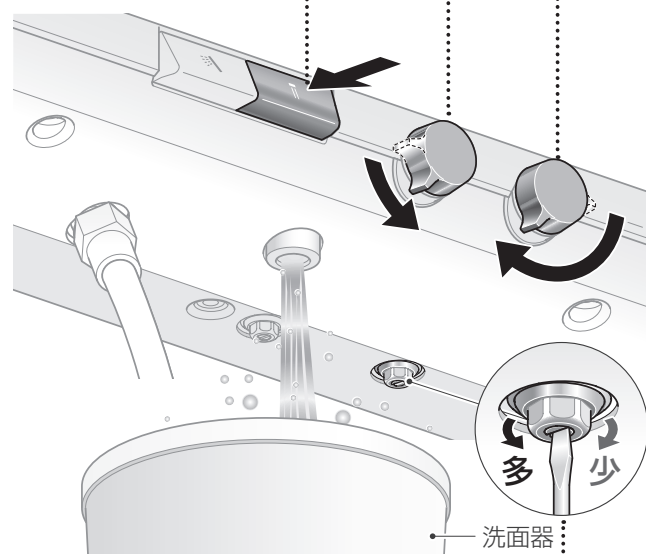
2WAYタッチ水栓（カウンター一体型）

止水栓位置



水側の調節

- 1 流量調節ハンドルを反時計回りいっぱいに戻す
- 2 温度調節ハンドルを時計回りいっぱいに戻す
- 3 吐水口開閉ボタンを押す
(水が出る)

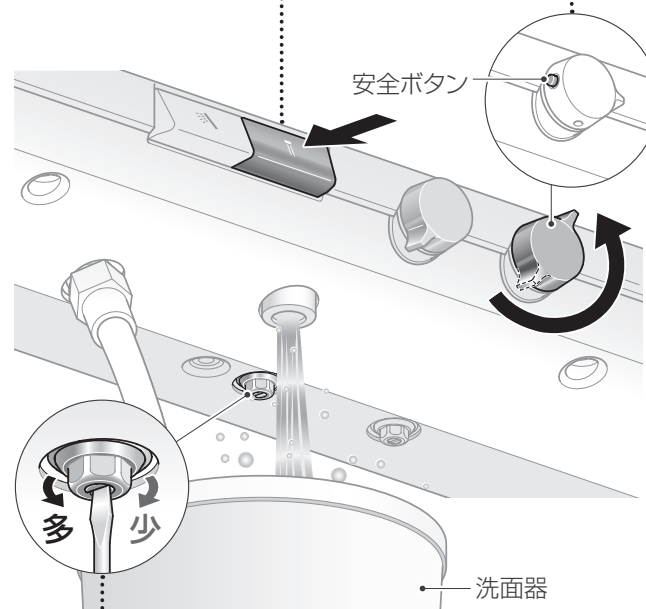


- 4 水側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 5 吐水口開閉ボタンを押す
(水が止まる)

湯側の調節

- 6 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを反時計回りいっぱいに戻す
- 7 吐水口開閉ボタンを押す
(湯が出る)

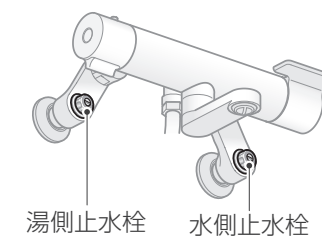


- 8 湯側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 9 吐水口開閉ボタンを押す
(湯が止まる)

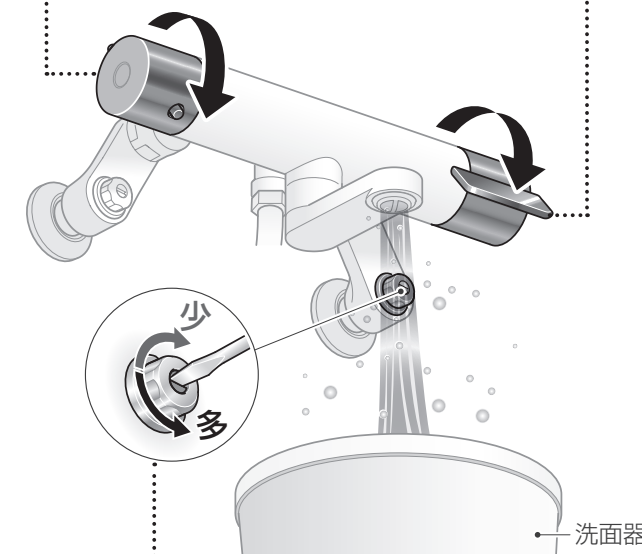
壁付水栓

止水栓位置



水側の調節

- 1 温度調節ハンドルを下いっぱいに戻す
- 2 切替ハンドルを下いっぱいに戻す
(水が出る)

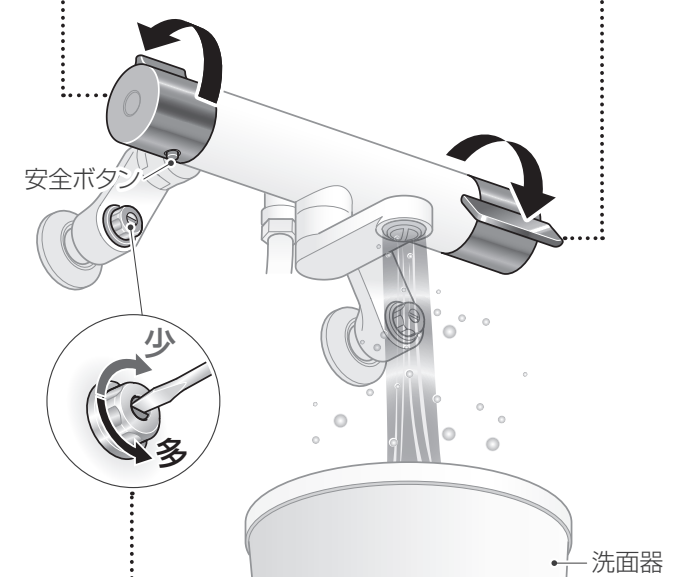


- 3 水側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 4 切替ハンドルを元に戻す
(水が止まる)

湯側の調節

- 5 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上いっぱいに戻す
- 6 切替ハンドルを下いっぱいに戻す
(湯が出る)



- 7 湯側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 8 切替ハンドルを元に戻す
(湯が止まる)

4 吐水温度確認

吐水温度が表示どおりになっているか確認する

※温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。

- 1 給湯機の給湯温度を設定する
希望の温度より高めに設定する
(快適な流量や温度を得るため、50～60℃がおすすめ)
※やけど防止のため、60℃を超えないようにしてください。
- 2 温度調節ハンドルのポイントを“40”に合わせる
- 3 切替ハンドルを上いっぱいに戻す
※シャワーから水が出ます。

- 4 吐水温度を確認する

吐水温度が適温(約40℃)

→そのままご使用いただけます。 約40℃

吐水温度が適温からずれている場合

→「5 温度調節ハンドルの設定」参照



5 温度調節ハンドルの設定

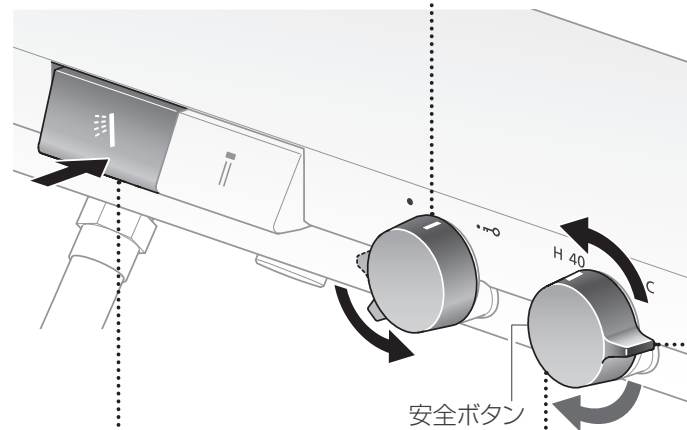
吐水温度が表示どおりになっていないときは温度調節ハンドルを設定する

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると表示どおりの吐水温度にならないことがあります。

準備：給湯機の給湯温度を希望の吐水温度より高めに設定する
（快適な流量や温度を得るため50～60℃がおすすめ）

2WAYタッチ水栓（カウンター 一体型）

- 1 流量調節ハンドルを反時計回りいっぱい
に回す



- 2 シャワー開閉ボタンを押す
（シャワーが出る）

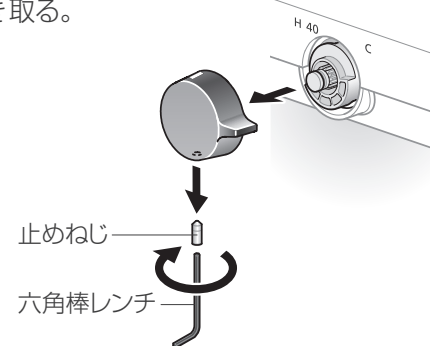


- 3 温度調節ハンドルを約40℃のお湯が出る
まで回す

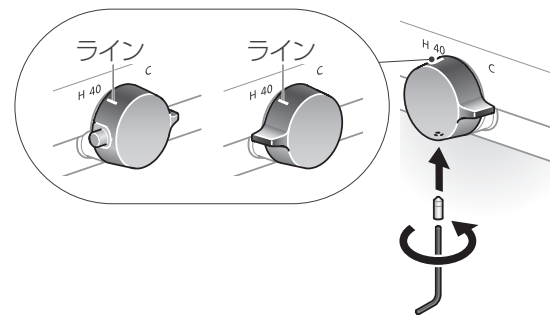
「40」の目盛りを超えて回すときは、安全ボタンを押しながら回す。



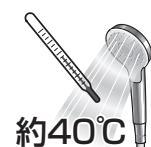
- 4 温度調節ハンドルを取り外す
止めねじを外し、ハンドルを回さないようにして
抜き取る。



- 5 温度調節ハンドルを取り付ける
「40」の目盛りとラインをあわせて止めねじ
で固定する。

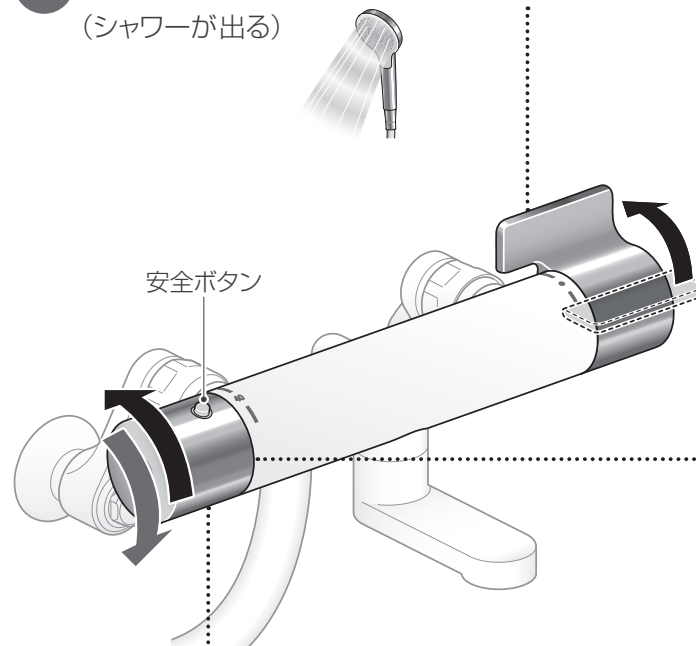


- 6 約40℃のお湯が出ている
ことを確認する



壁付水栓

- 1 切替ハンドルを上いっぱい
に回す
（シャワーが出る）



- 2 温度調節ハンドルを約40℃のお湯が出る
まで回す

「40」の目盛りを超えて回すときは、安全ボタンを押しながら回す。



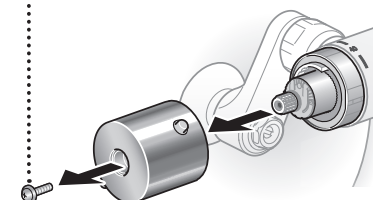
- 3 温度調節ハンドルを取り外す
ハンドルを回さないようにして抜き取る。

- 3-1 キャップを外す
めっき表面をキズ付けないように注意する。

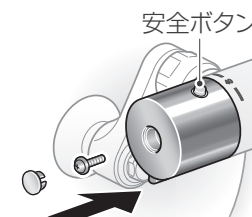


先の細いもの
（精密ドライバーなど）

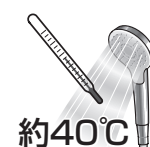
- 3-2 小ねじを外す



- 4 温度調節ハンドルを取り付ける
「40」の目盛りと安全ボタンをあわせて
小ねじで固定し、キャップを取り付ける。



- 5 約40℃のお湯が出ている
ことを確認する

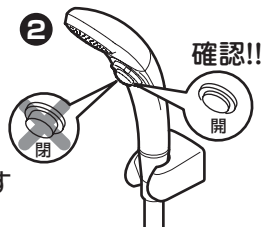


寒冷地
北海道

6 水抜き

凍結が予想される時期に組立された場合は、凍結による水栓金具破損防止のため
水抜きを行う
※お客様にも水抜き方法をご説明ください

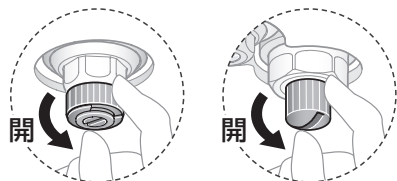
- ① 水栓1次側の給水を止め(元栓などを締め)、通水を止める。
- ② シャワー開閉ボタンが“開”になっていることを確認する ※クリックタイプの場合のみ
- ③ **2WAYタッチ水栓以外** → 切替ハンドルを吐水口側いっぱいに戻す
2WAYタッチ水栓 → 吐水口およびシャワー開閉ボタンを押す
切替ハンドルを上いっぱいに戻す
- ④ 水抜きコックをすべて開ける **止水栓のコックは取り外さない** 詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。



水抜きコック

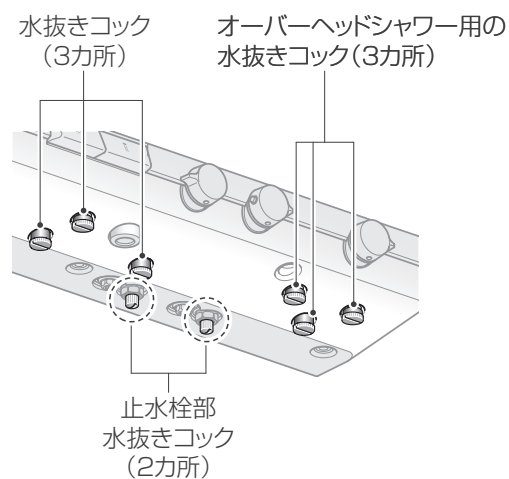


止水栓部水抜きコック



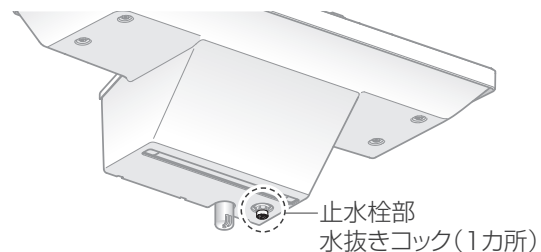
- ⑤ 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに戻して水を抜く
- ⑥ 吐水口から水が出なくなったら、下(水側)いっぱいに戻して水を抜く
- ⑦ 吐水口から水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱいに戻す
- ⑧ シャワーヘッドを振って中の水を抜く
- ⑨ 水抜きコックを確実に閉める **必ず実施**

2WAY タッチ水栓 (カウンター 一体型)



床ワイパー洗浄

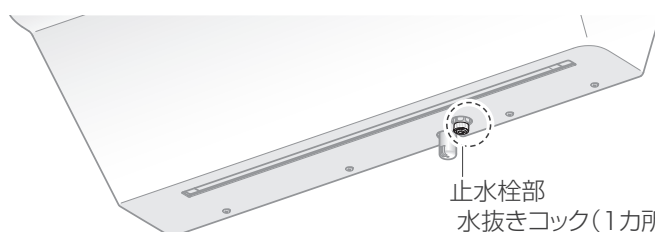
お掃除ラクラクカウンターの場合



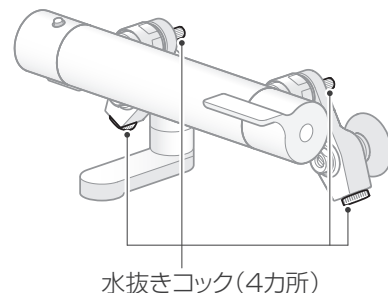
ベンチカウンター Rタイプの場合



ベンチカウンター Lタイプの場合



壁付水栓



楽湯

楽湯運転を停止し、浴槽の水を排水する

※機能部や浴槽部の配管の凍結により、破損し水漏れのおそれがあります。



MEMO

S. 清掃・自主検査

1 清掃

清掃の際、下記のものはい使わないこと

人体へ影響を与えたり、製品に不具合を生じさせるおそれあり

- 「酸性」「アルカリ性」の表示の洗剤
- 固形または、粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤
- 薬品(塩酸)
- シンナー・アセトンなどの溶剤
- クレンザー
- みがき粉
- ナイロンたわし
- 金属たわし
- サンドペーパーなど
- パーツクリーナー
- メラミン系スポンジ



※床は素材の特長により、汚れが残りがすくなっているため
足裏の汚れなどが付着した場合は、下記の手順どおりに清掃すること

① 掃除機でゴミを吸い取る

② 切断・穴あけの際に飛び散った鉄粉は残っていると
もらいさびの原因になるので入念に除去する

③ トラップ内部はゴミがたまりやすいので入念に清掃する

鉄粉除去用
マグネットシート
別売品 EKK02007



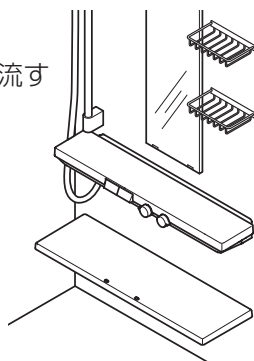
トラップまわりの
すき間は特に念入りに

④ 汚れはやわらかい布またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて洗い落とし、
がんこな汚れはエタノールでふきとる

【ブラック色】の部材については、エタノールでふく際には強くこすらない

白いふきあとが残ることあり

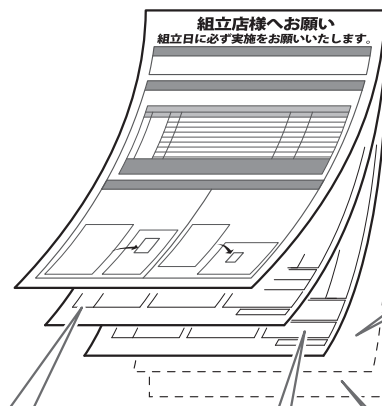
※万が一白いふきあとが残った場合は、
きれいな布でふきとる もしくは水ぶきする
それでも落ちないときは、中性洗剤で洗い流す



2 自主検査

① 組立報告書の作成・貼付け

- 自主検査による組立てミスなどの防止
- 組立て後の、元請店様等とのトラブル防止
- アフタークレームなどでの迅速対応



2枚目 組立店様控え

3枚目 発注元(特約店様など)提出用

残組立てがある場合

トラブル防止のため「残組立内容と日程」を
組立報告書へ記入し貼り付けること

② 注意喚起チラシの貼付け

「キズ・破損」注意チラシ

【工事関係者の皆様へ】
清掃・検査済です。 材料・工具の保管は禁止です。 「キズ・破損」防止のため
【元請店様へ】
照明、換気扇の試運転を お願いします。 結露不備による、「作動不良」防止のため
通水を行い、配管内の鉄粉を 洗い流してください。 水道配管内から流出する 「鉄粉」によるもらいさび 防止のため

ドア養生シート面
またはドア上枠
またはドア障子上框
に貼付け

「設備・リモコン業者」チラシ

◆下記、レ点項目の接続・取付をお願いします。	
配管接続業者様へ	リモコン取付業者様へ
! 配管の逆接続注意!	! もらいさび注意!

給湯機リモコン取付け予定位置に貼付け

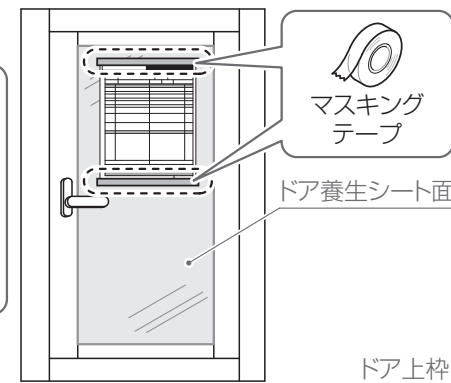
③ トラップの再確認

組立て完了後、トラップ内に水を溜める

臭気の流入および塩素ガス流入により浴室内の金属がさびる場合あり
但し、引渡しに長時間かかり、凍結のおそれがある場合は水は取り除く

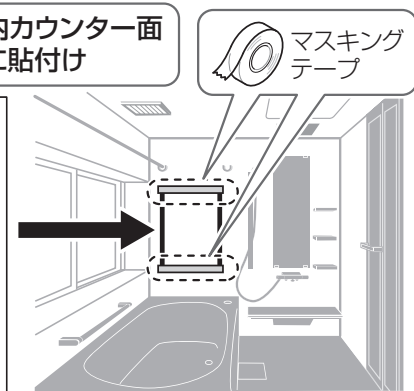
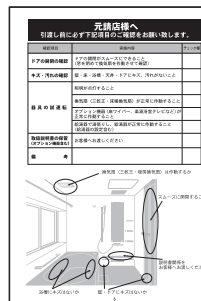
4枚目

ドア養生
シート面
または
ドア上枠
または
ドア障子上框
に貼付け



ドア養生シート面
ドア障子上框
ドア上枠

5枚目

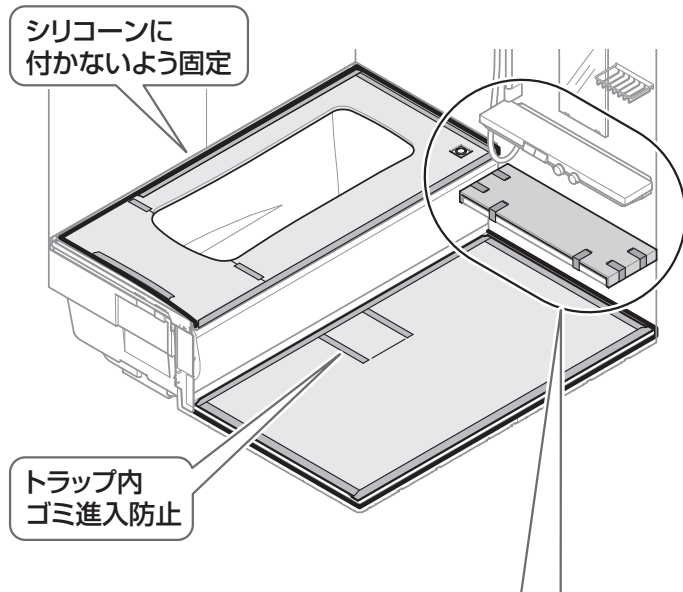
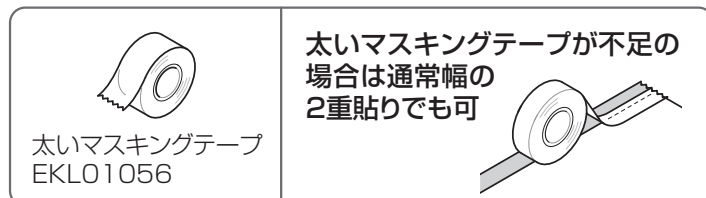
浴室内部カウンター面
の壁に貼付け

3 養生について

お客様引渡しまで期間がある場合

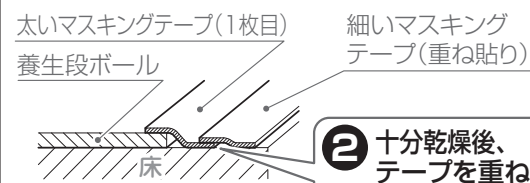
梱包時の段ボールを使って太いマスキングテープで養生する

※背もたれ(Bタイプ)、人大エプロンの場合は養生シートを使用



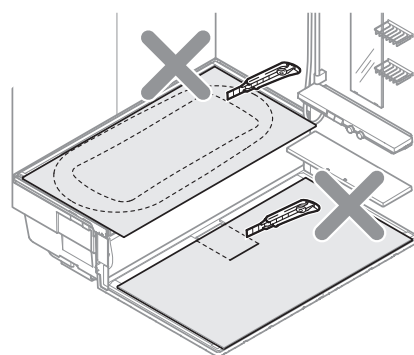
床養生時の注意

1 無水エタノールで清掃



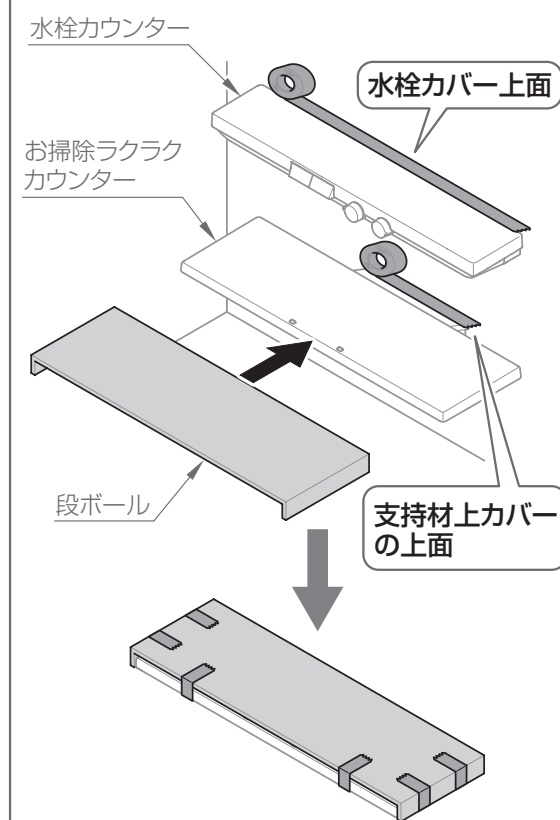
2 十分乾燥後、テープを重ね貼り

製品上でのカット禁止

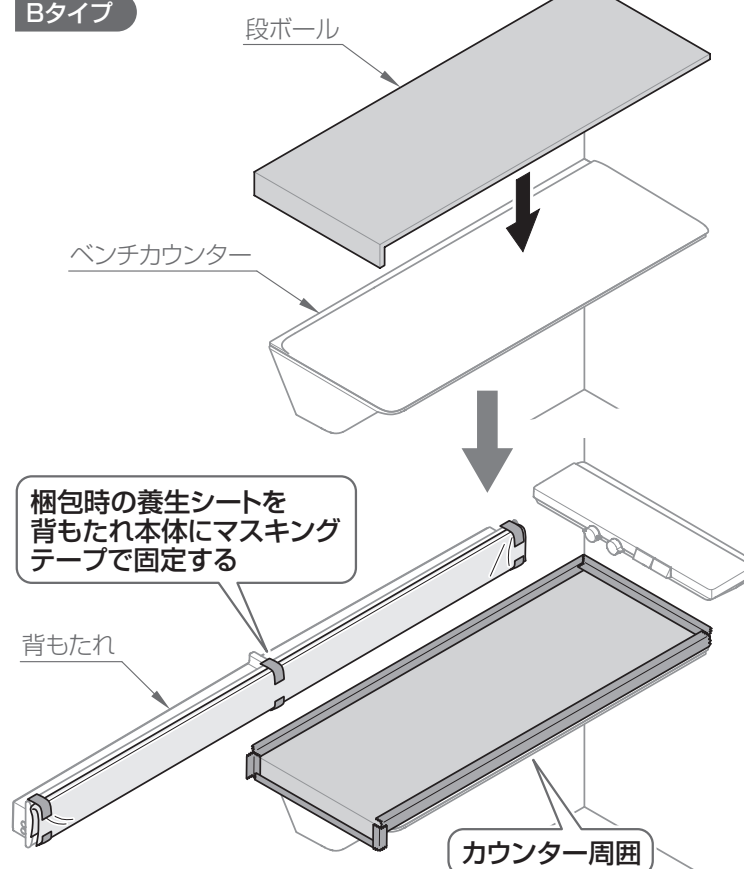


水栓・カウンター 壁とのすき間を必ず養生する もらいさび防止

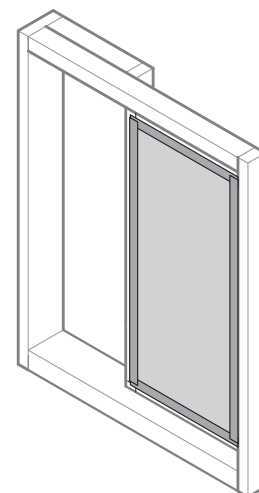
Bタイプ以外



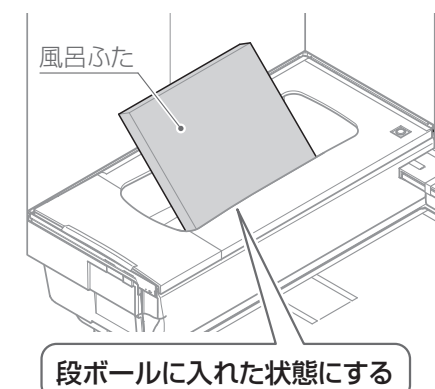
Bタイプ



片引戸／2枚引戸(袖パネル)

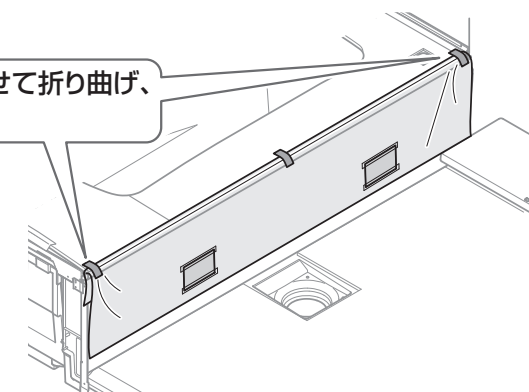


断熱風呂ふた



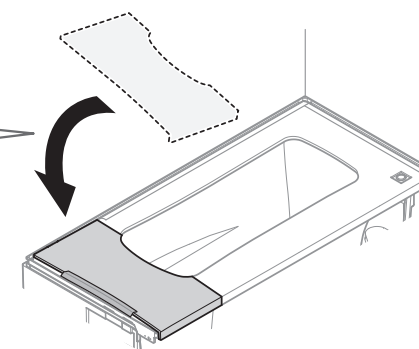
人大エプロン

梱包時の養生シートをエプロンの大きさに合わせて折り曲げ、浴槽にかけマスキングテープで固定



ヘッドレスト

ヘッドレスト設置後、上から浴槽用の養生を実施する



4 取扱説明書類について

本体および各器具に同梱の取扱説明書・ご愛用のしおり・保証書等は、大切に保管の上、必ず全て揃えてお客様にお渡しできるようにすること

- なくしたり、汚したりしないように注意して保管
- シャワーハンガーにひとまとめに吊るしておくこと

5 廃棄物について

部材を処分する場合は、材質を確認して、許可を受けている処理業者へ依頼するか、破碎の上許可された処理場で処理すること

T. 機器の電気工事と試運転

安全上のご注意

電気工事店様実施事項

組立ての前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく組み立ててください。

◎組立て完了後、試運転および各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

◎表示内容を見逃して誤った組立てをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

◎お守りしていただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 この図記号は、気を付けていただきたい「**注意喚起**」の内容です。

注意 この図記号は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。

強制 この図記号は、必ずアース線を接続していただく「**強制**」の内容です。

配線工事は、関連する法令や規定に従って、必ず「有資格者」が行う

●不完全な接続や固定は、火災や漏電の原因

本体に組み込まれる水栓や電気機器などの付帯設備は、それぞれに添付されている組立説明書および製品本体の注意表示を守り、正しく設置する

●誤った設置は、思わぬ事故や故障の原因

電気機器取付けの際は、必ず非通電状態で電源処理を行う

●思わぬ事故や故障の原因

電源コード先端の棒端子はコネクタ（市販品）に確実に差し込み、VVFコードと接続する

●不確実な接続は、端子の過熱による火災の原因

強制 アース取付けが必要な電気機器は、必ずアース線の接続工事を行う

●不完全なアース線の接続は、火災や漏電の原因

◎電源コード先端の棒端子とVVFコードは差込型コネクタでまっすぐ突き当たるまで差し込んでください。

コネクタ側面より、目視にて電源線の棒端子とVVFコードが、コネクタの奥まで入っていることを、確認してください。

棒端子とVVFコードの接続にリングスリーブを使用しない
VVFコードは、まっすぐの状態で使用する
VVFコードとより線をねじって接続しない
むき出し部が長く金属部が露出
差し込み長さ不足で接触不良
差込型電線コネクタの挿入口近くでのVVFコードの折り曲げ

◎楽湯の電源ボックスの電源は交流100V(50／60Hz共用)定格消費電力は360W、定格電流は6Aです。楽湯を動作させる際の起動電流が他の機器に影響を与える可能性がありますので専用配線にて接続してください。

試運転

元請店様実施事項

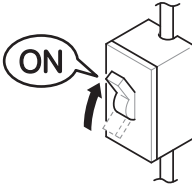
※試運転は、必ず実施してください。
通電・通水していることを確認後、下記手順に従って試運転を行います。

楽湯

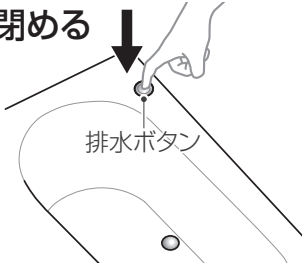
① 浴槽の養生をはがす

※浴槽まわりのシリコンが乾いていない場合があるので、十分注意する

② 楽湯が接続されているブレーカーをONに入れる



③ 排水栓を閉める



④ 水位ラベルまで水を入れる

運転後に水位(水漏れ)を確認するため、水位をラベルに合わせる



浴槽種類	浴槽サイズ (長辺:mm)	ステップ	水位ラベルまでの 水量[L](目安)
ストレート	1650	なし	150
		あり	140
	1600	なし	140
		あり	135
	1400	なし	135
スーパー ワイド	1600	なし	130
		あり	115

浴槽種類	浴槽サイズ (長辺:mm)	ステップ	水位ラベルまでの 水量[L](目安)
ワイド	1600	あり	145
スーパー ワイド			
スーパー ワイド	1600	あり	190
スーパー ワイド			

⑤ メインボタンを押して楽湯を運転する

リモコンのLEDが点灯し、肩楽湯と腰楽湯が強さ「中」で運転を始める

ヒカルリモコン



**メインボタン
(運転入/切)**
肩楽湯と腰楽湯 同時運転
※15分間運転後に
自動停止する

●水位ラベル位置：浴槽底から290mm
●強さ：中モード

●急に吐水音が変わったり、楽湯が出なくなった場合、すぐにメインボタンを押して運転「切」にする
●吐水せず、水位が減る場合(④の水位ラベル参照)はすぐに運転停止する

⑥ 適切な吐水状態の確認

【吐水幅】

NG



【割れ】

NG



床ワイパー洗浄

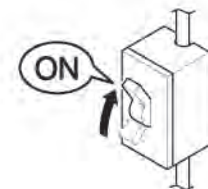
試運転を行う前に、浴槽ならびに浴室内（床および排水口）の清掃を行い、壁の切り粉などをきれいに取り去る

もらいさびの発生等、トラブルの原因

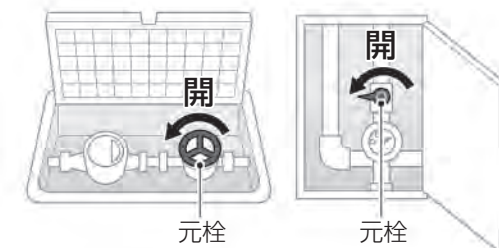
① 床の養生をはがす

※床まわりのシリコンが乾いていない場合があるので、十分注意する

② 床ワイパー洗浄が接続されているブレーカーをONに入れる



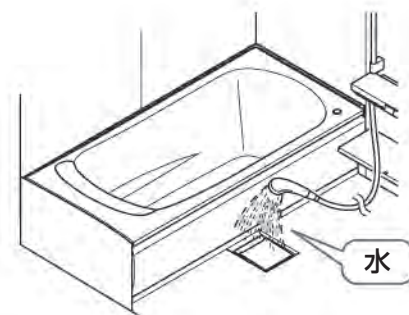
③ 元栓を開ける（通水）する



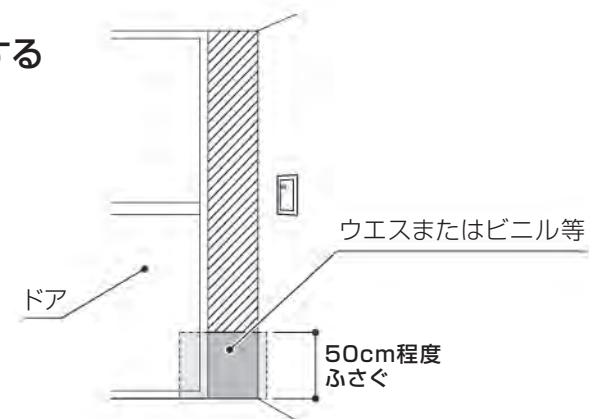
④ 床ワイパー洗浄のフィルターのゴミ詰まりを防ぐためにシャワーから1分以上の捨て水を行う

配管内のゴミをシャワーのフィルターで受け、ゴミが無くなった後に床ワイパー洗浄の試運転を行うことで機能ユニット内の目詰まりを防ぐ

※終わった後に、ハンドシャワーのフィルターを掃除する掃除のしかたは、Q-3 ページ参照



⑤ 運転を確認するために少しドアを開け、洗面所に水が飛び散らないように養生する



【適切な吐水状態ではない場合】

吐水幅が360mm未満の場合／割れがある場合

- 吐水口にゴミがつまっていないか
下記のように掃除を行う



- 配管接続部
 - ・確実にクイックファスナーがはまっているか
 - ・水漏れがないか
 - ・Oリングのねじれがないか

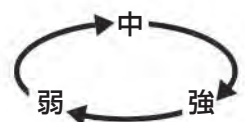
⑦ 「強さ」と「モード」の切替えを確認する

ヒカルリモコン



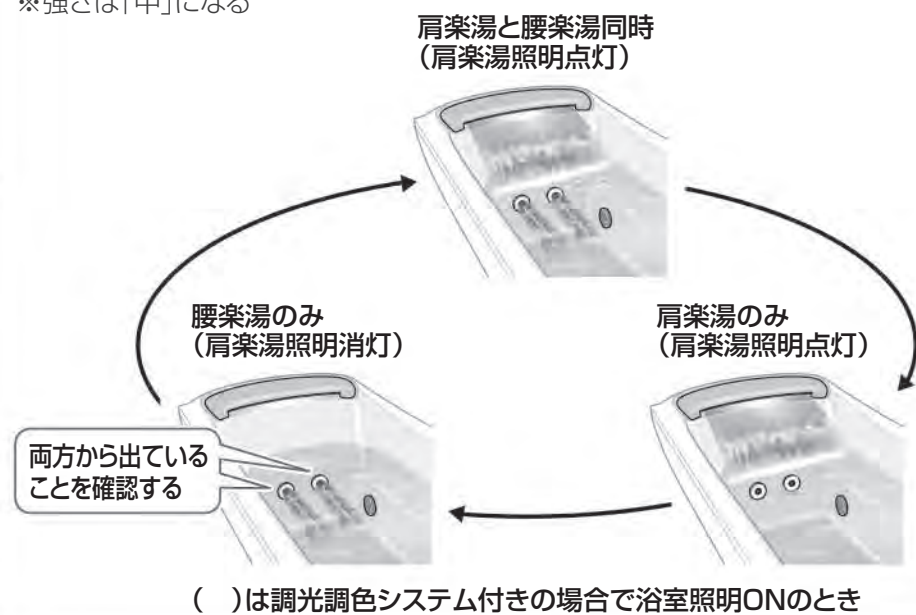
強さボタン

押すごとに、下記の順番で強さが切り替わる



切替ボタン

押すごとに、下記の順番で楽湯モードが切り替わる
※強さは「中」になる

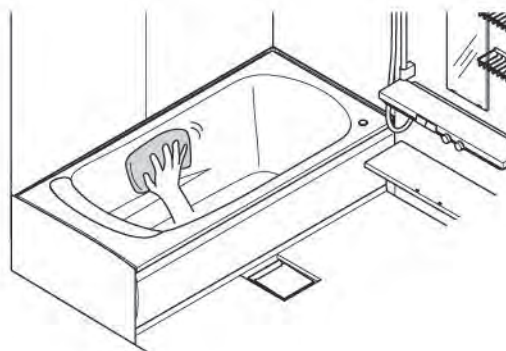


⑧ メインボタンを押し、楽湯を停止して④の水位を確認する

水位が減っている場合は、配管の漏れを確認する

⑨ 浴槽内の水を排水して残水をふき取る

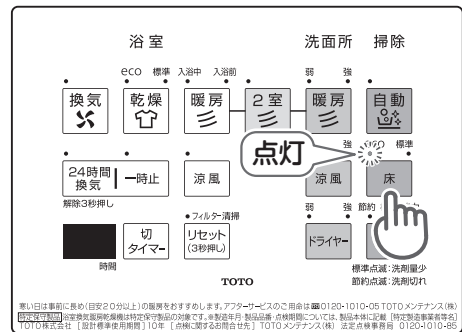
※浴槽まわりシリコンが乾いていない場合があるので、十分注意する



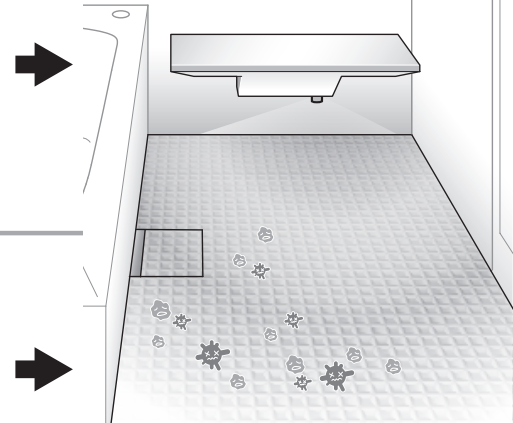
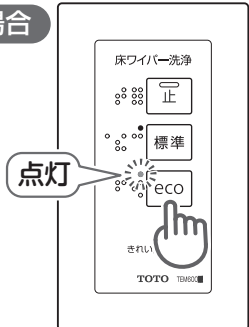
⑩ 終了

⑥ 「eco」モードで運転スタートする

マルチリモコンの場合 ※デザインは選択したオプションにより異なる。



専用リモコンの場合



床面に水が
散布されることを
確認する

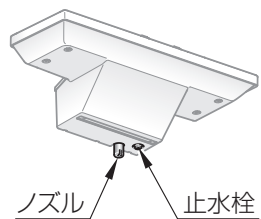
【ecoランプが点灯し、ノズルから水が出ない場合】 eco

カウンター下の止水栓は開いているか確認する

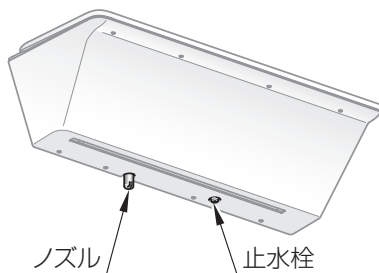


【止水栓の場所】

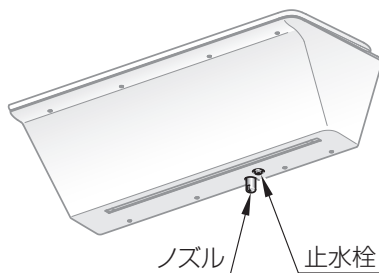
お掃除ラクラクカウンター
R/L共通



ベンチカウンター
R勝手

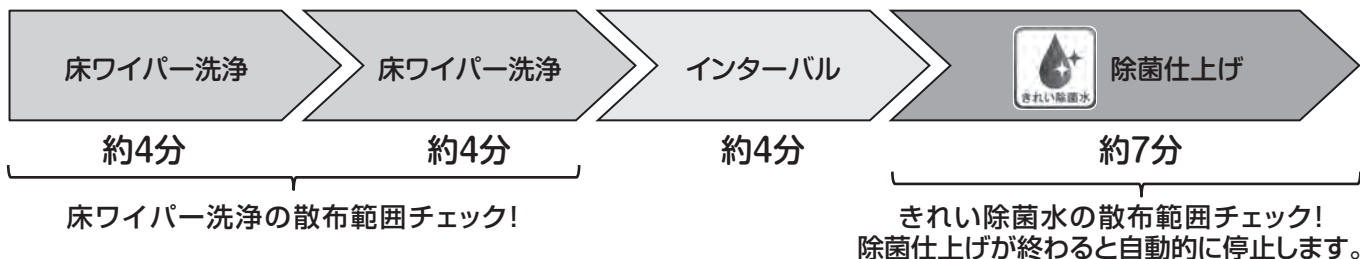


L勝手

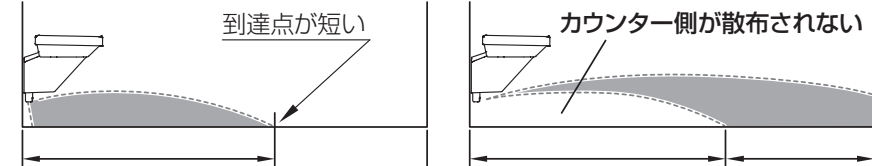
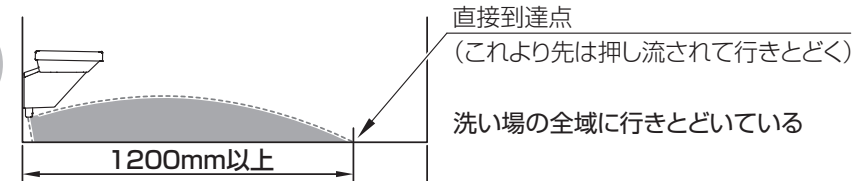


⑦ 正常に動作しているか確認する

※インターバル中は作動しない。



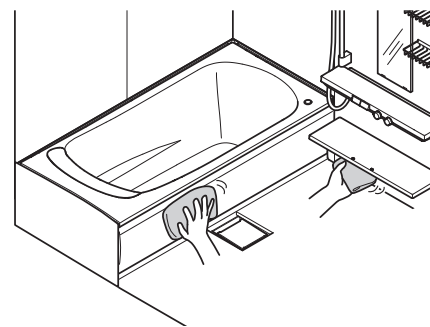
⑧ 適切な範囲に散布されているか確認する



洗い場の全域に行きとどいていない場合は、止水栓を調整して適切な散布範囲にする

⑨ 浴室内の残水を拭き取る

※床まわりシリコーンが乾いていない場合があるので、十分注意する



⑩ 終了

MEMO

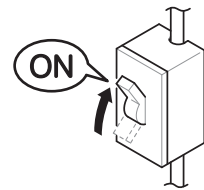
調光調色システム

※各照明は単独で操作できない

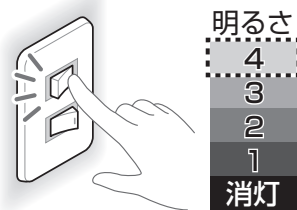
明るさ	光色	ダウン ライト	カウンター下 照明	肩楽湯 照明
4(最大)	昼白色	点灯	点灯	点灯※1
3(明)	温白色			
2(中)	電球色			
1(暗)	電球色	消灯	消灯	消灯
消灯	—			

※1 肩楽湯動作時のみ

① 調光調色システムが接続されている ブレーカーをONに入れる

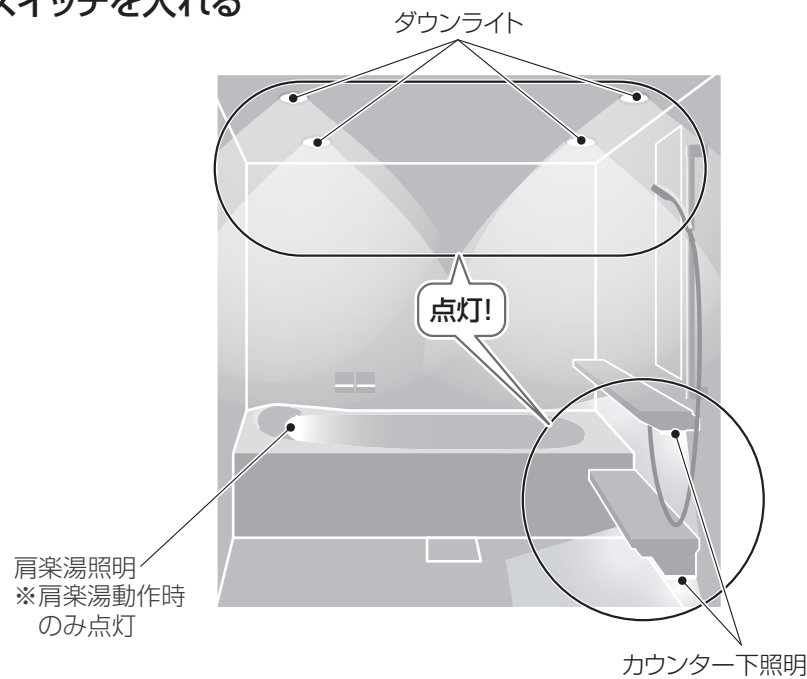


② 浴室照明(調光調色システム)のスイッチを入れる

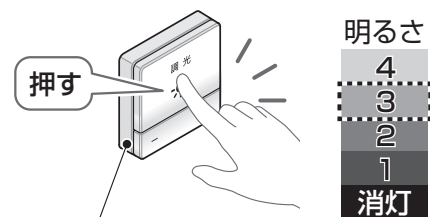


※必ず明るさ「4(最大)」で点灯する
※1.5秒以内にスイッチを「切/入」すると、
明るさ「4(最大)」と「3(明)」が切り替わる

- ・照明が点灯していることを確認する

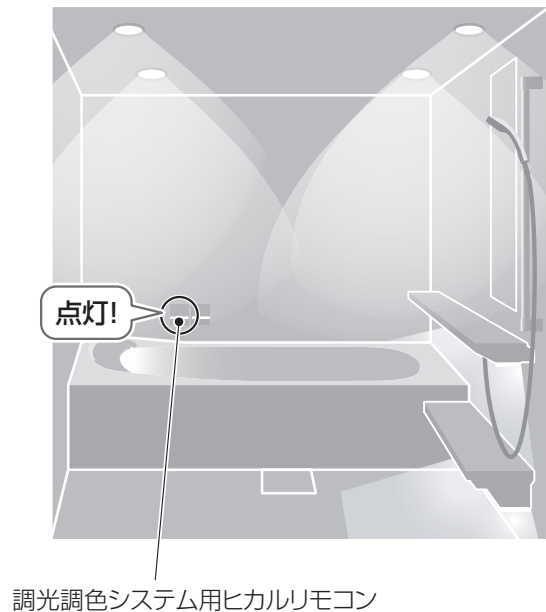


③ ヒカルリモコンのメインボタンを押す

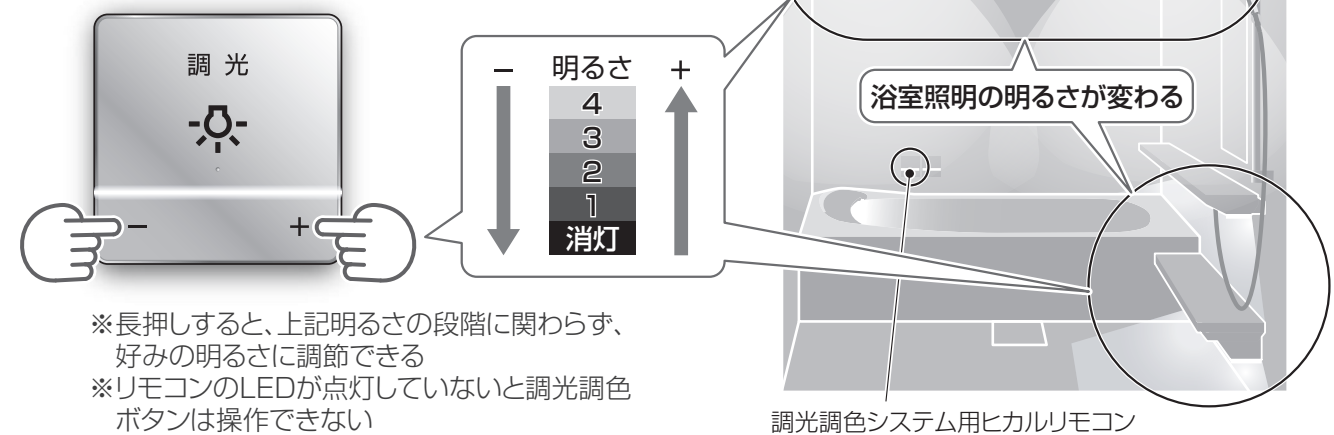


調光調色システム用
ヒカルリモコン

- ・「ピッ」という受付音と同時にリモコンのLED
が点灯し(調光調色システムがON)、明るさ
「3(明)」に切り替わる



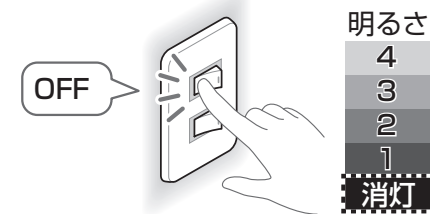
④ 調光調色ボタンを押して 明るさと光色を切り替える



※長押しすると、上記明るさの段階に関わらず、
好みの明るさに調節できる
※リモコンのLEDが点灯していないと調光調色
ボタンは操作できない

- ・「-」スイッチを押して、明るさが4(最大)→3(明)→2(中)→1(暗)→消灯と変化することを確認する
- ・「+」スイッチを押して、明るさが消灯→1(暗)→2(中)→3(明)→4(最大)と変化することを確認する
- ・楽湯リモコンの操作により、肩楽湯をON状態にし楽湯照明が点灯することを確認する
また、楽湯照明の点灯確認後はすみやかに楽湯リモコンにて肩楽湯をOFF状態にする

⑤ 試運転完了後、必ず洗面所にある浴室の照明スイッチをOFFにする



⑥ 終了

MEMO